

母子保健計画策定市民意識調査業務

報告書

平成26年10月

鹿児島市

【 目 次 】

I. 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査期間	1
3 調査の種類	1
4 集計上の留意点	2

II. 調査結果

第1編 小学生・中学生・高校生

性別	3
自分の体型イメージ	5
ダイエット経験	6
毎日の朝食の有無	7
学校生活に対する考え	8
自分の健康状態	9
自分が生まれてきて良かったか	10
自分自身の生き方	11
将来の夢や希望の有無	12
親との会話	13
悩みやストレスの有無	14
悩みやストレスの内容	15
悩みを相談できる人の有無	18
悩みを相談できる相手	19
友人の性的行動や経験に対して	22
性感染症についての認識	23
性感染症の知識	24
性感染症への理解	25
性感染症の情報源	27
性の相談相手の有無	29
性に関して知りたい内容	30
保健所のエイズ検査や相談	32
エイズの早期治療の予防効果	33
1年間の間に赤ちゃんを抱いた機会	34

赤ちゃんを抱いた機会	38
赤ちゃんを育てること	41
マタニティマークの認知度	42

第2編 小学生・中学生・高校生の保護者

調査票の回答者	43
両親の年代	44
子どもとの会話	46
最近子どもをほめたか	52
子どもの良いところをほめる心掛け	57
悩みやストレスの有無	58
悩みやストレスの内容	59
悩みを相談できる人の有無	61
悩みを相談できる相手	62
親と子どもが性について話す機会の必要性	63
性に関する教育	64
子どもに受けて欲しい性に関する教育の内容	65
親と子どもが死について話す機会の必要性	67
子どもを育てることについて	68
マタニティマークの認知度	73
子育て中の親や若い人たちに必要な相談体制	74

第3編 1歳6ヵ月児の保護者

子どもとの続柄	76
何番目の子どもか	77
性別	79
出産時の状態	80
出産時の妊娠期間と体重	81
希望（満足な）した出産ができたか	83
出産した場所	84
出産した時の母親の年齢	85
母子健康手帳の交付時期	90
妊娠中の定期的な健診	93
健診を受けなかった理由	94
妊娠していると分かった時の喫煙	95

妊娠していると分かった時の夫・パートナーの喫煙	97
妊娠中の喫煙	99
妊娠中の夫・パートナーの喫煙	102
妊娠中の飲酒	104
母親学級の参加の有無	106
母親学級に参加した場所	107
母親学級に参加してよかったか	108
母親学級に参加しなかった理由	109
「両親学級」「父親学級」に夫が参加してほしいか	111
「両親学級」「父親学級」に夫が参加してくれると思うか	112
妊娠中の仕事の有無	113
妊娠中に持っていた職業	114
妊娠中の仕事の配慮の有無	115
妊娠中に仕事で配慮してもらえなかった内容	116
母子健康管理指導事項連絡カードの認知度	117
母子健康管理指導事項連絡カードの利用経験	118
マタニティマークの認知度	119
マタニティマークの効果を感じた事の有無	120
産後の助産師や保健師による家庭訪問（訪問指導）を受けたか	121
訪問指導を受けた感想	122
現在の子育ての状況	123
子育てについて相談できる人の有無	124
現在働いているか（母親）	126
暮らしの経済的な状況	127
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無	128
育児に自信が持てないことの有無	129
子どもを虐待していると感じる機会の有無	130
子どもを虐待していると思う内容	133
夫の育児参加（協力）の内容	134
夫の育児参加（協力）への満足度	135
子どもと外出した時の地域の人からの声掛けの有無	136
日常の育児の相談相手	137
地域の子育てサークルや子育てサロンへの参加	138
かかりつけ医の有無	139
休日・夜間の子どもの急病時の医療機関の認知度	140
「鹿児島市夜間急病センター」の受診経験の有無	141

夜間の子どもの急病時の対応	142
生後1～5か月頃の赤ちゃんの「泣く」時の対処法	143
「乳幼児ゆさぶられ症候群」について知っていること	144
乳幼児健診を受けた場所	145
乳幼児健診についての満足度	146
乳幼児健診についての感想	147
子どもの食事や間食（おやつ）の時間	149
ベビー用品やおもちゃを購入する時の安全性の重視	150
子どもを一人にすることの有無	151
自動車に乗るときのチャイルドシートの有無	152
浴槽に水をためたままにしていないか	153
浴室のドアを子どもが開けることができないような工夫の有無	154
子どもから手の届かない場所にタバコや灰皿を置いているか	155
ピーナッツやあめ玉などを、子どもの手の届かないところに置いているか	156
医薬品、化粧品、洗剤などを、子どもの手の届かないところに置いているか	157
ポットや炊飯器を、子どもの手の届かないところに置いているか	158
ストーブやヒーターなどは安全柵で囲っているか	159
階段に転落防止用の柵を取り付けているか	160

第4編 3歳児の保護者

子どもとの続柄	161
何番目の子どもか	162
性別	164
出産時の状態	165
出産時の妊娠期間と体重	166
希望（満足な）した出産ができたか	168
出産した場所	169
出産した時の母親の年齢	170
母子健康手帳の交付時期	175
妊娠中の定期的な健診	178
健診を受けなかった理由	178
妊娠していると分かった時の喫煙	179
妊娠していると分かった時の夫・パートナーの喫煙	181
妊娠中の喫煙	183
妊娠中の夫・パートナーの喫煙	186
妊娠中の飲酒	188

母親学級の参加の有無	190
母親学級に参加した場所	191
母親学級に参加してよかったか	192
母親学級に参加しなかった理由	193
「両親学級」「父親学級」に夫が参加してほしいか	194
「両親学級」「父親学級」に夫が参加してくれると思うか	195
妊娠中の仕事の有無	196
妊娠中に持っていた職業	197
妊娠中の仕事の配慮の有無	198
妊娠中に仕事で配慮してもらえなかった内容	199
母子健康管理指導事項連絡カードの認知度	200
母子健康管理指導事項連絡カードの利用経験	201
マタニティマークの認知度	202
マタニティマークの効果を感じた事の有無	203
産後の助産師や保健師による家庭訪問（訪問指導）を受けたか	204
訪問指導を受けた感想	205
現在の子育ての状況	206
子育てについて相談できる人の有無	207
現在働いているか（母親）	209
暮らしの経済的な状況	210
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無	211
育児に自信が持てないことの有無	212
子どもを虐待していると感じる機会の有無	213
子どもを虐待していると思う内容	216
夫の育児参加（協力）の内容	217
夫の育児参加（協力）への満足度	218
子どもと外出した時の地域の人からの声掛けの有無	219
日常の育児の相談相手	220
地域の子育てサークルや子育てサロンへの参加	221
かかりつけ医の有無	222
休日・夜間の子どもの急病時の医療機関の認知度	223
「鹿児島市夜間急病センター」の受診経験の有無	224
夜間の子どもの急病時の対応	225
生後1～5か月頃の赤ちゃんの「泣く」時の対処法	226
「乳幼児ゆさぶられ症候群」について知っていること	227
乳幼児健診を受けた場所	228

乳幼児健診についての満足度	229
乳幼児健診についての感想	230
子どもの食事や間食（おやつ）の時間	232
子どもを一人にすることの有無	233
自動車に乗るときのチャイルドシートの有無	234
浴槽に水をためたままにしていないか	235
子どもから手の届かない場所にタバコや灰皿を置いているか	236
ピーナッツやあめ玉などを、子どもの手の届かないところに置いているか	237
医薬品、化粧品、洗剤などを、子どもの手の届かないところに置いているか	238
ストーブやヒーターなどは安全柵で囲っているか	239
箸や歯ブラシなどをくわえて走り回ることがあるか	240
すべり台やブランコの安全な乗り方を教えているか	241
ベランダの窓の側に、踏み台になるものがあるか	242
児童発達支援センター・事業所利用のきっかけ	243
児童発達支援センター・事業所の利用開始年齢	244
児童発達支援センター・事業所の利用頻度	245
児童発達支援センター・事業所の利用による子どもの成長と変容	246
児童発達支援センター・事業所の利用による保護者の変化と変容	247

第5編 自由意見

自由意見（高校生）	248
自由意見（小学生・中学生・高校生の保護者）	250

Ⅲ. 調査票	263
--------	-----

I 調 査 概 要

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「鹿児島市子ども・子育て支援事業計画（平成27～31年度）」の策定のための基礎資料とするため、アンケート方式による市民意識調査を実施した。

2. 調査期間

平成26年5月26日（月）～平成26年6月30日（月）

3. 調査の種類

（1）小学6年生

■ 調査件数	617件
■ 回収件数	570件
■ 回収率	92.4%

（2）小学6年生の保護者

■ 調査件数	617件
■ 回収件数	526件
■ 回収率	85.3%

（3）中学3年生

■ 調査件数	635件
■ 回収件数	573件
■ 回収率	90.2%

（4）中学3年生の保護者

■ 調査件数	635件
■ 回収件数	422件
■ 回収率	66.5%

（5）高校3年生

■ 調査件数	1119件
■ 回収件数	1062件
■ 回収率	94.9%

（6）高校3年生の保護者

■ 調査件数	1119件
■ 回収件数	722件
■ 回収率	64.5%

（7）1歳6か月児の保護者

■ 調査件数	400件
■ 回収件数	355件

- 回収率 88.8%
- (8) 3歳児の保護者
 - 調査件数 400件
 - 回収件数 336件
 - 回収率 84.0%

4. 集計上の留意点

- (1) 集計結果の百分率（回答割合）は、小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の設問における回答割合（百分率）は、回答者数を基に算出するため、その合計は、100%を超える。

Ⅱ 調 査 結 果

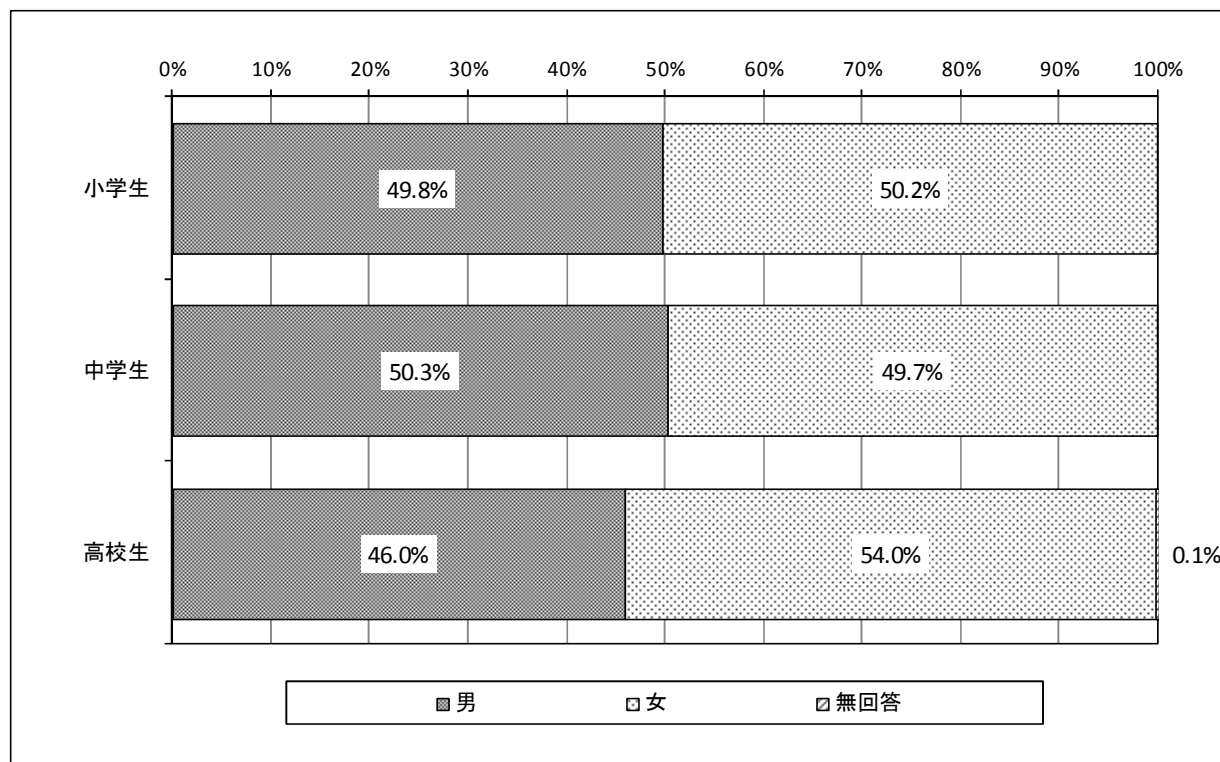
第1編

小学生・中学生・高校生

問1 あなたの性別を教えてください。

■小中高校生の性別

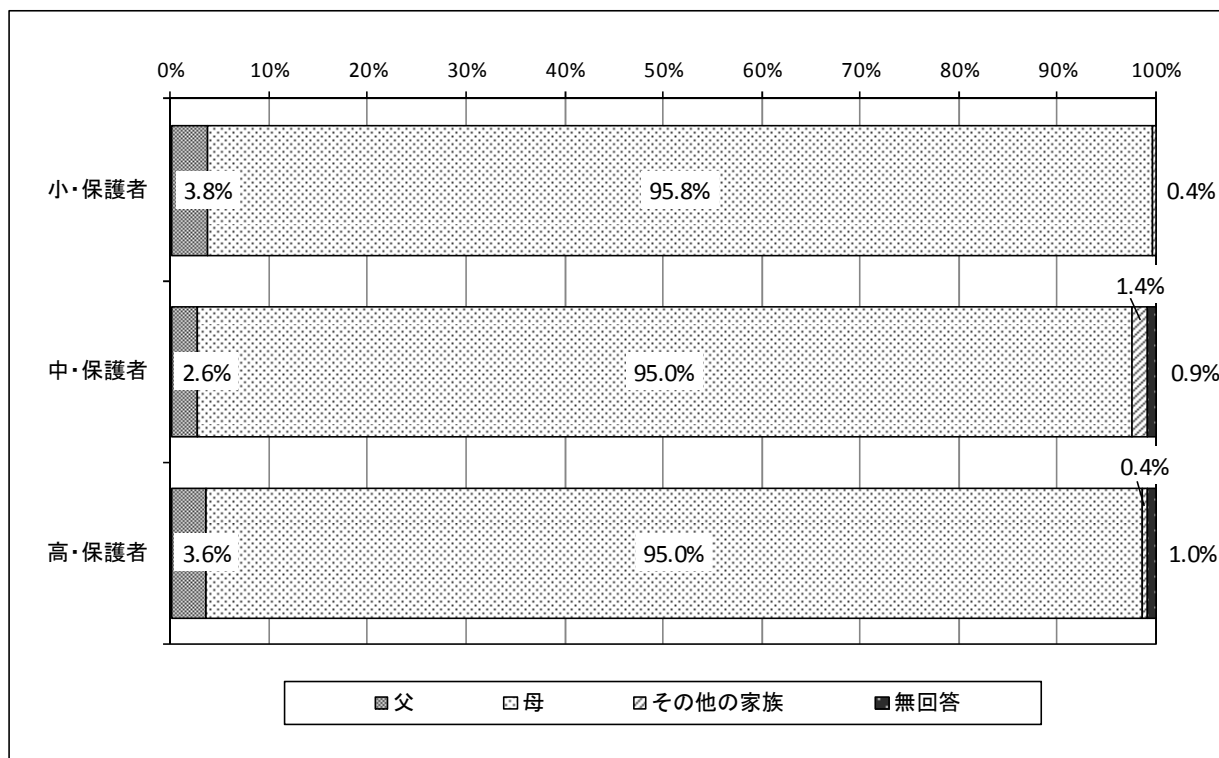
性別は、小学生・中学生・高校生の男女共に、約5割であった。



		小学生	中学生	高校生	計
男	実数(人)	284	288	488	1,060
	構成比(%)	49.8%	50.3%	46.0%	48.1%
女	実数(人)	286	285	573	1,144
	構成比(%)	50.2%	49.7%	54.0%	51.9%
無回答	実数(人)	0	0	1	1
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
計	実数(人)	570	573	1,062	2,205
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■保護者の性別

小学生・中学生・高校生の調査票を回答した保護者は、小学生・中学生・高校生共に、9割以上が母親であった。

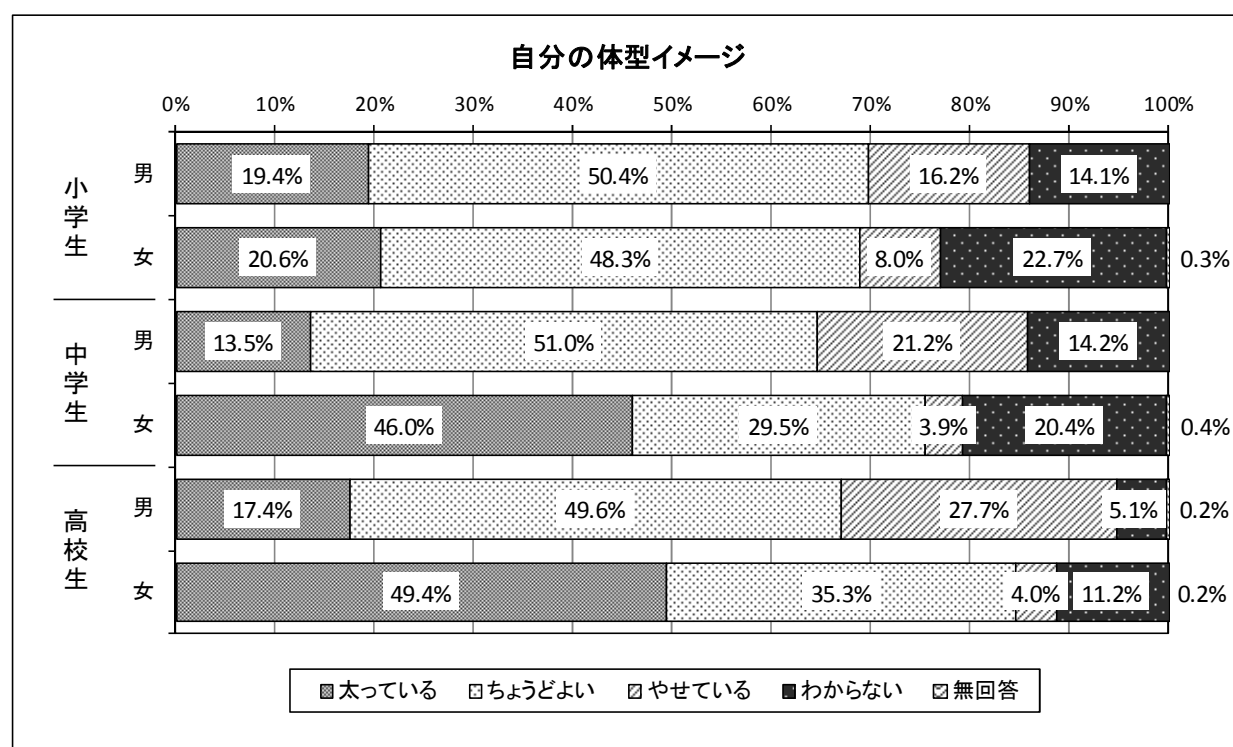


		小・保護者	中・保護者	高・保護者	計
父	実数(人)	20	11	26	57
	構成比(%)	3.8%	2.6%	3.6%	3.4%
母	実数(人)	504	401	686	1,591
	構成比(%)	95.8%	95.0%	95.0%	95.3%
その他	実数(人)	2	6	3	11
	構成比(%)	0.4%	1.4%	0.4%	0.7%
無回答	実数(人)	0	4	7	11
	構成比(%)	0.0%	0.9%	1.0%	0.7%
計	実数(人)	526	422	722	1,670
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問2 自分の体型（スタイル）について、どう感じていますか。

自分の体型（スタイル）については、男性については学年における大きな差は見られなかった。

女性については、「太っている」が小学生で20.6%、中学生で46.0%、高校生で49.4%と学年が上がると増加し、中学生・高校生が自分の体型（スタイル）について太っていると感じているという事がわかる。



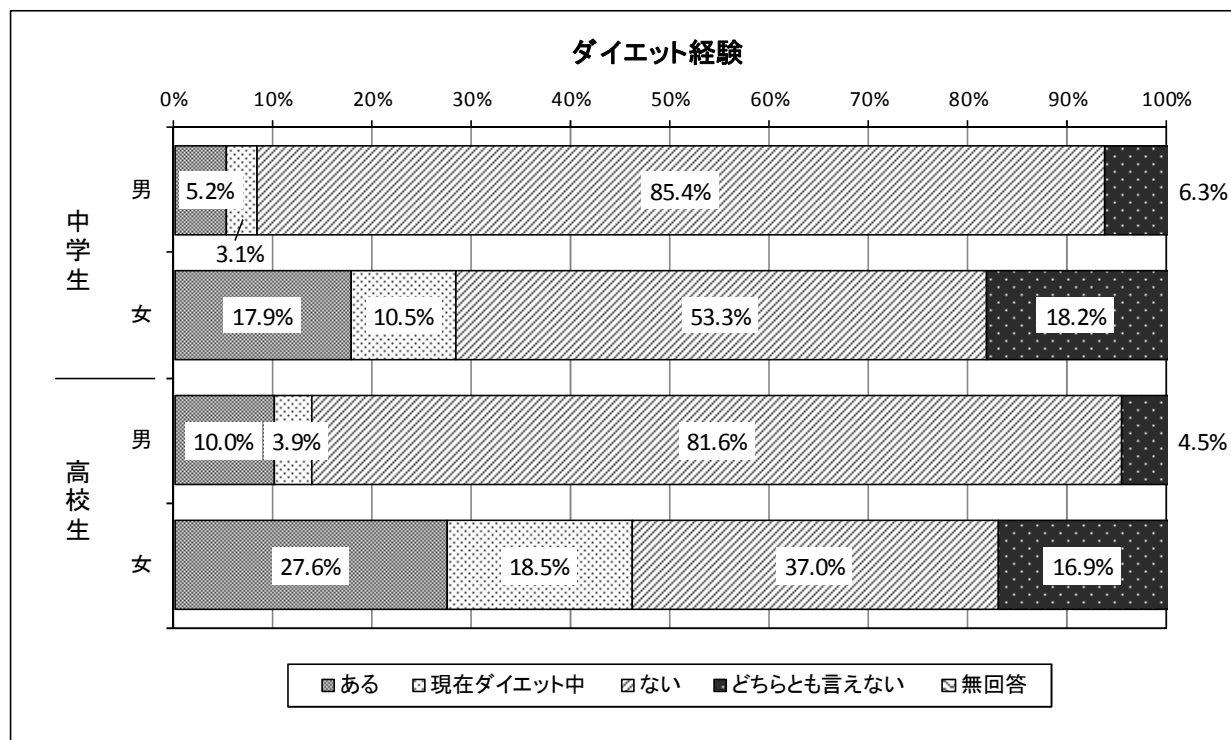
自分の体型イメージ

項目	小学生			中学生			高校生			総計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
太っている	実数(人)	55	59	114	39	131	170	85	283	368	179	473	652
	構成比(%)	19.4%	20.6%	20.0%	13.5%	46.0%	29.7%	17.4%	49.4%	34.7%	16.9%	41.3%	29.6%
ちょうどよい	実数(人)	143	138	281	147	84	231	242	202	444	532	424	956
	構成比(%)	50.4%	48.3%	49.3%	51.0%	29.5%	40.3%	49.6%	35.3%	41.8%	50.2%	37.1%	43.4%
やせている	実数(人)	46	23	69	61	11	72	135	23	158	242	57	299
	構成比(%)	16.2%	8.0%	12.1%	21.2%	3.9%	12.6%	27.7%	4.0%	14.9%	22.8%	5.0%	13.6%
わからない	実数(人)	40	65	105	41	58	99	25	64	89	106	187	293
	構成比(%)	14.1%	22.7%	18.4%	14.2%	20.4%	17.3%	5.1%	11.2%	8.4%	10.0%	16.3%	13.3%
無回答	実数(人)	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	3	4
	構成比(%)	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3 ダイエットをしたことがありますか。

ダイエット経験の有無については、「ある」と「現在ダイエット中」を含めると、中学生・高校生共に男性よりも女性の割合が高くなっている。

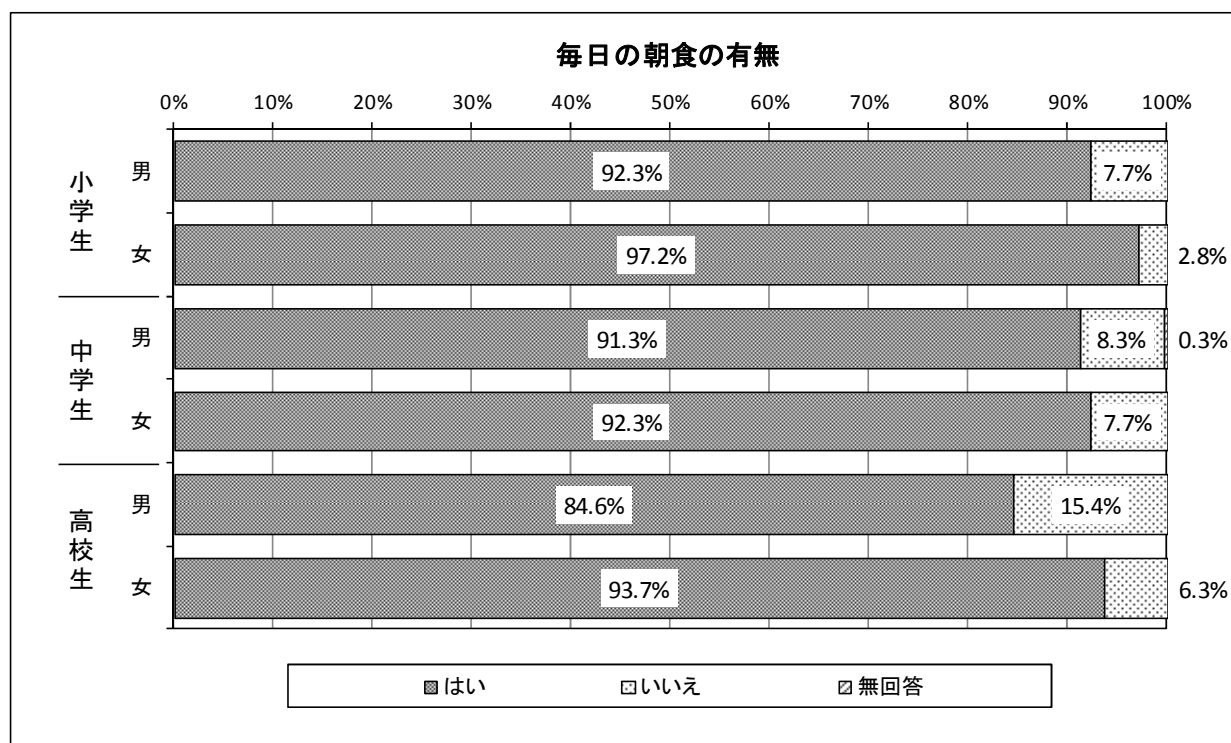
また、中学生よりも高校生の方がダイエット経験があると回答した割合が高い。



ダイエット経験										
		中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
ある	実数(人)	15	51	66	49	158	207	64	209	273
	構成比(%)	5.2%	17.9%	11.5%	10.0%	27.6%	19.5%	8.2%	24.4%	16.7%
現在ダイエット中	実数(人)	9	30	39	19	106	125	28	136	164
	構成比(%)	3.1%	10.5%	6.8%	3.9%	18.5%	11.8%	3.6%	15.9%	10.0%
ない	実数(人)	246	152	398	398	212	610	644	364	1008
	構成比(%)	85.4%	53.3%	69.5%	81.6%	37.0%	57.5%	83.0%	42.4%	61.7%
どちらとも言えない	実数(人)	18	52	70	22	97	119	40	149	189
	構成比(%)	6.3%	18.2%	12.2%	4.5%	16.9%	11.2%	5.2%	17.4%	11.6%
無回答	実数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	実数(人)	288	285	573	488	573	1,061	776	858	1,634
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4 学校のある日は、毎日、朝食（朝ごはん）を食べていますか。

学校のある日に、毎日朝食を食べているかについては、「いいえ」と回答した高校生の男性の15.4%を除けば、全体として9割以上が朝食を食べている。

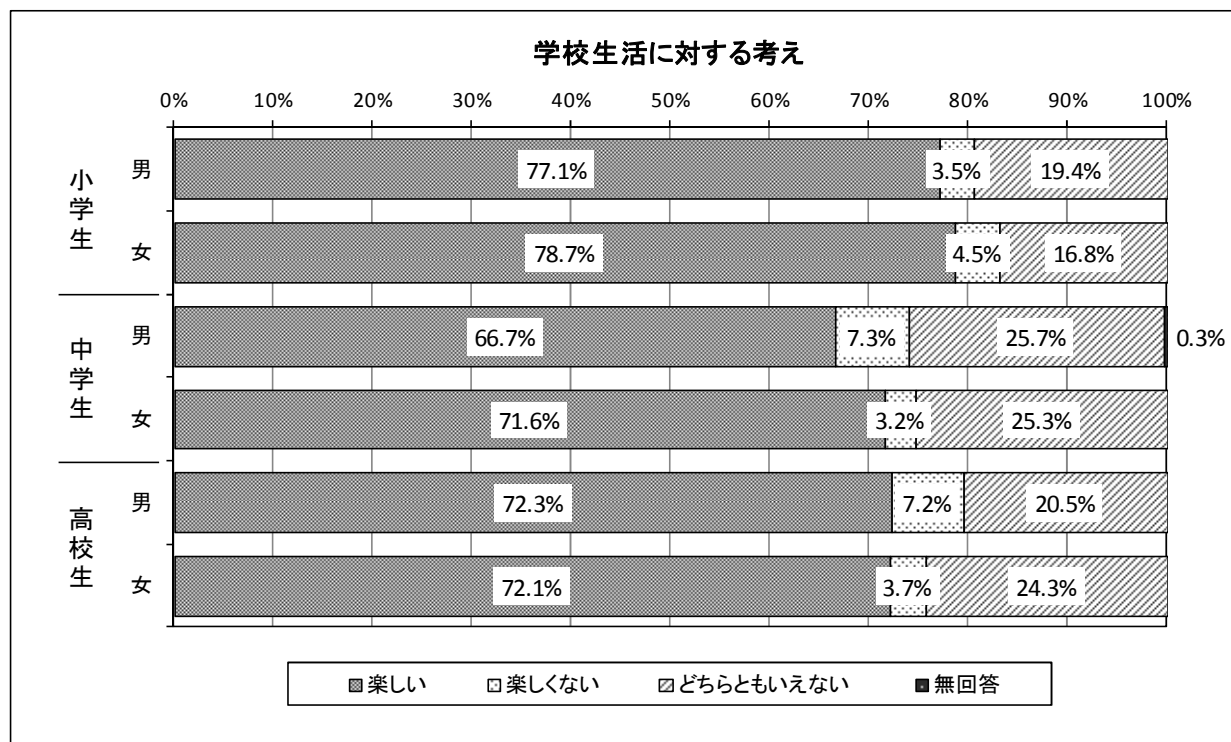


毎日の朝食の有無

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
はい	実数(人)	262	278	540	263	263	526	413	537	950	938	1,078	2,016
	構成比(%)	92.3%	97.2%	94.7%	91.3%	92.3%	91.8%	84.6%	93.7%	89.5%	88.5%	94.2%	91.5%
いいえ	実数(人)	22	8	30	24	22	46	75	36	111	121	66	187
	構成比(%)	7.7%	2.8%	5.3%	8.3%	7.7%	8.0%	15.4%	6.3%	10.5%	11.4%	5.8%	8.5%
無回答	実数(人)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問5 現在、学校生活が楽しいですか。

学校生活が楽しいかについては、7割前後の生徒が「楽しい」と回答している。「楽しくない」と回答した割合では、中学生・高校生が僅かに小学生より多い傾向があるものの、男女における大きな差は見られない。

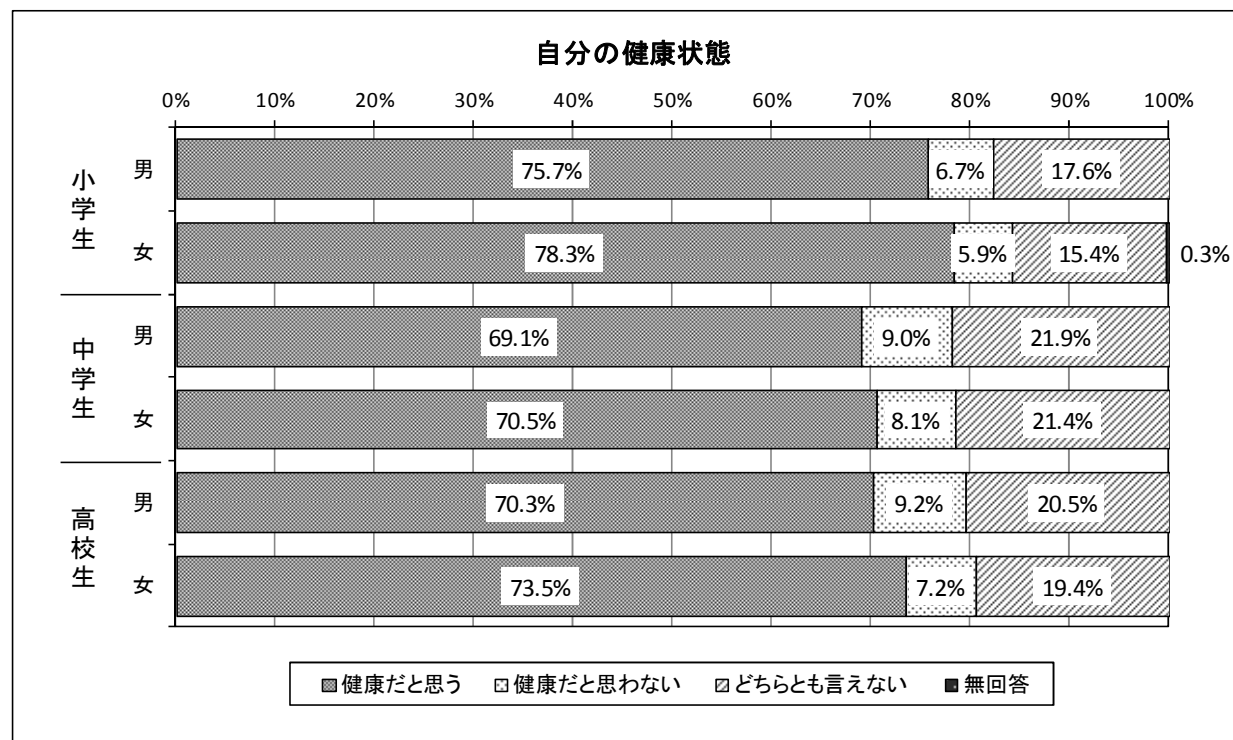


学校生活に対する考え

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
楽しい	実数(人)	219	225	444	192	204	396	353	413	766	764	842	1606
	構成比(%)	77.1%	78.7%	77.9%	66.7%	71.6%	69.1%	72.3%	72.1%	72.2%	72.1%	73.6%	72.9%
楽しくない	実数(人)	10	13	23	21	9	30	35	21	56	66	43	109
	構成比(%)	3.5%	4.5%	4.0%	7.3%	3.2%	5.2%	7.2%	3.7%	5.3%	6.2%	3.8%	4.9%
どちらとも言えない	実数(人)	55	48	103	74	72	146	100	139	239	229	259	488
	構成比(%)	19.4%	16.8%	18.1%	25.7%	25.3%	25.5%	20.5%	24.3%	22.5%	21.6%	22.6%	22.1%
無回答	実数(人)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問6 現在、自分は健康だと思いますか。

自分は健康だと思うかについては、7割前後の生徒が「健康だと思う」と回答している。「健康だと思わない」と回答した割合で、中学生・高校生が僅かに小学生より多い傾向があるものの、男女における大きな差は見られない。



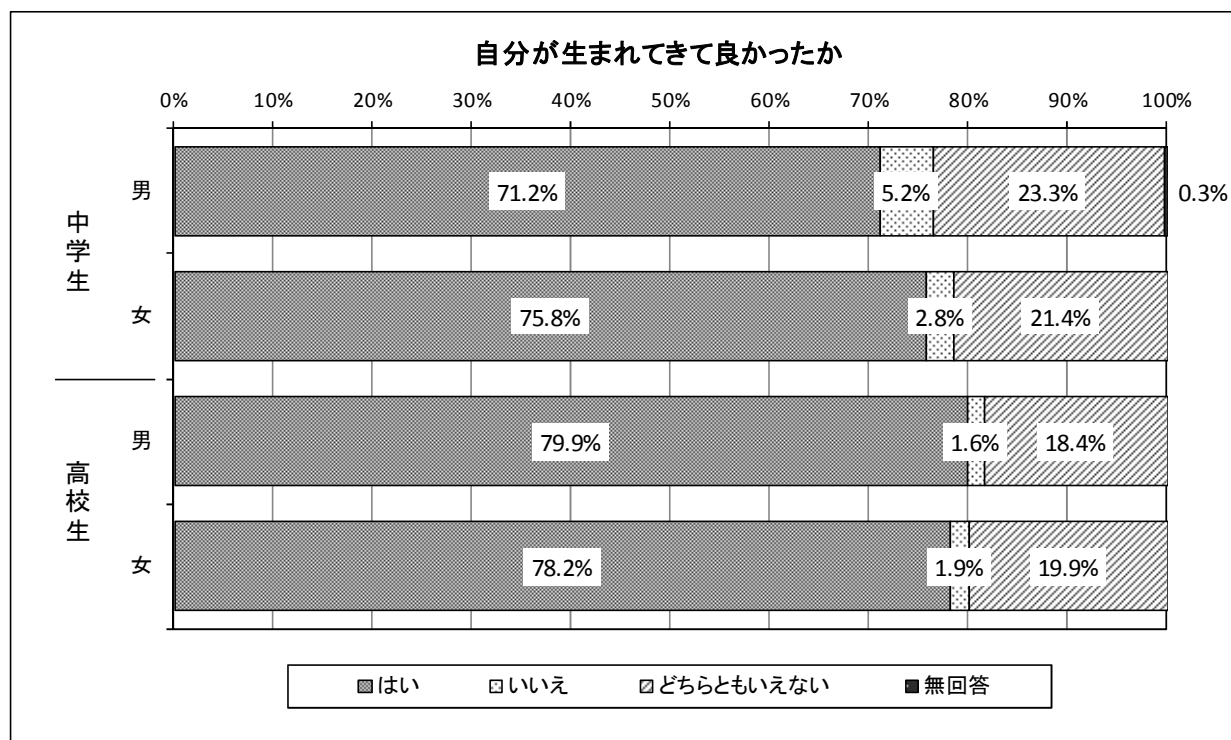
自分の健康状態

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
健康だと思う	実数(人)	215	224	439	199	201	400	343	421	764	757	846	1603
	構成比(%)	75.7%	78.3%	77.0%	69.1%	70.5%	69.8%	70.3%	73.5%	72.0%	71.4%	74.0%	72.7%
健康だと思わない	実数(人)	19	17	36	26	23	49	45	41	86	90	81	171
	構成比(%)	6.7%	5.9%	6.3%	9.0%	8.1%	8.6%	9.2%	7.2%	8.1%	8.5%	7.1%	7.8%
どちらとも言えない	実数(人)	50	44	94	63	61	124	100	111	211	213	216	429
	構成比(%)	17.6%	15.4%	16.5%	21.9%	21.4%	21.6%	20.5%	19.4%	19.9%	20.1%	18.9%	19.5%
無回答	実数(人)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比(%)	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7 自分が生まれてきてよかったと思っていますか。

自分が生まれてきて良かったかについては、高校生よりも中学生の方が「はい」と回答した割合が低い。

また、「いいえ」と回答した中で、中学生の男性が5.2%、中学生の女性が2.8%となっている。

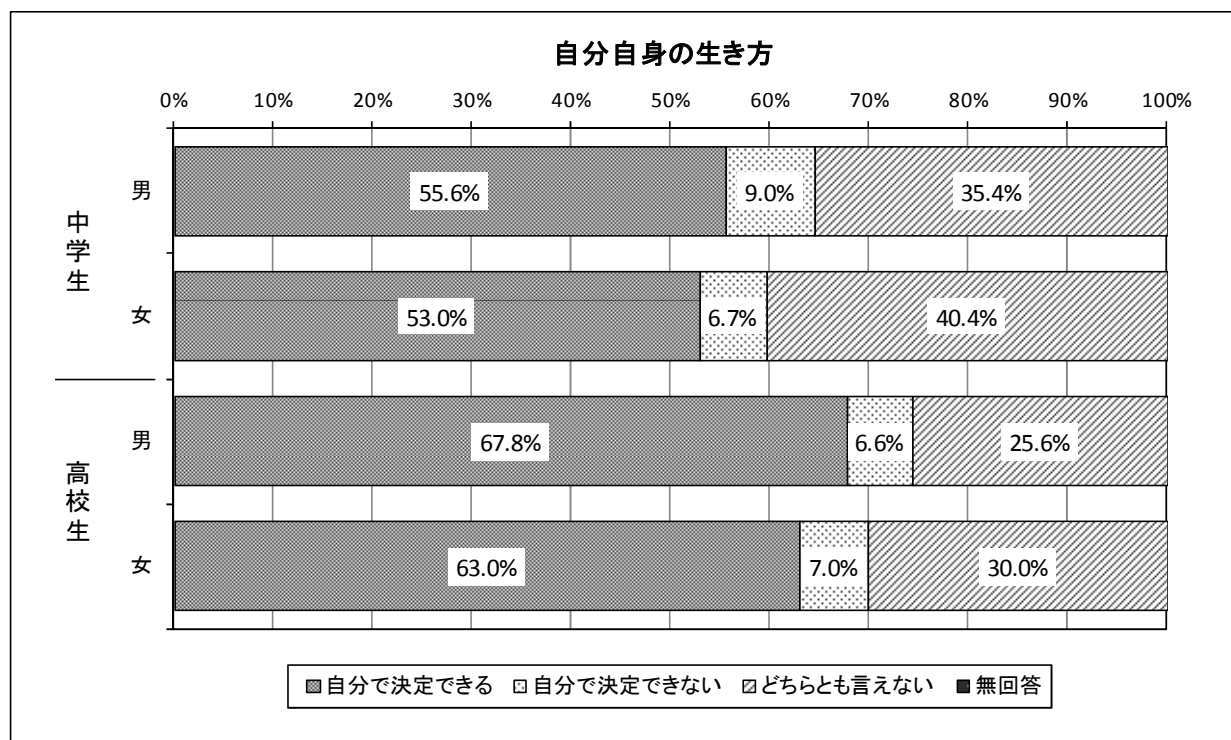


自分が生まれてきて良かったか										
		中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
はい	実数(人)	205	216	421	390	448	838	595	664	1259
	構成比(%)	71.2%	75.8%	73.5%	79.9%	78.2%	79.0%	76.7%	85.6%	77.1%
いいえ	実数(人)	15	8	23	8	11	19	23	19	42
	構成比(%)	5.2%	2.8%	4.0%	1.6%	1.9%	1.8%	3.0%	2.4%	2.6%
どちらともいえない	実数(人)	67	61	128	90	114	204	157	175	332
	構成比(%)	23.3%	21.4%	22.3%	18.4%	19.9%	19.2%	20.2%	22.6%	20.3%
無回答	実数(人)	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	構成比(%)	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
計	実数(人)	288	285	573	488	573	1,061	776	858	1,634
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問8 自分の生き方を自分で決定できると感じていますか。

自分の生き方を自分で決定できると感じているかについては、「自分で決定できる」は男女における大きな差は見られない。

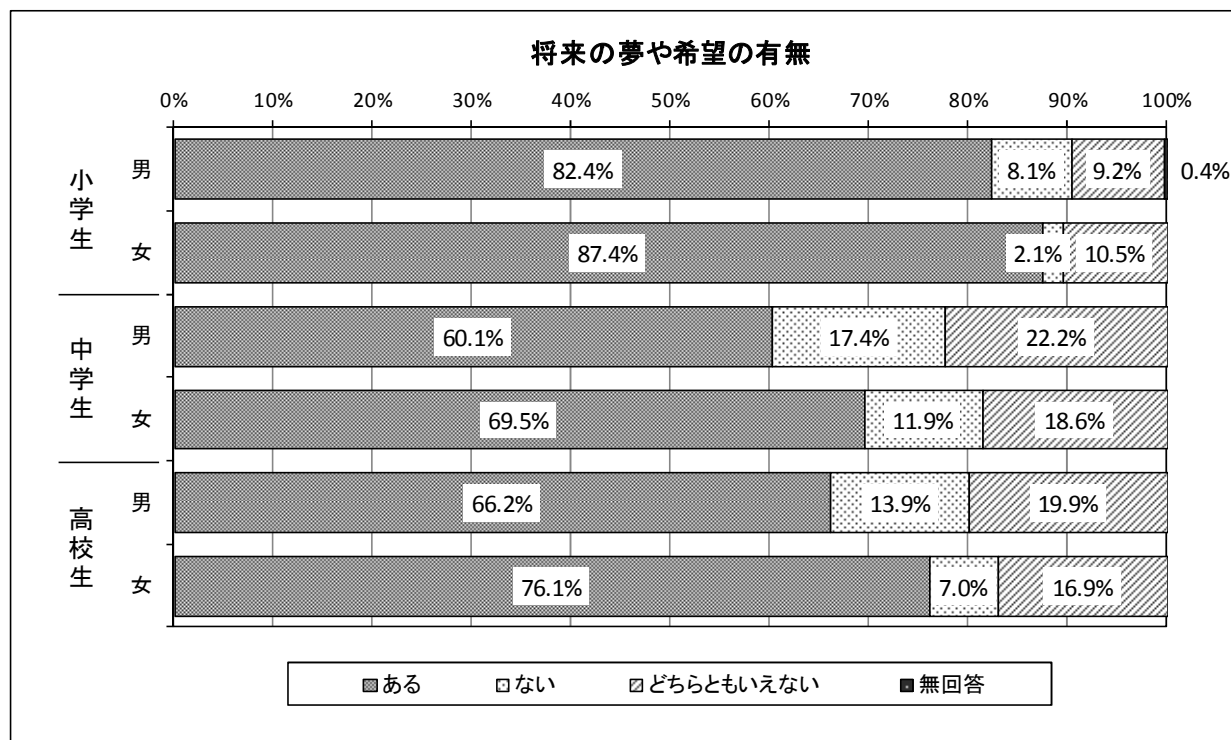
しかし、中学生と高校生においては差が見られ、「自分で決定できる」と回答した割合が、中学生で約5割、高校生では約6割と高校生の方が高くなっている。



自分自身の生き方										
		中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
自分で決定できる	実数(人)	160	151	311	331	361	692	491	512	1003
	構成比(%)	55.6%	53.0%	54.3%	67.8%	63.0%	65.2%	63.3%	66.0%	61.4%
自分で決定できない	実数(人)	26	19	45	32	40	72	58	59	117
	構成比(%)	9.0%	6.7%	7.9%	6.6%	7.0%	6.8%	7.5%	7.6%	7.2%
どちらとも言えない	実数(人)	102	115	217	125	172	297	227	287	514
	構成比(%)	35.4%	40.4%	37.9%	25.6%	30.0%	28.0%	29.3%	37.0%	31.5%
無回答	実数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	実数(人)	288	285	573	488	573	1,061	776	858	1,634
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問9 将来の夢や希望がありますか。

将来の夢や希望については、「ある」と回答した割合が小学生では8割と高いものの、中学生では6～7割と減少し、高校生になると若干増加する傾向が見られる。
また、男性より女性の方が、「ある」と回答した割合が高くなっている。



将来の夢や希望の有無

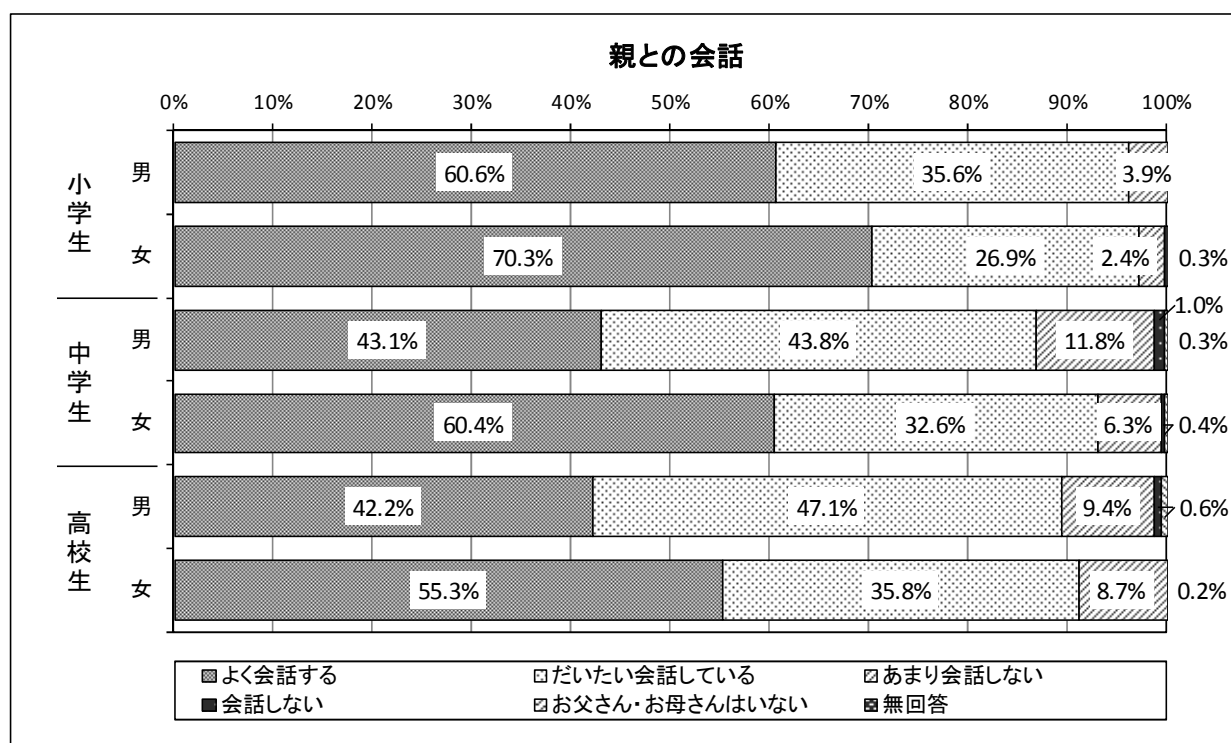
		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ある	実数(人)	234	250	484	173	198	371	323	436	759	730	884	1614
	構成比(%)	82.4%	87.4%	84.9%	60.1%	69.5%	64.7%	66.2%	76.1%	71.5%	68.9%	77.3%	73.2%
ない	実数(人)	23	6	29	50	34	84	68	40	108	141	80	221
	構成比(%)	8.1%	2.1%	5.1%	17.4%	11.9%	14.7%	13.9%	7.0%	10.2%	13.3%	7.0%	10.0%
どちらともいえない	実数(人)	26	30	56	64	53	117	97	97	194	187	180	367
	構成比(%)	9.2%	10.5%	9.8%	22.2%	18.6%	20.4%	19.9%	16.9%	18.3%	17.6%	15.7%	16.7%
無回答	実数(人)	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2
	構成比(%)	0.4%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問10 お父さんやお母さんと会話していますか。

親と会話しているかについては、「よく会話する」と「だいたい会話している」と合わせれば、全体において8割以上は親とのコミュニケーションを行っている事がわかる。

ただ、中学生・高校生になると「あまり会話しない」や「会話しない」の回答も増えている事が分かる。

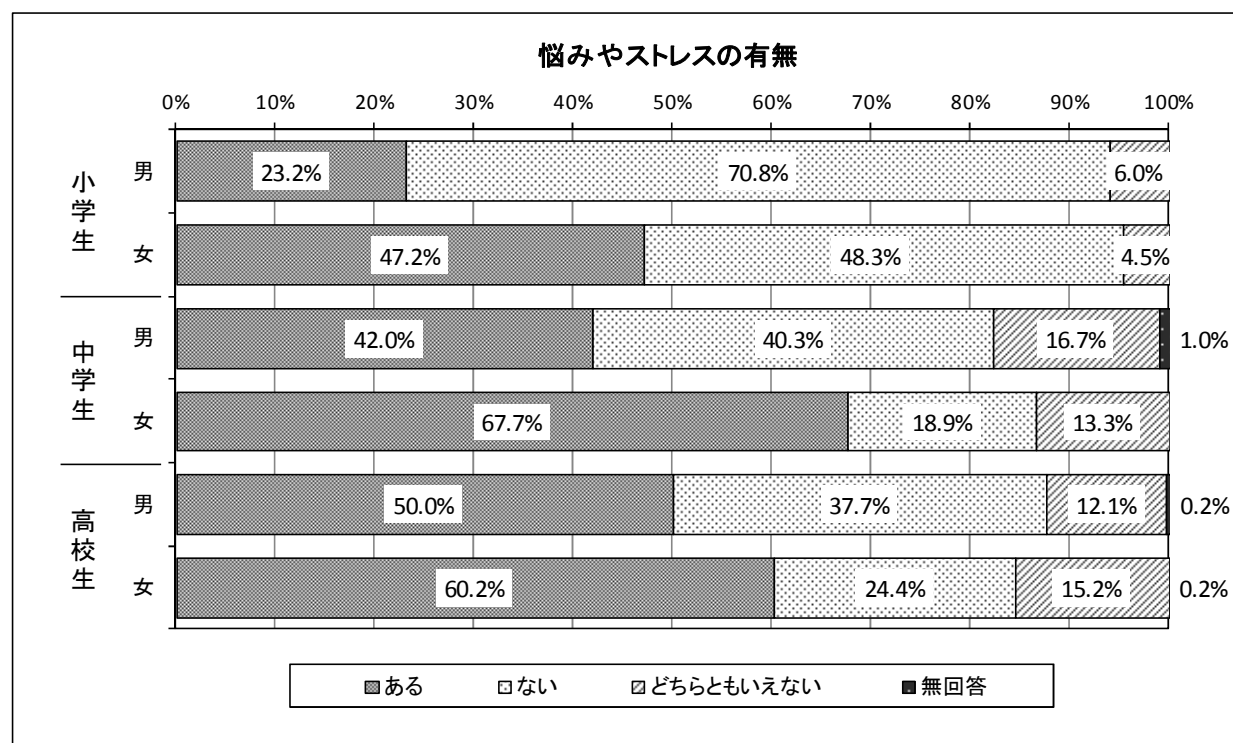
また、男女における「よく会話する」の割合は、全体において女性の方が男性よりも高くなっている。



親との会話													
		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
よく会話する	実数(人)	172	201	373	124	172	296	206	317	523	502	690	1192
	構成比(%)	60.6%	70.3%	65.4%	43.1%	60.4%	51.7%	42.2%	55.3%	49.3%	47.4%	60.3%	54.1%
だいたい会話している	実数(人)	101	77	178	126	93	219	230	205	435	457	375	832
	構成比(%)	35.6%	26.9%	31.2%	43.8%	32.6%	38.2%	47.1%	35.8%	41.0%	43.1%	32.8%	37.7%
あまり会話しない	実数(人)	11	7	18	34	18	52	46	50	96	91	75	166
	構成比(%)	3.9%	2.4%	3.2%	11.8%	6.3%	9.1%	9.4%	8.7%	9.0%	8.6%	6.6%	7.5%
会話しない	実数(人)	0	1	1	3	1	4	3	1	4	6	3	9
	構成比(%)	0.0%	0.3%	0.2%	1.0%	0.4%	0.7%	0.6%	0.2%	0.4%	0.6%	0.3%	0.4%
お父さん・お母さんはいない	実数(人)	0	0	0	1	1	2	3	0	3	4	1	5
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.3%	0.6%	0.0%	0.3%	0.4%	0.1%	0.2%
無回答	実数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問11 現在、悩みやストレスがありますか。

悩みやストレスがあるかについては、「ある」と回答した割合は、男性よりも女性の方が高く、学年が上がるにつれてその割合も高くなる傾向が見られる。



悩みやストレスの有無

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ある	実数(人)	66	135	201	121	193	314	244	345	589	431	673	1104
	構成比(%)	23.2%	47.2%	35.3%	42.0%	67.7%	54.8%	50.0%	60.2%	55.5%	40.7%	58.8%	50.1%
ない	実数(人)	201	138	339	116	54	170	184	140	324	501	332	833
	構成比(%)	70.8%	48.3%	59.5%	40.3%	18.9%	29.7%	37.7%	24.4%	30.5%	47.3%	29.0%	37.8%
どちらともいえない	実数(人)	17	13	30	48	38	86	59	87	146	124	138	262
	構成比(%)	6.0%	4.5%	5.3%	16.7%	13.3%	15.0%	12.1%	15.2%	13.8%	11.7%	12.1%	11.9%
無回答	実数(人)	0	0	0	3	0	3	1	1	2	4	1	5
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.1%	0.2%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問11-1 悩みやストレスは、どんなことですか。

※問11で「ある」と回答した人を対象。

悩みやストレスの内容については、以下の結果になった。

全学年において、男性は「勉強・受験・進学」と回答した割合が最も高く、次いで「将来のこと」であった。

女性は、男性と同じく全学年において「勉強・受験・進学」や「自分の体型・容姿」と回答した割合が高く、中学生や高校生になると「将来のこと」と回答した割合も高かった。

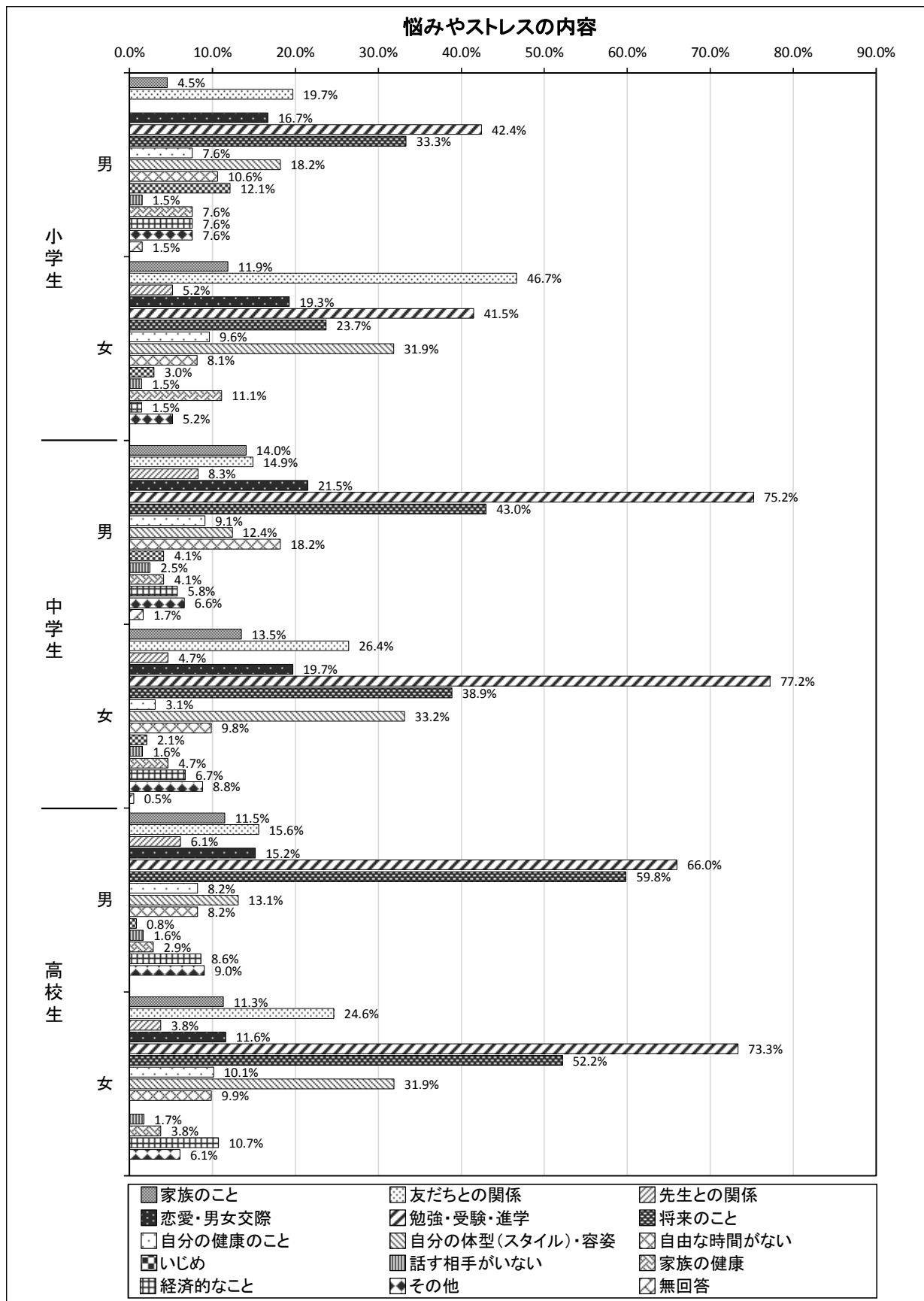
	小学生男		小学生女	
1位	勉強・受験・進学	42.4%	友だちとの関係	46.7%
2位	将来のこと	33.3%	勉強・受験・進学	41.5%
3位	友だちとの関係	19.7%	自分の体型・容姿	31.9%

	中学生男		中学生女	
1位	勉強・受験・進学	75.2%	勉強・受験・進学	77.2%
2位	将来のこと	43.0%	将来のこと	38.9%
3位	恋愛・男女交際	21.5%	自分の体型・容姿	33.2%

	高校生男		高校生女	
1位	勉強・受験・進学	66.0%	勉強・受験・進学	73.3%
2位	将来のこと	59.8%	将来のこと	52.2%
3位	友だちとの関係	15.6%	自分の体型・容姿	31.9%

悩みやストレスの内容

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
家族のこと	実数(人)	3	16	19	17	26	43	28	39	67	48	81	129
	構成比(%)	4.5%	11.9%	9.5%	14.0%	13.5%	13.7%	11.5%	11.3%	11.4%	11.1%	12.0%	11.7%
友だちとの関係	実数(人)	13	63	76	18	51	69	38	85	123	69	199	268
	構成比(%)	19.7%	46.7%	37.8%	14.9%	26.4%	22.0%	15.6%	24.6%	20.9%	16.0%	29.6%	24.3%
先生との関係	実数(人)	0	7	7	10	9	19	15	13	28	25	29	54
	構成比(%)	0.0%	5.2%	3.5%	8.3%	4.7%	6.1%	6.1%	3.8%	4.8%	5.8%	4.3%	4.9%
恋愛・男女交際	実数(人)	11	26	37	26	38	64	37	40	77	74	104	178
	構成比(%)	16.7%	19.3%	18.4%	21.5%	19.7%	20.4%	15.2%	11.6%	13.1%	17.2%	15.5%	16.1%
勉強・受験・進学	実数(人)	28	56	84	91	149	240	161	253	414	280	458	738
	構成比(%)	42.4%	41.5%	41.8%	75.2%	77.2%	76.4%	66.0%	73.3%	70.3%	65.0%	68.1%	66.8%
将来のこと	実数(人)	22	32	54	52	75	127	146	180	326	220	287	507
	構成比(%)	33.3%	23.7%	26.9%	43.0%	38.9%	40.4%	59.8%	52.2%	55.3%	51.0%	42.6%	45.9%
自分の健康のこと	実数(人)	5	13	18	11	6	17	20	35	55	36	54	90
	構成比(%)	7.6%	9.6%	9.0%	9.1%	3.1%	5.4%	8.2%	10.1%	9.3%	8.4%	8.0%	8.2%
自分の体型(スタイル)・容姿	実数(人)	12	43	55	15	64	79	32	110	142	59	217	276
	構成比(%)	18.2%	31.9%	27.4%	12.4%	33.2%	25.2%	13.1%	31.9%	24.1%	13.7%	32.2%	25.0%
自由な時間がない	実数(人)	7	11	18	22	19	41	20	34	54	49	64	113
	構成比(%)	10.6%	8.1%	9.0%	18.2%	9.8%	13.1%	8.2%	9.9%	9.2%	11.4%	9.5%	10.2%
いじめ	実数(人)	8	4	12	5	4	9	2	0	2	15	8	23
	構成比(%)	12.1%	3.0%	6.0%	4.1%	2.1%	2.9%	0.8%	0.0%	0.3%	3.5%	1.2%	2.1%
話す相手がない	実数(人)	1	2	3	3	3	6	4	6	10	8	11	19
	構成比(%)	1.5%	1.5%	1.5%	2.5%	1.6%	1.9%	1.6%	1.7%	1.7%	1.9%	1.6%	1.7%
家族の健康	実数(人)	5	15	20	5	9	14	7	13	20	17	37	54
	構成比(%)	7.6%	11.1%	10.0%	4.1%	4.7%	4.5%	2.9%	3.8%	3.4%	3.9%	5.5%	4.9%
経済的なこと	実数(人)	5	2	7	7	13	20	21	37	58	33	52	85
	構成比(%)	7.6%	1.5%	3.5%	5.8%	6.7%	6.4%	8.6%	10.7%	9.8%	7.7%	7.7%	7.7%
その他	実数(人)	5	7	12	8	17	25	22	21	43	35	45	80
	構成比(%)	7.6%	5.2%	6.0%	6.6%	8.8%	8.0%	9.0%	6.1%	7.3%	8.1%	6.7%	7.2%
無回答	実数(人)	1	0	1	2	1	3	0	0	0	3	1	4
	構成比(%)	1.5%	0.0%	0.5%	1.7%	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.1%	0.4%
計	実数(人)	66	135	201	121	193	314	244	345	589	431	673	1,104
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(その他の意見 小学生)

- ・委員会、内科検診の先生に太っていると言われた
- ・部活（少年団）のこと（3件）
- ・習い事のこと（2件）
- ・自分の趣味のこと
- ・学校の係のこと
- ・集中力が続かない
- ・生理が始まらないこと

(その他の意見 中学生)

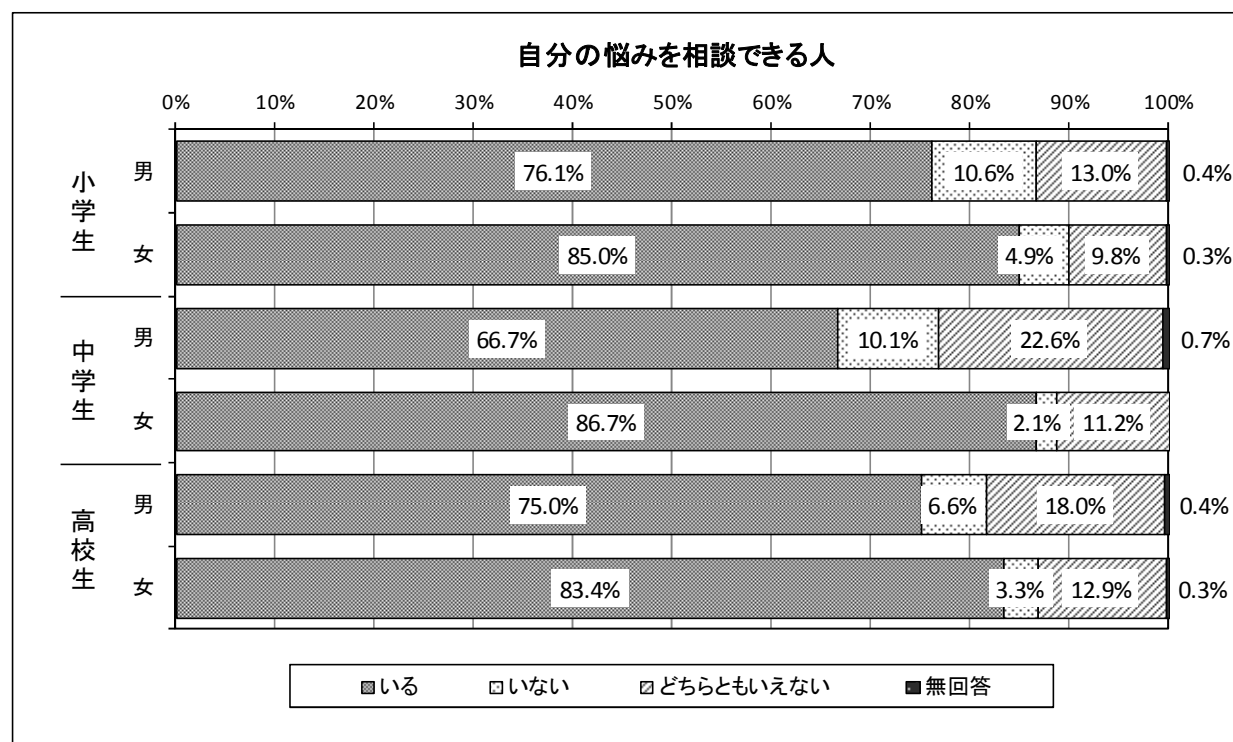
- ・部活のこと（10件）
- ・学校生活のこと
- ・睡眠時間が少ないこと（2件）
- ・オナニーをしてしまうこと
- ・ゲームがあまりできないこと
- ・異性とどの様に関わったらと良いのか分からない
- ・後輩のこと
- ・これからどういうふうに住みたいかということ
- ・ゲームを没収されていること
- ・24時間では時間が足りないと思うこと
- ・体のこと
- ・眠気が酷いこと

(その他の意見 高校生)

- ・自分の障害について
- ・部活のこと（25件）
- ・性同一性障害や性向志向について
- ・生徒会や文化祭実行について
- ・学校の掃除について
- ・怪我について（2件）
- ・クラスの男子が少ないこと
- ・クラスのこと
- ・体がしんどいこと

問12 自分の悩みを相談できる人がいますか。

自分の悩みを相談できる人がいるかについては、約7～8割が「いる」と回答しており、全体において男性よりも女性の方が「いる」と回答した割合が高く、学年による大きな差は見られなかった。



自分の悩みを相談できる人

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
いる	実数(人)	216	243	459	192	247	439	366	478	844	774	968	1742
	構成比(%)	76.1%	85.0%	80.5%	66.7%	86.7%	76.6%	75.0%	83.4%	79.5%	73.0%	84.6%	79.0%
いない	実数(人)	30	14	44	29	6	35	32	19	51	91	39	130
	構成比(%)	10.6%	4.9%	7.7%	10.1%	2.1%	6.1%	6.6%	3.3%	4.8%	8.6%	3.4%	5.9%
どちらともいえない	実数(人)	37	28	65	65	32	97	88	74	162	190	134	324
	構成比(%)	13.0%	9.8%	11.4%	22.6%	11.2%	16.9%	18.0%	12.9%	15.3%	17.9%	11.7%	14.7%
無回答	実数(人)	1	1	2	2	0	2	2	2	4	5	3	8
	構成比(%)	0.4%	0.3%	0.4%	0.7%	0.0%	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%	0.5%	0.3%	0.4%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問12-1 自分の悩みを相談できる人とは誰ですか。

※問12で「いる」と回答した人を対象。

自分の悩みを相談できる人とは誰かについては、以下の結果になった。

全学年において、「母親」及び「父親」と回答した割合が高く、中学生以上になると「学校や塾等での友人」の割合が最も高くなる傾向が見られる。また、「母親」と回答した割合は、「父親」と回答した割合よりも全学年において高くなっている。

また、女性においては、中学校以上になると「兄弟姉妹」と回答した割合も多くなっている。

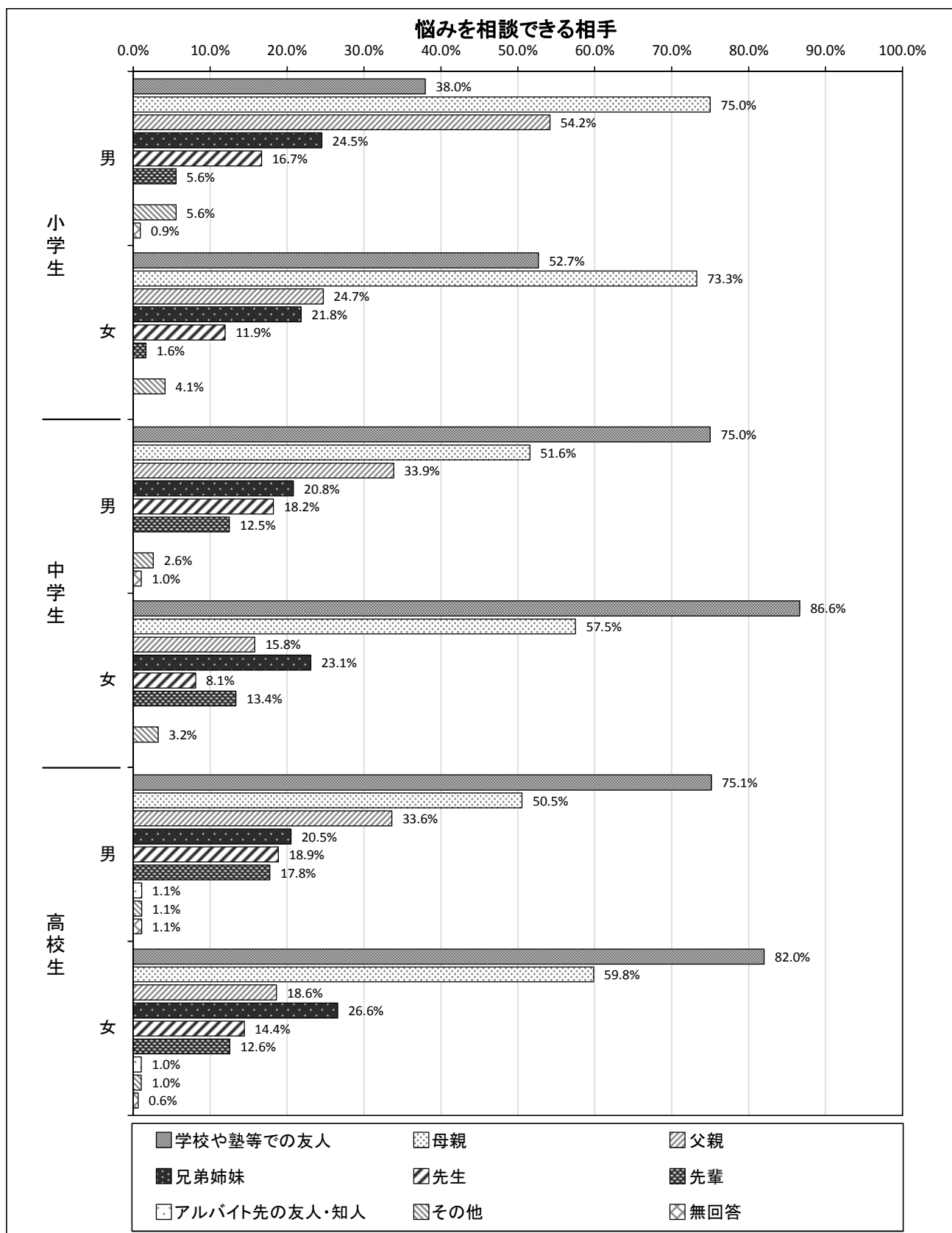
		小学生男		小学生女	
1位	母親	75.0%	母親	73.3%	
2位	父親	54.2%	学校や塾等での友人	52.7%	
3位	学校や塾等での友人	38.0%	父親	24.7%	

		中学生男		中学生女	
1位	学校や塾等での友人	75.0%	学校や塾等での友人	86.6%	
2位	母親	51.6%	母親	57.5%	
3位	父親	33.9%	兄弟姉妹	23.1%	

		高校生男		高校生女	
1位	学校や塾等での友人	75.1%	学校や塾等での友人	82.0%	
2位	母親	50.5%	母親	59.8%	
3位	父親	33.6%	兄弟姉妹	26.6%	

悩みを相談できる相手

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校や塾等での友人	実数(人)	82	128	210	144	214	358	275	392	667	501	734	1235
	構成比(%)	38.0%	52.7%	45.8%	75.0%	86.6%	81.5%	75.1%	82.0%	79.0%	64.7%	75.8%	70.9%
母親	実数(人)	162	178	340	99	142	241	185	286	471	446	606	1052
	構成比(%)	75.0%	73.3%	74.1%	51.6%	57.5%	54.9%	50.5%	59.8%	55.8%	57.6%	62.6%	60.4%
父親	実数(人)	117	60	177	65	39	104	123	89	212	305	188	493
	構成比(%)	54.2%	24.7%	38.6%	33.9%	15.8%	23.7%	33.6%	18.6%	25.1%	39.4%	19.4%	28.3%
兄弟姉妹	実数(人)	53	53	106	40	57	97	75	127	202	168	237	405
	構成比(%)	24.5%	21.8%	23.1%	20.8%	23.1%	22.1%	20.5%	26.6%	23.9%	21.7%	24.5%	23.2%
先生	実数(人)	36	29	65	35	20	55	69	69	138	140	118	258
	構成比(%)	16.7%	11.9%	14.2%	18.2%	8.1%	12.5%	18.9%	14.4%	16.4%	18.1%	12.2%	14.8%
先輩	実数(人)	12	4	16	24	33	57	65	60	125	101	97	198
	構成比(%)	5.6%	1.6%	3.5%	12.5%	13.4%	13.0%	17.8%	12.6%	14.8%	13.0%	10.0%	11.4%
アルバイト先の友人・知人	実数(人)	0	0	0	0	0	0	4	5	9	4	5	9
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.0%	1.1%	0.5%	0.5%	0.5%
その他	実数(人)	12	10	22	5	8	13	4	5	9	21	23	44
	構成比(%)	5.6%	4.1%	4.8%	2.6%	3.2%	3.0%	1.1%	1.0%	1.1%	2.7%	2.4%	2.5%
無回答	実数(人)	2	0	2	2	0	2	4	3	7	8	3	11
	構成比(%)	0.9%	0.0%	0.4%	1.0%	0.0%	0.5%	1.1%	0.6%	0.8%	1.0%	0.3%	0.6%
計	実数(人)	216	243	459	192	247	439	366	478	844	774	968	1,742
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(その他の意見 小学生)

- ・信用した友だち
- ・祖父母（4件）
- ・親友（3件）
- ・友達（12件）
- ・家族
- ・従兄弟

(その他の意見 中学生)

- ・祖父母（3件）
- ・犬
- ・親友
- ・友達（4件）
- ・後輩（2件）
- ・親戚
- ・ネット上での友達

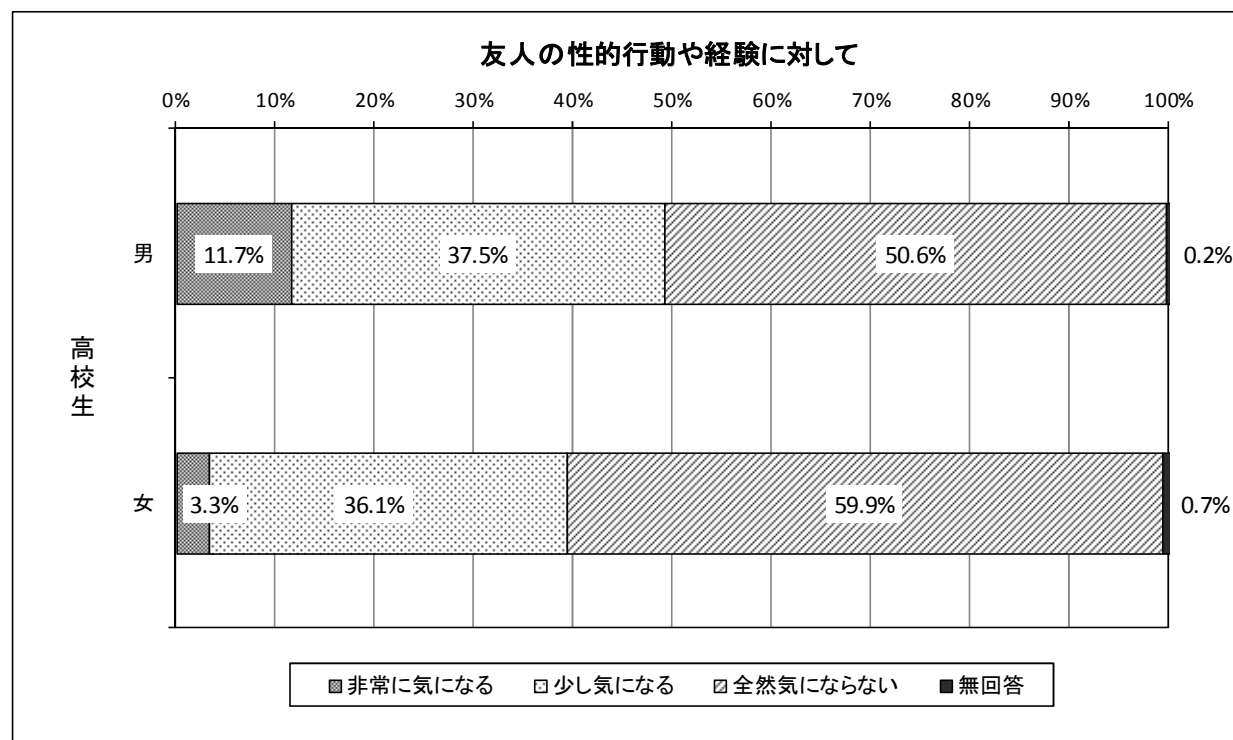
(その他の意見 高校生)

- ・部活の後輩
- ・友達（11件）
- ・彼氏や彼女（6件）
- ・幼なじみの友人（2件）
- ・親戚（2件）
- ・知人（2件）
- ・従兄弟
- ・海外の友達
- ・祖父母
- ・整骨院の先生（2件）

問13 友人の性的な行動や経験が、どの程度気になりますか。

友人の性的行動や経験がどの程度気になるかについては、男性の「非常に気になる」と回答した割合が、女性よりも高くなっている。

また、「非常に気になる」と「少し気になる」を合わせた割合は、女性よりも男性の方が高く、男性で約5割、女性で約4割が気になると回答している。

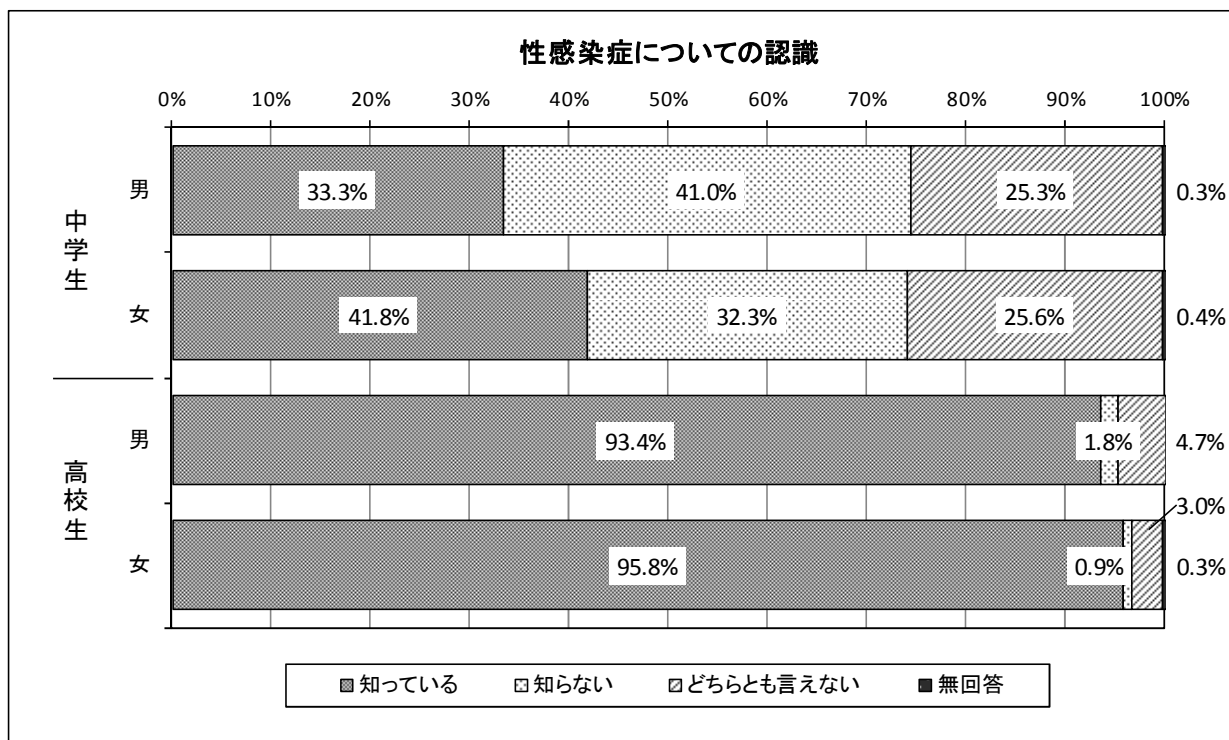


		高校生		
		男	女	計
非常に気になる	実数(人)	57	19	76
	構成比(%)	11.7%	3.3%	7.2%
少し気になる	実数(人)	183	207	390
	構成比(%)	37.5%	36.1%	36.8%
全然気にならない	実数(人)	247	343	590
	構成比(%)	50.6%	59.9%	55.6%
無回答	実数(人)	1	4	5
	構成比(%)	0.2%	0.7%	0.5%
計	実数(人)	488	573	1,061
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

問14 性行為によってうつる病気（性感染症）があることを知っていますか。

性感染症についての認識については、「知っている」と回答した割合が、中学生で約3～4割、高校生は9割以上となっている。

中学生及び高校生における、男女ごとの結果には大きな差は見られない。

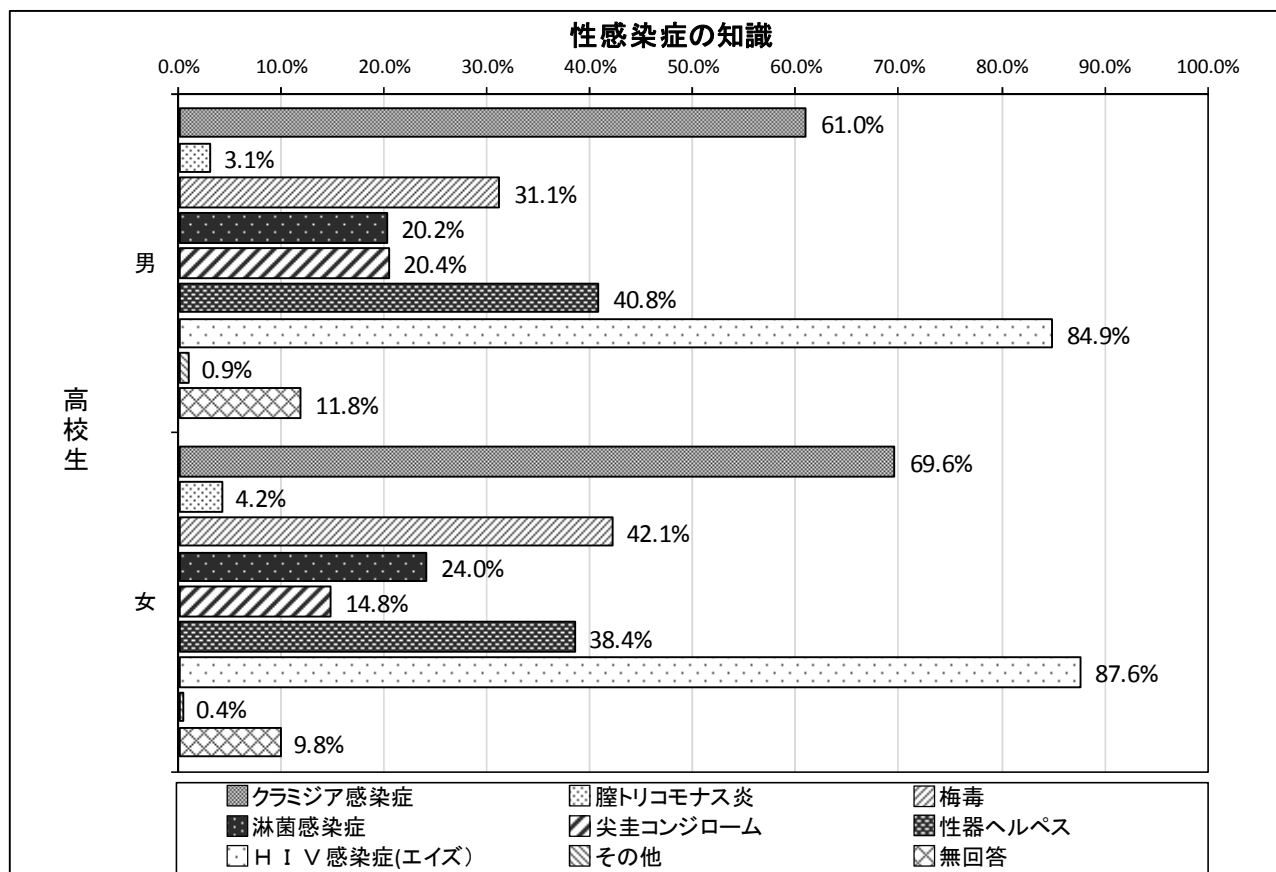


	中学生			高校生			総計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
知っている	実数(人)	96	119	215	456	549	1005	552	668	1220
	構成比(%)	33.3%	41.8%	37.5%	93.4%	95.8%	94.7%	71.1%	77.9%	74.7%
知らない	実数(人)	118	92	210	9	5	14	127	97	224
	構成比(%)	41.0%	32.3%	36.6%	1.8%	0.9%	1.3%	16.4%	11.3%	13.7%
どちらとも言えない	実数(人)	73	73	146	23	17	40	96	90	186
	構成比(%)	25.3%	25.6%	25.5%	4.7%	3.0%	3.8%	12.4%	10.5%	11.4%
無回答	実数(人)	1	1	2	0	2	2	1	3	4
	構成比(%)	0.3%	0.4%	0.3%	0.0%	0.3%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
計	実数(人)	288	285	573	488	573	1,061	776	858	1,634
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問14-1 どんな性感染症を知っていますか。

※問14で「知っている」と回答した人を対象。

どんな性感染症を知っているかについては、男女共に「HIV感染症」と回答した割合が8割以上と最も高く、次いで「クラミジア感染症」、「性器ヘルペス」となっている。



性感染症の知識		高校生		
		男	女	計
クラミジア感染症	実数(人)	278	382	660
	構成比(%)	61.0%	69.6%	65.7%
膣トリコモナス炎	実数(人)	14	23	37
	構成比(%)	3.1%	4.2%	3.7%
梅毒	実数(人)	142	231	373
	構成比(%)	31.1%	42.1%	37.1%
淋菌感染症	実数(人)	92	132	224
	構成比(%)	20.2%	24.0%	22.3%
尖圭コンジローム	実数(人)	93	81	174
	構成比(%)	20.4%	14.8%	17.3%
性器ヘルペス	実数(人)	186	211	397
	構成比(%)	40.8%	38.4%	39.5%
HIV感染症(エイズ)	実数(人)	387	481	868
	構成比(%)	84.9%	87.6%	86.4%
その他	実数(人)	4	2	6
	構成比(%)	0.9%	0.4%	0.6%
無回答	実数(人)	54	54	108
	構成比(%)	11.8%	9.8%	10.7%
計	実数(人)	456	549	1,005
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

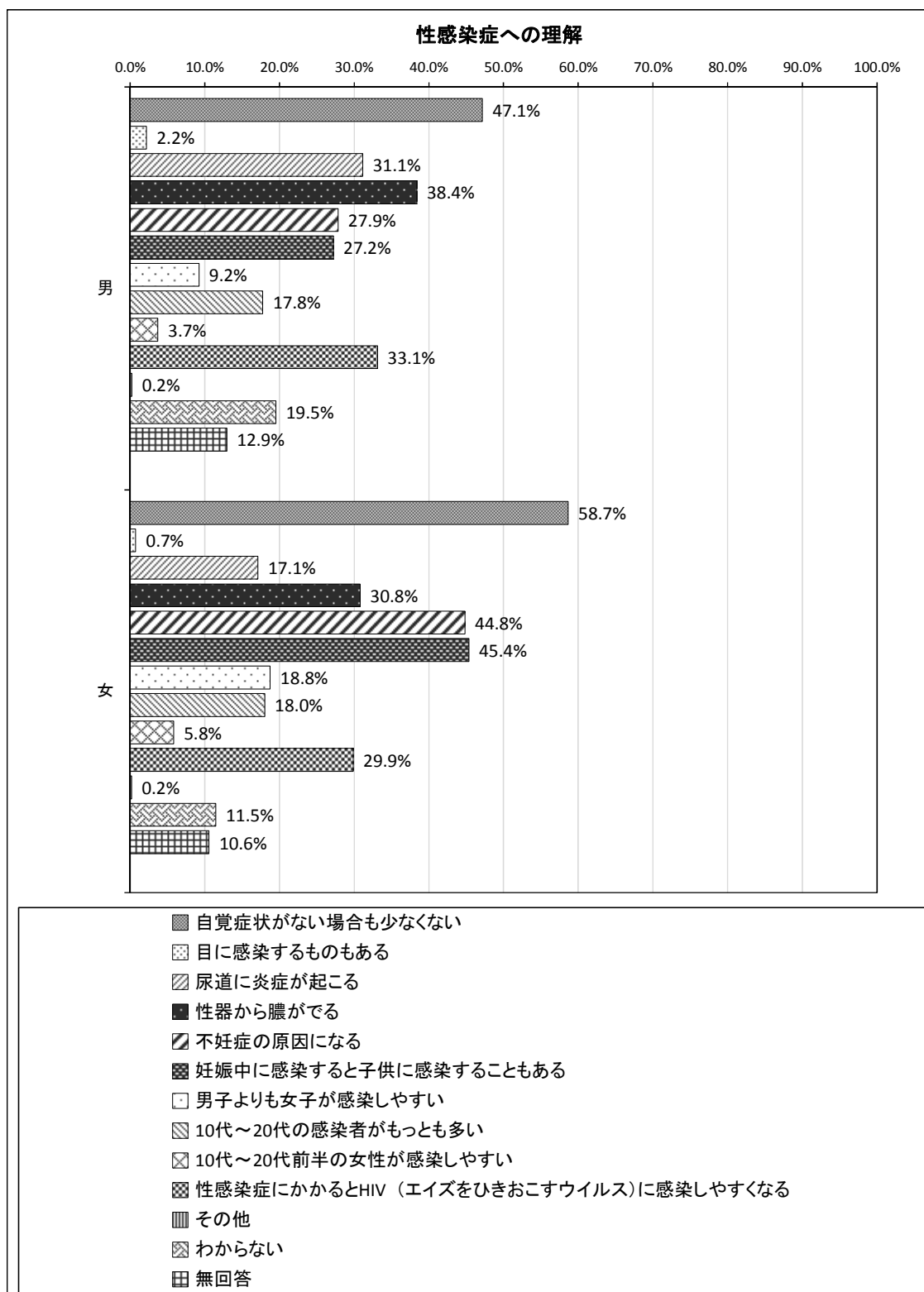
(その他の意見 高校生)

・カンジダ症 (2件)

問14-2 性感染症になるとどうなるか知っていますか。

※問14で「知っている」と回答した人を対象。

性感染症になるとどうなるか知っているかについては、「自覚症状がない場合も少なくない」と回答した割合が男女共に約5割前後と最も高かった。



性感染症への理解				
		高校生		
		男	女	計
自覚症状がない場合も少なくない	実数(人)	215	322	537
	構成比(%)	47.1%	58.7%	53.4%
目に感染するものもある	実数(人)	10	4	14
	構成比(%)	2.2%	0.7%	1.4%
尿道に炎症が起こる	実数(人)	142	94	236
	構成比(%)	31.1%	17.1%	23.5%
性器から膿がでる	実数(人)	175	169	344
	構成比(%)	38.4%	30.8%	34.2%
不妊症の原因になる	実数(人)	127	246	373
	構成比(%)	27.9%	44.8%	37.1%
妊娠中に感染すると 子供に感染することもある	実数(人)	124	249	373
	構成比(%)	27.2%	45.4%	37.1%
男子よりも女子が感染しやすい	実数(人)	42	103	145
	構成比(%)	9.2%	18.8%	14.4%
10代～20代の感染者がもっとも多い	実数(人)	81	99	180
	構成比(%)	17.8%	18.0%	17.9%
10代～20代前半の女性が感染しやすい	実数(人)	17	32	49
	構成比(%)	3.7%	5.8%	4.9%
性感染症にかかるとHIV(エイズをひき おこすウイルス)に感染しやすくなる	実数(人)	151	164	315
	構成比(%)	33.1%	29.9%	31.3%
その他	実数(人)	1	1	2
	構成比(%)	0.2%	0.2%	0.2%
わからない	実数(人)	89	63	152
	構成比(%)	19.5%	11.5%	15.1%
無回答	実数(人)	59	58	117
	構成比(%)	12.9%	10.6%	11.6%
計	実数(人)	456	549	1,005
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

問15 性感染症についての情報はどこで得ましたか。

性感染症についての情報をどこで得たかについては、以下の結果になった。

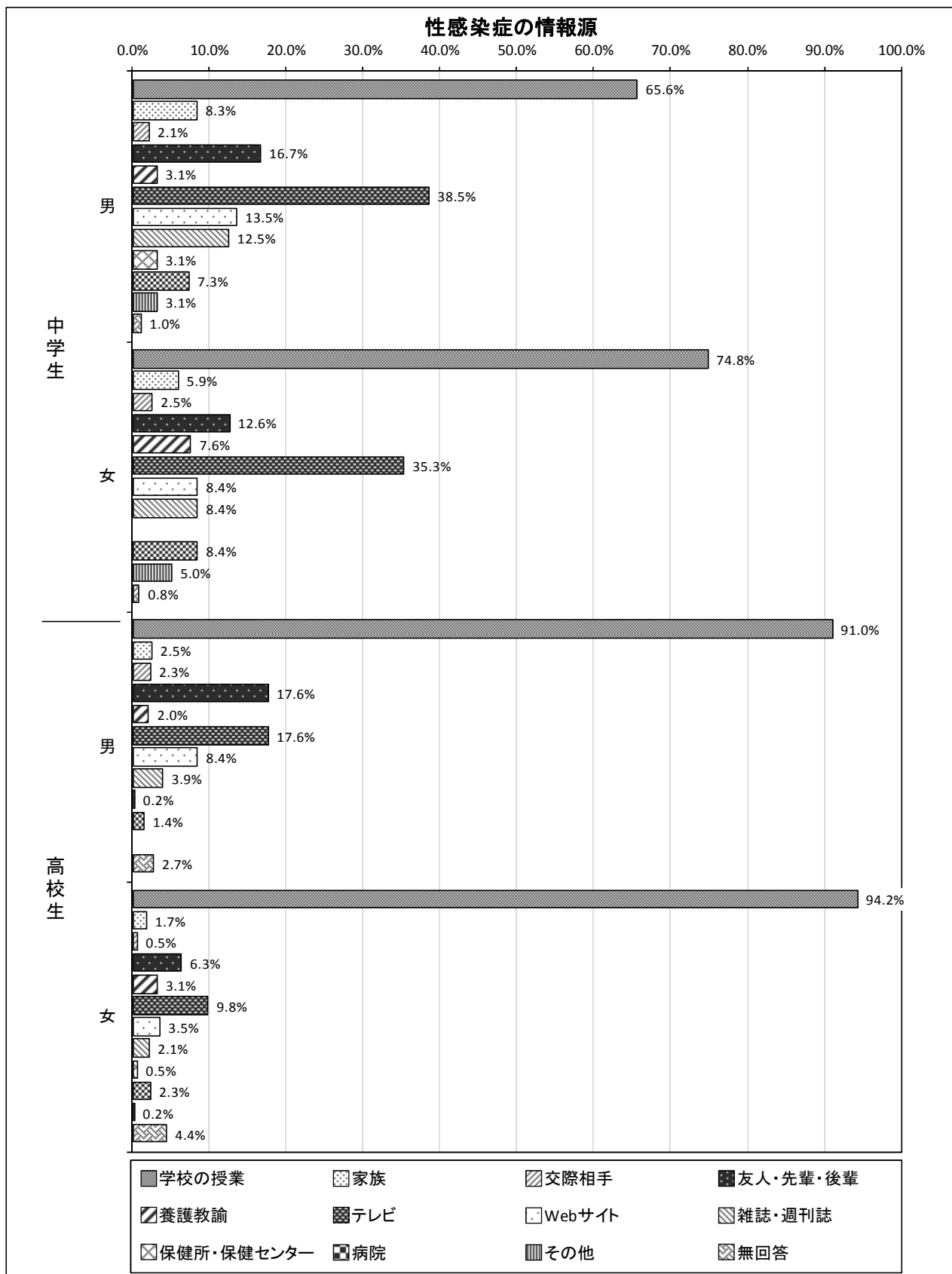
全学年において、「学校の授業」と回答した割合が最も高く、ついで「テレビ」、「友人・先輩・後輩」の順であった。

「学校の授業」と回答した割合は、中学校で約6～7割、高校で9割以上と差が見られた。

		中学生男		中学生女	
1位	学校の授業	65.6%	学校の授業	74.8%	
2位	テレビ	38.5%	テレビ	35.3%	
3位	友人・先輩・後輩	16.7%	友人・先輩・後輩	12.6%	

		高校生男		高校生女	
1位	学校の授業	91.0%	学校の授業	94.2%	
2位	テレビ	17.6%	テレビ	9.8%	
3位	友人・先輩・後輩	17.6%	友人・先輩・後輩	6.3%	

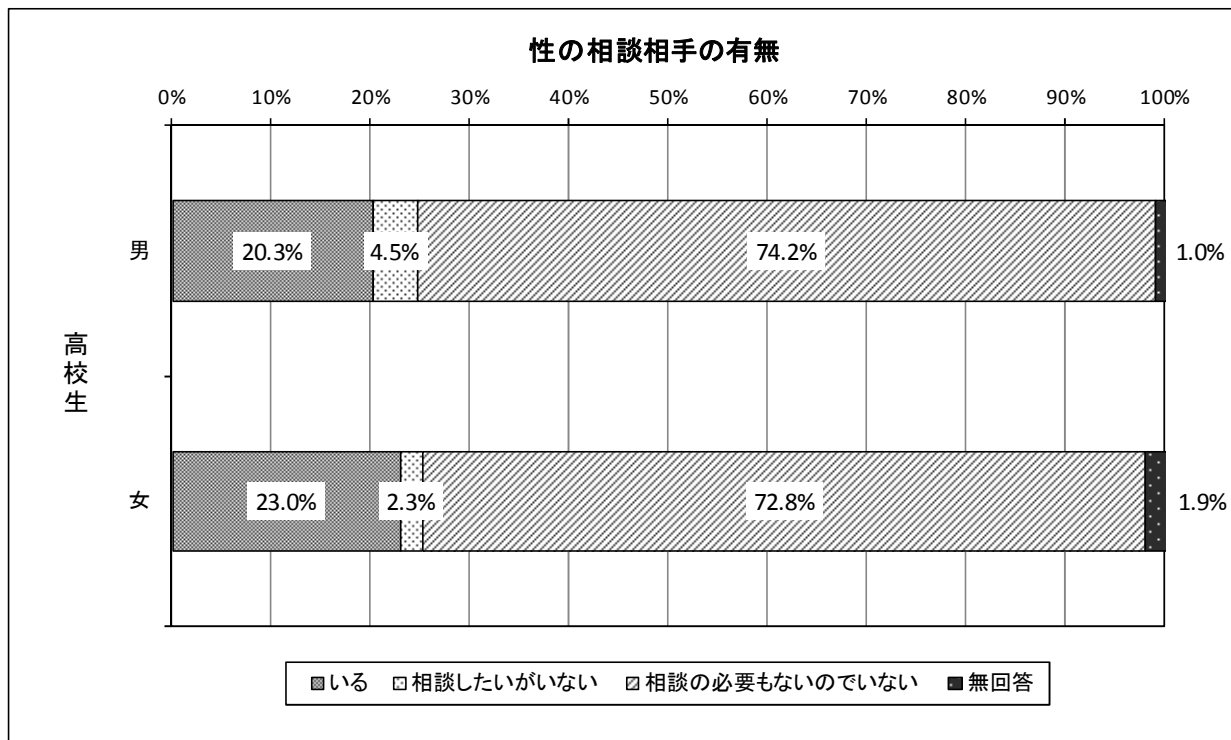
性感染症の情報源										
		中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校の授業	実数(人)	63	89	152	444	540	984	507	629	1136
	構成比(%)	65.6%	74.8%	70.7%	91.0%	94.2%	92.7%	86.8%	90.9%	89.0%
家族	実数(人)	8	7	15	12	10	22	20	17	37
	構成比(%)	8.3%	5.9%	7.0%	2.5%	1.7%	2.1%	3.4%	2.5%	2.9%
交際相手	実数(人)	2	3	5	11	3	14	13	6	19
	構成比(%)	2.1%	2.5%	2.3%	2.3%	0.5%	1.3%	2.2%	0.9%	1.5%
友人・先輩・後輩	実数(人)	16	15	31	86	36	122	102	51	153
	構成比(%)	16.7%	12.6%	14.4%	17.6%	6.3%	11.5%	17.5%	7.4%	12.0%
養護教諭	実数(人)	3	9	12	10	18	28	13	27	40
	構成比(%)	3.1%	7.6%	5.6%	2.0%	3.1%	2.6%	2.2%	3.9%	3.1%
テレビ	実数(人)	37	42	79	86	56	142	123	98	221
	構成比(%)	38.5%	35.3%	36.7%	17.6%	9.8%	13.4%	21.1%	14.2%	17.3%
Webサイト	実数(人)	13	10	23	41	20	61	54	30	84
	構成比(%)	13.5%	8.4%	10.7%	8.4%	3.5%	5.7%	9.2%	4.3%	6.6%
雑誌・週刊誌	実数(人)	12	10	22	19	12	31	31	22	53
	構成比(%)	12.5%	8.4%	10.2%	3.9%	2.1%	2.9%	5.3%	3.2%	4.2%
保健所・保健センター	実数(人)	3	0	3	1	3	4	4	3	7
	構成比(%)	3.1%	0.0%	1.4%	0.2%	0.5%	0.4%	0.7%	0.4%	0.5%
病院	実数(人)	7	10	17	7	13	20	14	23	37
	構成比(%)	7.3%	8.4%	7.9%	1.4%	2.3%	1.9%	2.4%	3.3%	2.9%
その他	実数(人)	3	6	9	0	1	1	3	7	10
	構成比(%)	3.1%	5.0%	4.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.5%	1.0%	0.8%
無回答	実数(人)	1	1	2	13	25	38	14	26	40
	構成比(%)	1.0%	0.8%	0.9%	2.7%	4.4%	3.6%	2.4%	3.8%	3.1%
計	実数(人)	96	119	215	488	573	1,061	584	692	1,276
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問16 性に関して相談できる人がいますか。

性に関して相談できる人がいるかについては、男女共に「相談の必要もないのでいない」が7割以上と最も高く、「いる」については約2割となっている。

「相談したいがない」という回答については、女性よりも男性の方が高くなっている。

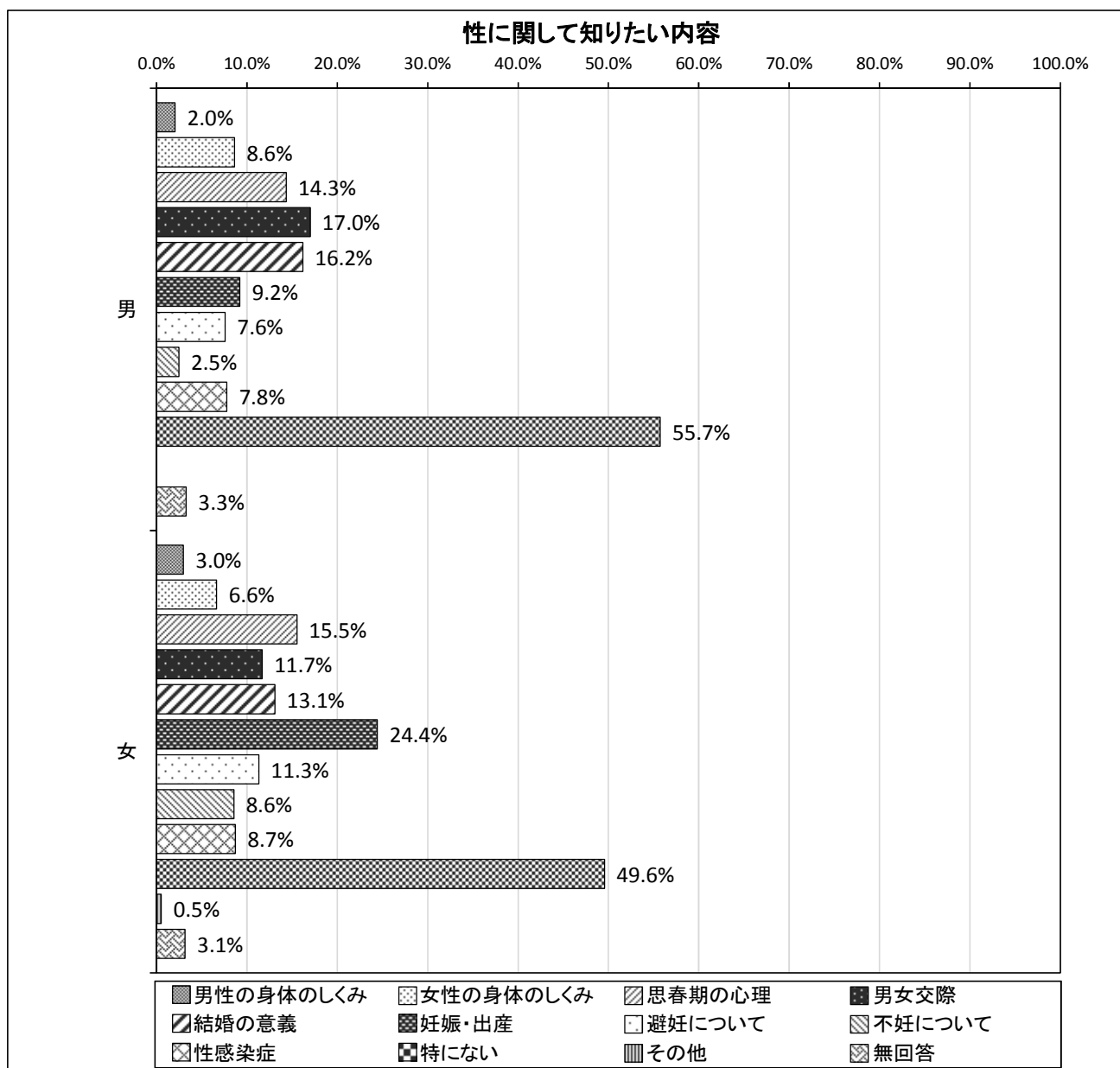


性の相談相手の有無				
		高校生		
		男	女	計
いる	実数(人)	99	132	231
	構成比(%)	20.3%	23.0%	21.8%
相談したいがない	実数(人)	22	13	35
	構成比(%)	4.5%	2.3%	3.3%
相談の必要もないのでいない	実数(人)	362	417	779
	構成比(%)	74.2%	72.8%	73.4%
無回答	実数(人)	5	11	16
	構成比(%)	1.0%	1.9%	1.5%
計	実数(人)	488	573	1,061
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

問17 性に関して知りたいと思うことは何ですか。

性に関して知りたいと思う事は何かについては、「特にない」が約5割前後と最も高い。

男性においては、「思春期の心理」・「男女交際」・「結婚の意義」といった項目が回答の割合が高く、女性においては、「妊娠・出産」・「思春期の心理」・「結婚の意義」といった項目の回答の割合が高かった。



性に関して知りたい内容				
		高校生		
		男	女	計
男性の身体のしくみ	実数(人)	10	17	27
	構成比(%)	2.0%	3.0%	2.5%
女性の身体のしくみ	実数(人)	42	38	80
	構成比(%)	8.6%	6.6%	7.5%
思春期の心理	実数(人)	70	89	159
	構成比(%)	14.3%	15.5%	15.0%
男女交際	実数(人)	83	67	150
	構成比(%)	17.0%	11.7%	14.1%
結婚の意義	実数(人)	79	75	154
	構成比(%)	16.2%	13.1%	14.5%
妊娠・出産	実数(人)	45	140	185
	構成比(%)	9.2%	24.4%	17.4%
避妊について	実数(人)	37	65	102
	構成比(%)	7.6%	11.3%	9.6%
不妊について	実数(人)	12	49	61
	構成比(%)	2.5%	8.6%	5.7%
性感染症	実数(人)	38	50	88
	構成比(%)	7.8%	8.7%	8.3%
特にない	実数(人)	272	284	556
	構成比(%)	55.7%	49.6%	52.4%
その他	実数(人)	0	3	3
	構成比(%)	0.0%	0.5%	0.3%
無回答	実数(人)	16	18	34
	構成比(%)	3.3%	3.1%	3.2%
計	実数(人)	488	573	1,061
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

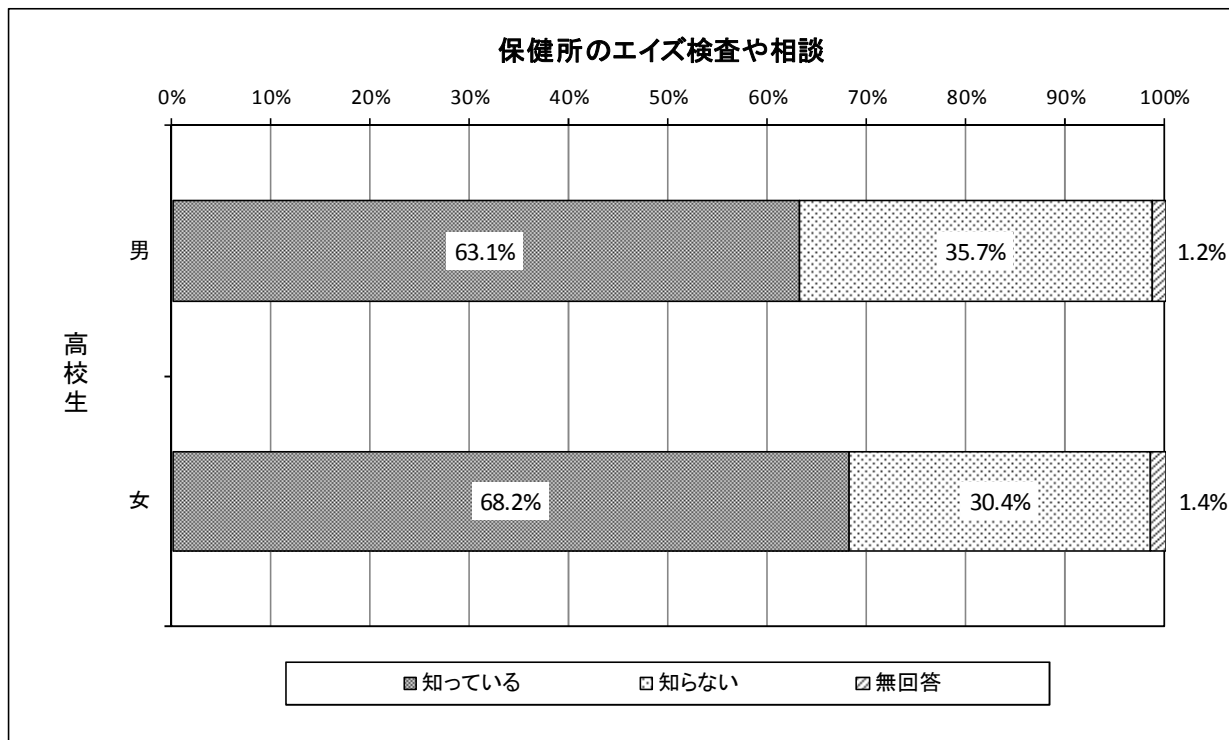
(その他の意見 高校生)

- ・ 同性間での妊娠について
- ・ 病気と少し関わってくる部分があるので何も知りたくない
- ・ 同性愛について

問18 保健所でエイズの検査や相談をしているのを知っていますか。

保健所でエイズの検査や相談をしていることについては、全体の約6割以上が「知っている」と回答している。

男女における回答に、大きな差は見られなかった。

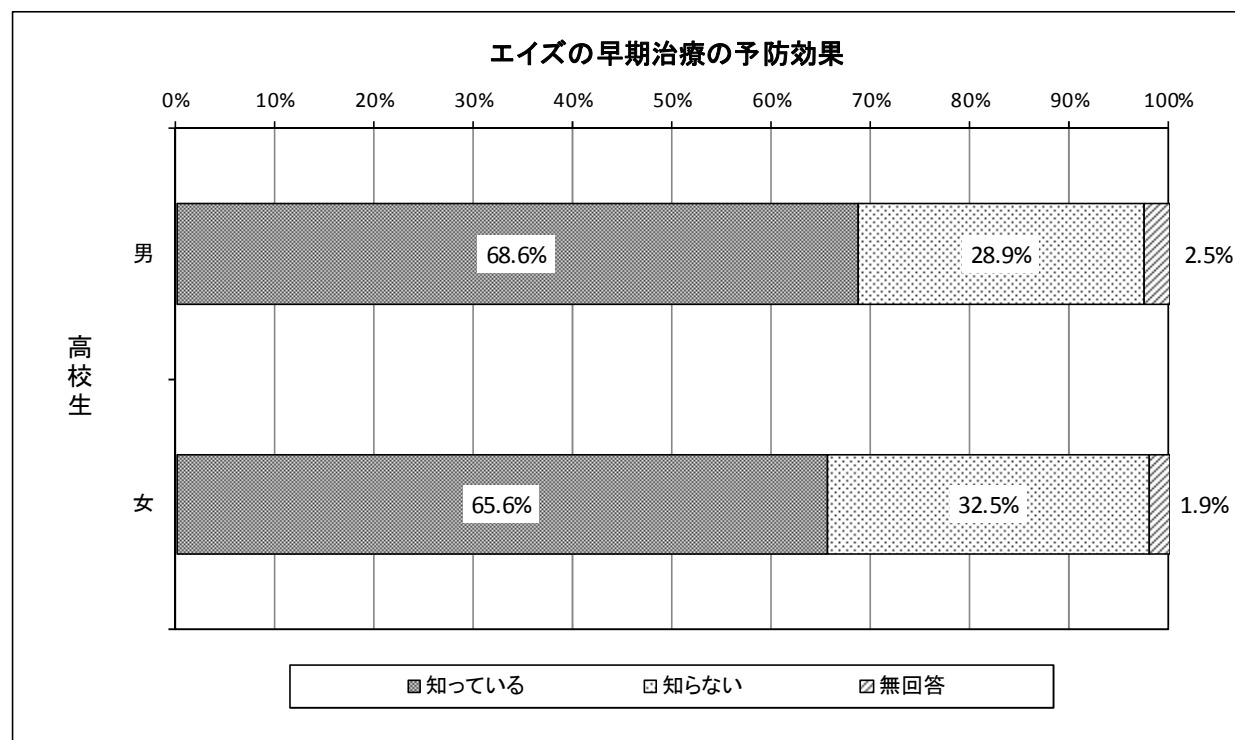


保健所のエイズ検査や相談				
		高校生		
		男	女	計
知っている	実数(人)	308	391	699
	構成比(%)	63.1%	68.2%	65.9%
知らない	実数(人)	174	174	348
	構成比(%)	35.7%	30.4%	32.8%
無回答	実数(人)	6	8	14
	構成比(%)	1.2%	1.4%	1.3%
計	実数(人)	488	573	1,061
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

問19 エイズは早めに発見し、治療することで発症を防げる病気であることを知っていますか。

エイズの早期発見と治療による予防効果については、約6割以上が「知っている」と回答している。

男女における回答に、大きな差は見られなかった。



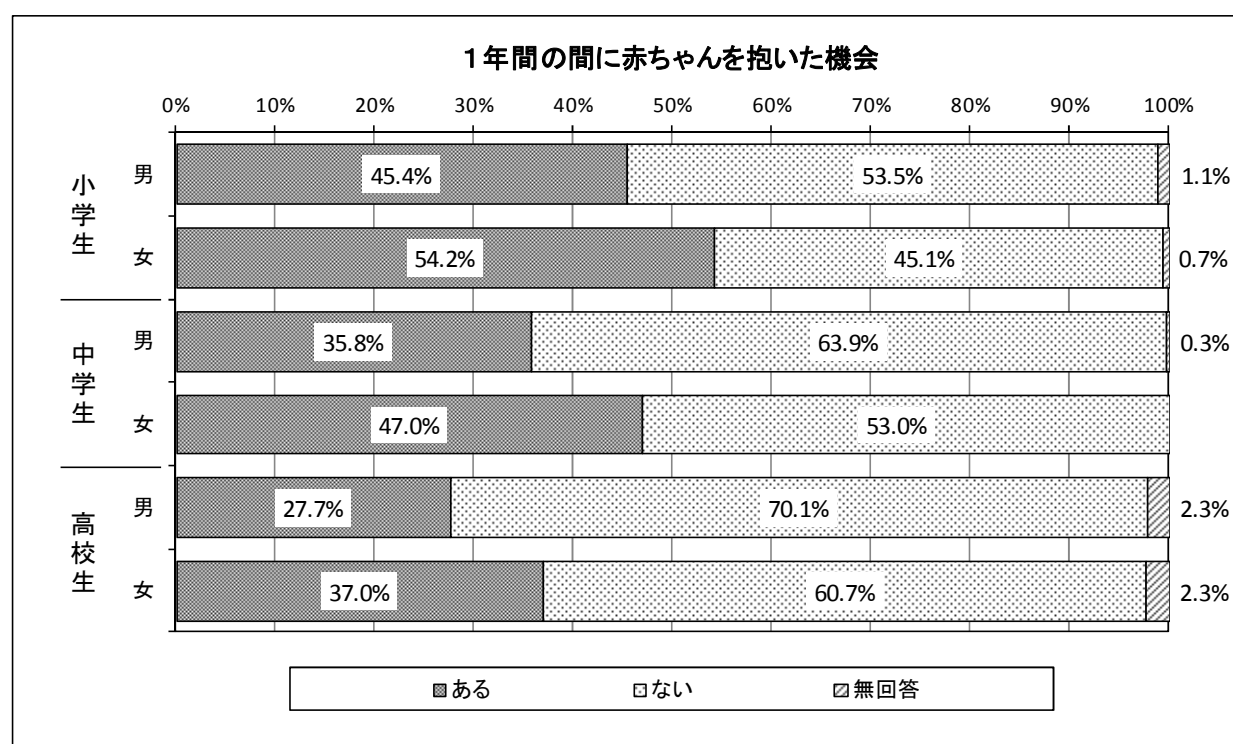
		高校生		
		男	女	計
知っている	実数(人)	335	376	711
	構成比(%)	68.6%	65.6%	67.0%
知らない	実数(人)	141	186	327
	構成比(%)	28.9%	32.5%	30.8%
無回答	実数(人)	12	11	23
	構成比(%)	2.5%	1.9%	2.2%
計	実数(人)	488	573	1,061
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

問20 この1年間に赤ちゃんを抱いたことがありますか。

この1年間に赤ちゃんを抱いたことがあるかについては、「ある」と回答した割合は小学生が高く、次いで中学生、高校生の順と、学年が上がるにつれて少なくなる傾向が見られた。

また、各学年における回答では、男性よりも女性の方が「ある」と回答した割合が高かった。

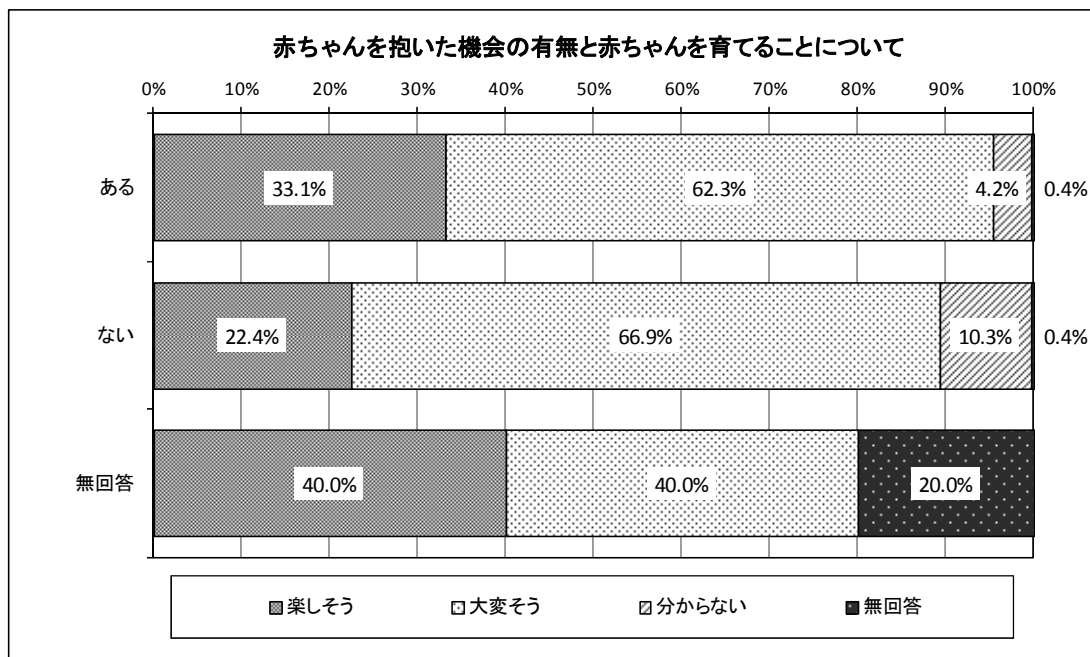
「赤ちゃんを抱いた機会の有無と赤ちゃんを育てること」のクロス集計については、中高生では、赤ちゃんを抱いたことが「ある」と回答した人は、赤ちゃんを育てることを「楽しそう」「だいたい楽しいが大変なこともある」と回答している割合が高い。



1年間の間に赤ちゃんを抱いた機会

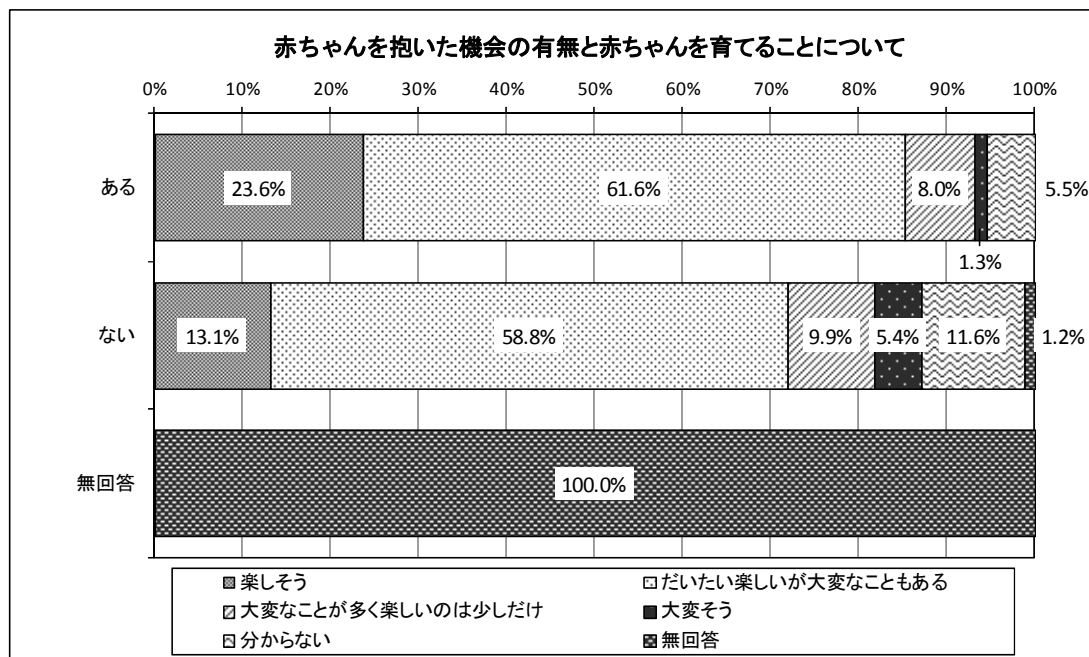
		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ある	実数(人)	129	155	284	103	134	237	135	212	347	367	501	868
	構成比(%)	45.4%	54.2%	49.8%	35.8%	47.0%	41.4%	27.7%	37.0%	32.7%	34.6%	43.8%	39.4%
ない	実数(人)	152	129	281	184	151	335	342	348	690	678	628	1306
	構成比(%)	53.5%	45.1%	49.3%	63.9%	53.0%	58.5%	70.1%	60.7%	65.0%	64.0%	54.9%	59.3%
無回答	実数(人)	3	2	5	1	0	1	11	13	24	15	15	30
	構成比(%)	1.1%	0.7%	0.9%	0.3%	0.0%	0.2%	2.3%	2.3%	2.3%	1.4%	1.3%	1.4%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 赤ちゃんを抱いた機会の有無と赤ちゃんを育てることについて（小学生）



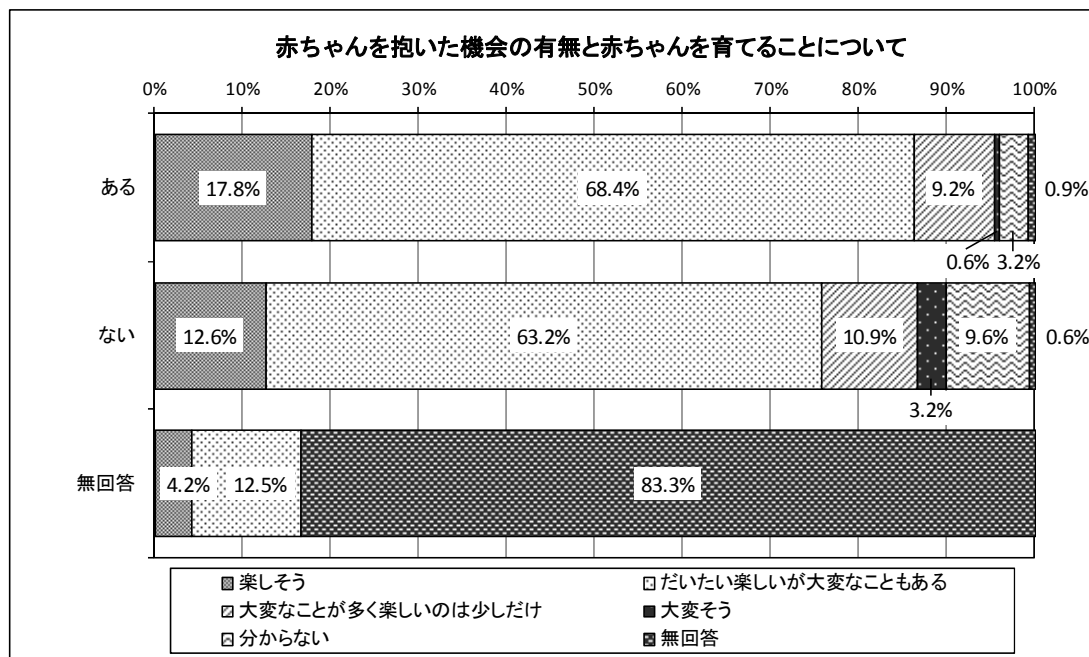
赤ちゃんを抱いた機会の有無	赤ちゃんを育てることについて					
	サンプル数	楽しそう	大変そう	わからない	無回答	
全体	上段: 実数	570	159	367	41	3
	下段: 構成比 (%)	100.0%	27.9%	64.4%	7.2%	0.5%
ある	上段: 実数	284	94	177	12	1
	下段: 構成比 (%)	100.0%	33.1%	62.3%	4.2%	0.4%
ない	上段: 実数	281	63	188	29	1
	下段: 構成比 (%)	100.0%	22.4%	66.9%	10.3%	0.4%
無回答	上段: 実数	5	2	2	0	1
	下段: 構成比 (%)	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%

■赤ちゃんを抱いた機会の有無と赤ちゃんを育てることについて（中学生）



赤ちゃんを抱いた機会の有無	サンプル数	赤ちゃんを育てることについて					
		楽しそう	だいたい楽しいが大変なこともある	少しだけ大変なことが多く楽しいのは	大変そう	わからない	無回答
全体	573	100	343	52	21	52	5
	100.0%	17.5%	59.9%	9.1%	3.7%	9.1%	0.9%
ある	237	56	146	19	3	13	0
	100.0%	23.6%	61.6%	8.0%	1.3%	5.5%	0.0%
ない	335	44	197	33	18	39	4
	100.0%	13.1%	58.8%	9.9%	5.4%	11.6%	1.2%
無回答	1	0	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■赤ちゃんを抱いた機会の有無と赤ちゃんを育てることについて（高校生）



赤ちゃんを抱いた機会の有無	サンプル数	赤ちゃんを育てることについて					
		楽しそう	も だ い たい 楽 し い が 大 変 な こ と も あ る	少 大 変 な こ と が 多 く 楽 し い の は 少 し だ け	大 変 そ う	わ か ら な い	無 回 答
全体	1062	150	677	107	24	77	27
	100.0%	14.1%	63.7%	10.1%	2.3%	7.3%	2.5%
ある	348	62	238	32	2	11	3
	100.0%	17.8%	68.4%	9.2%	0.6%	3.2%	0.9%
ない	690	87	436	75	22	66	4
	100.0%	12.6%	63.2%	10.9%	3.2%	9.6%	0.6%
無回答	24	1	3	0	0	0	20
	100.0%	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%

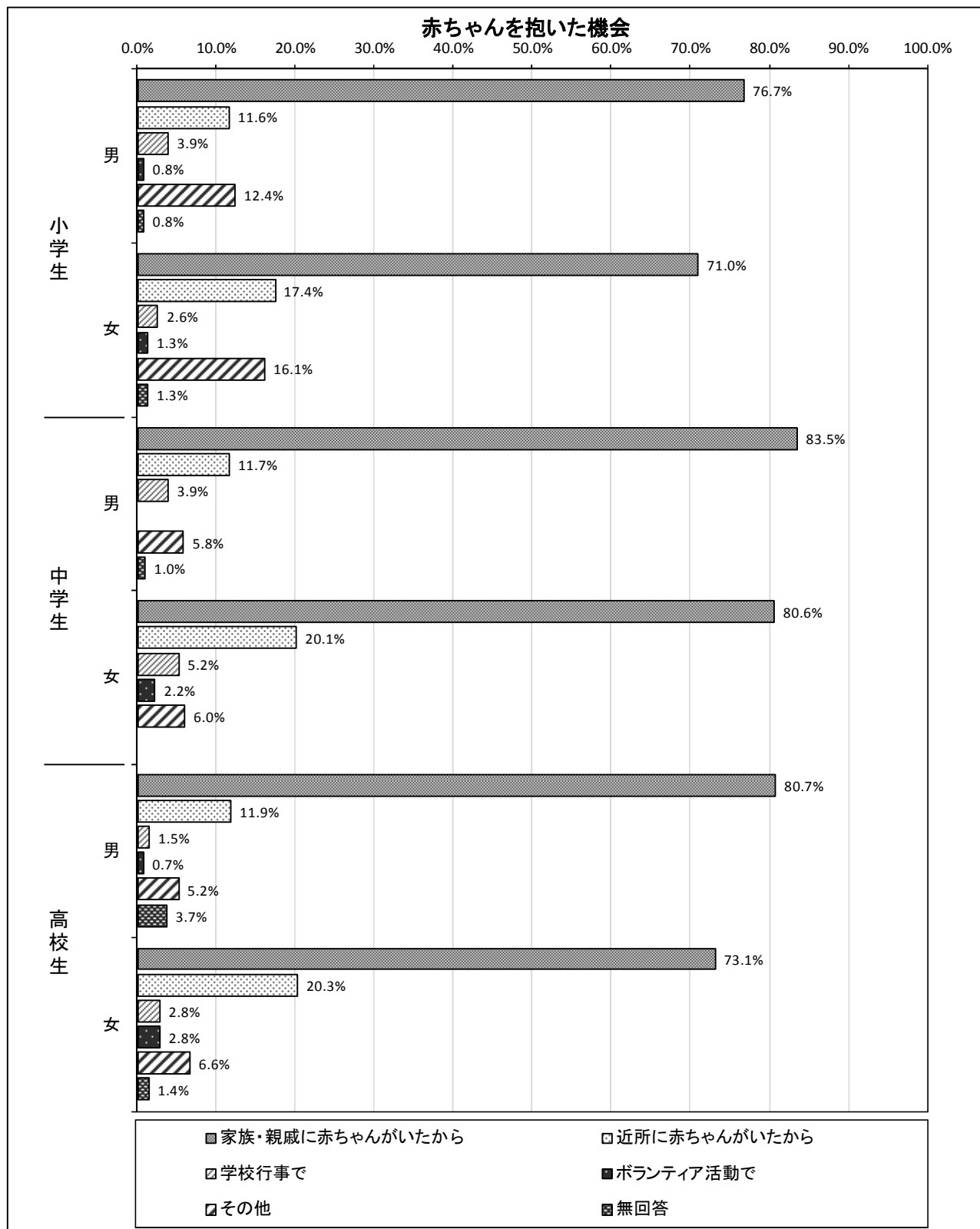
問20-1 赤ちゃんを抱いたのは、どういう機会でしたか。

※問20で「ある」と回答した人を対象。

赤ちゃんを抱いた機会については、全学年において「家族・親戚に赤ちゃんがいたから」が全学年において7割以上と最も高く、次いで「近所に赤ちゃんがいたから」が1～2割であった。

赤ちゃんを抱いた機会

		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
家族・親戚に赤ちゃんがいたから	実数(人)	99	110	209	86	108	194	109	155	264	294	373	667
	構成比(%)	76.7%	71.0%	73.6%	83.5%	80.6%	81.9%	80.7%	73.1%	76.1%	80.1%	74.5%	76.8%
近所に赤ちゃんがいたから	実数(人)	15	27	42	12	27	39	16	43	59	43	97	140
	構成比(%)	11.6%	17.4%	14.8%	11.7%	20.1%	16.5%	11.9%	20.3%	17.0%	11.7%	19.4%	16.1%
学校行事で	実数(人)	5	4	9	4	7	11	2	6	8	11	17	28
	構成比(%)	3.9%	2.6%	3.2%	3.9%	5.2%	4.6%	1.5%	2.8%	2.3%	3.0%	3.4%	3.2%
ボランティア活動で	実数(人)	1	2	3	0	3	3	1	6	7	2	11	13
	構成比(%)	0.8%	1.3%	1.1%	0.0%	2.2%	1.3%	0.7%	2.8%	2.0%	0.5%	2.2%	1.5%
その他	実数(人)	16	25	41	6	8	14	7	14	21	29	47	76
	構成比(%)	12.4%	16.1%	14.4%	5.8%	6.0%	5.9%	5.2%	6.6%	6.1%	7.9%	9.4%	8.8%
無回答	実数(人)	1	2	3	1	0	1	5	3	8	7	5	12
	構成比(%)	0.8%	1.3%	1.1%	1.0%	0.0%	0.4%	3.7%	1.4%	2.3%	1.9%	1.0%	1.4%
計	実数(人)	129	155	284	103	134	237	135	212	347	367	501	868
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(その他の意見 小学生)

- ・ 叔母さんの友達の子ども
- ・ 友人の家族が生まれた時
- ・ 習い事の時近くにいたから (4件)
- ・ お母さんの友達が赤ちゃんを産んだから (3件)
- ・ 従兄弟の赤ちゃん
- ・ スポーツ少年団で
- ・ 友達のお母さんに赤ちゃんがいた (2件)
- ・ 妹の友達の赤ちゃん
- ・ 友達の弟・妹が赤ちゃんだった (12件)
- ・ 先生の赤ちゃん
- ・ 従兄弟がよく来るので抱いている
- ・ 担任の先生の赤ちゃんが学校に来た時 (3件)
- ・ お母さんの赤ちゃんが生まれたとき
- ・ 担任の先生の赤ちゃん (7件)
- ・ 父親の同僚の人に赤ちゃんがいたから (2件)
- ・ お母さんの妹が赤ちゃんを産んだから
- ・ 家族に赤ちゃんがいる
- ・ 従兄弟が赤ちゃん

(その他の意見 中学生)

- ・ 友人の赤ちゃん (7件)
- ・ いとこが生まれた時に抱いた
- ・ 職場体験で保育園に行ったとき (2件)
- ・ 習い事の先生の赤ちゃん
- ・ 従兄弟と会った時 (2件)
- ・ いろんなところ

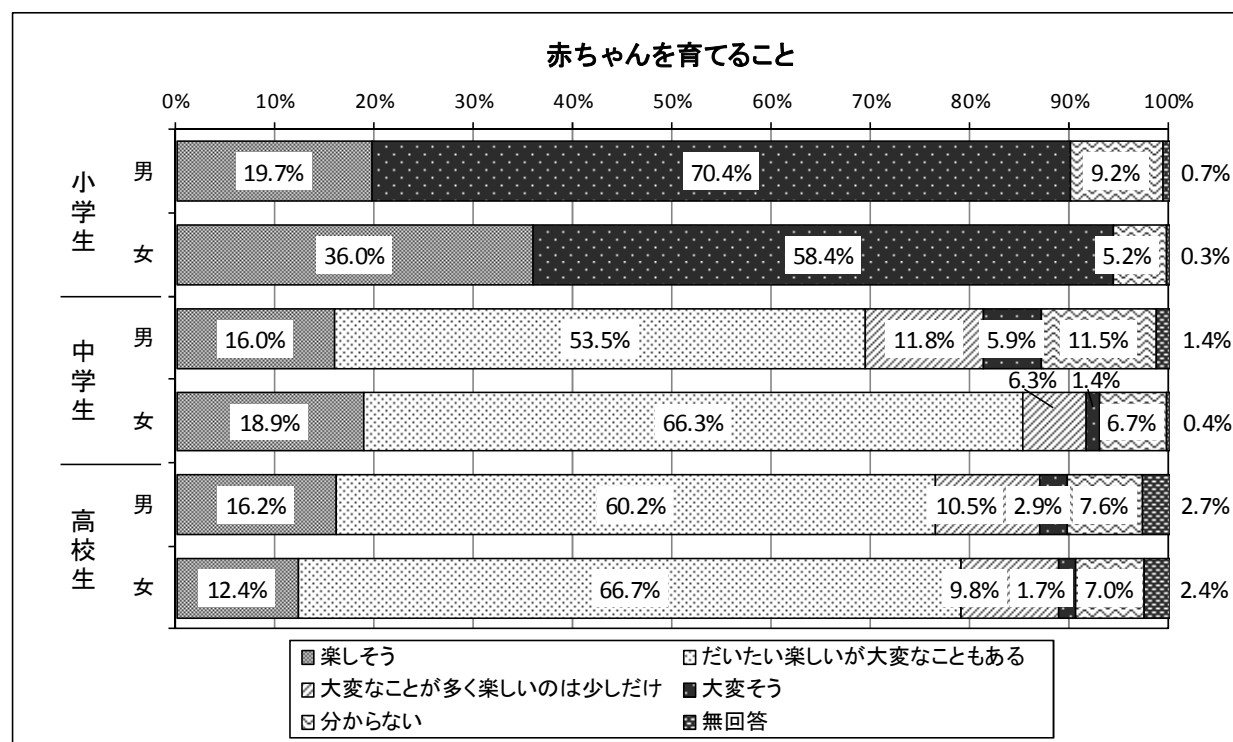
(その他の意見 高校生)

- ・ 母の友人の出産見舞いの時
- ・ 知り合いや友人の赤ちゃん (15件)
- ・ 母の仕事場の赤ちゃん
- ・ 先生の子供 (3件)
- ・ 部活の時 (試合)

問21 赤ちゃんを育てることについてどう思いますか。

赤ちゃんを育てることについては、小学生が「大変そう」と回答した割合が男性で7割、女性で約6割となっており、次いで「楽しそう」と回答した割合が男性で2割、女性で3割以上となっている。

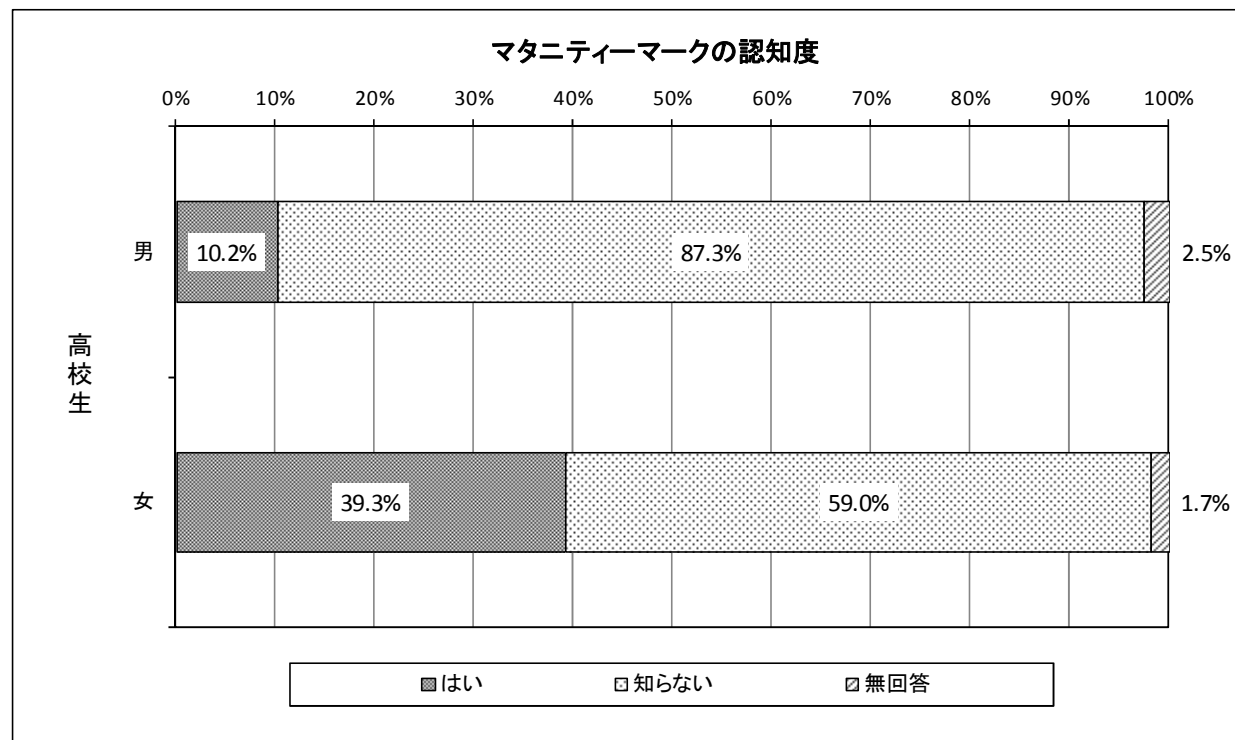
中学生以上では、「だいたい楽しいが大変なこともある」と回答した割合が、男女共に5～6割と最も高く、「楽しそう」と回答した割合は、1～2割前後であった。



赤ちゃんを育てること													
		小学生			中学生			高校生			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
楽しそう	実数(人)	56	103	159	46	54	100	79	71	150	181	228	409
	構成比(%)	19.7%	36.0%	27.9%	16.0%	18.9%	17.5%	16.2%	12.4%	14.1%	17.1%	19.9%	18.6%
だいたい楽しいが大変なこともある	実数(人)	0	0	0	154	189	343	294	382	676	448	571	1019
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	53.5%	66.3%	59.9%	60.2%	66.7%	63.7%	42.3%	49.9%	46.2%
大変なことが多く楽しいのは少しだけ	実数(人)	0	0	0	34	18	52	51	56	107	85	74	159
	構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	6.3%	9.1%	10.5%	9.8%	10.1%	8.0%	6.5%	7.2%
大変そう	実数(人)	200	167	367	17	4	21	14	10	24	231	181	412
	構成比(%)	70.4%	58.4%	64.4%	5.9%	1.4%	3.7%	2.9%	1.7%	2.3%	21.8%	15.8%	18.7%
分からない	実数(人)	26	15	41	33	19	52	37	40	77	96	74	170
	構成比(%)	9.2%	5.2%	7.2%	11.5%	6.7%	9.1%	7.6%	7.0%	7.3%	9.1%	6.5%	7.7%
無回答	実数(人)	2	1	3	4	1	5	13	14	27	19	16	35
	構成比(%)	0.7%	0.3%	0.5%	1.4%	0.4%	0.9%	2.7%	2.4%	2.5%	1.8%	1.4%	1.6%
計	実数(人)	284	286	570	288	285	573	488	573	1,061	1,060	1,144	2,204
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問22 マタニティマークを知っていますか。

マタニティマークの認知度については、「はい」と回答した割合は女性が約4割、男性は1割であった。



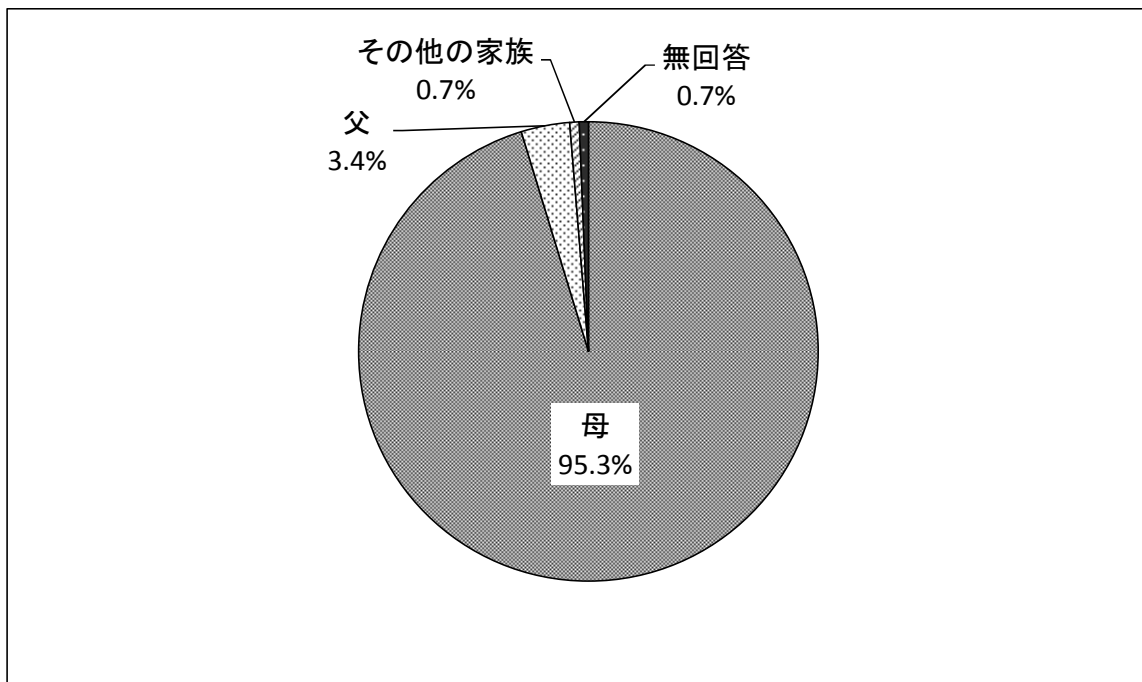
マタニティマークの認知度				
		高校生		
		男	女	計
はい	実数(人)	50	225	275
	構成比(%)	10.2%	39.3%	25.9%
知らない	実数(人)	426	338	764
	構成比(%)	87.3%	59.0%	72.0%
無回答	実数(人)	12	10	22
	構成比(%)	2.5%	1.7%	2.1%
計	実数(人)	488	573	1,061
	構成比(%)	100.0%	100.0%	100.0%

第2編

小学生・中学生・高校生の保護者

問1 調査票を記入したのは、どなたですか。

調査票の記入者については、「母」が95.3%と最も多く、次いで「父」が3.4%、「その他の家族」が0.7%であった。

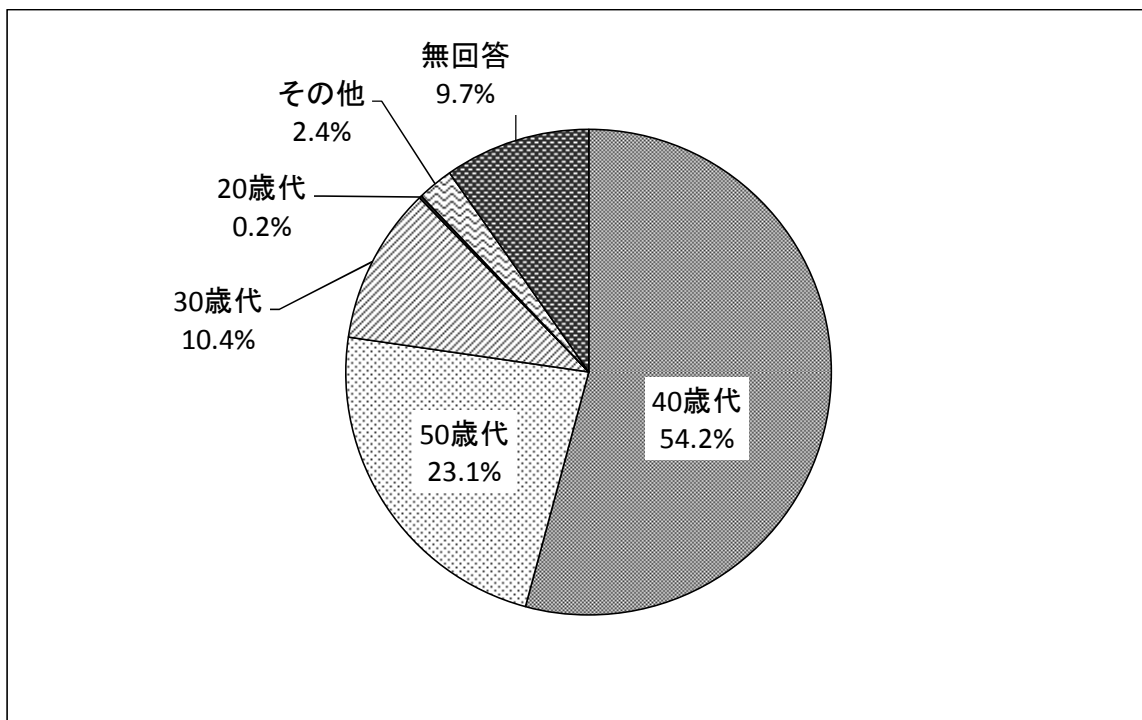


	回答数	回答割合
無回答	11	0.7%
父	57	3.4%
母	1,591	95.3%
その他の家族	11	0.7%
	1,670	100.0%

問3 ご両親の年代について、お尋ねします。

父親の年代については、「40歳代」が54.2%と最も高く、次いで「50歳代」が23.1%、「30歳代」が10.4%、「20歳代」が0.2%であった。

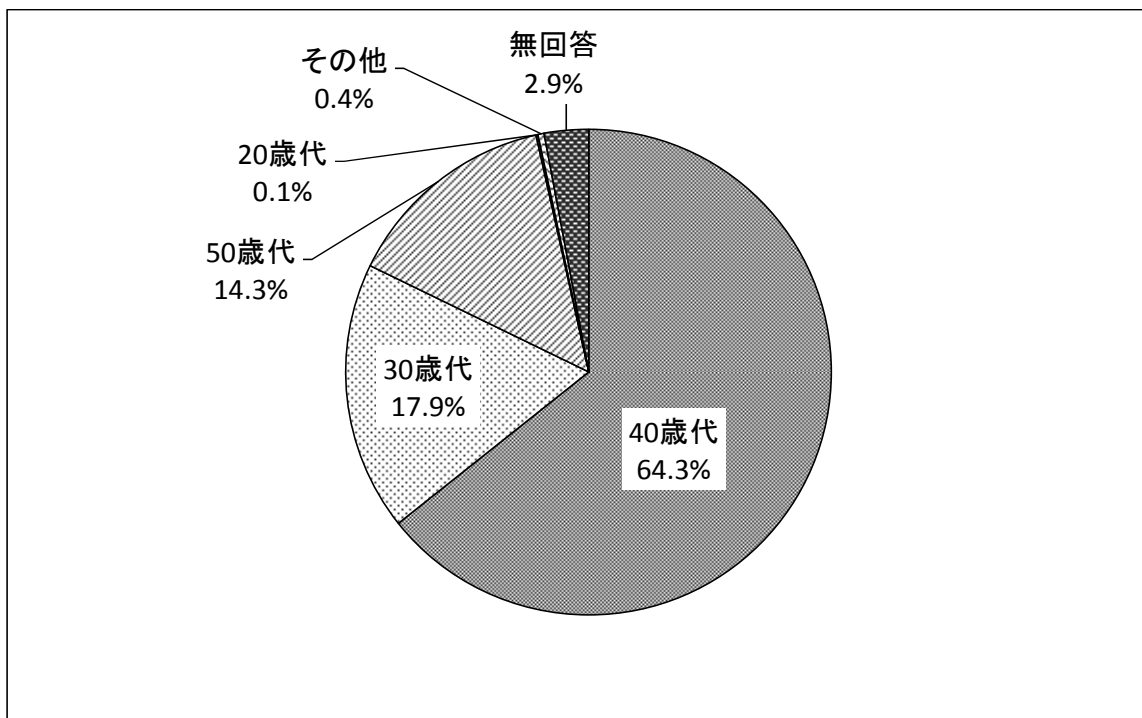
■父親の年代



	回答数	回答割合
無回答	162	9.7%
20歳代	3	0.2%
30歳代	174	10.4%
40歳代	905	54.2%
50歳代	386	23.1%
その他	40	2.4%
	1,670	100.0%

母親の年代については、「40歳代」が64.3%と最も高く、次いで「30歳代」が17.9%、「50歳代」が14.3%、「20歳代」が0.1%であった。

■ 母親の年代



	回答数	回答割合
無回答	49	2.9%
20歳代	2	0.1%
30歳代	299	17.9%
40歳代	1,074	64.3%
50歳代	239	14.3%
その他	7	0.4%
	1,670	100.0%

問4 お子さんと会話をしていますか。

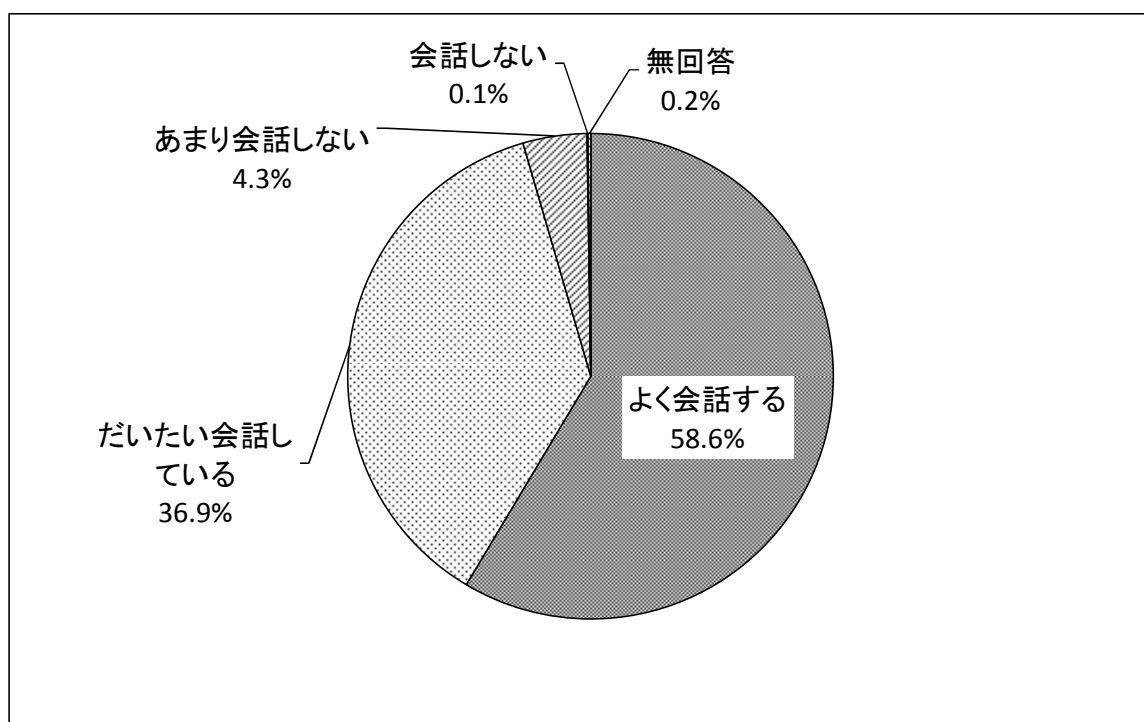
子どもと会話をしているかについては、「よく会話する」が58.6%と最も高く、次いで「だいたい会話している」が36.9%、「あまり会話しない」が4.3%、「会話しない」が0.1%であった。

(クロス集計の結果より)

子どもと「よく会話」すると回答した人は、普段から子どもの良いところをほめるよう「心がけている」と回答した割合や、最近子どもを「ほめた」と回答した割合が高く、会話の頻度が減っていくにつれて、良いところをほめることを「考えたことがない」、子どもを「ほめていない」と回答した人の割合が高くなっていった。

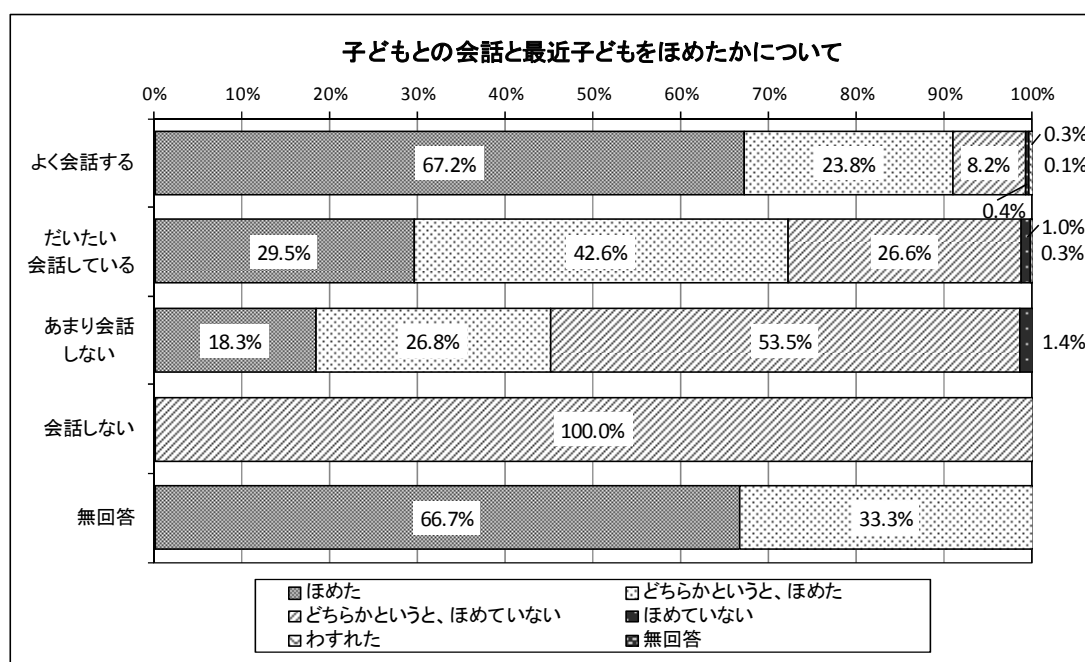
また、子どもと「性」や「死」について話す機会の必要性については、「性」が7割以上、「死」が9割以上が必要だと「思う」、「どちらかというと思う」と回答しており、特に子どもと「よく会話する」と回答した割合が高いほど、「思う」と回答した割合が高い傾向が見られる。

子どもを育てることについても、子どもと「よく会話する」と回答した割合が高いほど、子どもを育てることが「楽しい」と回答している割合が高く、会話の頻度が減っていくにつれて、「大変なことが多く、楽しいのは少しだけ」という回答が増えていった。



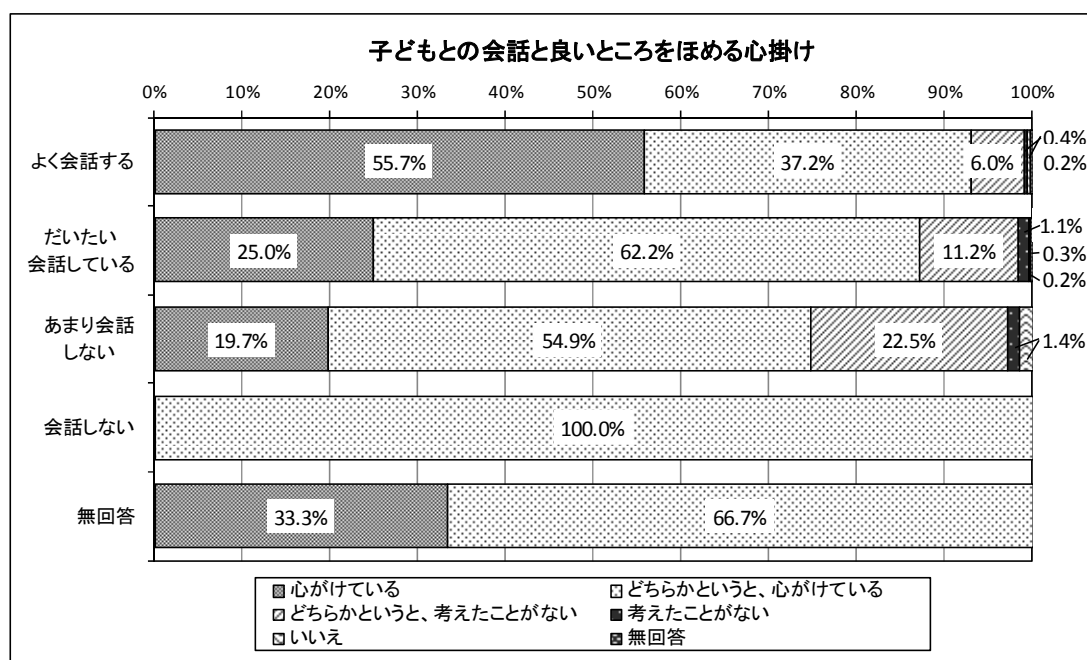
	回答数	回答割合
無回答	3	0.2%
よく会話する	978	58.6%
だいたい会話している	617	36.9%
あまり会話しない	71	4.3%
会話しない	1	0.1%
	1,670	100.0%

■子どもとの会話と最近子どもをほめたかについて



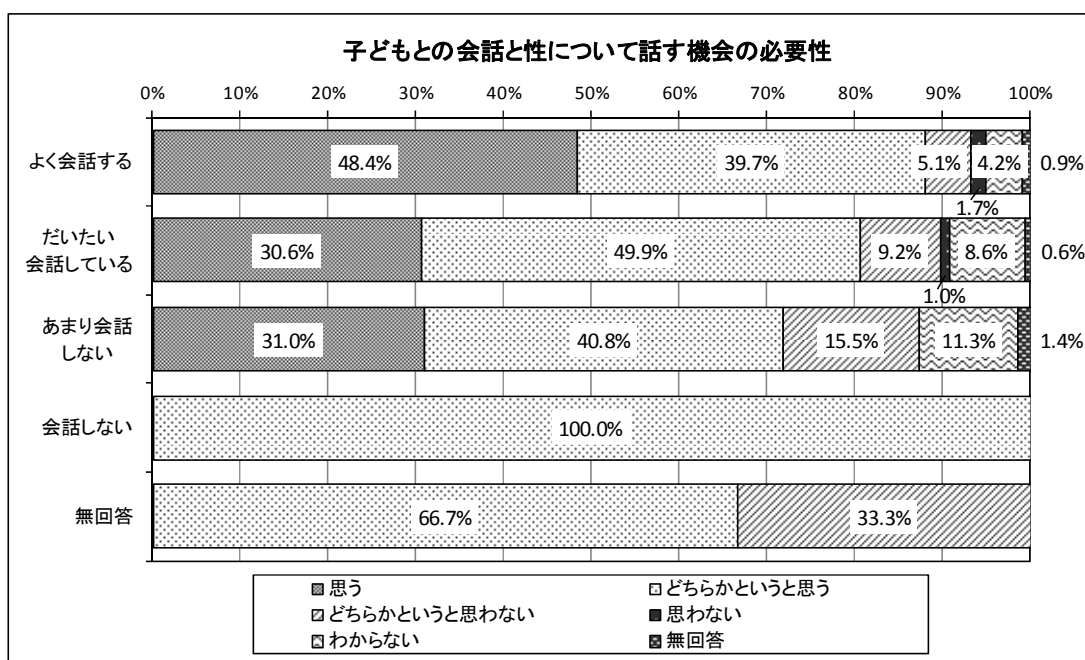
子どもとの会話	最近子どもをほめたかについて		サンプル数	ほめた	どちらかというと、ほめた	どちらかというと、ほめていない	ほめていない	わすれた	無回答
	上段: 実数	下段: 構成比(%)							
全体	1670	100.0%	854	516	283	11	5	1	
			51.1%	30.9%	16.9%	0.7%	0.3%	0.1%	
よく会話する	978	100.0%	657	233	80	4	3	1	
			67.2%	23.8%	8.2%	0.4%	0.3%	0.1%	
だいたい会話している	617	100.0%	182	263	164	6	2	0	
			29.5%	42.6%	26.6%	1.0%	0.3%	0.0%	
あまり会話しない	71	100.0%	13	19	38	1	0	0	
			18.3%	26.8%	53.5%	1.4%	0.0%	0.0%	
会話しない	1	100.0%	0	0	1	0	0	0	
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	3	100.0%	2	1	0	0	0	0	
			66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

■子どもとの会話と良いところをほめる心掛け



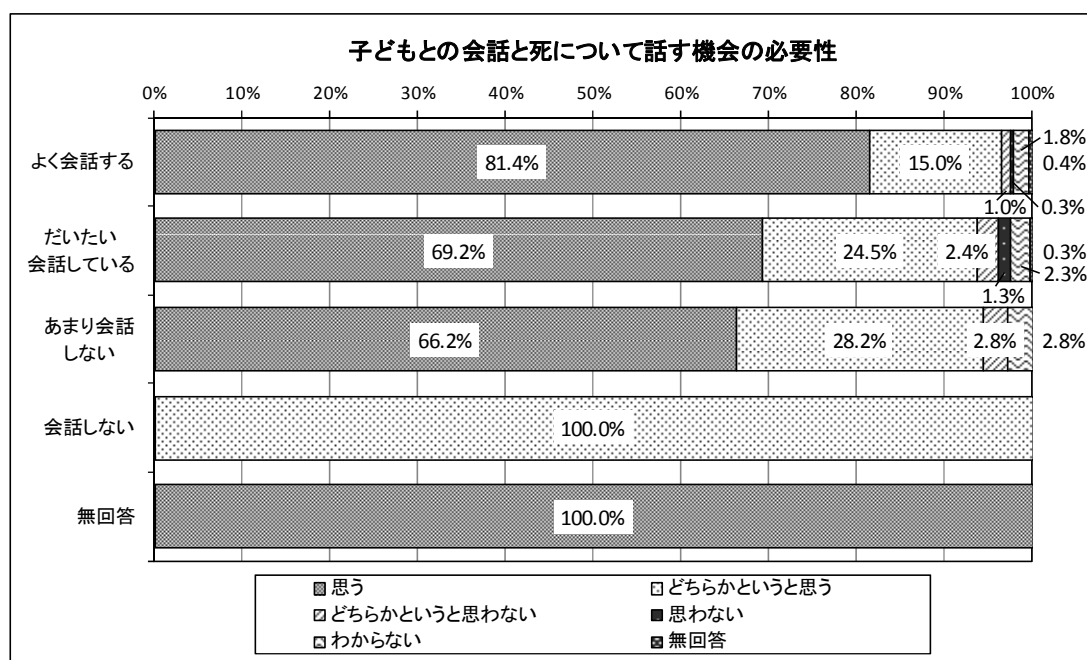
子どもとの会話	良いところをほめる心掛け		心がけている	どちらかというと、心がけている	どちらかというと、考えたことがない	考えたことがない	いいえ	無回答
	上段: 実数	下段: 構成比(%)						
全体	1670	100.0%	714	790	144	12	6	4
			42.8%	47.3%	8.6%	0.7%	0.4%	0.2%
よく会話する	978	100.0%	545	364	59	4	4	2
			55.7%	37.2%	6.0%	0.4%	0.4%	0.2%
だいたい会話している	617	100.0%	154	384	69	7	1	2
			25.0%	62.2%	11.2%	1.1%	0.2%	0.3%
あまり会話しない	71	100.0%	14	39	16	1	1	0
			19.7%	54.9%	22.5%	1.4%	1.4%	0.0%
会話しない	1	100.0%	0	1	0	0	0	0
			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	100.0%	1	2	0	0	0	0
			33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■子どもとの会話と性について話す機会の必要性



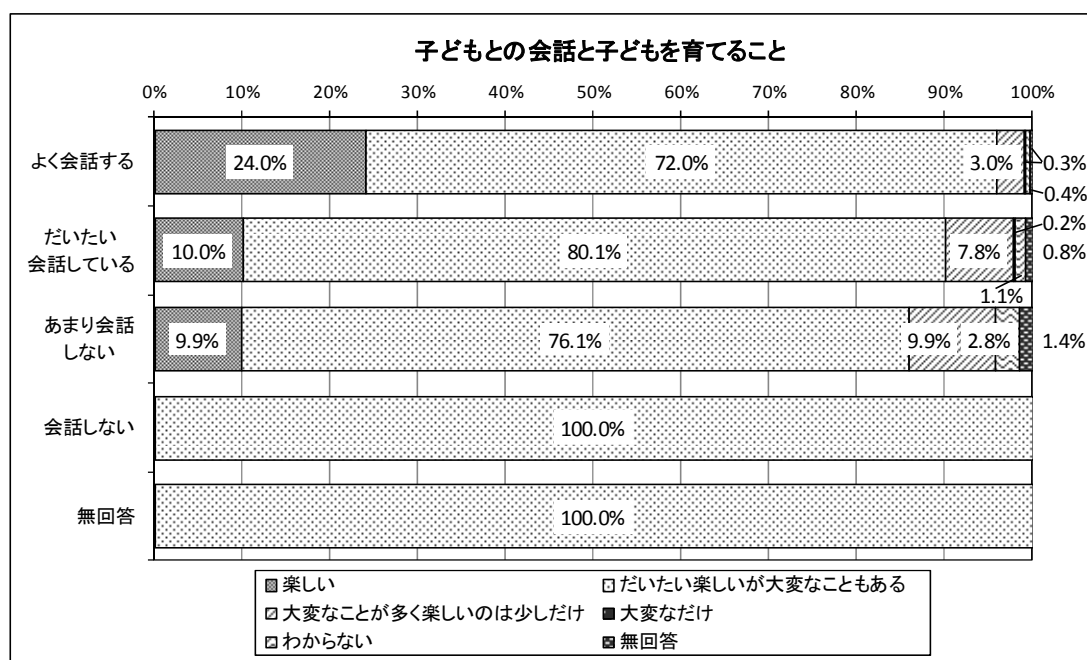
子どもとの会話	性について話す機会の必要性		思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない	無回答
	上段: 実数	下段: 構成比(%)						
全体	1670	100.0%	684	728	119	23	102	14
			41.0%	43.6%	7.1%	1.4%	6.1%	0.8%
よく会話する	978	100.0%	473	388	50	17	41	9
			48.4%	39.7%	5.1%	1.7%	4.2%	0.9%
だいたい会話している	617	100.0%	189	308	57	6	53	4
			30.6%	49.9%	9.2%	1.0%	8.6%	0.6%
あまり会話しない	71	100.0%	22	29	11	0	8	1
			31.0%	40.8%	15.5%	0.0%	11.3%	1.4%
会話しない	1	100.0%	0	1	0	0	0	0
			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	100.0%	0	2	1	0	0	0
			0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

■子どもとの会話と死について話す機会の必要性



子どもとの会話	死について話す機会の必要性		思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない	無回答
	上段: 実数	下段: 構成比(%)						
全体	1670	100.0%	1273	319	27	11	34	6
			76.2%	19.1%	1.6%	0.7%	2.0%	0.4%
よく会話する	978	100.0%	796	147	10	3	18	4
			81.4%	15.0%	1.0%	0.3%	1.8%	0.4%
だいたい会話している	617	100.0%	427	151	15	8	14	2
			69.2%	24.5%	2.4%	1.3%	2.3%	0.3%
あまり会話しない	71	100.0%	47	20	2	0	2	0
			66.2%	28.2%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%
会話しない	1	100.0%	0	1	0	0	0	0
			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	100.0%	3	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■子どもとの会話と子どもを育てること



子どもとの会話	子どもを育てること		楽しい	もだいたいたい楽しいが大変なこと	少しだけ大変なことが多く楽しいのは	大変なだけ	わからない	無回答
	サンプル数	構成比(%)						
全体	1670	上段: 実数 下段: 構成比(%)	304	1256	84	4	13	9
	100.0%		18.2%	75.2%	5.0%	0.2%	0.8%	0.5%
よく会話する	978		235	704	29	3	4	3
	100.0%		24.0%	72.0%	3.0%	0.3%	0.4%	0.3%
だいたい会話している	617		62	494	48	1	7	5
	100.0%		10.0%	80.1%	7.8%	0.2%	1.1%	0.8%
あまり会話しない	71		7	54	7	0	2	1
	100.0%		9.9%	76.1%	9.9%	0.0%	2.8%	1.4%
会話しない	1		0	1	0	0	0	0
	100.0%		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3		0	3	0	0	0	0
	100.0%		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

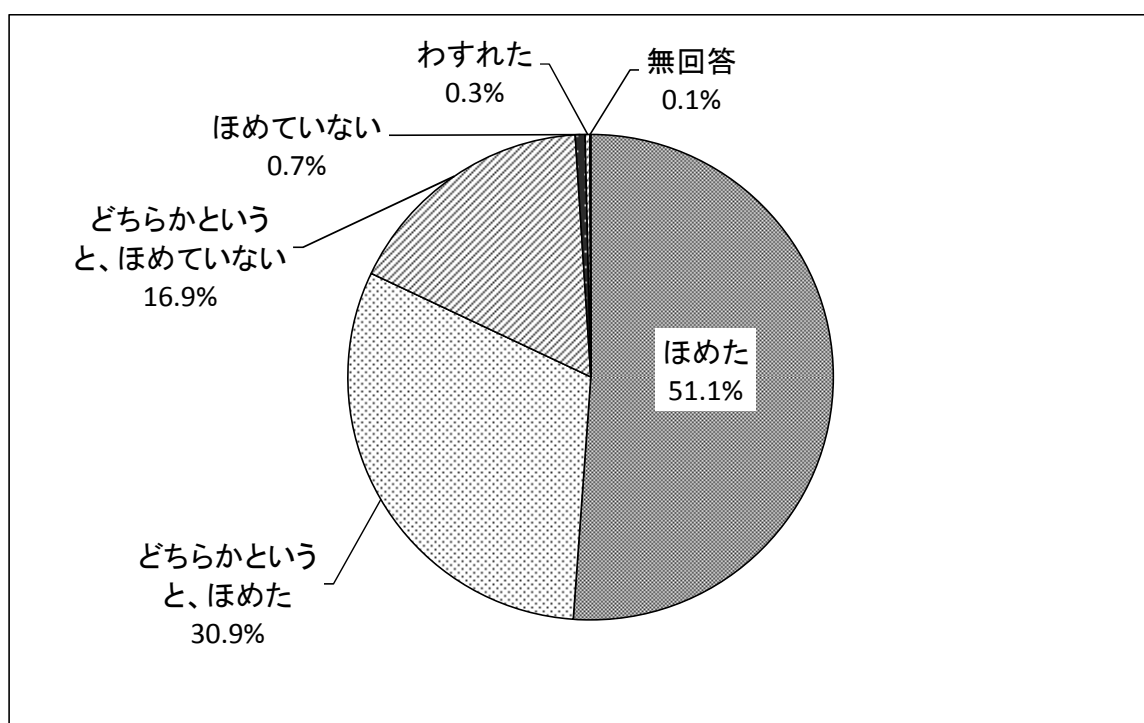
問5 ここ1～2か月の間に、お子さんをほめましたか。

最近（1～2か月の間）に、お子さんをほめたかについては、「ほめた」が51.1%と最も高く、次いで「どちらかという、ほめた」が30.9%、「どちらかという、ほめていない」が16.9%、「ほめていない」が0.7%、「わすれた」が0.3%であった。

（クロス集計の結果より）

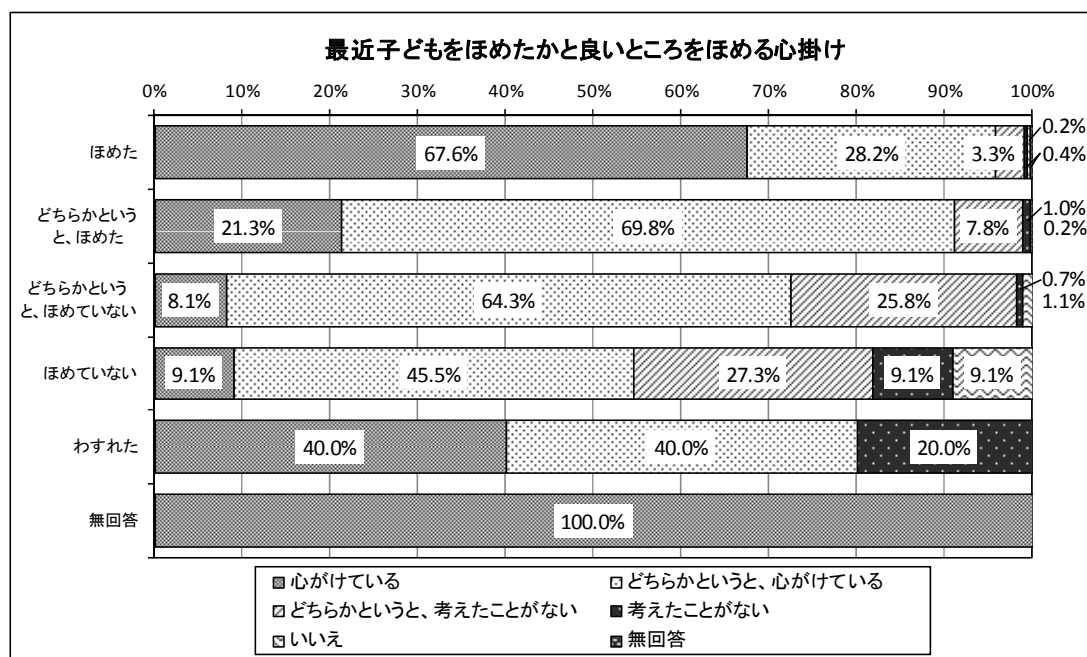
最近子どもを「ほめた」「どちらかという、ほめた」と回答した人は、9割以上が普段より子どもの良いところをほめるよう「心がけている」「どちらかという、心がけている」と回答している。

子どもと「性」や「死」について話す機会の必要性については、「性」については7割以上、「死」については9割以上が必要だと「思う」「どちらかという、思う」と回答している。



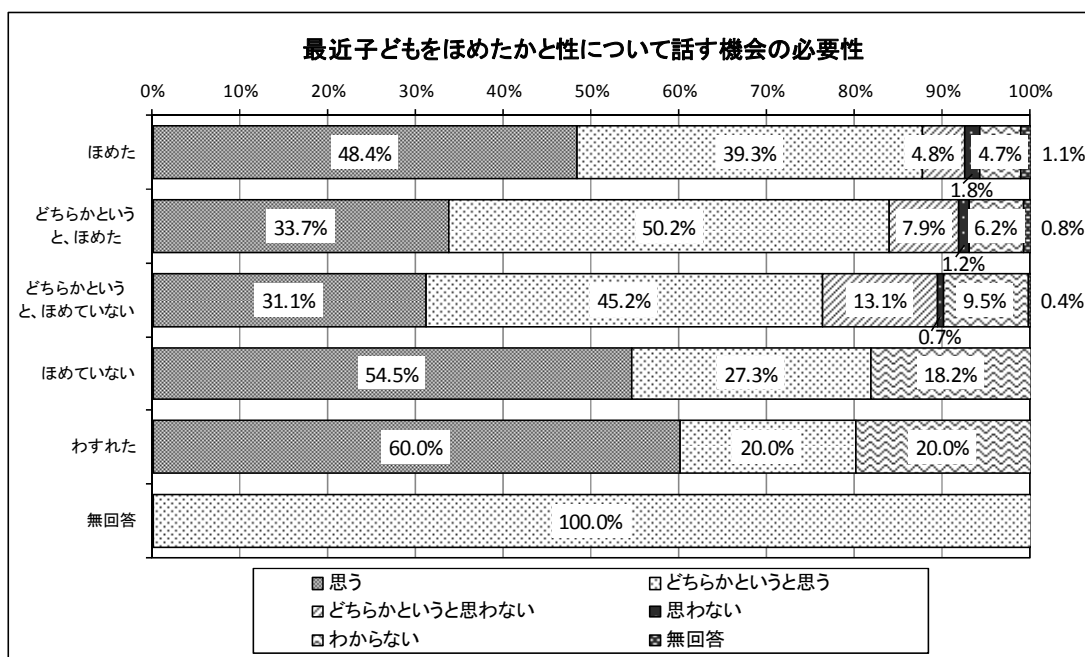
	回答数	回答割合
無回答	1	0.1%
ほめた	854	51.1%
どちらかという、ほめた	516	30.9%
どちらかという、ほめていない	283	16.9%
ほめていない	11	0.7%
わすれた	5	0.3%
	1,670	100.0%

■最近子どもをほめたかと良いところを褒める心掛け



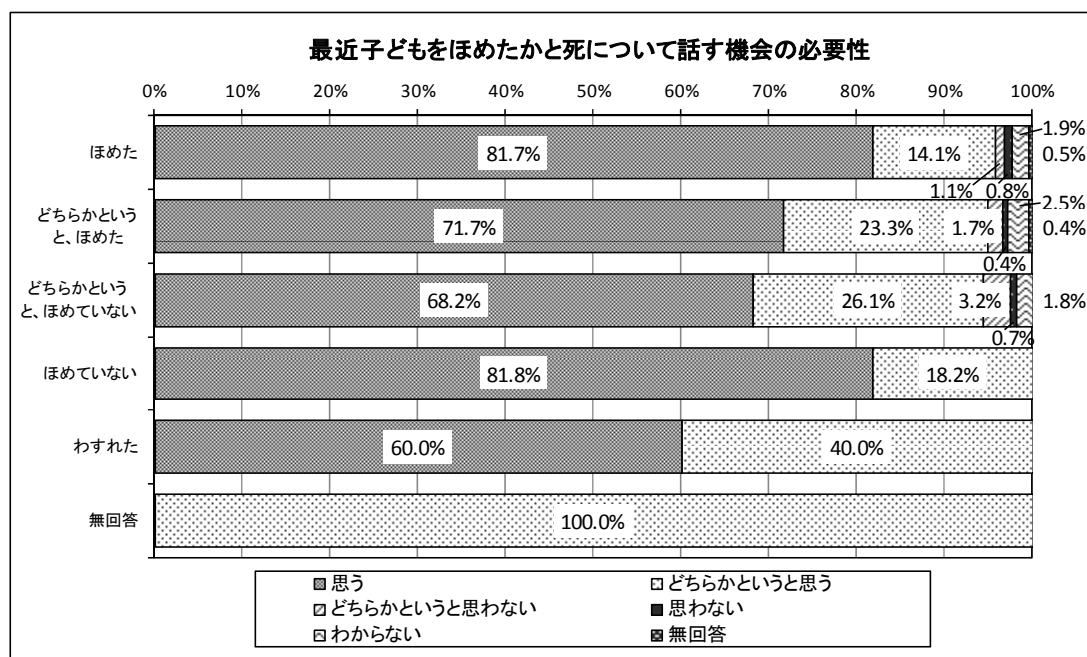
最近子どもをほめたか	良いところを褒める心掛け		心がけている	どちらかという と、心がけて	どちらか という と、考えたこ	考えた ことがない	いいえ	無 回 答
	上段:実数	下段:構成比(%)						
全体	1670	100.0%	714	790	144	12	6	4
			42.8%	47.3%	8.6%	0.7%	0.4%	0.2%
ほめた	854	100.0%	577	241	28	3	2	3
			67.6%	28.2%	3.3%	0.4%	0.2%	0.4%
どちらかという と、ほめた	516	100.0%	110	360	40	5	0	1
			21.3%	69.8%	7.8%	1.0%	0.0%	0.2%
どちらかという と、ほめていない	283	100.0%	23	182	73	2	3	0
			8.1%	64.3%	25.8%	0.7%	1.1%	0.0%
ほめていない	11	100.0%	1	5	3	1	1	0
			9.1%	45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
わすれた	5	100.0%	2	2	0	1	0	0
			40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	100.0%	1	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■最近子どもをほめたかと性について話す機会の必要性



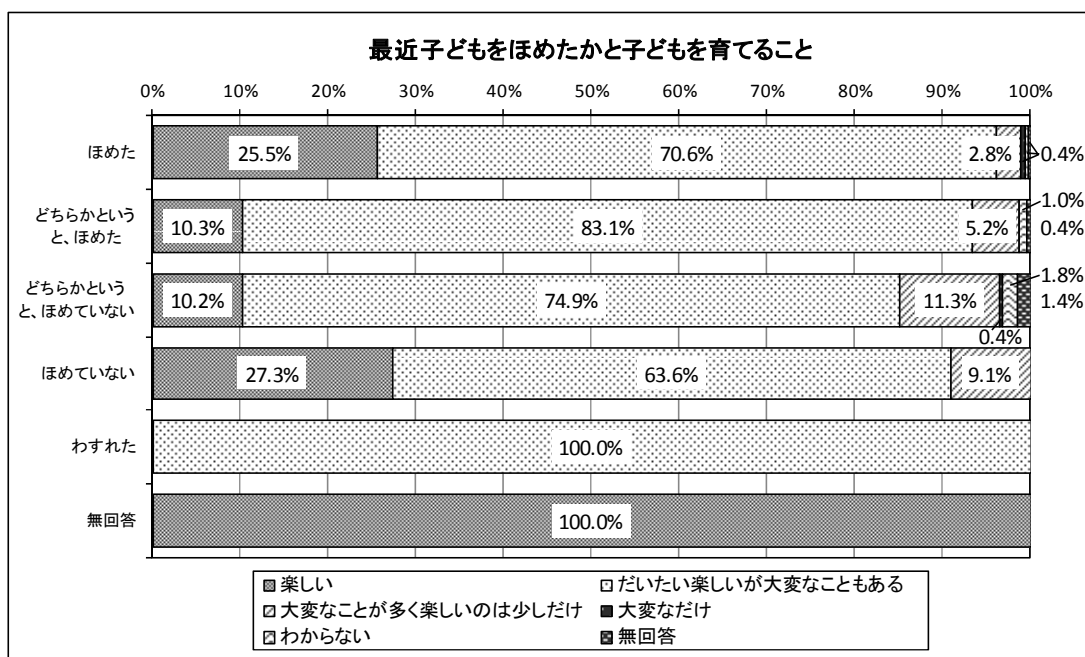
最近子どもをほめたか	性について話す機会の必要性		サンプル数	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない	無回答					
	上段:実数	下段:構成比(%)												
全体	1670	100.0%	684	41.0%	728	43.6%	119	7.1%	23	1.4%	102	6.1%	14	0.8%
	ほめた	854	100.0%	413	48.4%	336	39.3%	41	4.8%	15	1.8%	40	4.7%	9
どちらかという と、ほめた	516	100.0%	174	33.7%	259	50.2%	41	7.9%	6	1.2%	32	6.2%	4	0.8%
	どちらかという と、ほめていない	283	100.0%	88	31.1%	128	45.2%	37	13.1%	2	0.7%	27	9.5%	1
ほめていない	11	100.0%	6	54.5%	3	27.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%
	わすれた	5	100.0%	3	60.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	1	20.0%	0	0.0%
無回答	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■最近子どもをほめたかと死について話す機会の必要性



最近子どもをほめたか	死について話す機会の必要性		思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない	無回答						
	上段:実数	下段:構成比(%)												
全体	1670	100.0%	1273	76.2%	319	19.1%	27	1.6%	11	0.7%	34	2.0%	6	0.4%
ほめた	854	100.0%	698	81.7%	120	14.1%	9	1.1%	7	0.8%	16	1.9%	4	0.5%
どちらかという と、ほめた	516	100.0%	370	71.7%	120	23.3%	9	1.7%	2	0.4%	13	2.5%	2	0.4%
どちらかという と、ほめていない	283	100.0%	193	68.2%	74	26.1%	9	3.2%	2	0.7%	5	1.8%	0	0.0%
ほめていない	11	100.0%	9	81.8%	2	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わすれた	5	100.0%	3	60.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

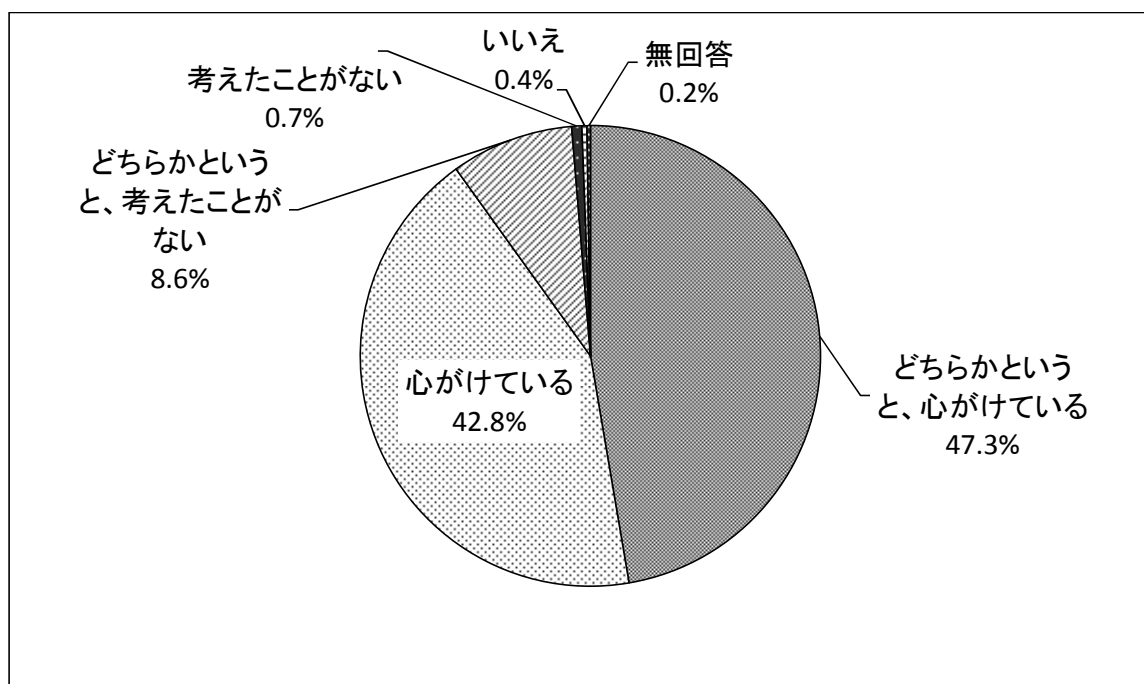
■最近子どもをほめたかと子どもを育てること



最近子どもをほめたか	子どもを育てること		楽しい	もだいたいいたい楽しいが大変なこと	少しだけ大変なことが多く楽しいのは	大変なだけ	わからない	無回答
	上段:実数	下段:構成比(%)						
全体	1670	100.0%	304	1256	84	4	13	9
ほめた	854	100.0%	218	603	24	3	3	3
どちらかという と、ほめた	516	100.0%	53	429	27	0	5	2
どちらかという と、ほめていない	283	100.0%	29	212	32	1	5	4
ほめていない	11	100.0%	3	7	1	0	0	0
わすれた	5	100.0%	0	5	0	0	0	0
無回答	1	100.0%	1	0	0	0	0	0

問6 子どもの良いところを、ほめることを心掛けていますか。

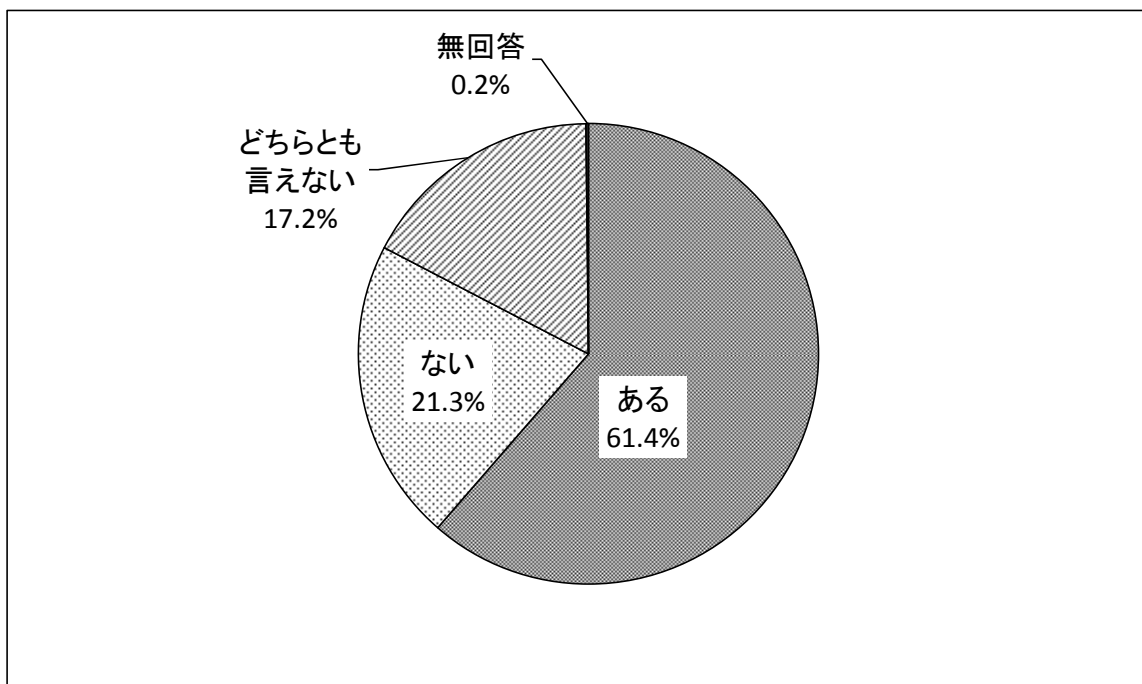
子どもの良いところを、ほめることを心掛けているかについては、「どちらかという、心がけている」が47.3%と最も高く、次いで「心がけている」が42.8%、「どちらかという、考えたことがない」が8.6%、「考えたことがない」が0.7%、「いいえ」が0.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	4	0.2%
心がけている	714	42.8%
どちらかという、心がけている	790	47.3%
どちらかという、考えたことがない	144	8.6%
考えたことがない	12	0.7%
いいえ	6	0.4%
	1,670	100.0%

問7 現在、悩みやストレスがありますか。

悩みやストレスについては、「ある」が61.4%と最も高く、次いで「ない」が21.3%、「どちらとも言えない」が17.2%であった。



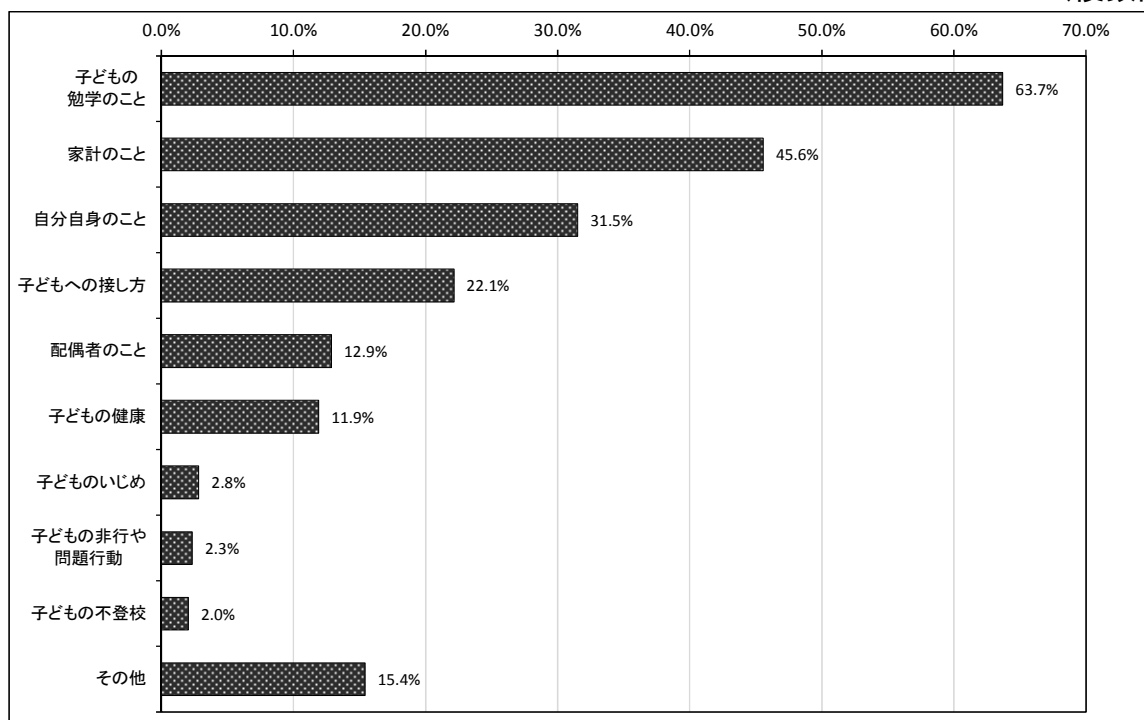
	回答数	回答割合
無回答	3	0.2%
ある	1,025	61.4%
ない	355	21.3%
どちらとも言えない	287	17.2%
	1,670	100.0%

問7-1 どんな悩みやストレスがありますか。

※問7で「ある」と回答した人を対象。

どんな悩みやストレスがあるかについては、「子どもの勉学のこと」が63.7%と最も高く、次いで「家計のこと」が45.6%、「自分自身のこと」が31.5%、「子どもへの接し方」が22.1%等の順であった。

(複数回答)



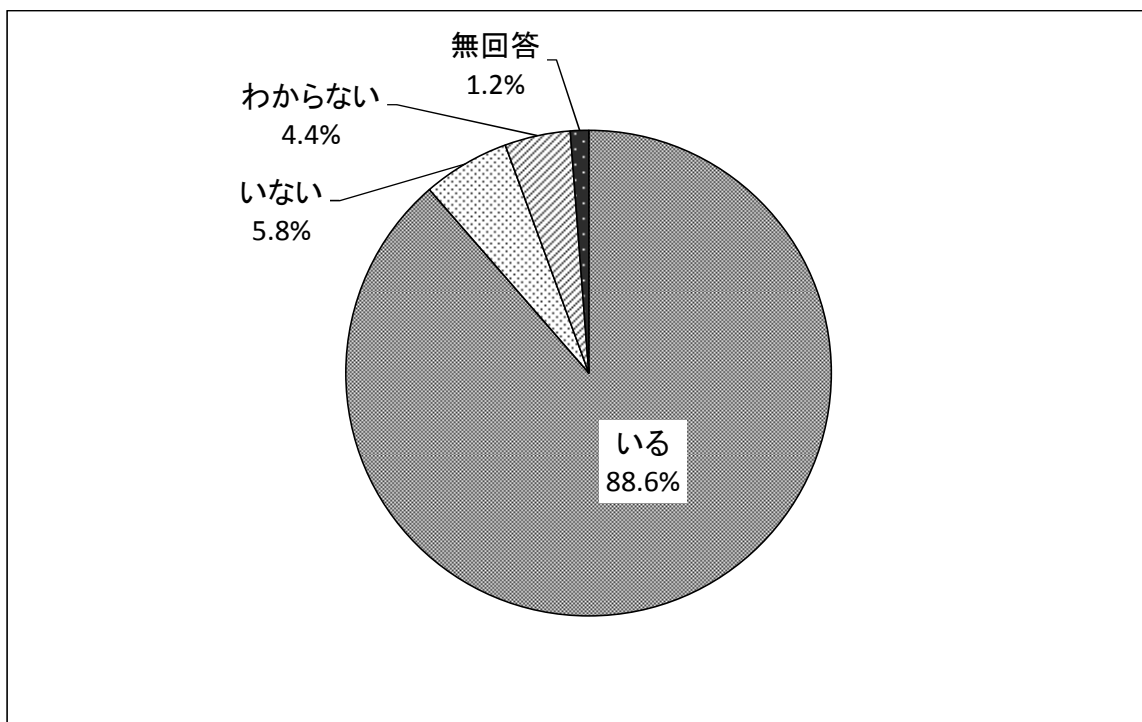
	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
子どもの勉学のこと	653	63.7%
自分自身のこと	323	31.5%
家計のこと	467	45.6%
配偶者のこと	132	12.9%
子どもへの接し方	227	22.1%
子どもの健康	122	11.9%
子どもの非行や問題行動	24	2.3%
子どもの不登校	21	2.0%
子どものいじめ	29	2.8%
その他	158	15.4%

(その他の意見)

- 子供の受験・進学・進路・就職のこと（４６件）
- 両親や配偶者の親の介護のこと（１８件）
- 仕事のこと（１７件）
- 子供の人間関係（１０件）
- 嫁姑問題（８件）
- 子供の性格や行儀（６件）
- 子どもの部活の事（６件）
- 発達障害やその他の障害のこと（４件）
- 自分の父母や義母の事（健康や介護）（３件）
- 子どものいじめのこと（２件）
- 子供の言葉遣い（２件）
- 仕事と家庭の両立について（２件）
- 子供の偏食のこと（２件）
- 不登校のこと（２件）
- 学校（教師）のこと（２件）

問8 悩みを相談できる人がいますか。

悩みを相談できる人がいるかについては、「いる」が88.6%と最も高く、次いで「いない」が5.8%、「わからない」が4.4%であった。



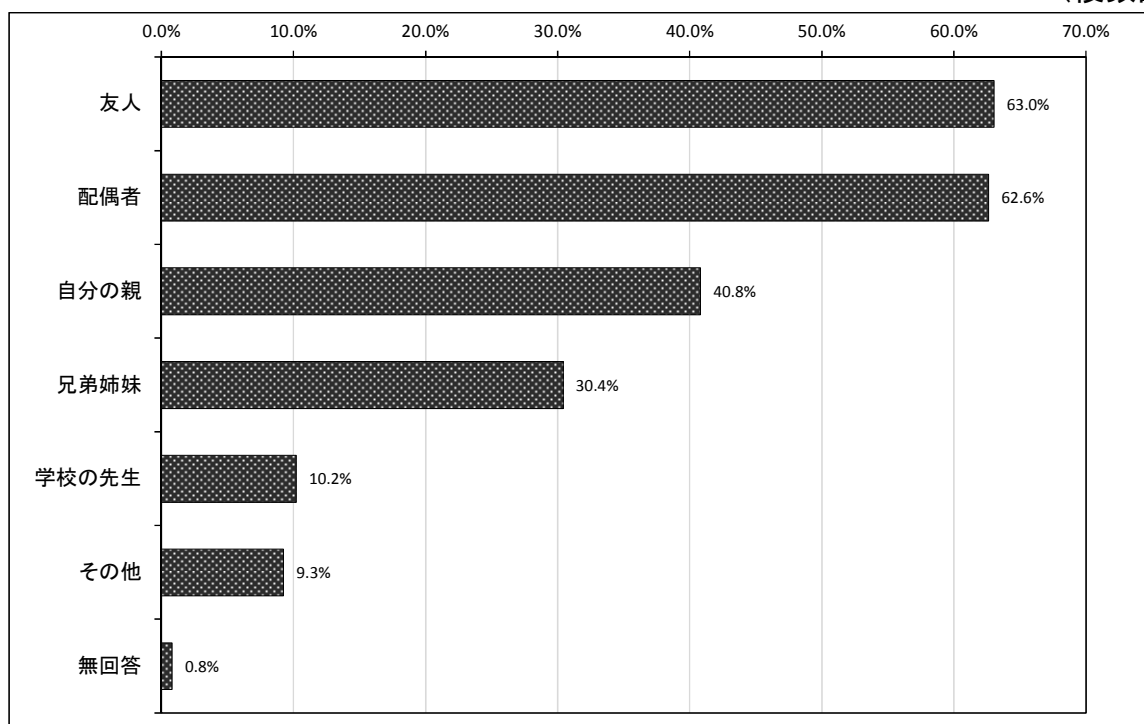
	回答数	回答割合
無回答	20	1.2%
いる	1,480	88.6%
いない	97	5.8%
わからない	73	4.4%
	1,670	100.0%

問8-1 悩みを相談できる人とは、誰ですか。

※問8で「いる」と回答した人を対象。

悩みを相談できる人とは誰かについては、「友人」が63.0%と最も高く、次いで「配偶者」が62.6%、「自分の親」が40.8%、「兄弟姉妹」が30.4%等の順であった。

(複数回答)



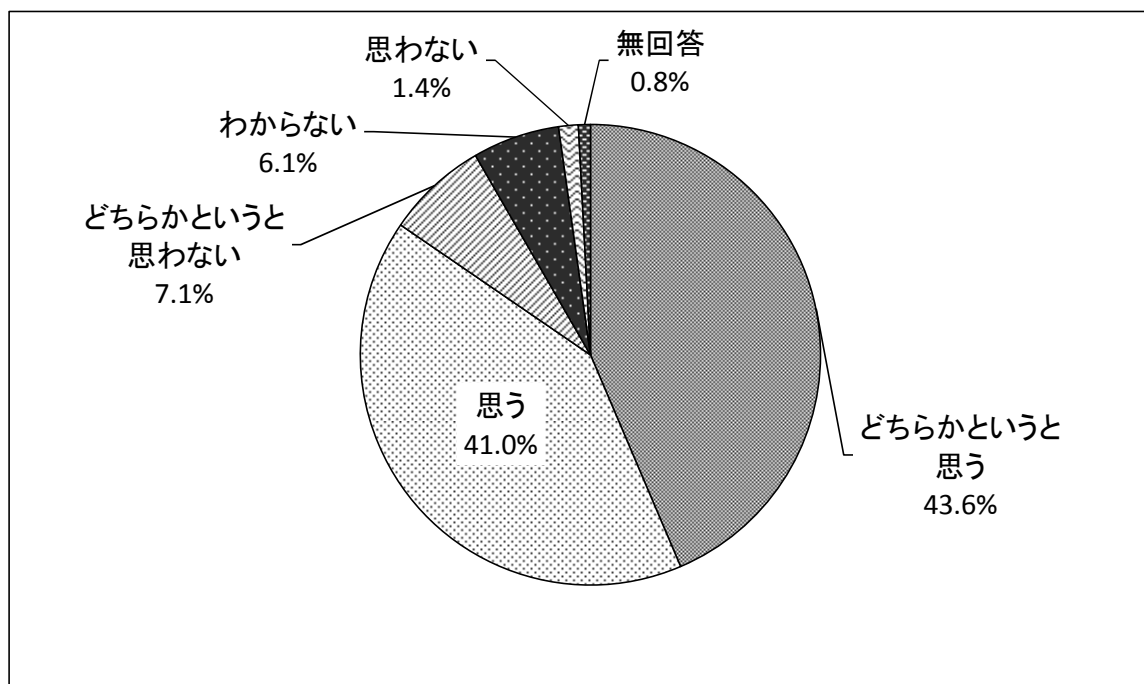
	回答数	回答割合
無回答	12	0.8%
配偶者	927	62.6%
友人	933	63.0%
兄弟姉妹	450	30.4%
学校の先生	151	10.2%
自分の親	604	40.8%
その他	137	9.3%

(その他の意見)

- 職場
- 主人の親
- 子供（上の子）
- 親戚
- 職場の先輩
- 家族
- 義姉

問9 親と子どもが性について話す機会をもつのは、必要だと思いますか。

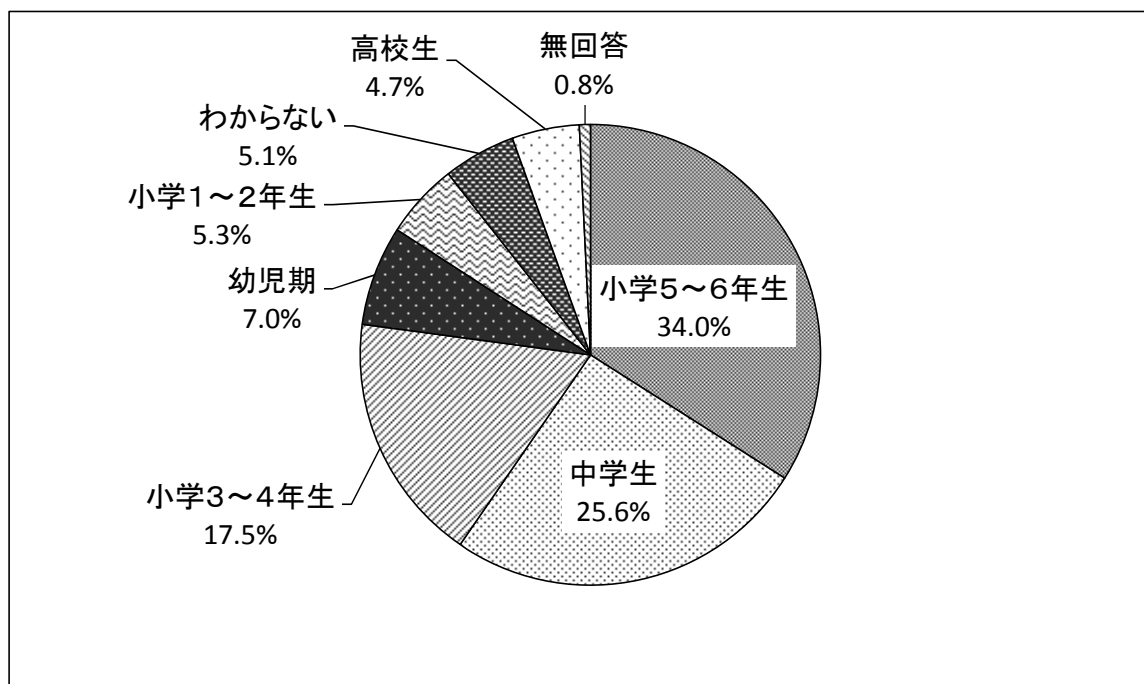
親と子どもが性について話す機会を持つのは、必要だと思うかについては、「どちらかというと思う」が43.6%と最も高く、次いで「思う」が41.0%、「どちらかというと思わない」が7.1%、「わからない」が6.1%、「思わない」が1.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	14	0.8%
思う	684	41.0%
どちらかというと思う	728	43.6%
どちらかというと思わない	119	7.1%
思わない	23	1.4%
わからない	102	6.1%
	1,670	100.0%

問10 性に関する教育は、いつごろからすると良いと思いますか。

性に関する教育は、いつごろからすると良いと思うかについては、「小学5～6年生」が34.0%と最も高く、次いで「中学生」が25.6%、「小学3～4年生」が17.5%、「幼児期」が7.0%、「小学1～2年生」が5.3%、「わからない」が5.1%、「高校生」が4.7%であった。

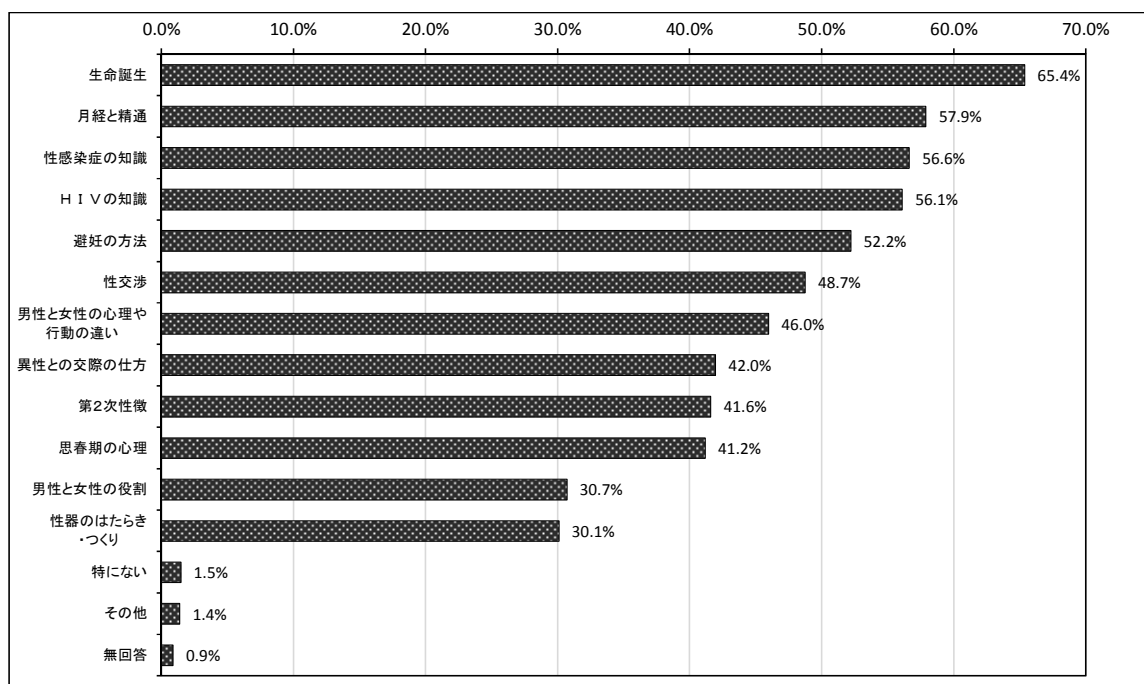


	回答数	回答割合
無回答	13	0.8%
幼児期	117	7.0%
小学1～2年生	88	5.3%
小学3～4年生	293	17.5%
小学5～6年生	568	34.0%
中学生	427	25.6%
高校生	79	4.7%
わからない	85	5.1%
	1,670	100.0%

問11 子ども達に受けて欲しい、性に関する教育の内容はなんですか。

子ども達に受けて欲しい、性に関する教育の内容は何かについては、「生命誕生」が65.4%と最も高く、次いで「月経と精通」が57.9%、「性感染症の知識」が56.6%、「HIVの知識」が56.1%、「避妊の方法」が52.2%、「性交渉」が48.7%等の順であった。

(複数回答)



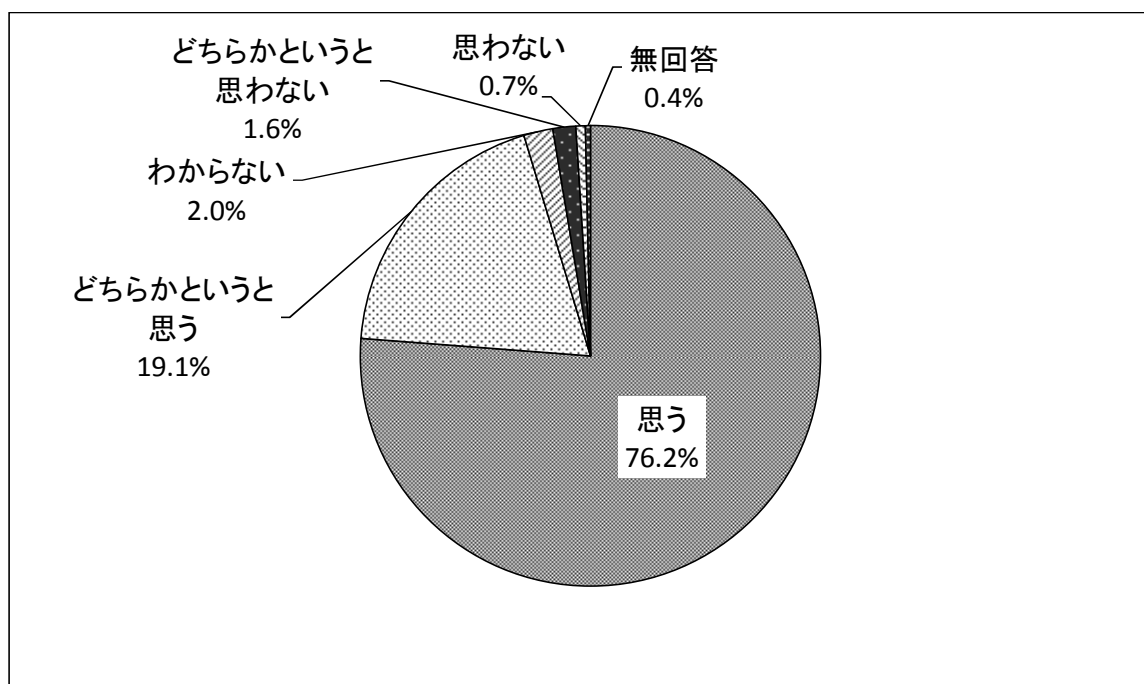
	回答数	回答割合
無回答	15	0.9%
月経と精通	967	57.9%
第2次性徴	695	41.6%
性交渉	814	48.7%
生命誕生	1,092	65.4%
性器のはたらき・つくり	503	30.1%
避妊の方法	872	52.2%
性感染症の知識	946	56.6%
HIVの知識	937	56.1%
異性との交際の仕方	701	42.0%
思春期の心理	688	41.2%
男性と女性の心理や行動の違い	768	46.0%
男性と女性の役割	513	30.7%
特にない	25	1.5%

(その他の意見)

- DV (ドメスティックバイオレンス) について (4件)
- 年齢に応じて段階を踏んだ教育 (3件)
- 生命の大切さ (2件)
- 不妊について (2件)
- 性犯罪について (2件)

問12 親と子どもが死（身近な人やペットの死）について、話す機会をもつのは必要だと思いますか。

親と子どもが死について、話す機会を持つのは必要だと思うかについては、「思う」が76.2%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」が19.1%、「わからない」が2.0%、「どちらかというと思わない」が1.6%、「思わない」が0.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	6	0.4%
思う	1,273	76.2%
どちらかというと思う	319	19.1%
どちらかというと思わない	27	1.6%
思わない	11	0.7%
わからない	34	2.0%
	1,670	100.0%

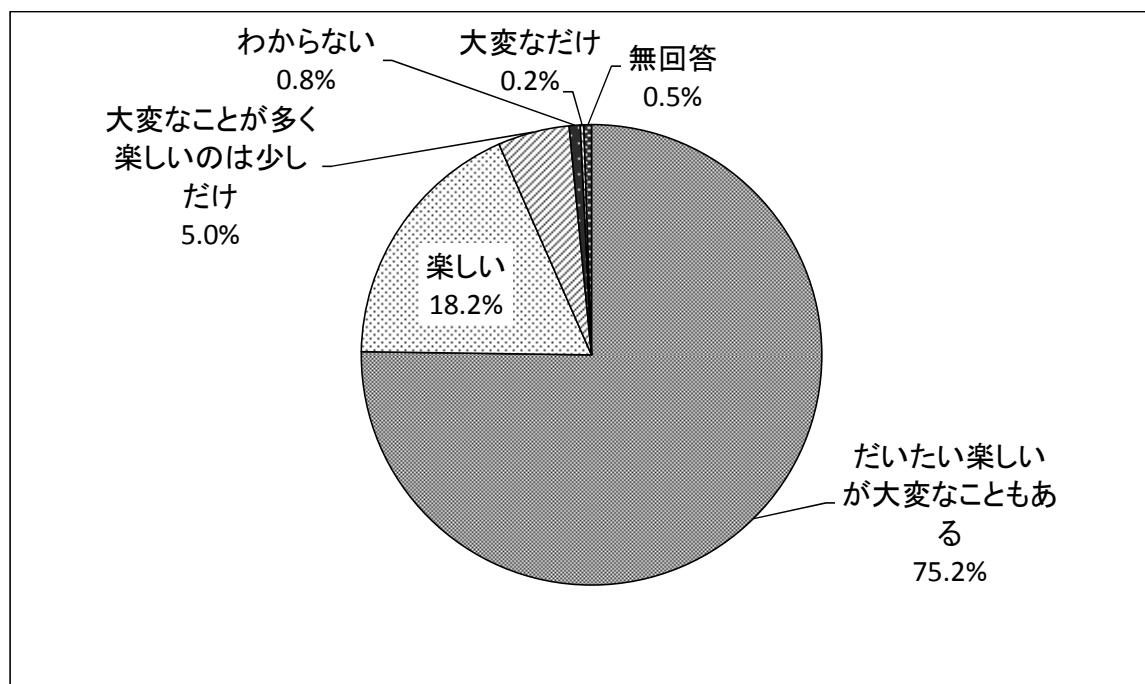
問13 子どもを育てることについて、どう思いますか。

子どもを育てることについて、どう思うかについては、「だいたい楽しいが大変なこともある」が75.2%と最も高く、次いで「楽しい」が18.2%、「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」が5.0%、「わからない」が0.8%、「大変なだけ」が0.2%であった。

(クロス集計の結果より)

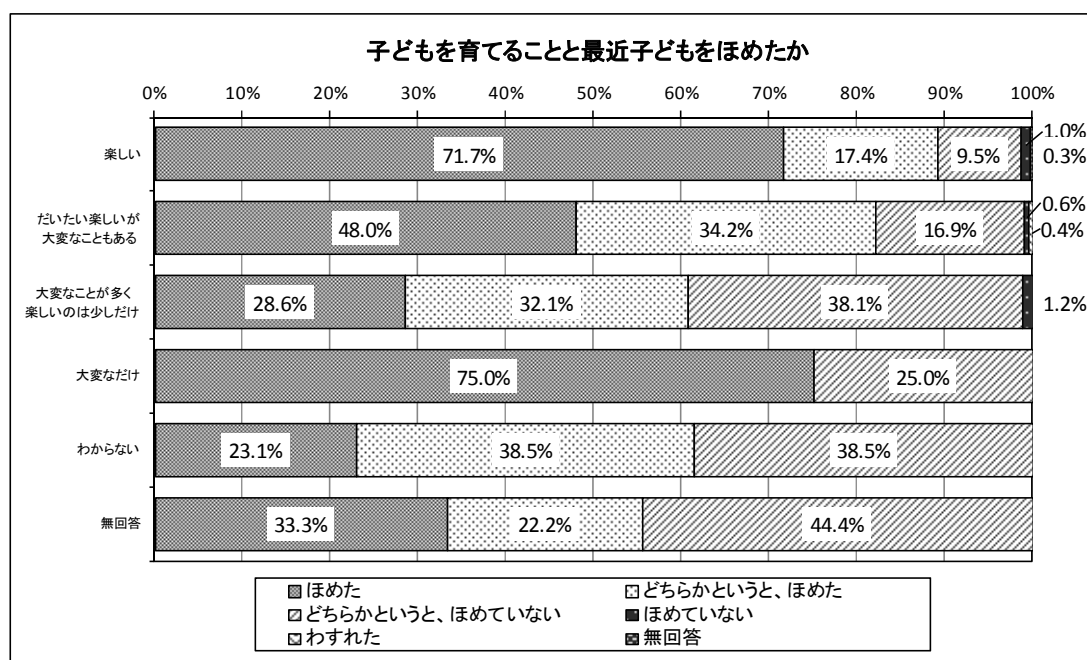
子どもを育てることを「楽しい」と回答した人は、最近子どもを「ほめた」「どちらか」といってほめた」と回答した割合が、8割以上と高く、子どもを育てることは「大変なこともある」「大変な事が多い」と「大変」と感じる人ほど、子どもをほめる機会が少ない。

また、子どもの良いところをほめる心掛けについても、同じ傾向が見られ、子どもを育てることを「楽しい」と回答した人ほど、普段から子どもの良いところをほめるよう「心がけている」「どちらか」といって、心がけている」と回答した割合が高かった。



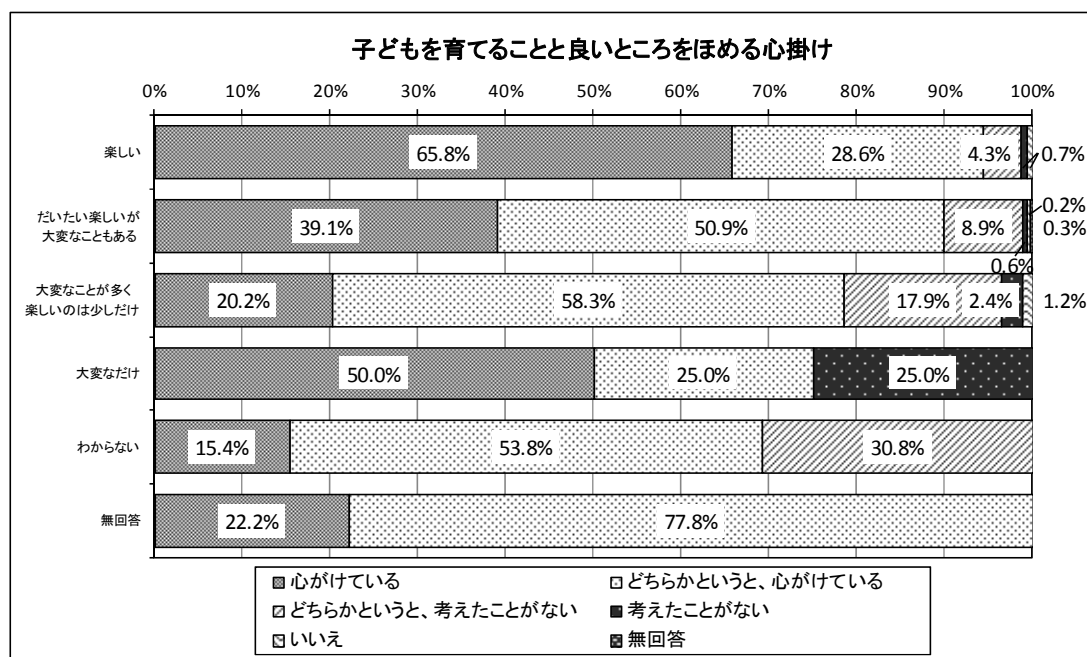
	回答数	回答割合
無回答	9	0.5%
楽しい	304	18.2%
だいたい楽しいが大変なこともある	1,256	75.2%
大変なことが多く楽しいのは少しだけ	84	5.0%
大変なだけ	4	0.2%
わからない	13	0.8%
	1,670	100.0%

■子どもを育てることと最近子どもをほめたか



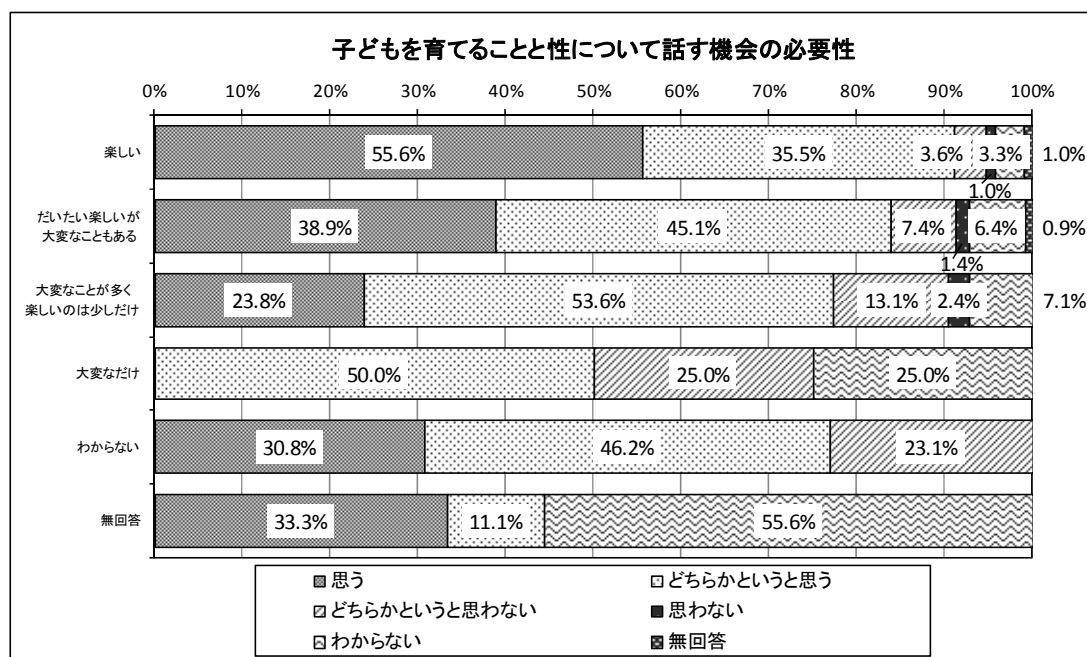
子どもを育てること	最近子どもをほめたか		サンプル数	ほめた	どちらかというと、ほめた	どちらかというと、ほめていない	ほめていない	わすれた	無回答
	上段:実数	下段:構成比(%)							
全体	1670		1670	854	516	283	11	5	1
		100.0%		51.1%	30.9%	16.9%	0.7%	0.3%	0.1%
楽しい	304		304	218	53	29	3	0	1
		100.0%		71.7%	17.4%	9.5%	1.0%	0.0%	0.3%
だいたい楽しいが大変なこともある	1256		1256	603	429	212	7	5	0
		100.0%		48.0%	34.2%	16.9%	0.6%	0.4%	0.0%
大変なことが多く楽しいのは少しだけ	84		84	24	27	32	1	0	0
		100.0%		28.6%	32.1%	38.1%	1.2%	0.0%	0.0%
大変なだけ	4		4	3	0	1	0	0	0
		100.0%		75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	13		13	3	5	5	0	0	0
		100.0%		23.1%	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9		9	3	2	4	0	0	0
		100.0%		33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%

■子どもを育てることと良いところをほめる心掛け



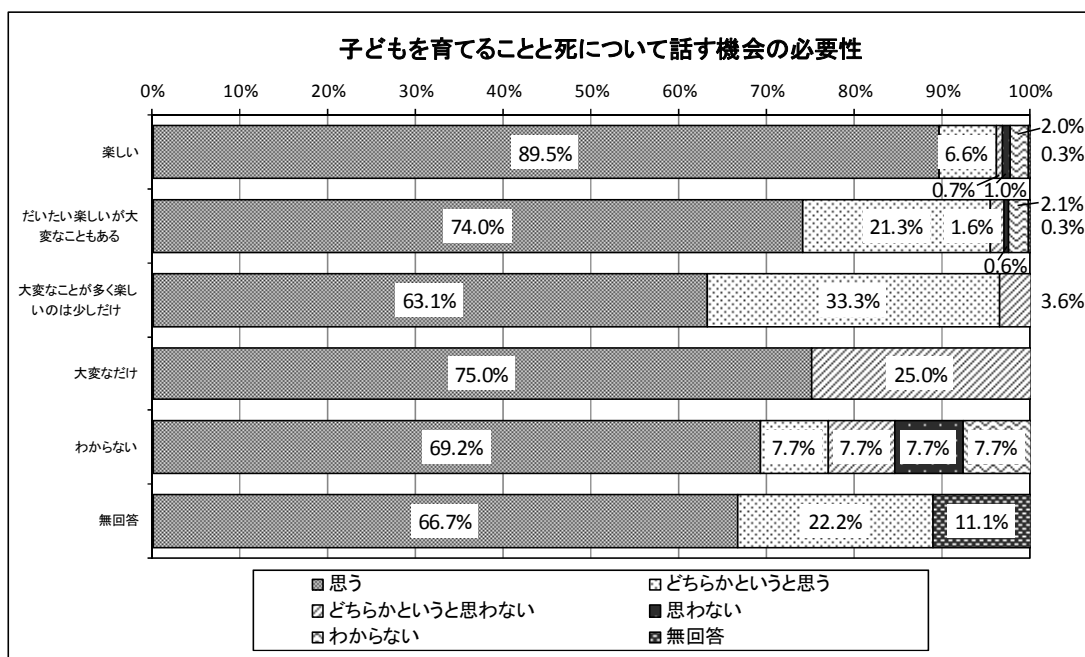
子どもを育てること 良いところをほめる心掛け	サンプル数	心がけている	どちらかというと、心がけている	どちらかというと、考えたことがない	考えたことがない	いいえ	無回答						
		上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)				
全体	1670	714	42.8%	790	47.3%	144	8.6%	12	0.7%	6	0.4%	4	0.2%
楽しい	304	200	65.8%	87	28.6%	13	4.3%	2	0.7%	2	0.7%	0	0.0%
だいたい楽しいが大変なこともある	1256	491	39.1%	639	50.9%	112	8.9%	7	0.6%	3	0.2%	4	0.3%
大変なことが多く楽しいのは少しだけ	84	17	20.2%	49	58.3%	15	17.9%	2	2.4%	1	1.2%	0	0.0%
大変なだけ	4	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	13	2	15.4%	7	53.8%	4	30.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	9	2	22.2%	7	77.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■子どもを育てることと性について話す機会の必要性



子どもを育てること	性について話す機会の必要性		思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない	無回答						
	上段:実数	下段:構成比(%)												
全体	1670	100.0%	684	41.0%	728	43.6%	119	7.1%	23	1.4%	102	6.1%	14	0.8%
楽しい	304	100.0%	169	55.6%	108	35.5%	11	3.6%	3	1.0%	10	3.3%	3	1.0%
だいたい楽しいが大変なこともある	1256	100.0%	488	38.9%	566	45.1%	93	7.4%	18	1.4%	80	6.4%	11	0.9%
大変なことが多く楽しいのは少しだけ	84	100.0%	20	23.8%	45	53.6%	11	13.1%	2	2.4%	6	7.1%	0	0.0%
大変なだけ	4	100.0%	0	0.0%	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%
わからない	13	100.0%	4	30.8%	6	46.2%	3	23.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	9	100.0%	3	33.3%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	5	55.6%	0	0.0%

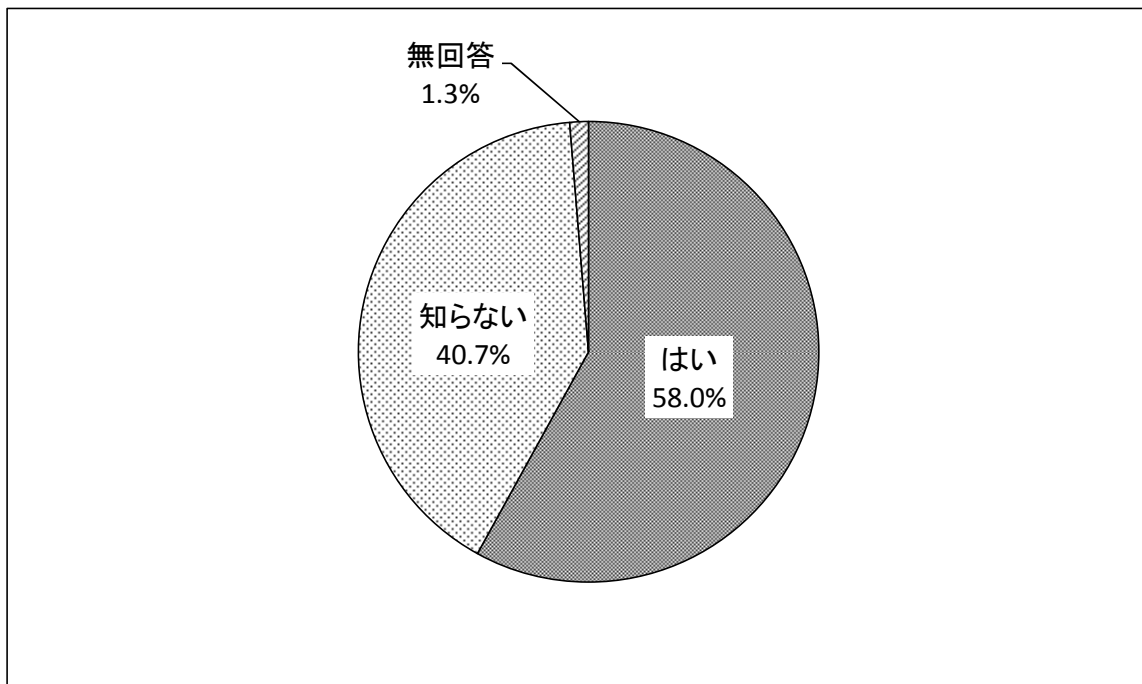
■子どもを育てることと死について話す機会の必要性



子どもを育てることと死について話す機会の必要性	サンプル数	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない	無回答						
		上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数	下段: 構成比(%)				
全体	1670	1273	76.2%	319	19.1%	27	1.6%	11	0.7%	34	2.0%	6	0.4%
楽しい	304	272	89.5%	20	6.6%	2	0.7%	3	1.0%	6	2.0%	1	0.3%
だいたい楽しいが大変なこともある	1256	930	74.0%	268	21.3%	20	1.6%	7	0.6%	27	2.1%	4	0.3%
大変なことが多く楽しいのは少しだけ	84	53	63.1%	28	33.3%	3	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大変なだけ	4	3	75.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	13	9	69.2%	1	7.7%	1	7.7%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%
無回答	9	6	66.7%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%

問14 マタニティマークを知っていますか。

マタニティマークを知っているかについては、「はい」が58.0%と高く、「知らない」は40.7%であった。

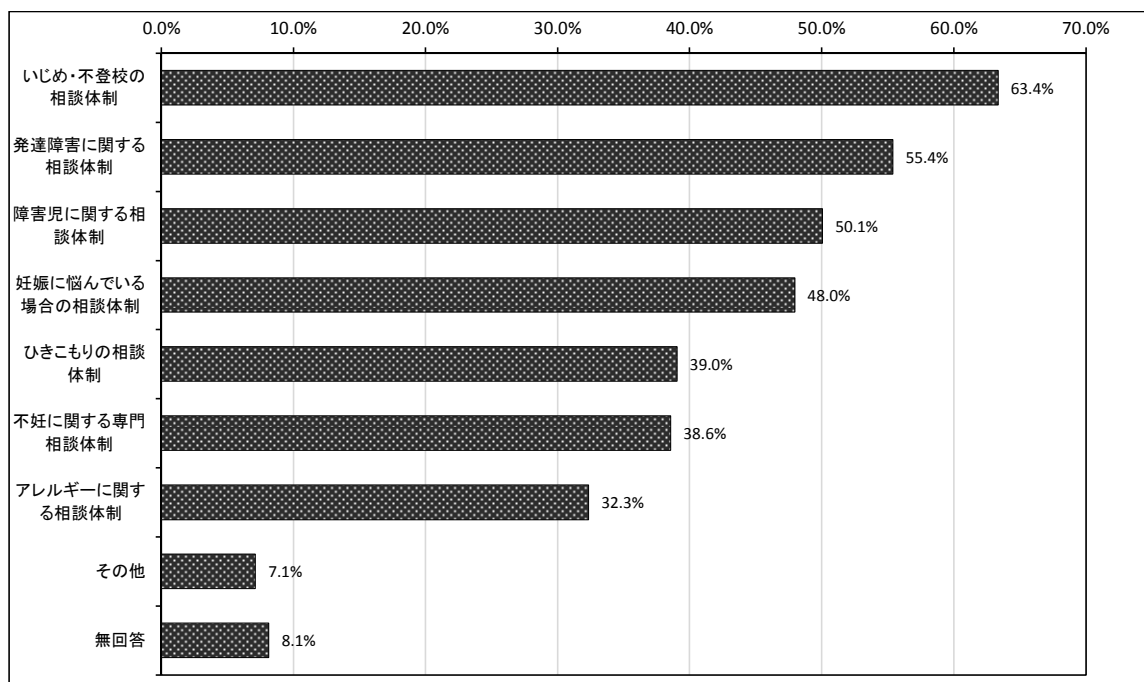


	回答数	回答割合
無回答	22	1.3%
はい	969	58.0%
知らない	679	40.7%
	1,670	100.0%

問15 子育て中の親や若い人たちが、結婚して安心して子どもを産み育てられるように、どのような相談体制を整えていくと良いと思いますか。

子育て中の親や若い人たちの相談体制については、「いじめ・不登校の相談体制」が63.4%と最も高く、次いで「発達障害に関する相談体制」が55.4%、「障害児に関する相談体制」が50.1%、「妊娠に悩んでいる場合の相談体制」が48.0%等の順であった。

(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	136	8.1%
妊娠に悩んでいる場合の相談体制	801	48.0%
不妊に関する専門相談体制	644	38.6%
障害児に関する相談体制	836	50.1%
発達障害に関する相談体制	925	55.4%
アレルギーに関する相談体制	540	32.3%
いじめ・不登校の相談体制	1,058	63.4%
ひきこもりの相談体制	652	39.0%
その他	119	7.1%

(その他の意見)

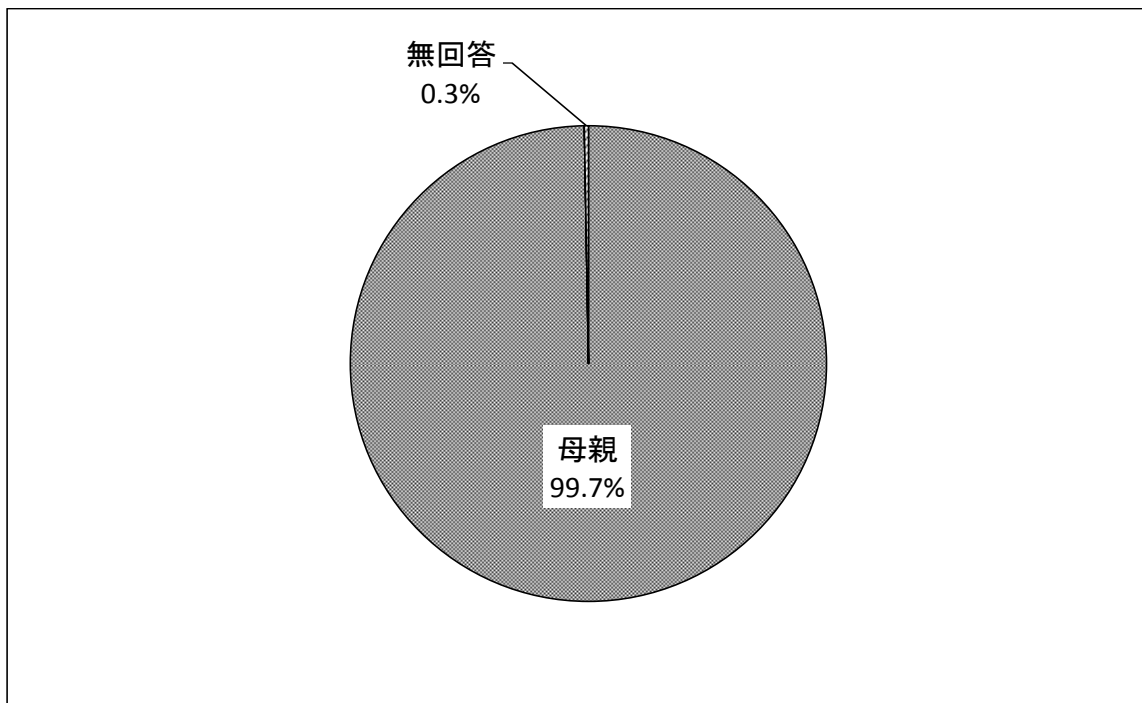
- 子育ての相談について (26件)
- 金銭面について (16件)
- 仕事について (11件)
- 保育園や子どもの預け先について (10件)
- 思春期について (2件)
- 学校の問題について (2件)
- 子供の成長について (2件)
- 結婚や離婚について (2件)

第3編

1歳6ヵ月児の保護者

問1 記入していただく方のお子さんとの続柄を教えてください。

子どもとの続柄については、「母」が99.7%であった。



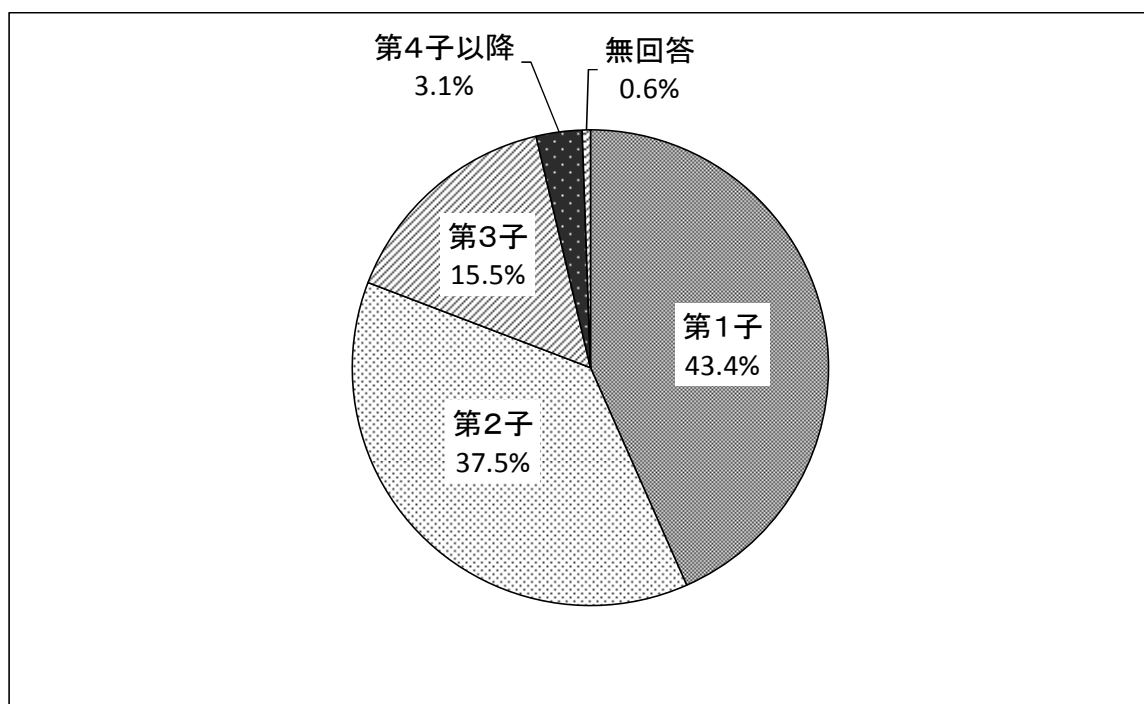
	回答数	回答割合
無回答	1	0.3%
母親	354	99.7%
父親	0	0.0%
祖父母	0	0.0%
その他	0	0.0%
	355	100.0%

問3 お子さんは何番目のお子さんですか。

お子さんは何番目のお子さんですかについては、「第1子」が43.4%と最も高く、次いで、「第2子」が37.5%、「第3子」が15.5%、「第4子以降」が3.1%であった。

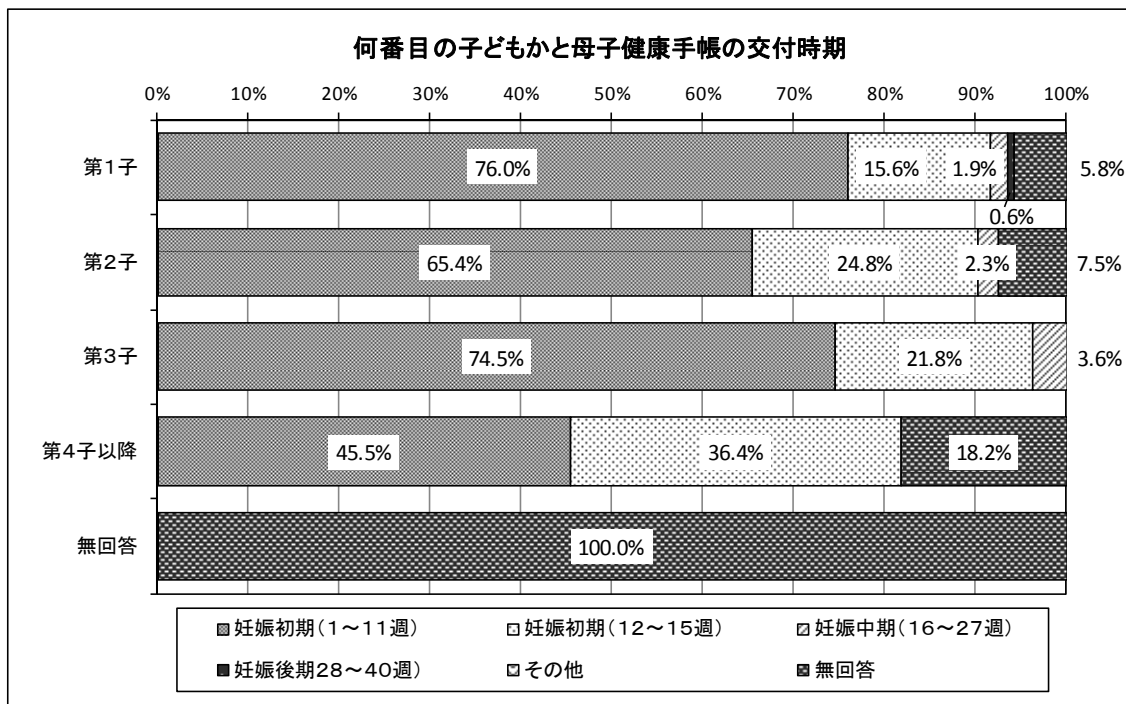
(クロス集計の結果より)

母子健康手帳の交付時期は、「第3子」までは「妊娠初期(1週～11週)」の間に受け取っている人が6割以上と高いが、「第4子以降」は4割と低くなっており、出産回数が増えるにつれて母子健康手帳の交付時期が遅くなる傾向がみられる。



	回答数	回答割合
無回答	2	0.6%
第1子	154	43.4%
第2子	133	37.5%
第3子	55	15.5%
第4子以降	11	3.1%
	355	100.0%

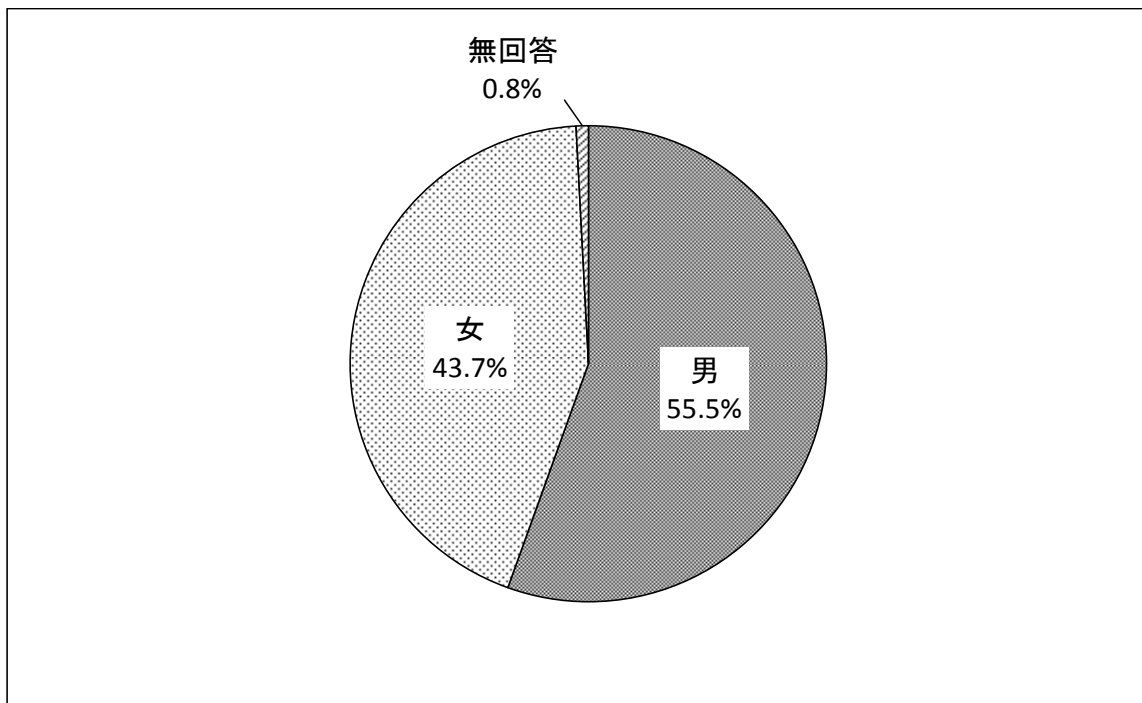
■「何番目の子どもか」と「母子健康手帳の交付時期」



何番目の子どもか	母子健康手帳の交付時期		妊娠初期(1~11週)	妊娠初期(12~15週)	妊娠中期(16~27週)	妊娠後期(28~40週)	その他	無回答
	サンプル数	構成比(%)						
全体	355	上段:実数	250	73	8	1	0	23
	100.0%	下段:構成比(%)	70.4%	20.6%	2.3%	0.3%	0.0%	6.5%
第1子	154	上段:実数	117	24	3	1	0	9
	100.0%	下段:構成比(%)	76.0%	15.6%	1.9%	0.6%	0.0%	5.8%
第2子	133	上段:実数	87	33	3	0	0	10
	100.0%	下段:構成比(%)	65.4%	24.8%	2.3%	0.0%	0.0%	7.5%
第3子	55	上段:実数	41	12	2	0	0	0
	100.0%	下段:構成比(%)	74.5%	21.8%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
第4子以降	11	上段:実数	5	4	0	0	0	2
	100.0%	下段:構成比(%)	45.5%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
無回答	2	上段:実数	0	0	0	0	0	2
	100.0%	下段:構成比(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問4 お子さんの性別を教えてください。

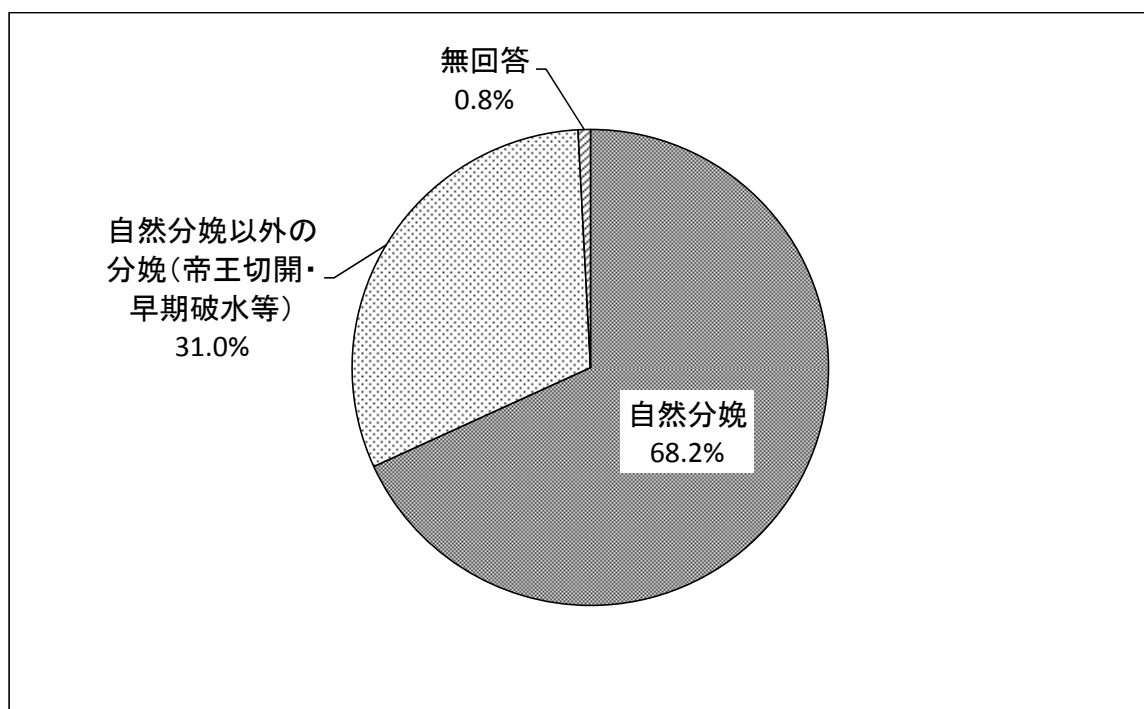
お子さんの性別については、「男」が55.5%と高く、次いで「女」が43.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	0.8%
男	197	55.5%
女	155	43.7%
	355	100.0%

問5 お子さんを出産された時の状態はどうでしたか。

お子さんを出産された時の状態については、「自然分娩」が68.2%と高く、次いで「自然分娩以外の分娩（帝王切開・早期破水等）」が31.0%であった。

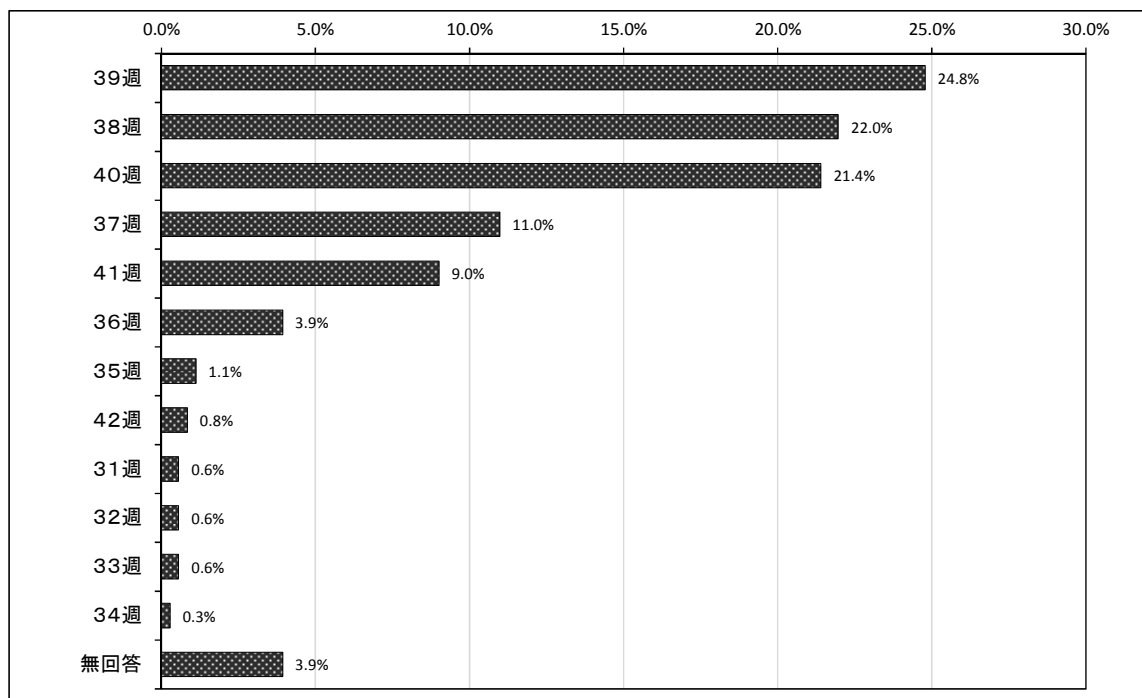


	回答数	回答割合
無回答	3	0.8%
自然分娩	242	68.2%
自然分娩以外の分娩(帝王切開・早期破水等)	110	31.0%
	355	100.0%

問6 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください。

出生時の妊娠期間については、「39週」が24.8%と最も高く、次いで「38週」が22.0%、「40週」が21.4%であった。

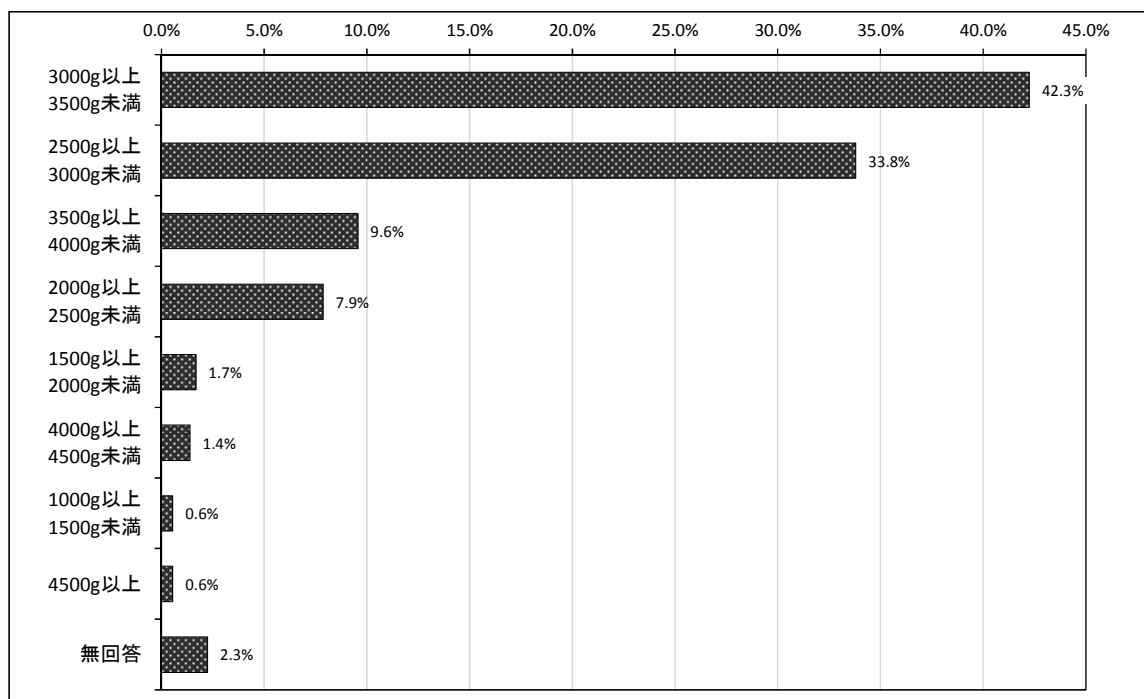
■ 出生時の妊娠期間



	回答数	回答割合
無回答	14	3.9%
31週	2	0.6%
32週	2	0.6%
33週	2	0.6%
34週	1	0.3%
35週	4	1.1%
36週	14	3.9%
37週	39	11.0%
38週	78	22.0%
39週	88	24.8%
40週	76	21.4%
41週	32	9.0%
42週	3	0.8%
	355	100.0%

体重については、「3000g以上3500g未満」が42.3%と最も高く、次いで「2500g以上3000g未満」が33.8%、「3500g以上4000g未満」が9.6%であった。

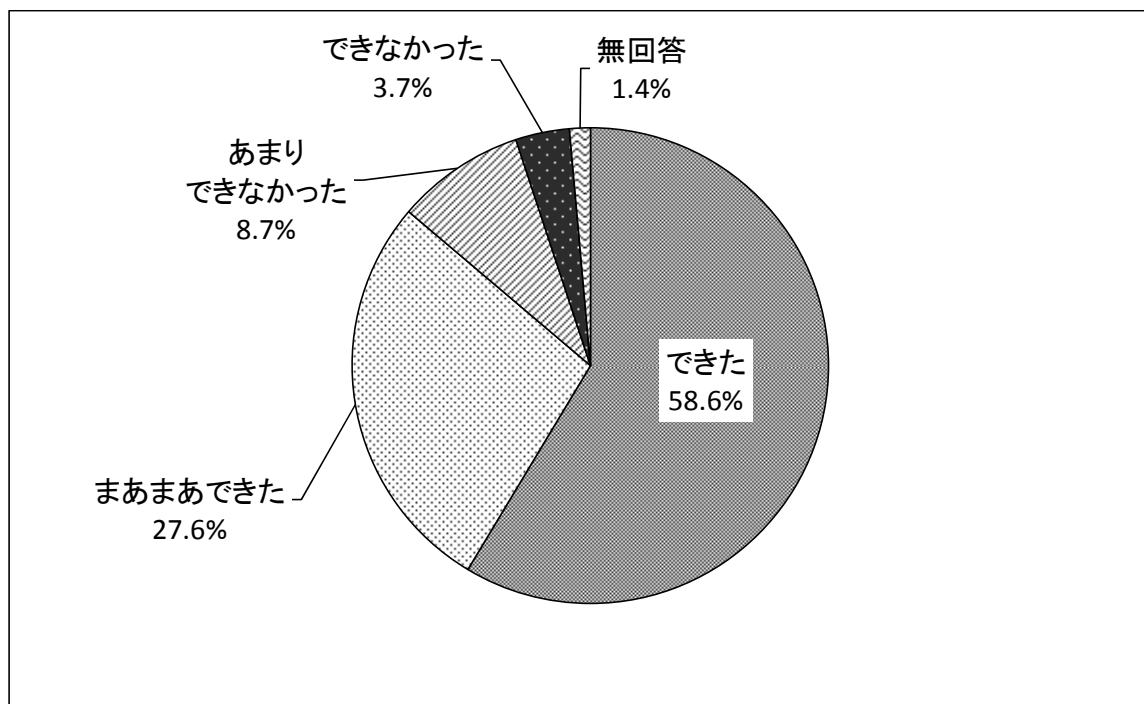
■体重



	回答数	回答割合
無回答	8	2.3%
1000g以上1500g未満	2	0.6%
1500g以上2000g未満	6	1.7%
2000g以上2500g未満	28	7.9%
2500g以上3000g未満	120	33.8%
3000g以上3500g未満	150	42.3%
3500g以上4000g未満	34	9.6%
4000g以上4500g未満	5	1.4%
4500g以上	2	0.6%
	355	100.0%

問7 自分の希望した(満足な)出産が出来ましたか。

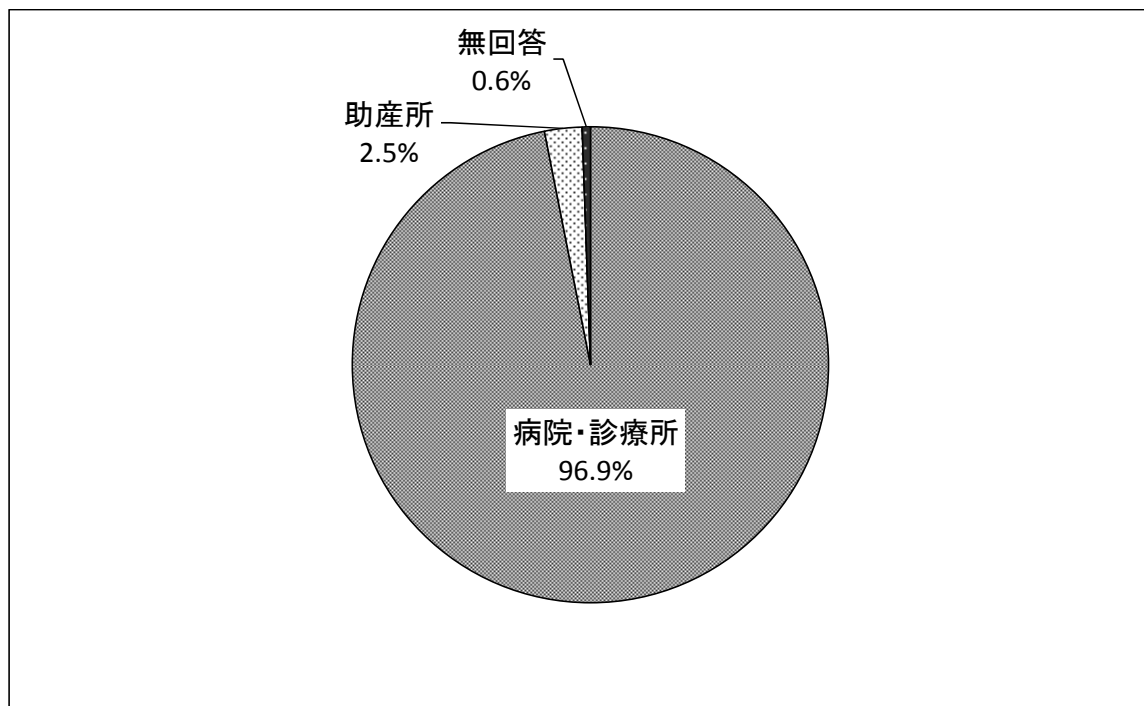
自分の希望した(満足な)出産が出来たかについては、「できた」が58.6%と最も高く、次いで「まあまあできた」が27.6%、「あまりできなかった」が8.7%、「できなかった」が3.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	5	1.4%
できた	208	58.6%
まあまあできた	98	27.6%
あまりできなかった	31	8.7%
できなかった	13	3.7%
	355	100.0%

問8 出産はどこでされましたか。

出産をどこでしたかについては「病院・診療所」が96.9%と高く、次いで「助産所」が2.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	2	0.6%
病院・診療所	344	96.9%
助産所	9	2.5%
その他	0	0.0%
	355	100.0%

問9 出産した時のお母さんの年齢はいくつでしたか。

出産した時のお母さんの年齢はいくつだったかについては、「30～34歳」が37.7%と最も高く、次いで、「25～29歳」が25.6%、「35～39歳」が23.1%、「20～24歳」が7.6%、「40歳以上」が5.4%であった。

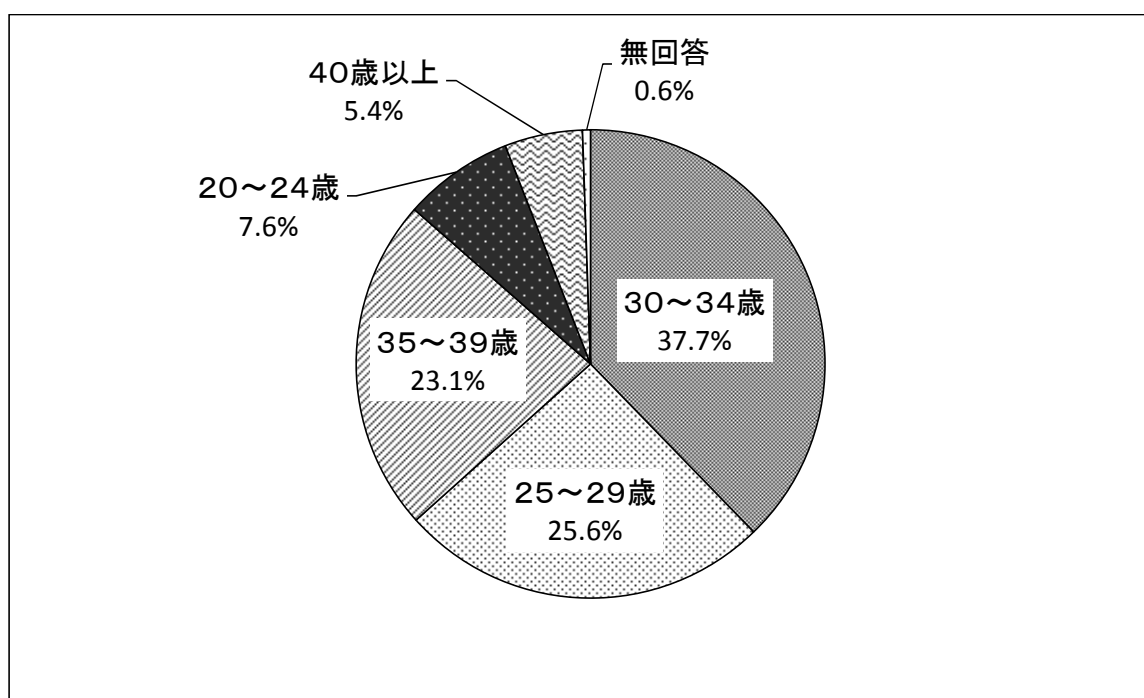
(クロス集計の結果より)

妊娠が分かったときの喫煙については、20～34歳の間で出産した人で喫煙「していた」と1割程度回答しており、年齢が上がるにつれて喫煙「していた」と答えた割合が低くなる傾向が見られる。

妊娠中に喫煙「していた」と回答した人は、20～34歳で出産した人が3.7～4.4%であった。

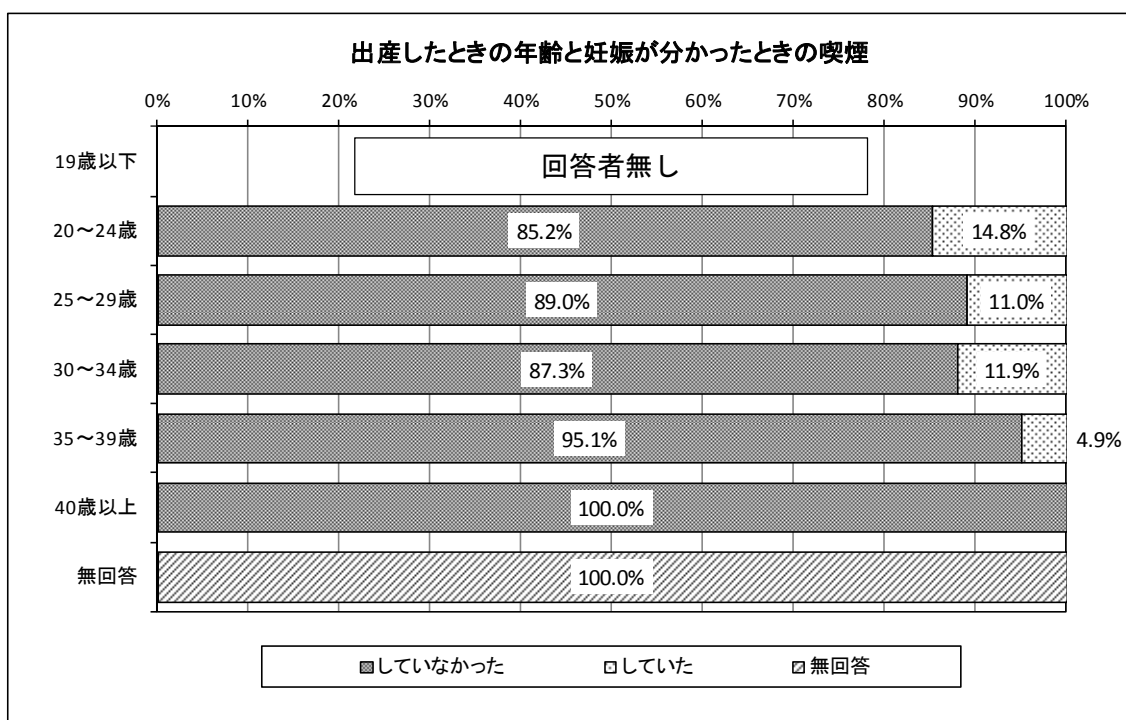
妊娠中のパートナーの喫煙については、出産した年齢が高くなるにつれて、喫煙「していなかった」と答えた割合が高くなる傾向が見られる。

子どもを虐待したと感じた事の有無については、「ある」と回答した割合は20～24歳が25.9%と最も高く、「ない」と回答した割合は35～39歳が74.4%と最も高かった。



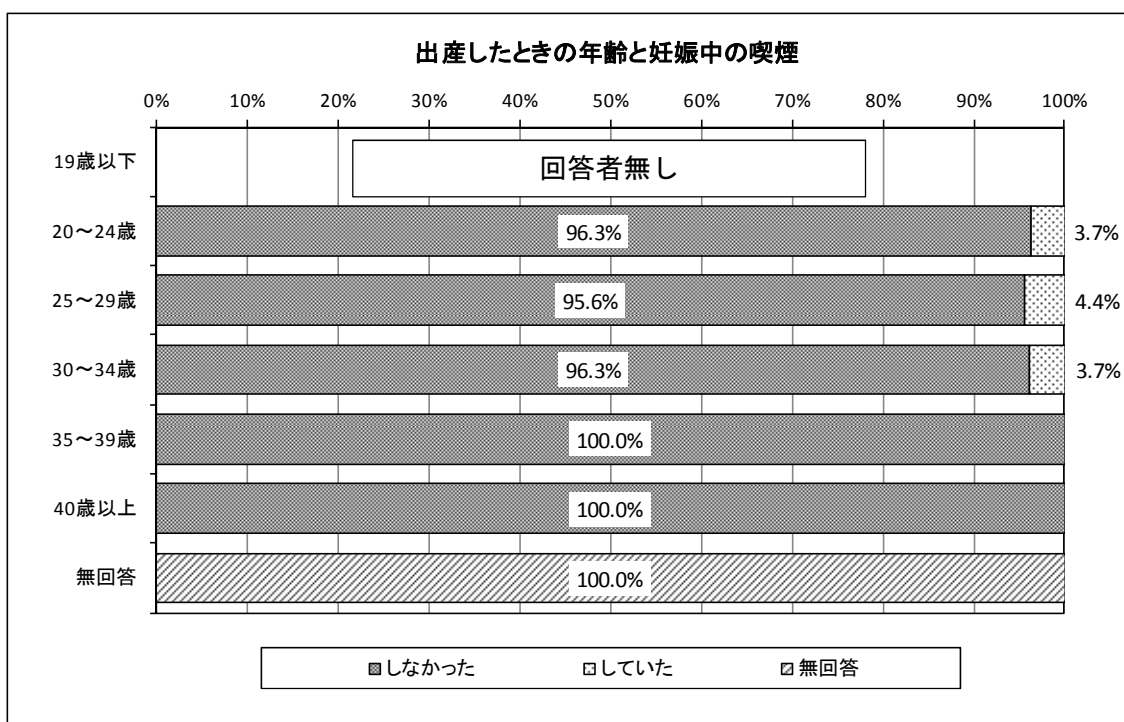
	回答数	回答割合
無回答	2	0.6%
19歳以下	0	0.0%
20～24歳	27	7.6%
25～29歳	91	25.6%
30～34歳	134	37.7%
35～39歳	82	23.1%
40歳以上	19	5.4%
	355	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「妊娠が分かった時の喫煙」



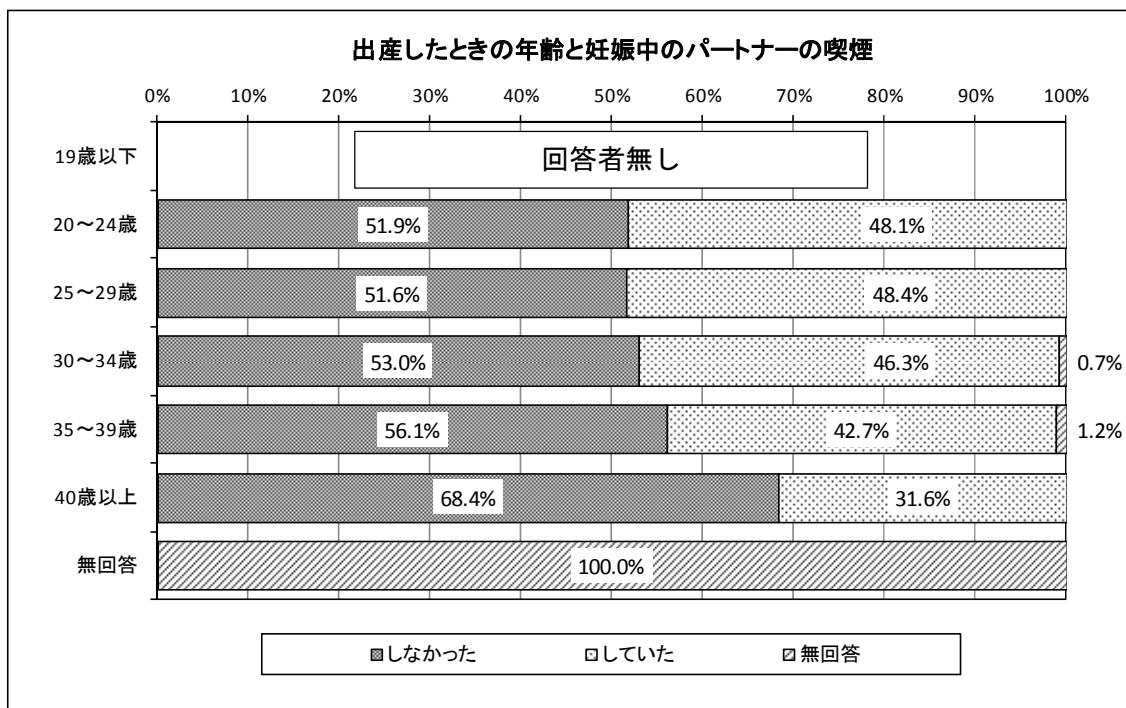
出産したときの年齢	妊娠が分かったときの喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	355	318	34	3
	100.0%	89.6%	9.6%	0.8%
19歳以下	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20~24歳	27	23	4	0
	100.0%	85.2%	14.8%	0.0%
25~29歳	91	81	10	0
	100.0%	89.0%	11.0%	0.0%
30~34歳	134	117	16	1
	100.0%	87.3%	11.9%	0.7%
35~39歳	82	78	4	0
	100.0%	95.1%	4.9%	0.0%
40歳以上	19	19	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「妊娠中の喫煙」



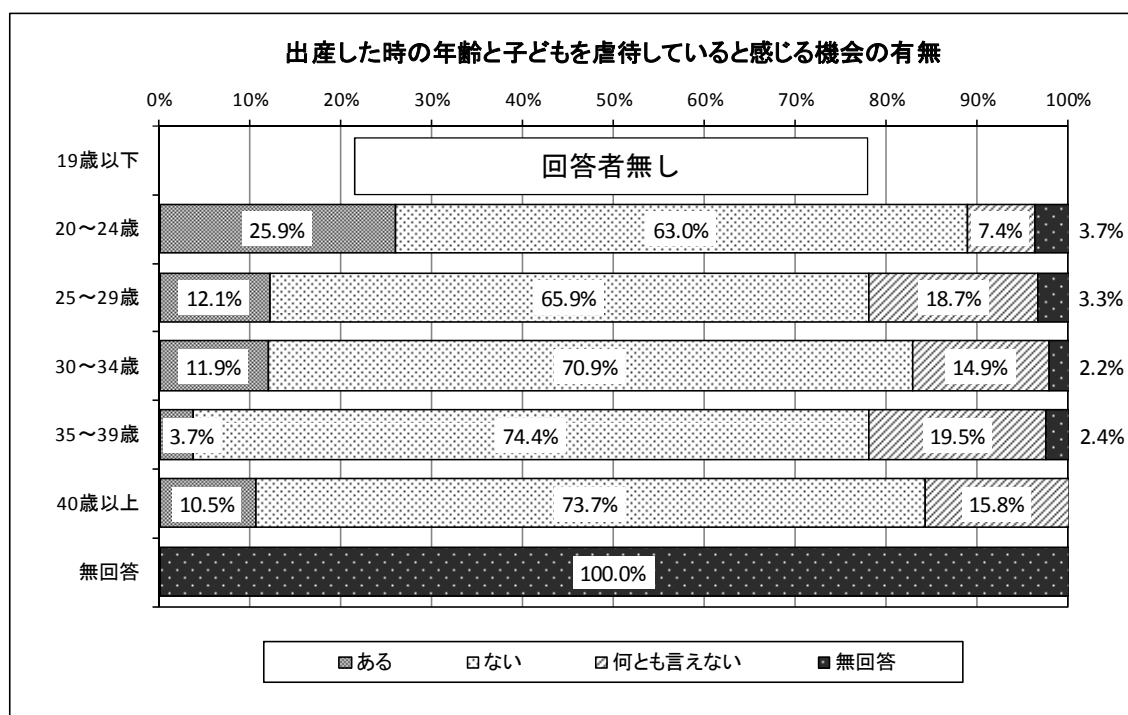
出産したときの年齢	妊娠中の喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
	上段: 実数			
	下段: 構成比 (%)			
全体	355	343	10	2
	100.0%	96.6%	2.8%	0.6%
19歳以下	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20~24歳	27	26	1	0
	100.0%	96.3%	3.7%	0.0%
25~29歳	91	87	4	0
	100.0%	95.6%	4.4%	0.0%
30~34歳	134	129	5	0
	100.0%	96.3%	3.7%	0.0%
35~39歳	82	82	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
40歳以上	19	19	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「妊娠中のパートナーの喫煙」



出産したときの年齢	妊娠中のパートナーの喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	355	191	160	4
	100.0%	53.8%	45.1%	1.1%
19歳以下	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20~24歳	27	14	13	0
	100.0%	51.9%	48.1%	0.0%
25~29歳	91	47	44	0
	100.0%	51.6%	48.4%	0.0%
30~34歳	134	71	62	1
	100.0%	53.0%	46.3%	0.7%
35~39歳	82	46	35	1
	100.0%	56.1%	42.7%	1.2%
40歳以上	19	13	6	0
	100.0%	68.4%	31.6%	0.0%
無回答	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「子どもを虐待していると感じる機会の有無」



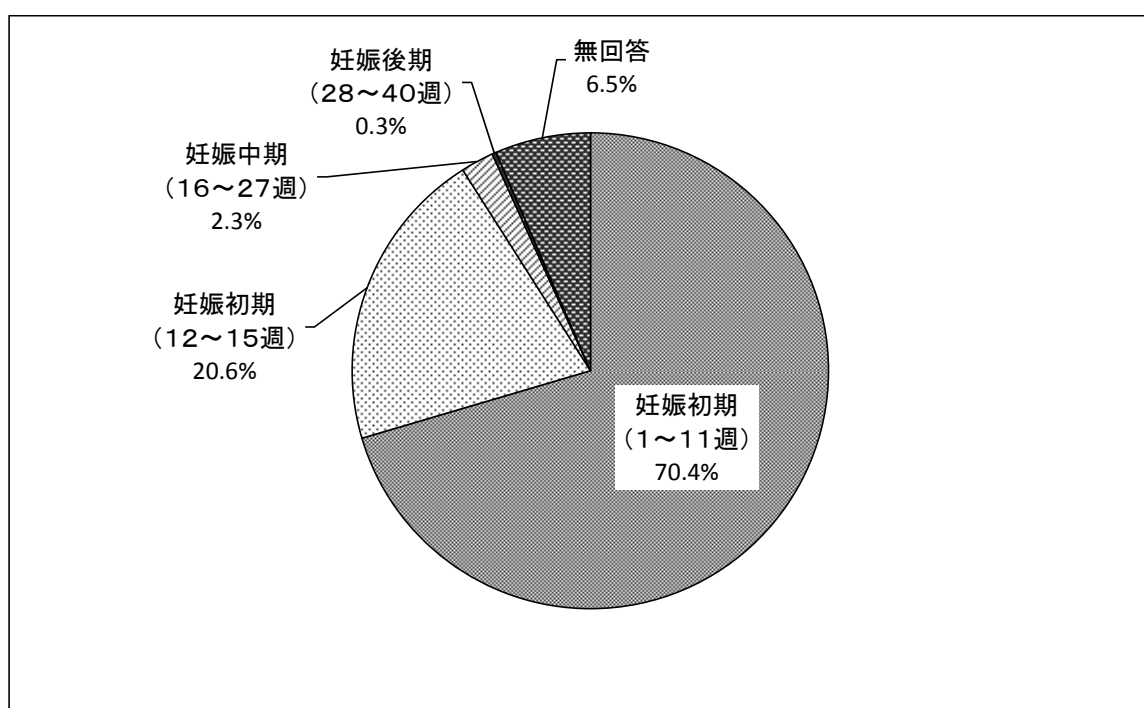
出産したときの年齢	子どもを虐待していると感じる機会の有無	サンプル数	ある	ない	何とも言えない	無回答
			上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数	下段: 構成比(%)
全体		355	39	247	58	11
		100.0%	11.0%	69.6%	16.3%	3.1%
19歳以下		0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20~24歳		27	7	17	2	1
		100.0%	25.9%	63.0%	7.4%	3.7%
25~29歳		91	11	60	17	3
		100.0%	12.1%	65.9%	18.7%	3.3%
30~34歳		134	16	95	20	3
		100.0%	11.9%	70.9%	14.9%	2.2%
35~39歳		82	3	61	16	2
		100.0%	3.7%	74.4%	19.5%	2.4%
40歳以上		19	2	14	3	0
		100.0%	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%
無回答		2	0	0	0	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問10 母子健康手帳の交付を受けたのは、いつごろでしたか。

母子健康手帳の交付を受けたのは、いつごろだったかについては、「妊娠初期（1～11週）」が70.4%と最も高く、次いで、「妊娠初期（12～15週）」が20.6%、「妊娠中期（16～27週）」が2.3%、「妊娠後期（28～40週）」が0.3%であった。

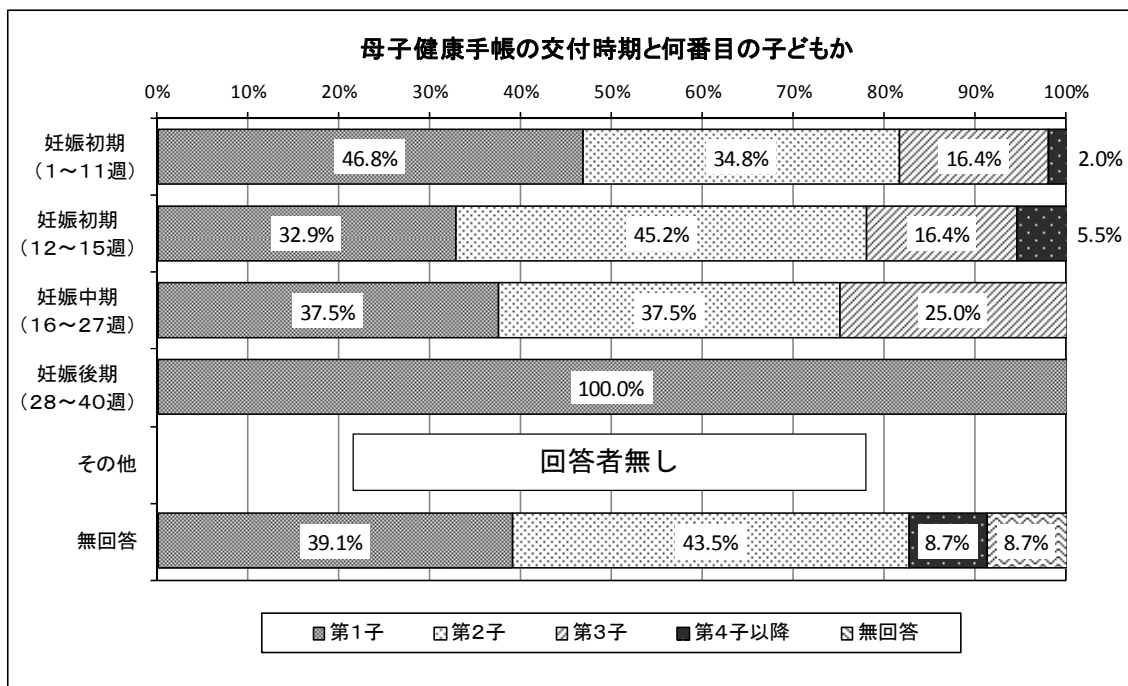
（クロス集計の結果より）

子どもを虐待していると感じる機会の有無については、妊娠初期（1～15週）に交付を受けた人では「ない」が6～7割以上と高く、妊娠中期に交付を受けた人では「何とも言えない」が5割となっている。



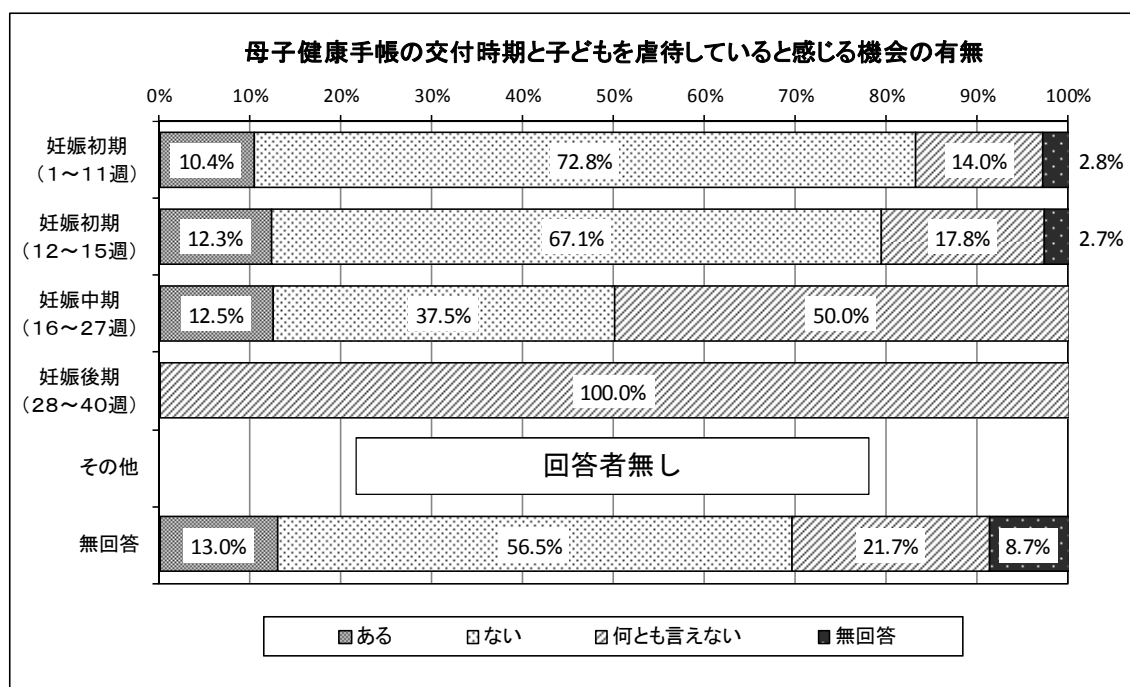
	回答数	回答割合
無回答	23	6.5%
妊娠初期(1～11週)	250	70.4%
妊娠初期(12～15週)	73	20.6%
妊娠中期(16～27週)	8	2.3%
妊娠後期(28～40週)	1	0.3%
その他	0	0.0%
	355	100.0%

■ 「母子健康手帳の交付時期」と「何番目の子どもか」



母子健康手帳の交付時期	何番目の子どもか	サンプル数	第1子	第2子	第3子	第4子以降	無回答
			上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数
全体		355	154	133	55	11	2
		100.0%	43.4%	37.5%	15.5%	3.1%	0.6%
妊娠初期(1~11週)		250	117	87	41	5	0
		100.0%	46.8%	34.8%	16.4%	2.0%	0.0%
妊娠初期(12~15週)		73	24	33	12	4	0
		100.0%	32.9%	45.2%	16.4%	5.5%	0.0%
妊娠中期(16~27週)		8	3	3	2	0	0
		100.0%	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%
妊娠後期(28~40週)		1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答		23	9	10	0	2	2
		100.0%	39.1%	43.5%	0.0%	8.7%	8.7%

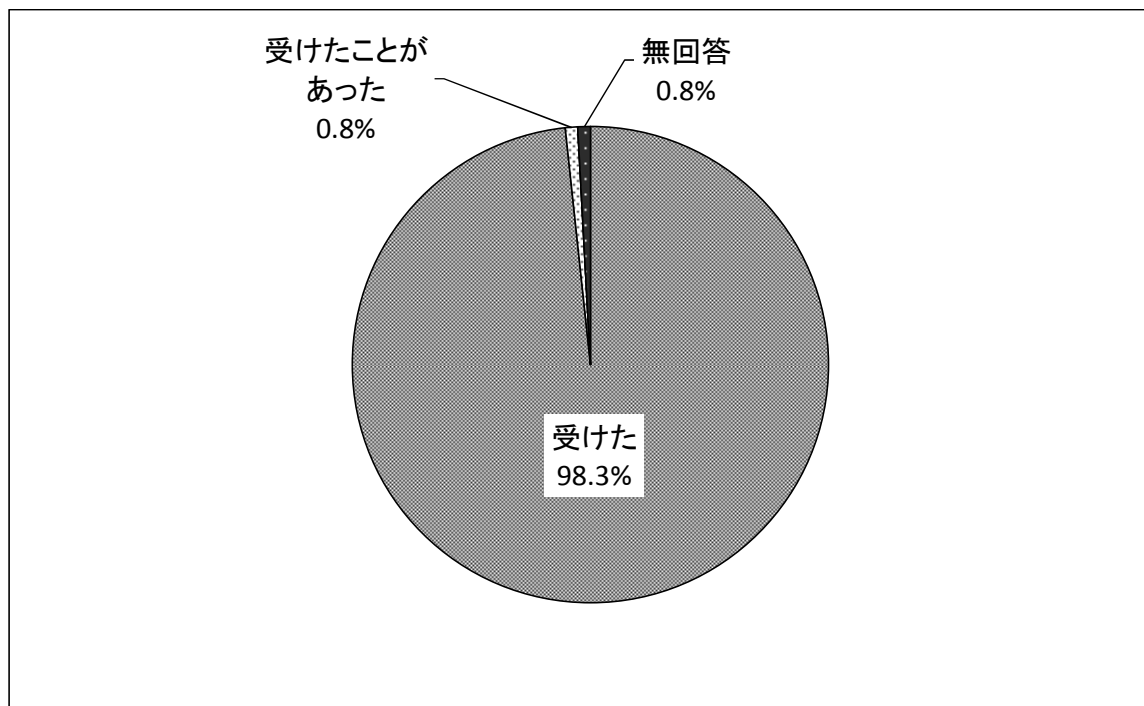
■ 「母子健康手帳の交付時期」と「子どもを虐待していると感じる機会の有無」



母子健康手帳の交付時期	子どもを虐待していると感じる機会の有無	サンプル数	ある	ない	何とも言えない	無回答
			上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)
全体		355	39	247	58	11
		100.0%	11.0%	69.6%	16.3%	3.1%
妊娠初期(1~11週)		250	26	182	35	7
		100.0%	10.4%	72.8%	14.0%	2.8%
妊娠初期(12~15週)		73	9	49	13	2
		100.0%	12.3%	67.1%	17.8%	2.7%
妊娠中期(16~27週)		8	1	3	4	0
		100.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%
妊娠後期(28~40週)		1	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他		0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答		23	3	13	5	2
		100.0%	13.0%	56.5%	21.7%	8.7%

問11 妊娠中、定期的に健診を受けましたか。

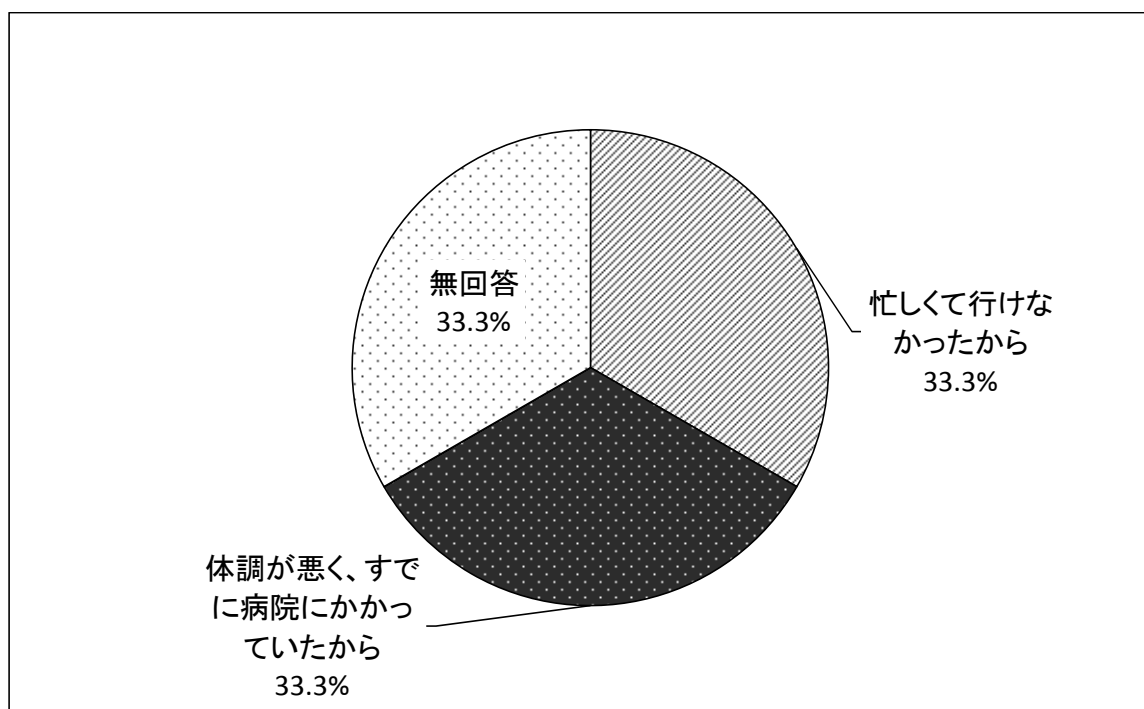
妊娠中、定期的に健診を受けたかについては、「受けた」が98.3%と高く、次いで「受けたことがあった」が0.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	0.8%
受けた	349	98.3%
受けたことがあった	3	0.8%
まったく受けなかった	0	0.0%
	355	100.0%

問11-1 健診を受けなかった理由はなんですか。

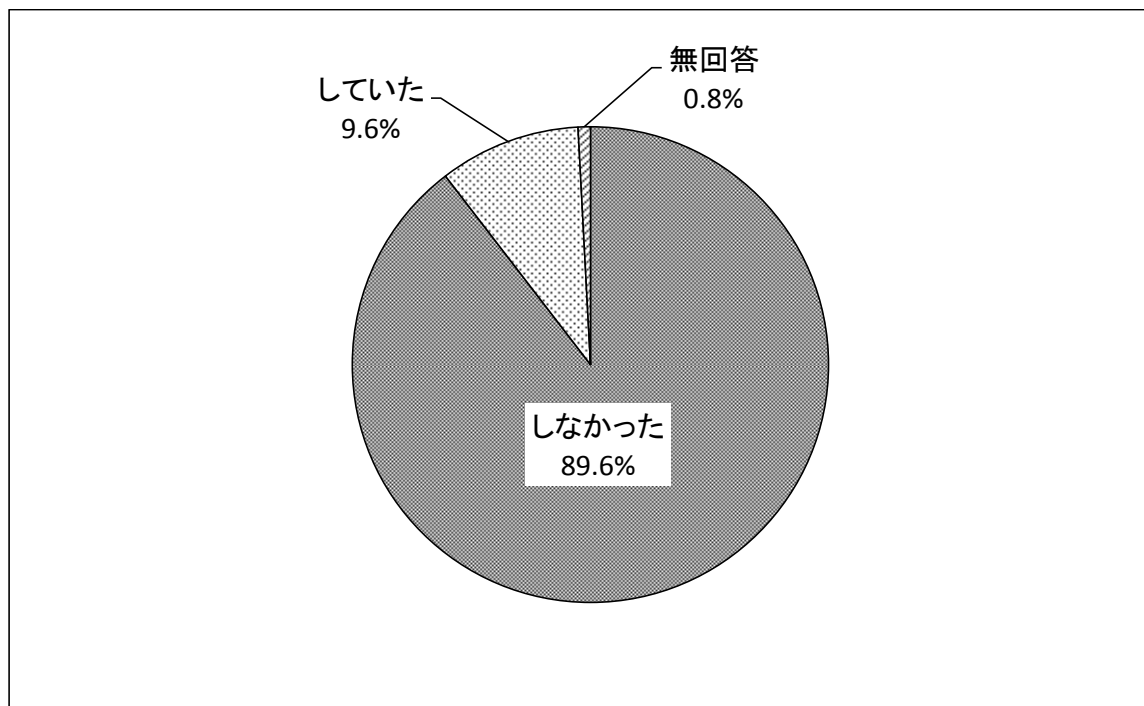
健診を受けなかった理由については、「忙しくて行けなかったから」と、「体調が悪く、すでに病院にかかっていたから」が33.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	1	33.3%
必要ないと思ったから	0	0.0%
身近なところに無かったから	0	0.0%
忙しくて行けなかったから	1	33.3%
体調が悪く、すでに病院にかかっていたから	1	33.3%
経済的な理由で行けなかったから	0	0.0%
その他	0	0.0%
	3	100.0%

問12 妊娠していると分かった時、あなた（お母さん）は喫煙していましたか。

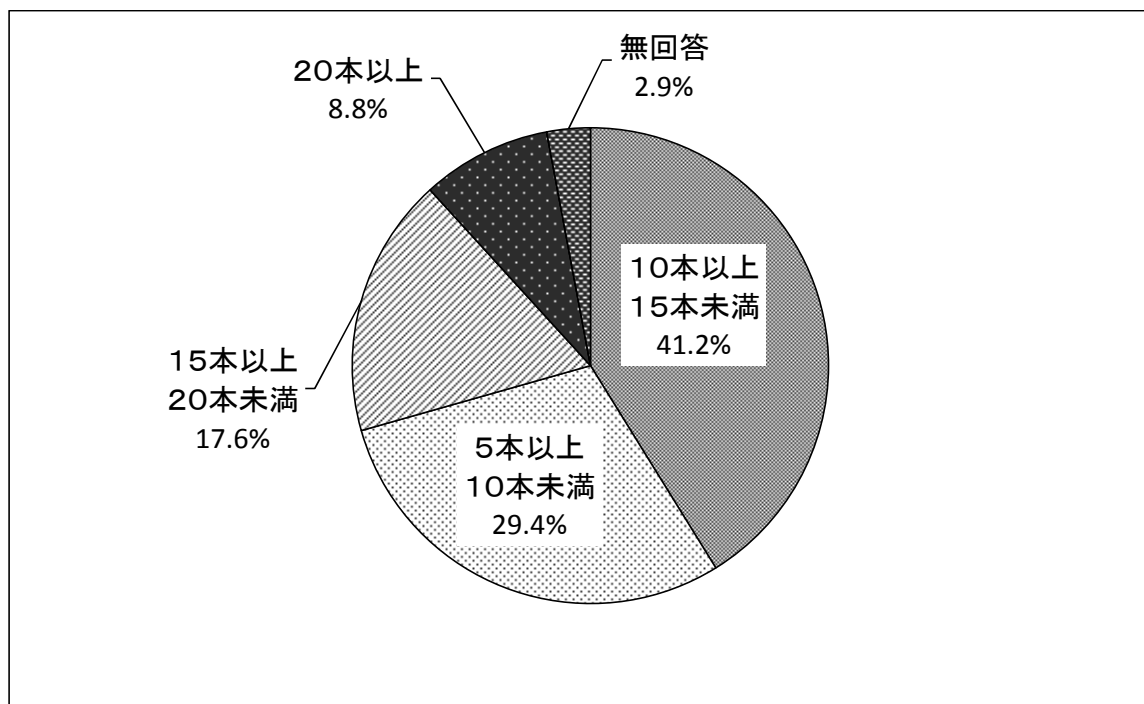
妊娠していると分かった時、お母さんは喫煙していたかについては、「しなかった」が89.6%と高く、次いで「していた」が9.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	0.8%
しなかった	318	89.6%
していた	34	9.6%
	355	100.0%

※問12で、妊娠していると分かった時、喫煙を「していた」と回答した人を対象。

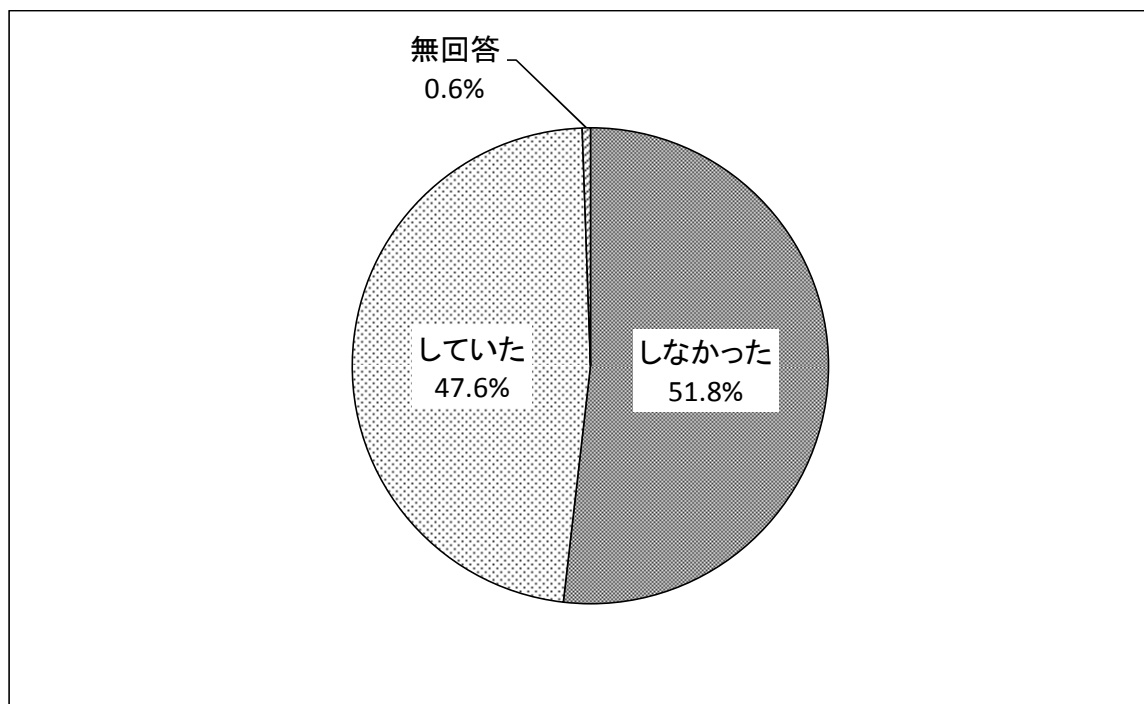
1日の喫煙本数については、「10本以上15本未満」が41.2%と最も高く、次いで、「5本以上10本未満」が29.4%、「15本以上20本未満」が17.6%、「20本以上」が8.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	1	2.9%
1本以上5本未満	0	0.0%
5本以上10本未満	10	29.4%
10本以上15本未満	14	41.2%
15本以上20本未満	6	17.6%
20本以上	3	8.8%
	34	100.0%

問13 あなた（お母さん）が妊娠していると分かったとき、夫・パートナー（お父さん）は喫煙していましたか。

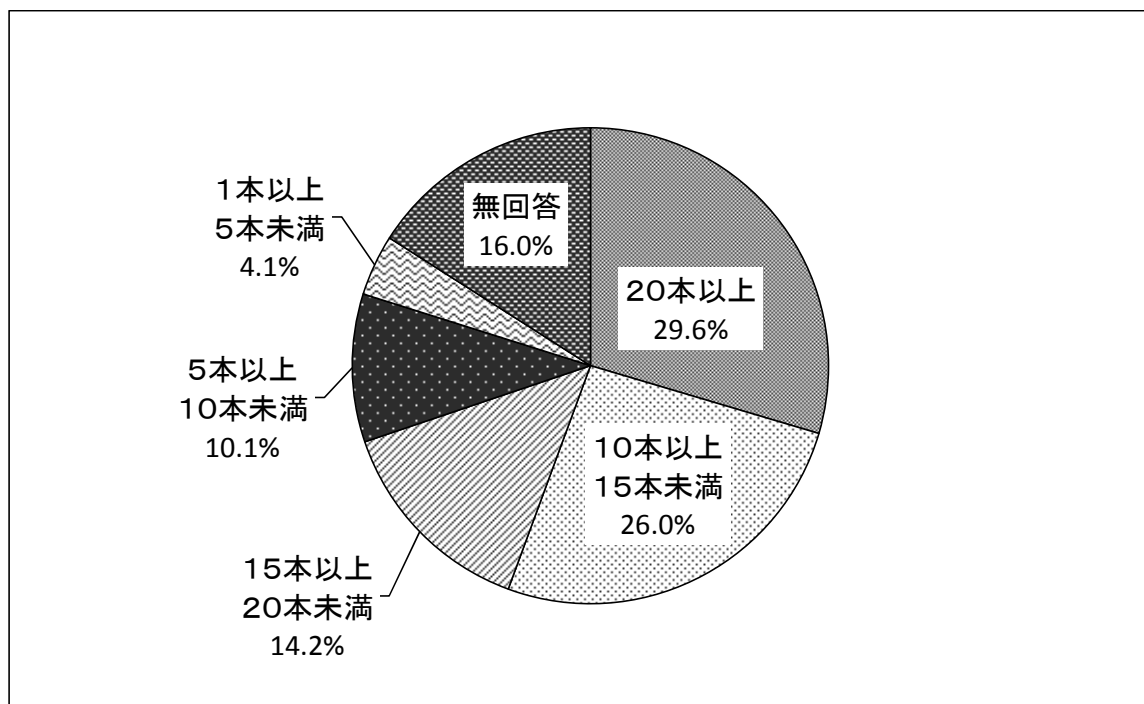
お母さんが妊娠していると分かったとき、夫・パートナーは喫煙していたかについては、「しなかった」が51.8%と高く、次いで「していた」が47.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	2	0.6%
しなかった	184	51.8%
していた	169	47.6%
	355	100.0%

※問13で、お母さんが妊娠していると分かったとき、夫・パートナーは喫煙を「していた」と回答した人を対象。

1日の喫煙本数については、「20本以上」が29.6%と最も高く、次いで、「10本以上15本未満」が26.0%、「15本以上20本未満」が14.2%、「5本以上10本未満」が10.1%、「1本以上5本未満」が4.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	27	16.0%
1本以上5本未満	7	4.1%
5本以上10本未満	17	10.1%
10本以上15本未満	44	26.0%
15本以上20本未満	24	14.2%
20本以上	50	29.6%
	169	100.0%

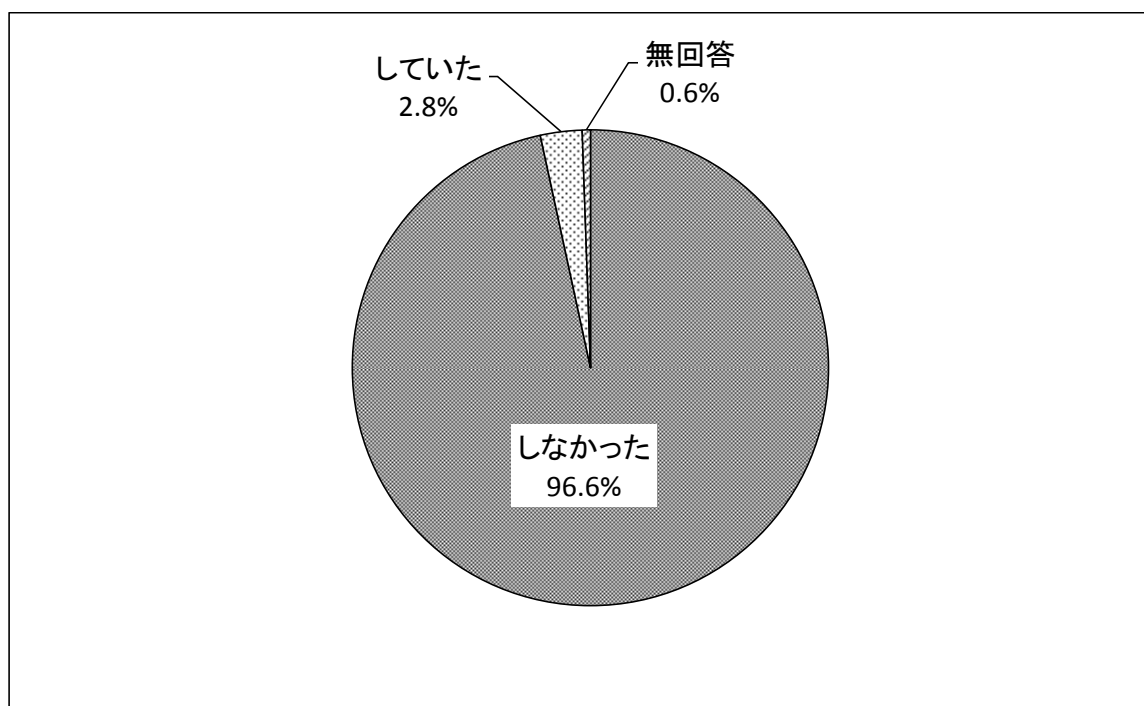
問14 妊娠中にあなた（お母さん）は、喫煙していましたか。

妊娠中にお母さんは喫煙していたかについては、「しなかった」が96.6%と高く、次いで「していた」が2.8%であった。

妊娠が分かった時に喫煙「していた」と回答した人が34人だったのに対して、妊娠中の喫煙者は10人と減少しており、妊娠を機に喫煙をやめている傾向がみられる。

(クロス集計の結果より)

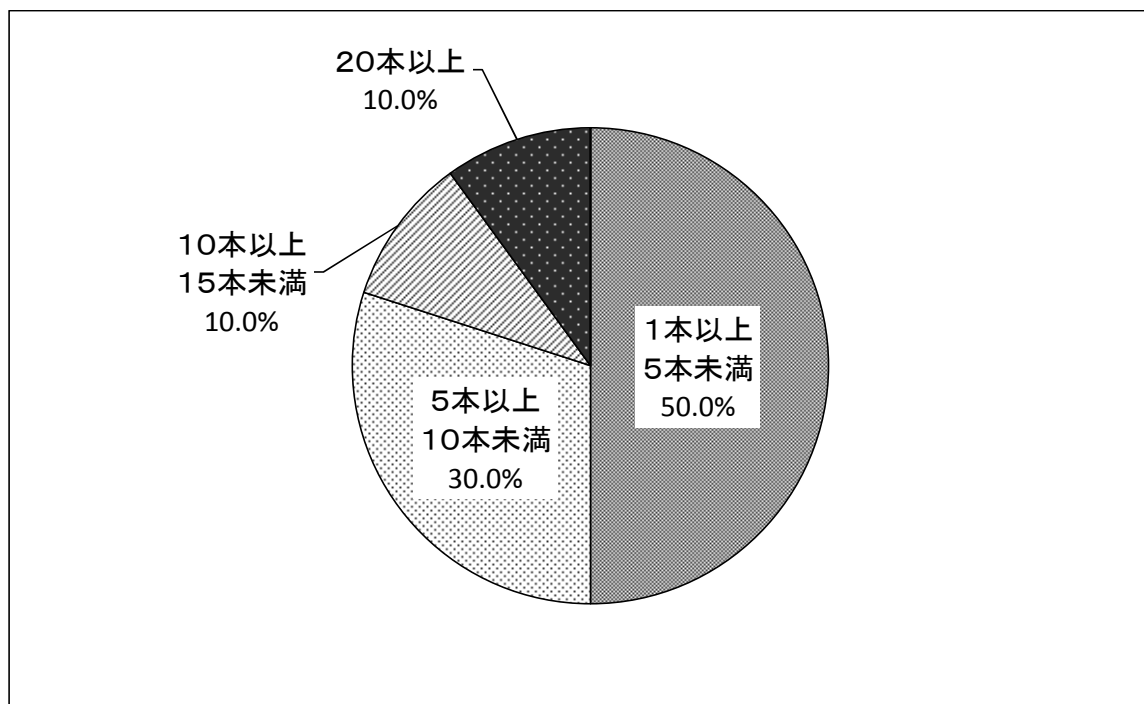
妊娠中に喫煙を「していた」と回答した全ての人が、妊娠中のパートナーも喫煙「していた」と回答している。



	回答数	回答割合
無回答	2	0.6%
しなかった	343	96.6%
していた	10	2.8%
	355	100.0%

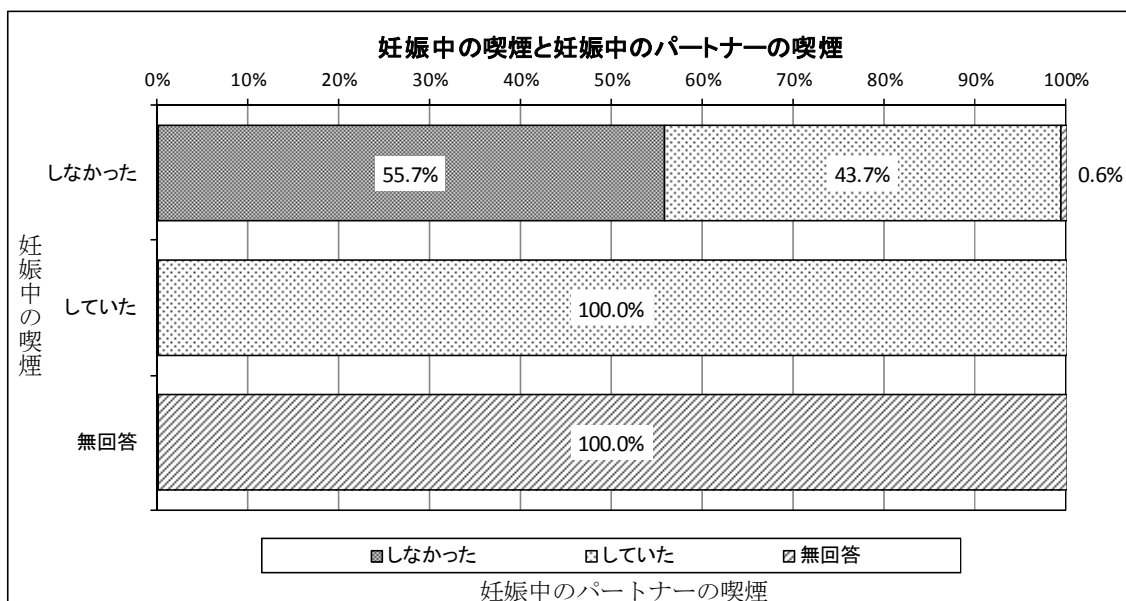
※問14で、妊娠中にお母さんは喫煙を「していた」と回答した人を対象。

1日の喫煙本数については、「1本以上5本未満」が50.0%と最も高く、次いで、「5本以上10本未満」が30.0%、「10本以上15本未満」が10.0%、「20本以上」が10.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
1本以上5本未満	5	50.0%
5本以上10本未満	3	30.0%
10本以上15本未満	1	10.0%
15本以上20本未満	0	0.0%
20本以上	1	10.0%
	10	100.0%

■「妊娠中の喫煙」と「妊娠中のパートナーの喫煙」

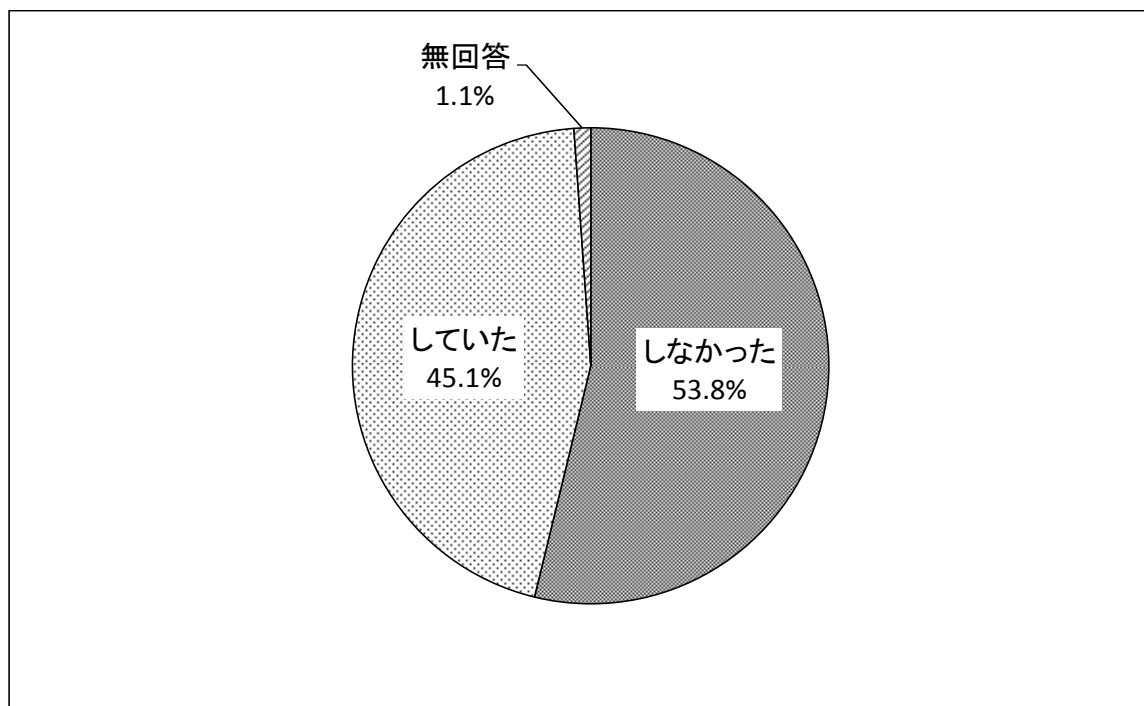


妊娠中の喫煙	妊娠中のパートナーの喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	355	191	160	4
	100.0%	53.8%	45.1%	1.1%
しなかった	343	191	150	2
	100.0%	55.7%	43.7%	0.6%
していた	10	0	10	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無回答	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

上段: 実数
下段: 構成比(%)

問15 妊娠中にあなた（お母さん）の夫・パートナー（お父さん）は、喫煙していましたか。

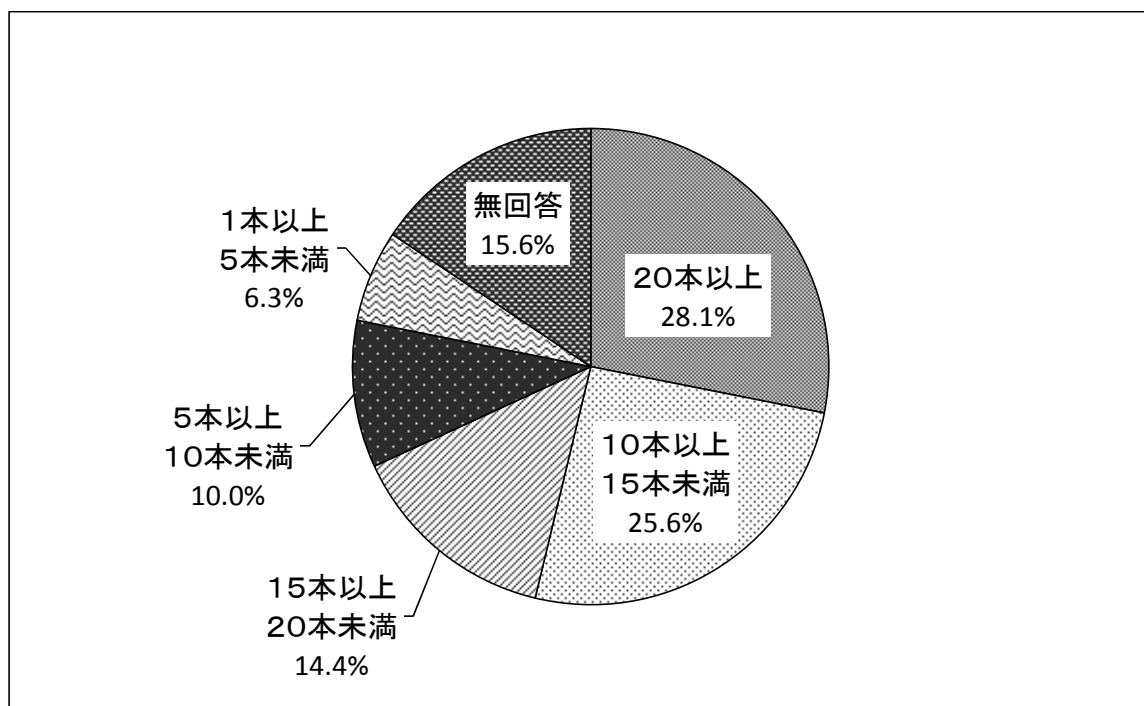
妊娠中にお母さんの夫・パートナーは喫煙していたかについては、「しなかった」が53.8%、「していた」が45.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	4	1.1%
しなかった	191	53.8%
していた	160	45.1%
	355	100.0%

※問 15 で、お母さんが妊娠中に、夫・パートナーは喫煙を「していた」と回答した人を対象。

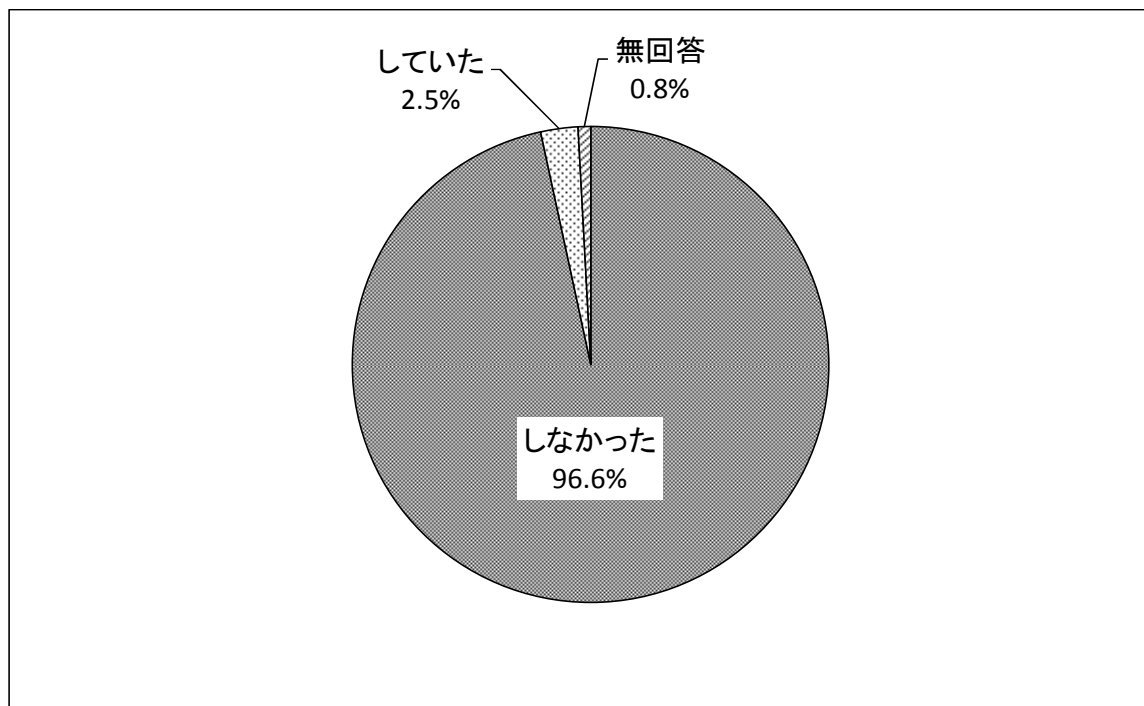
1日の喫煙本数については、「20本以上」が28.1%と最も高く、次いで、「10本以上15本未満」が25.6%、「15本以上20本未満」が14.4%、「5本以上10本未満」が10.0%、「1本以上5本未満」が6.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	25	15.6%
1本以上5本未満	10	6.3%
5本以上10本未満	16	10.0%
10本以上15本未満	41	25.6%
15本以上20本未満	23	14.4%
20本以上	45	28.1%
	160	100.0%

問16 妊娠中にあなた（お母さん）は、飲酒はしていましたか。

妊娠中にお母さんは、飲酒していたかについては、「しなかった」が96.6%であった。次いで、「していた」が2.5%であった。

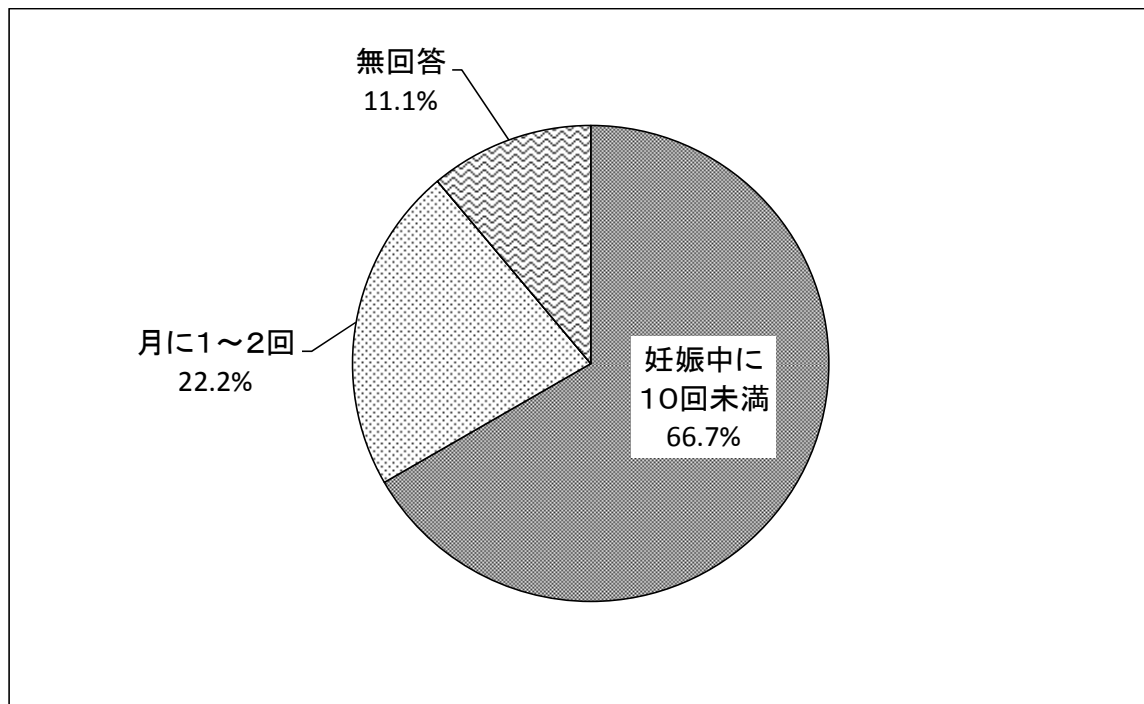


	回答数	回答割合
無回答	3	0.8%
しなかった	343	96.6%
していた	9	2.5%
	355	100.0%

※問16で、お母さんは妊娠中に飲酒「していた」と回答した人を対象。

飲酒していた頻度については、「妊娠中に10回未満」が66.7%、次いで、「月に1～2回」が22.2%であった。

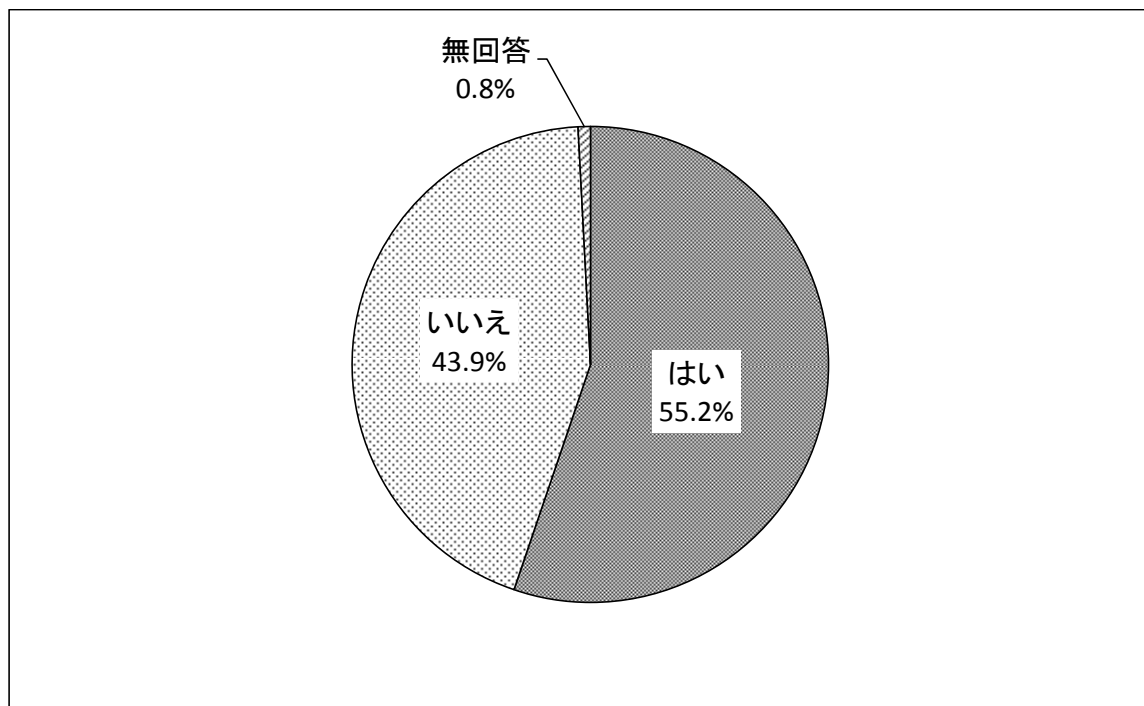
■飲酒していた頻度



	回答数	回答割合
無回答	1	11.1%
妊娠中に10回未満	6	66.7%
月に1～2回	2	22.2%
週に1～2回	0	0.0%
週3回以上	0	0.0%
	9	100.0%

問17 母親学級に参加しましたか。

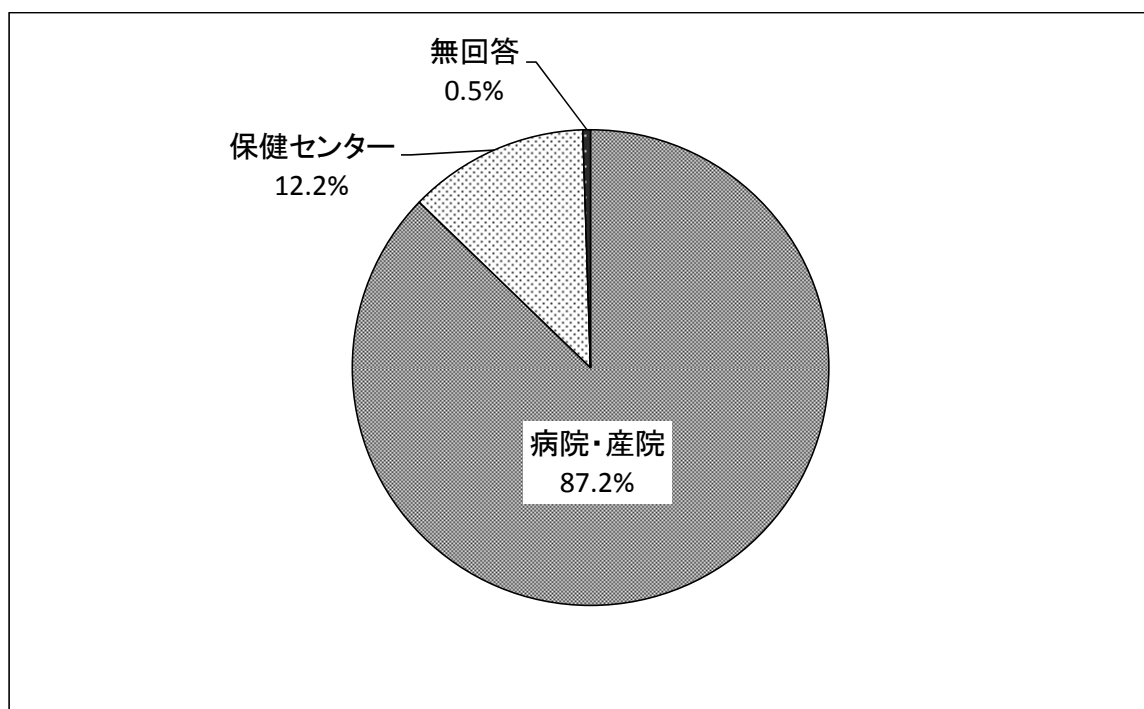
母親学級に参加したかについては、「はい」が55.2%と高く、次いで「いいえ」が43.9%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	0.8%
はい	196	55.2%
いいえ	156	43.9%
	355	100.0%

問17-1 どこで母親学級に参加しましたか。

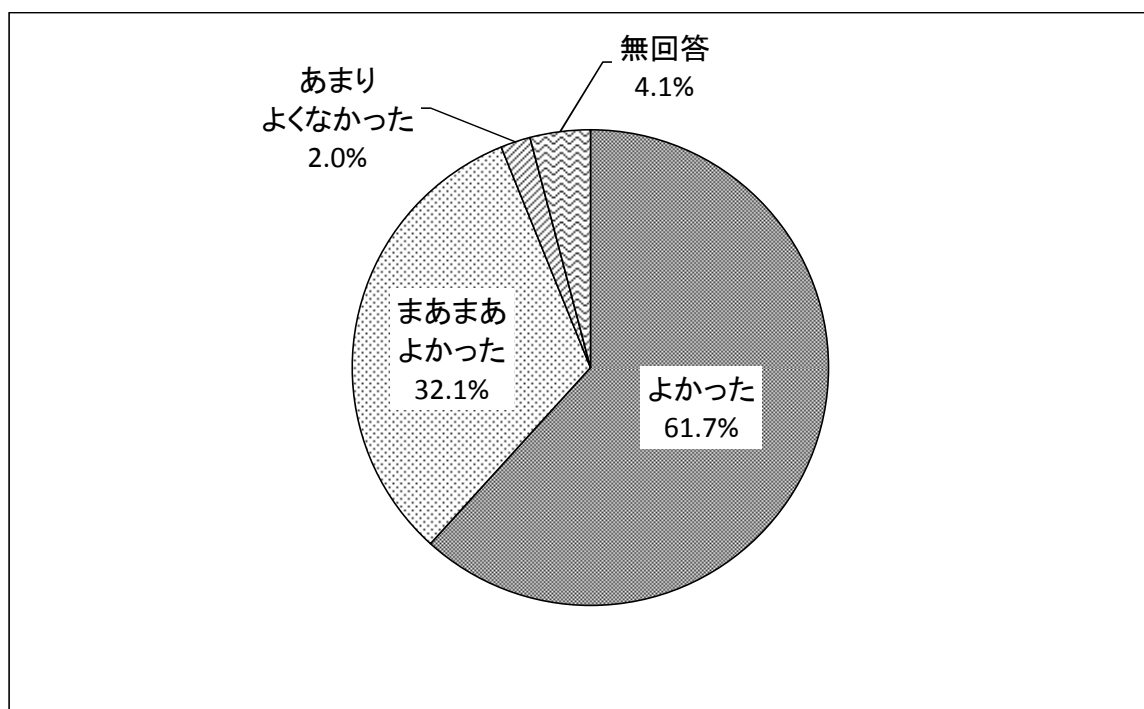
どこで母親学級に参加したかについては、「病院・産院」が87.2%と高く、次いで「保健センター」が12.2%であった。



	回答数	回答割合
無回答	1	0.5%
保健センター	24	12.2%
病院・産院	171	87.2%
その他	0	0.0%
	196	100.0%

問17-2 参加してよかったと思いますか。

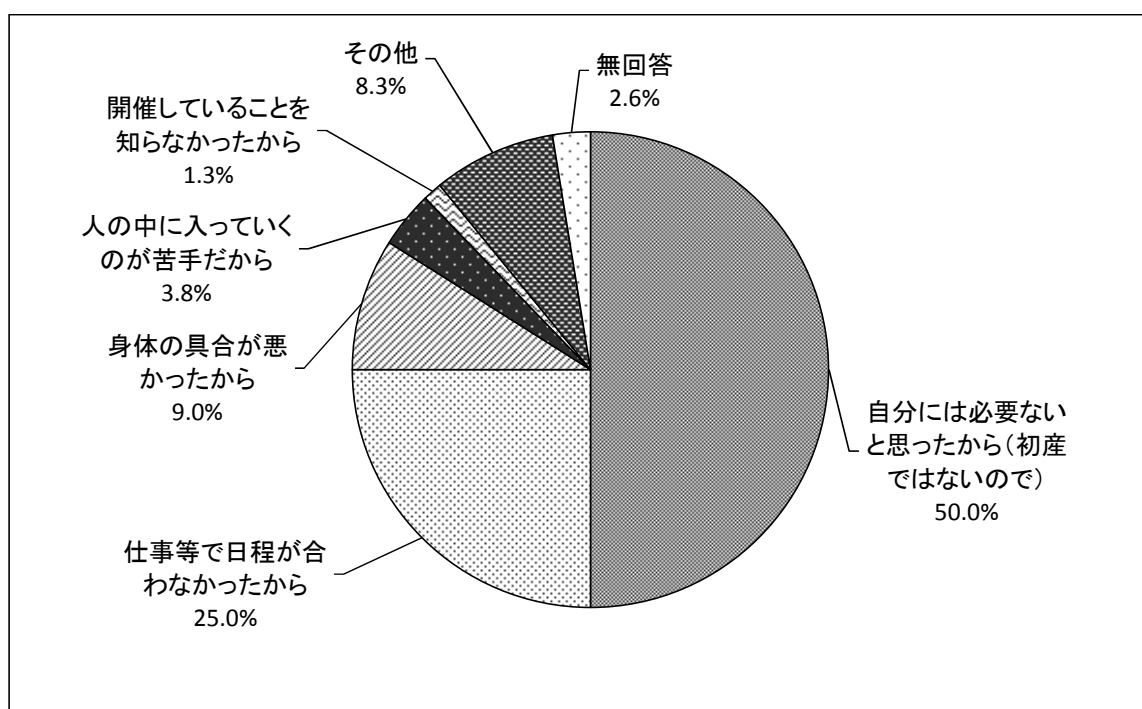
母親学級に参加してよかったと思うかについては、「よかった」が61.7%と最も高く、次いで「まあまあよかった」が32.1%、「あまりよくなかった」が2.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	8	4.1%
よかった	121	61.7%
まあまあよかった	63	32.1%
あまりよくなかった	4	2.0%
よくなかった	0	0.0%
	196	100.0%

問17-3 参加しなかった理由で、最もあてはまるものは何ですか。

参加しなかった理由で、最もあてはまるものは何かについては、「自分には必要ないと思ったから（初産ではないので）」が50.0%と最も高く、次いで「仕事で日程が合わなかったから」が25.0%、「身体の具合が悪かったから」が9.0%、「人の中に入っていくのが苦手だから」が3.8%、「開催していることを知らなかったから」が1.3%、「無回答」が2.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	4	2.6%
自分には必要ないと思ったから(初産ではないので)	78	50.0%
仕事等で日程が合わなかったから	39	25.0%
身体の具合が悪かったから	14	9.0%
人の中に入っていくのが苦手だから	6	3.8%
開催していることを知らなかったから	2	1.3%
その他	13	8.3%
	156	100.0%

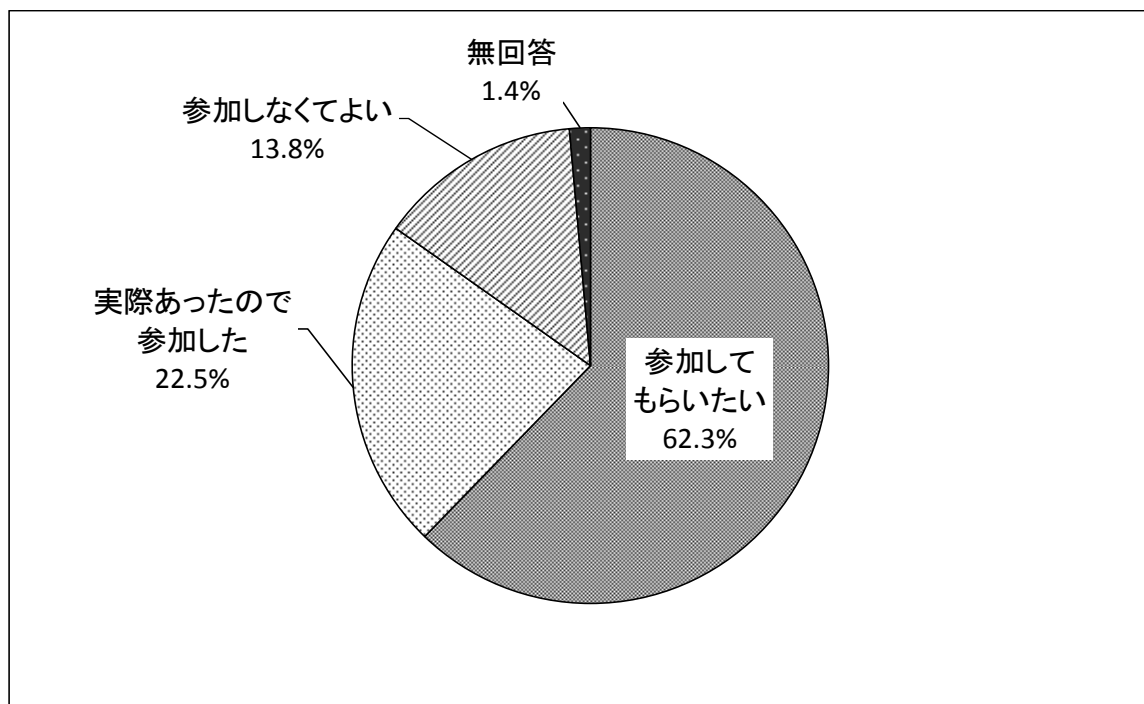
(その他の内容)

- 1人目で参加してるから
- 子育てで大変だった為
- 初産の人しか参加出来なかった
- 上の子が学校から帰ってくる時間と被っていた
- 入院していた
- 兄弟の幼稚園の帰りと同じ時間だったため

- 姉も出産経験者で色々教えてもらっていたので
- 切迫早産で入院していた為
- つわりがひどく、体調がなかなか快方せず、上の子がまだ小さく手がかかった事から
- 予定が合わなかった
- 上の子がいて、なかなかタイミングが合わなかった

問18 「両親学級」「父親学級」があれば、夫にも参加してもらいたいですか。

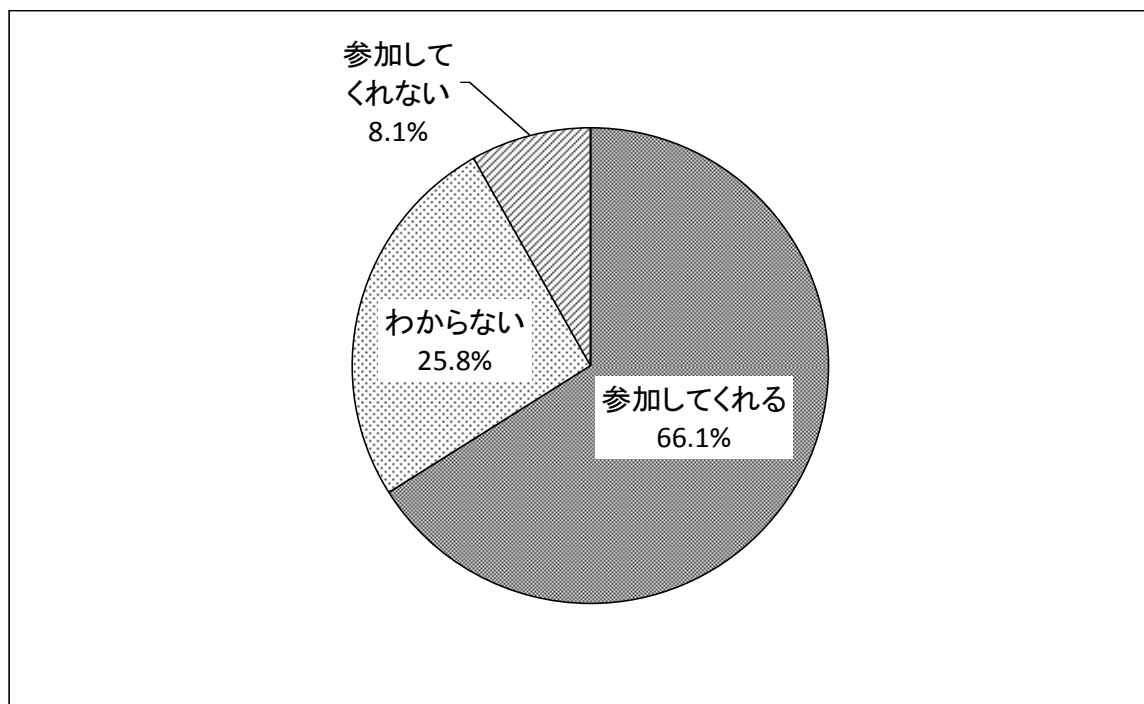
「両親学級」「父親学級」があれば、夫にも参加してもらいたいかについては、「参加してもらいたい」が62.3%と最も高く、次いで「実際あったので参加した」が22.5%、「参加しなくてよい」が13.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	5	1.4%
参加してもらいたい	221	62.3%
実際あったので参加した	80	22.5%
参加しなくてよい	49	13.8%
	355	100.0%

問18-1 夫は「両親学級」「父親学級」に参加してくれると思いますか。

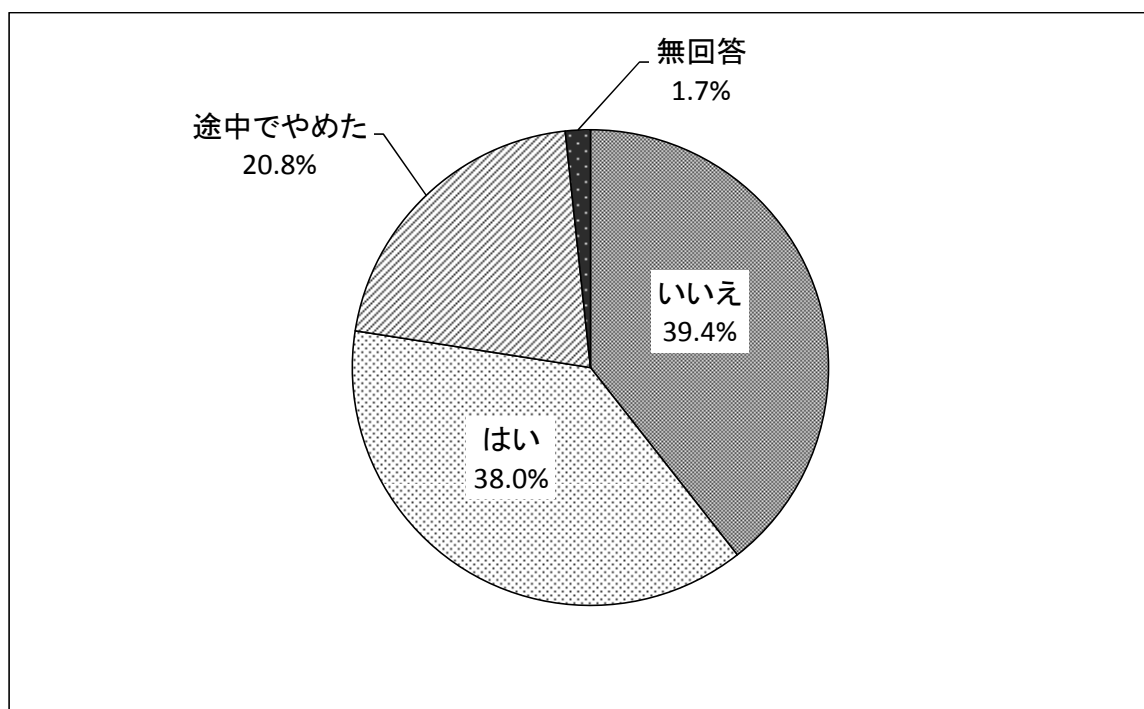
夫は「両親学級」「父親学級」に参加してくれると思うかについては、「参加してくれる」が66.1%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「参加してくれない」が8.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
参加してくれる	146	66.1%
参加してくれない	18	8.1%
わからない	57	25.8%
	221	100.0%

問19 妊娠中、仕事を持っていましたか。

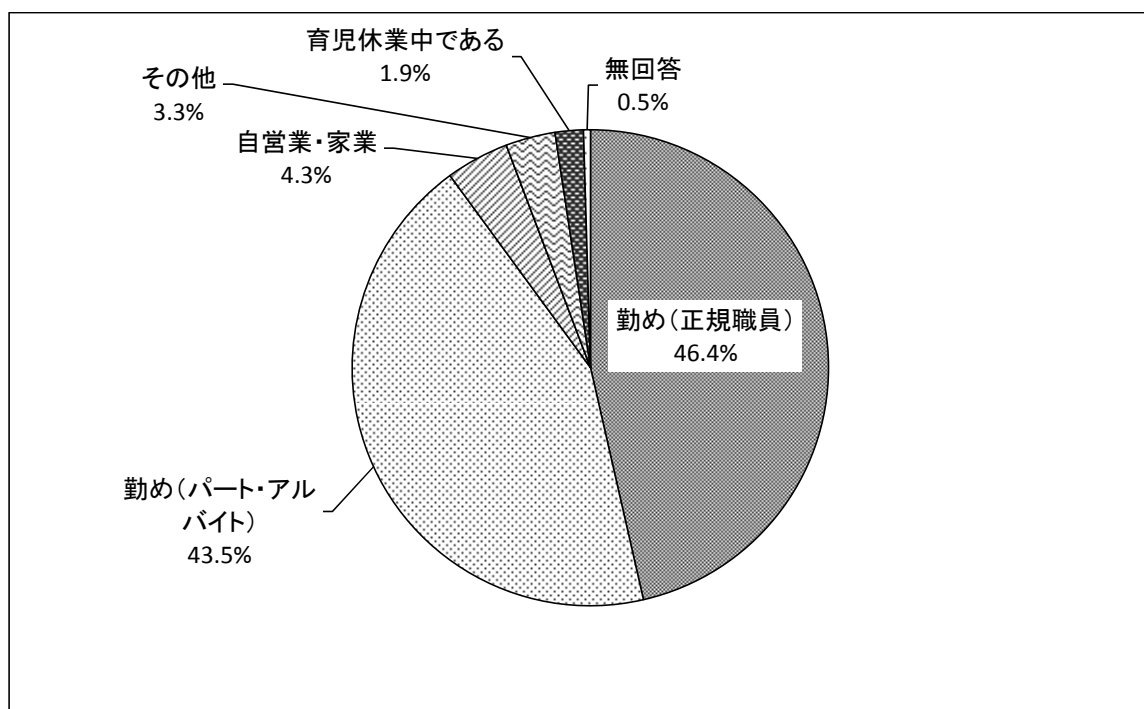
妊娠中、仕事を持っていたかについては、「いいえ」が39.4%と高く、次いで「はい」が38.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	6	1.7%
はい	135	38.0%
途中でやめた	74	20.8%
いいえ	140	39.4%
	355	100.0%

問19-1 妊娠中に持っていた仕事の職業は何ですか。(あるいは何でしたか)

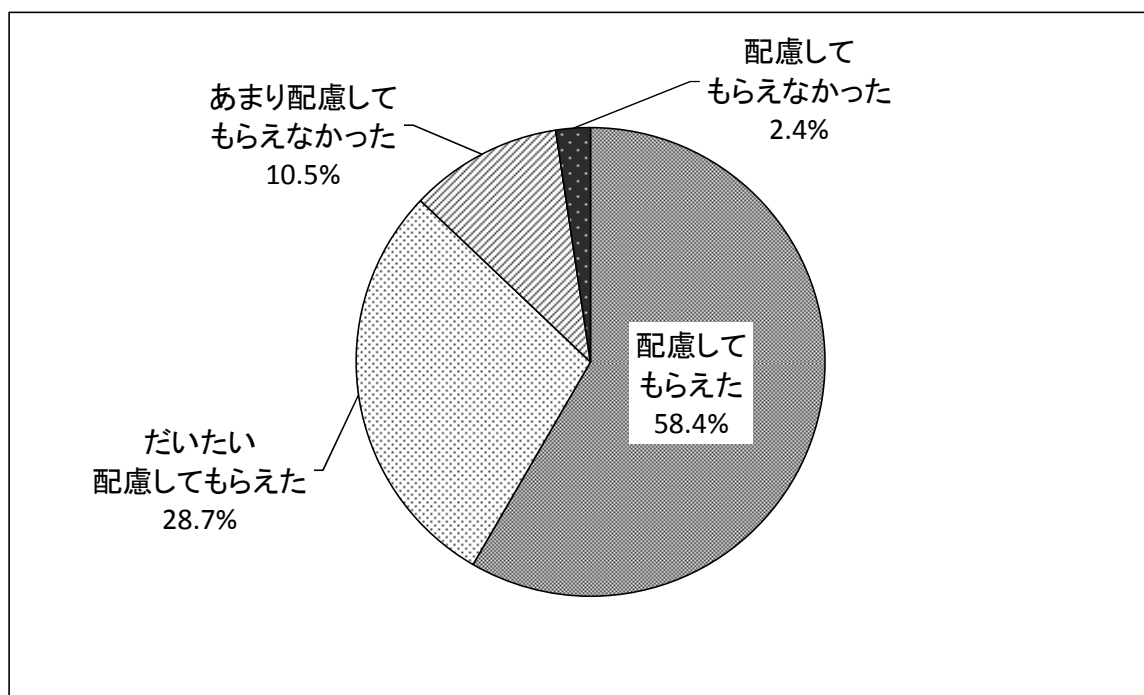
妊娠中に持っていた仕事の職業は何かについては、「勤め(正規職員)」が46.4%と最も高く、次いで「勤め(パート・アルバイト)」が43.5%、「自営業」が4.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	1	0.5%
勤め(正規職員)	97	46.4%
勤め(パート・アルバイト)	91	43.5%
自営業・家業	9	4.3%
内職	0	0.0%
その他	7	3.3%
育児休業中である	4	1.9%
	209	100.0%

問19-2 妊娠中ということで、仕事上配慮してもらえたと思いますか。

妊娠中に仕事上配慮してもらえたかについては、「配慮してもらえた」が58.4%と最も高く、次いで「だいたい配慮してもらえた」が28.7%、「あまり配慮してもらえなかった」が10.5%、「配慮してもらえなかった」が2.4%であった。

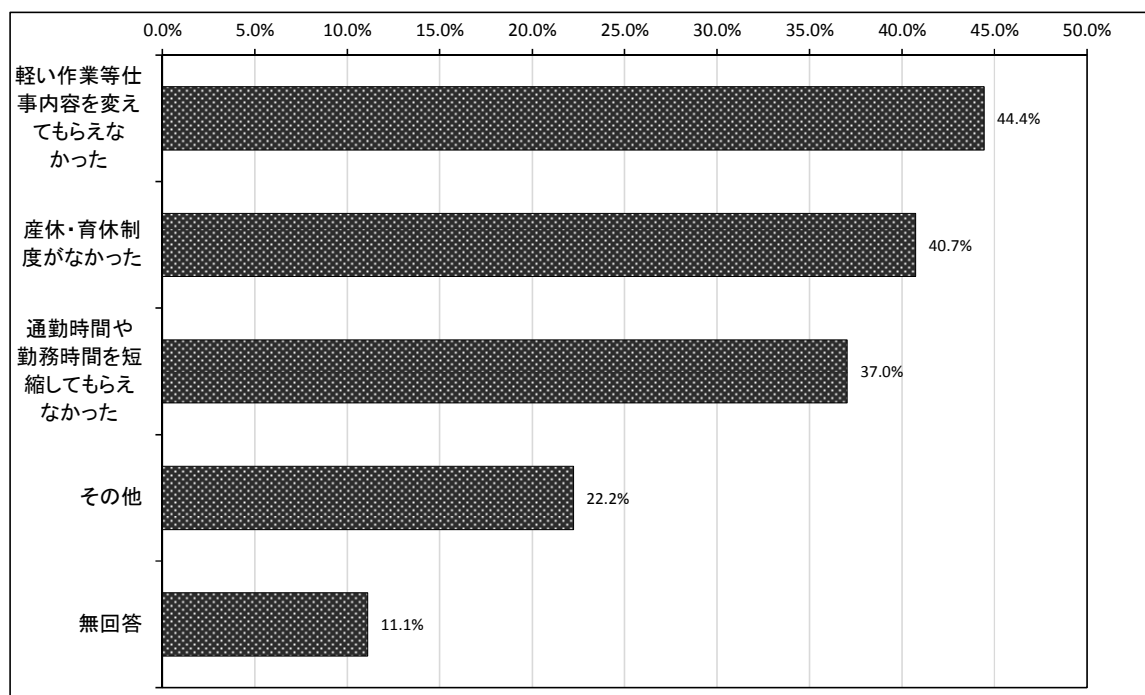


	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
配慮してもらえた	122	58.4%
だいたい配慮してもらえた	60	28.7%
あまり配慮してもらえなかった	22	10.5%
配慮してもらえなかった	5	2.4%
	209	100.0%

問19-3 妊娠中、どんな点が配慮してもらえませんでしたか。

妊娠中、どんな点が配慮してもらえなかったかについては、「軽い作業等仕事内容を変えてもらえなかった」が44.4%と最も高く、次いで「産休・育休制度がなかった」が40.7%、「通勤時間や勤務時間を短縮してもらえなかった」が37.0%であった。

(複数回答)



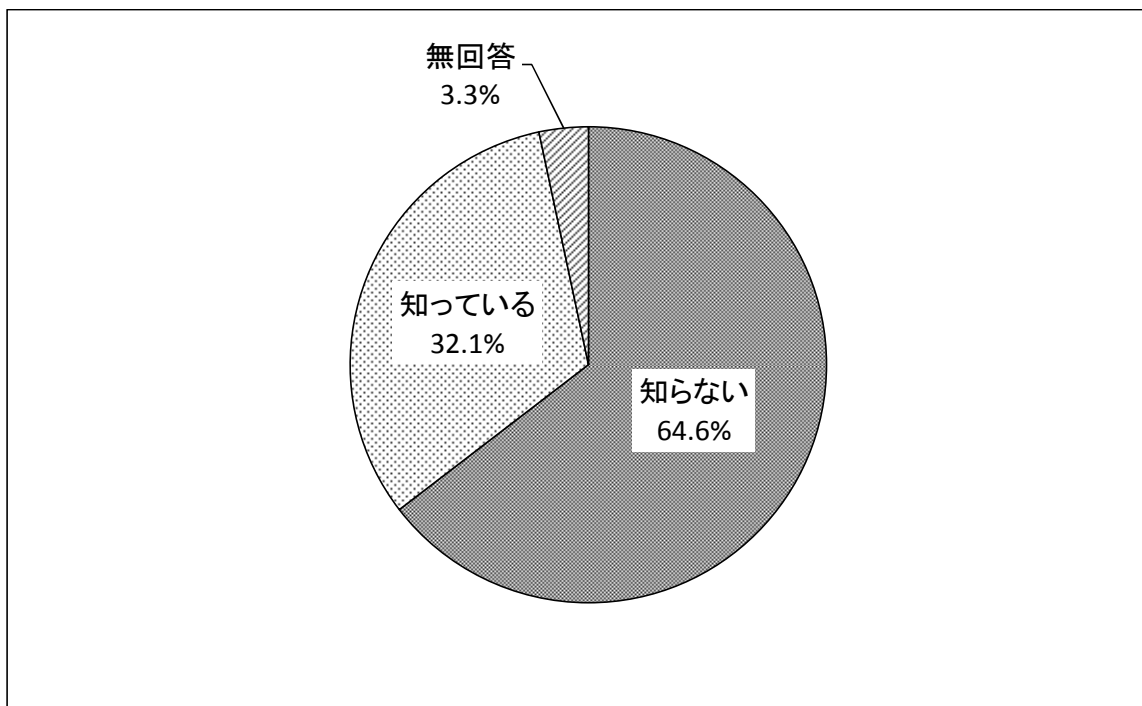
	回答数	回答割合
無回答	3	11.1%
産休・育休制度がなかった	11	40.7%
産休はとれたが、育休がとれなかった	0	0.0%
軽い作業等仕事内容を変えてもらえなかった	12	44.4%
通勤時間や勤務時間を短縮してもらえなかった	10	37.0%
その他	6	22.2%

(その他の内容)

- 派遣社員だったので産休育休制度が無く、勤務状態も変わらなかった
- 夏場、暑い環境下での仕事で脱水症状を起こした
- 仕事の引き継ぎを、きちんとさせてもらえなかった
- 人がいないのを理由に10ヶ月しか育休がなかった
- 仕事を辞めさせられた

問20 母子健康管理指導事項連絡カードを知っていますか。

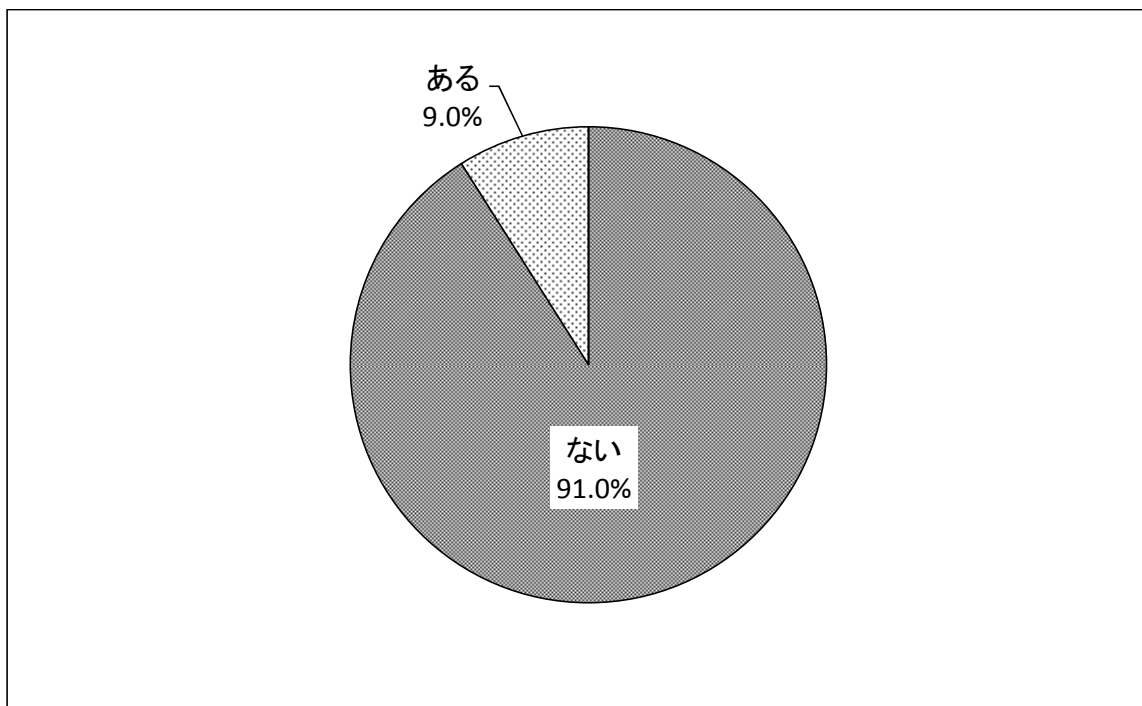
母子健康管理指導事項連絡カードを知っているかについては、「知らない」が64.6%と高く、次いで「知っている」が32.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	3.3%
知っている	67	32.1%
知らない	135	64.6%
	209	100.0%

問20-1 母子健康管理指導事項連絡カードを、利用したことはありますか。

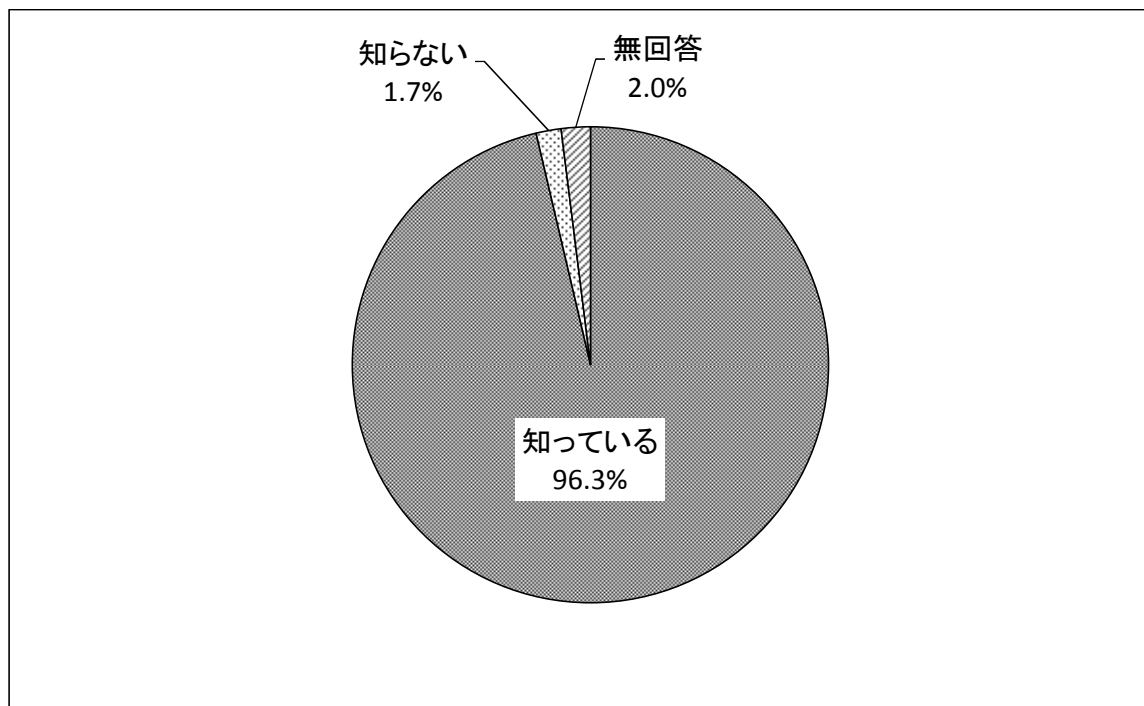
母子健康管理指導事項連絡カードを利用したことがあるかについては、「ない」が91.0%と高く、次いで「ある」が9.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
ある	6	9.0%
ない	61	91.0%
	67	100.0%

問21 マタニティマークを知っていますか。

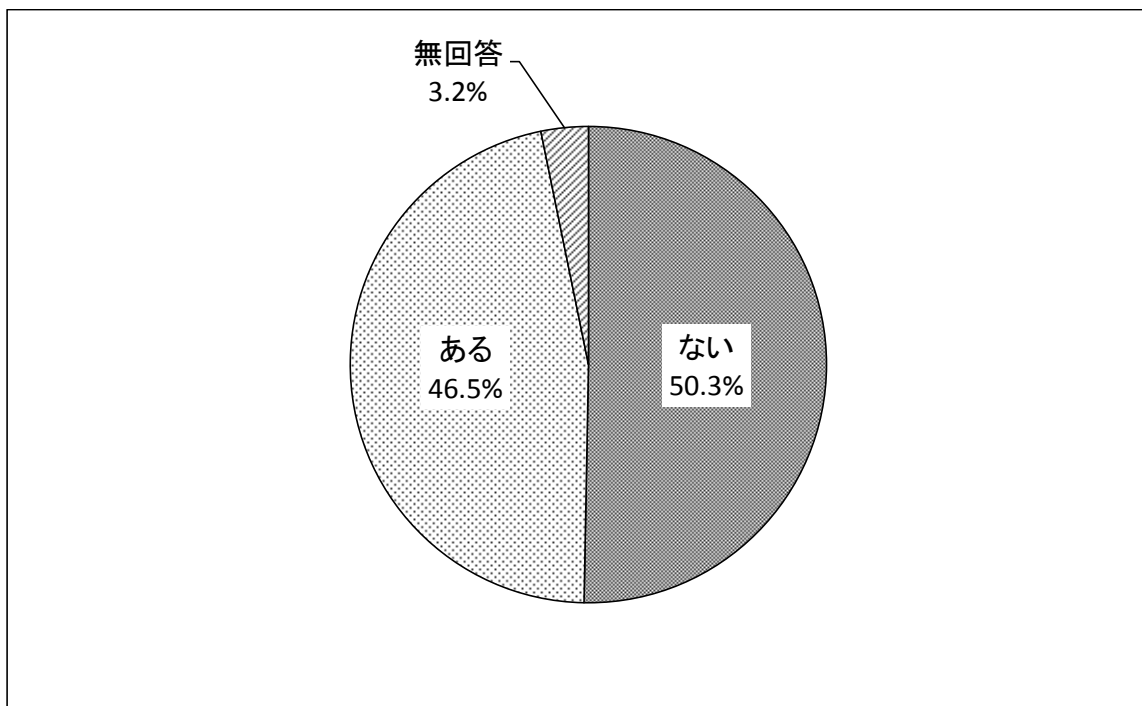
マタニティマークを知っていますかについては、「知っている」が96.3%と高く、次いで「知らない」が1.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
知っている	342	96.3%
知らない	6	1.7%
	355	100.0%

問21-1 マタニティマークの効果を感じたことがありますか。

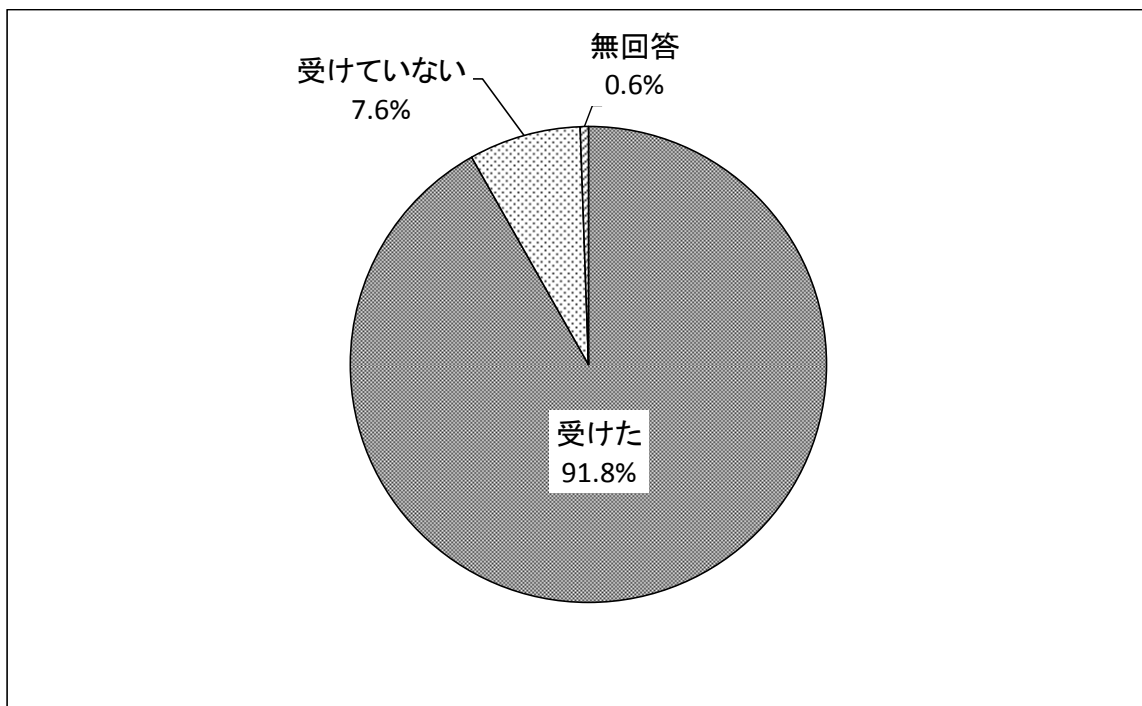
マタニティマークの効果を感じたことがあるかについては、「ない」が50.3%と高く、次いで「ある」が46.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	11	3.2%
ある	159	46.5%
ない	172	50.3%
	342	100.0%

問22 産後に助産師や保健師による家庭訪問を受けましたか。

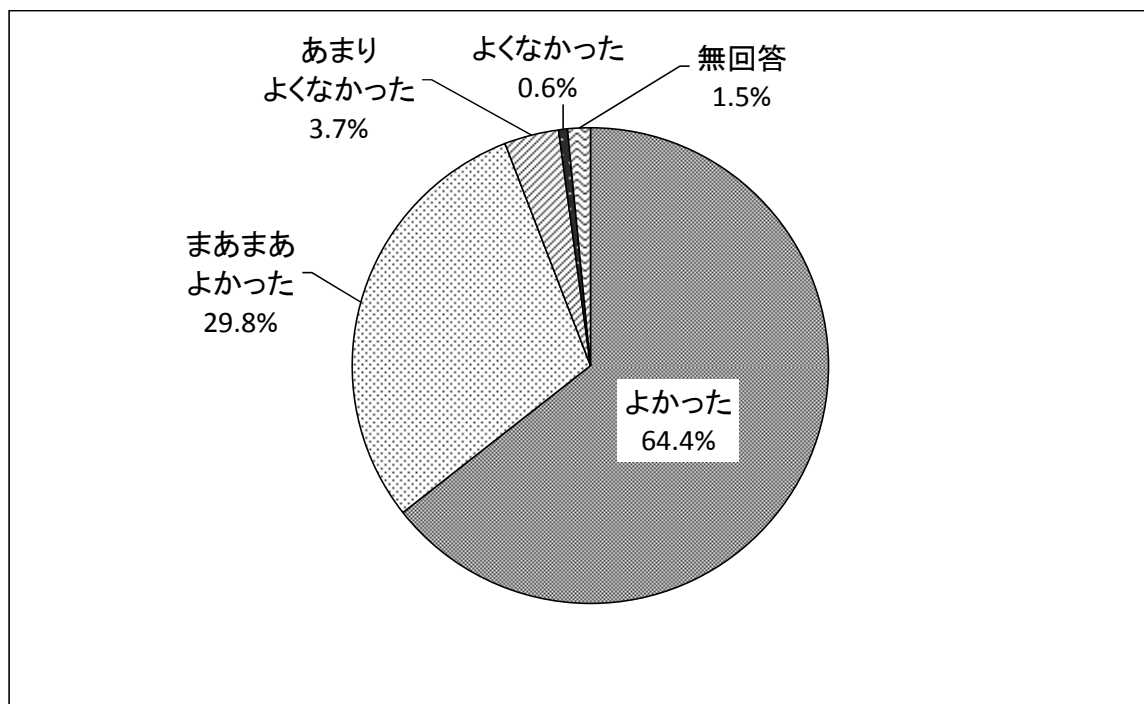
産後に助産師や保健師による家庭訪問を受けたかについては、「受けた」が91.8%と高く、次いで「受けていない」が7.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	2	0.6%
受けた	326	91.8%
受けていない	27	7.6%
	355	100.0%

問22-1 訪問指導を受けた感想はいかがでしたか。

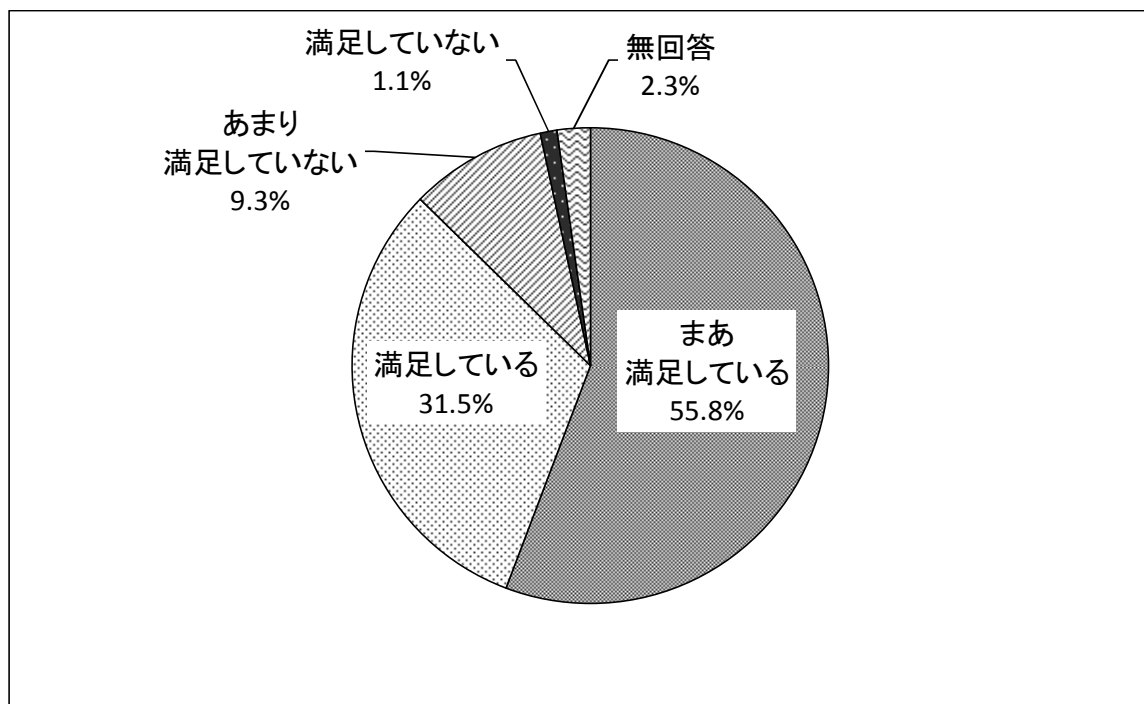
訪問指導を受けた感想については、「よかった」が64.4%と最も高く、次いで「まあまあよかった」が29.8%、「あまりよくなかった」が3.7%、「よくなかった」が0.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	5	1.5%
よかった	210	64.4%
まあまあよかった	97	29.8%
あまりよくなかった	12	3.7%
よくなかった	2	0.6%
	326	100.0%

問23 現在の子育ての状況についてどう思いますか。

現在の子育ての状況についてどう思うかについては、「まあ満足している」が55.8%と最も高く、次いで「満足している」が31.5%、「あまり満足していない」が9.3%、「満足していない」が1.1%であった。



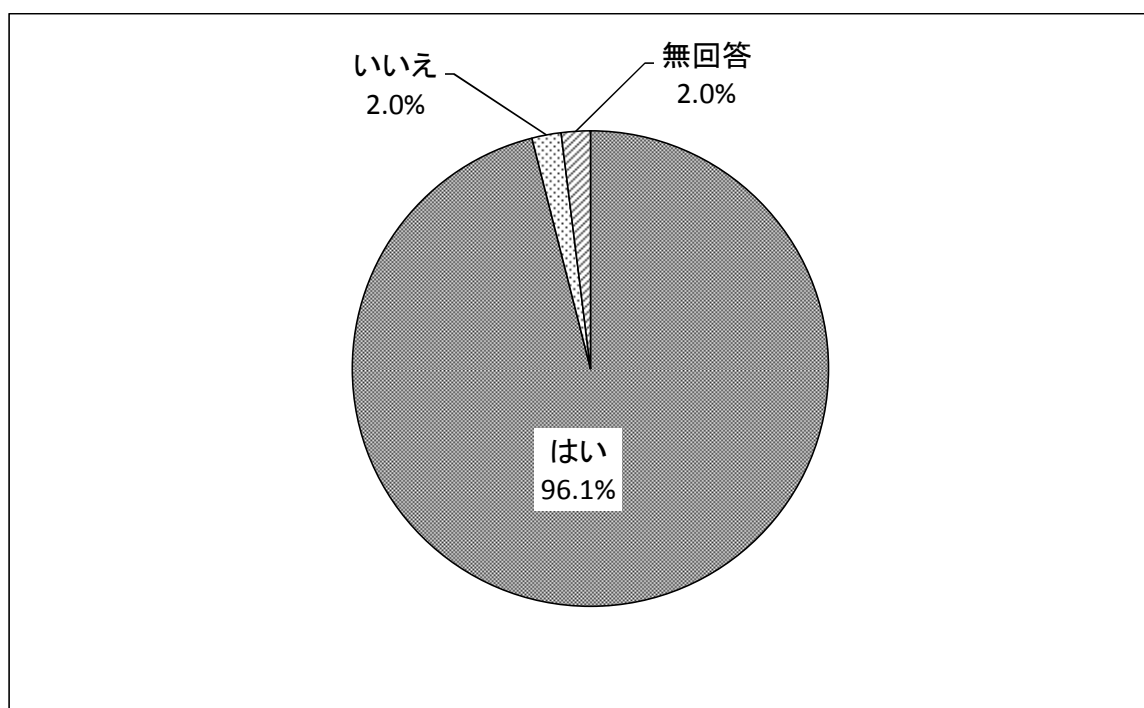
	回答数	回答割合
無回答	8	2.3%
満足している	112	31.5%
まあ満足している	198	55.8%
あまり満足していない	33	9.3%
満足していない	4	1.1%
	355	100.0%

問24 子育てについて気軽に相談できる人はいますか。

子育てについて気軽に相談できる人はいるかについては、「はい」が96.1%と高く、次いで「いいえ」が2.0%であった。

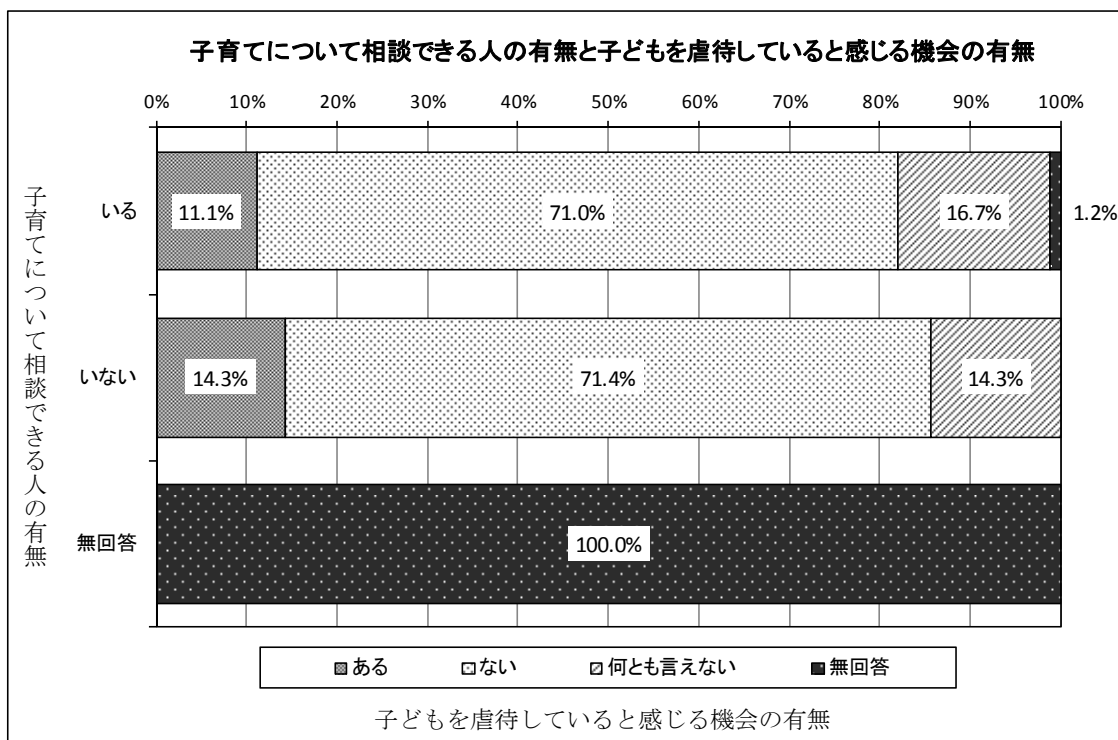
(クロス集計の結果より)

子育てについて相談できる人が「いる」「いない」に係わらず、子どもを虐待していると感じる機会の有無については、大きな違いは見られなかった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	341	96.1%
いいえ	7	2.0%
	355	100.0%

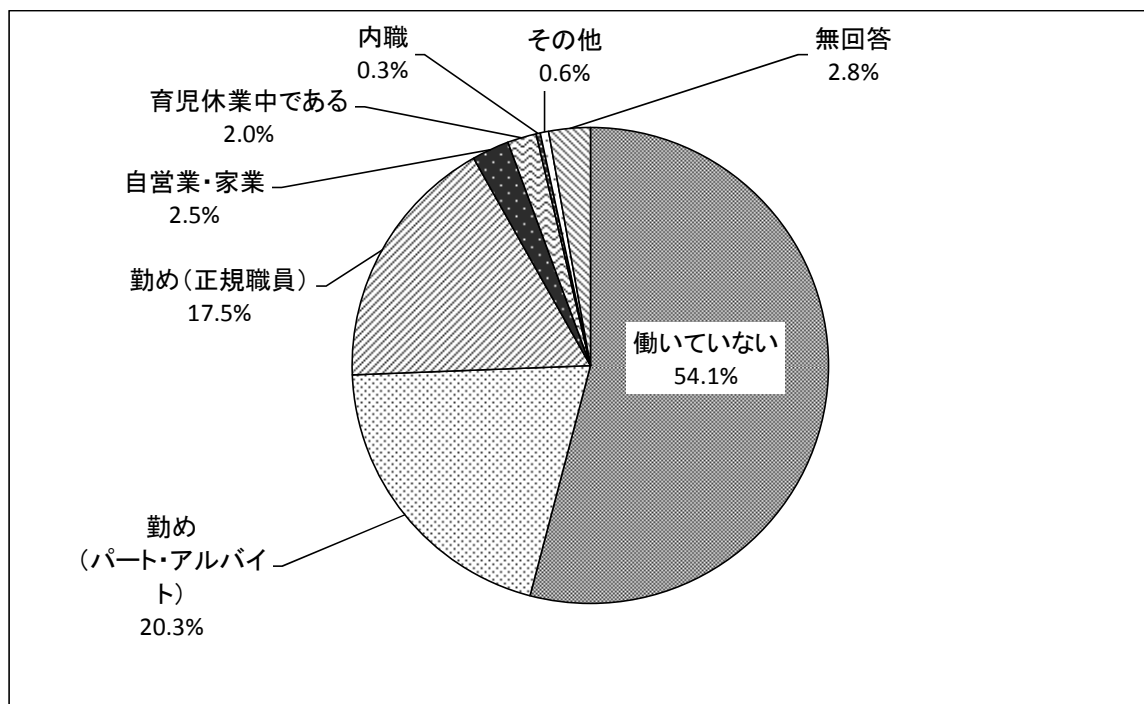
■「子育てについて相談できる人の有無」と「子どもを虐待していると感じる機会の有無」



子育てについて 相談できる人の有無	子どもを虐待している と感じる機会の有無	サンプル数	ある	ない	何とも言えない	無回答
			上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)
全体		355	39	247	58	11
		100.0%	11.0%	69.6%	16.3%	3.1%
いる		341	38	242	57	4
		100.0%	11.1%	71.0%	16.7%	1.2%
いない		7	1	5	1	0
		100.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
無回答		7	0	0	0	7
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問25 現在、お母さんは働いていますか。

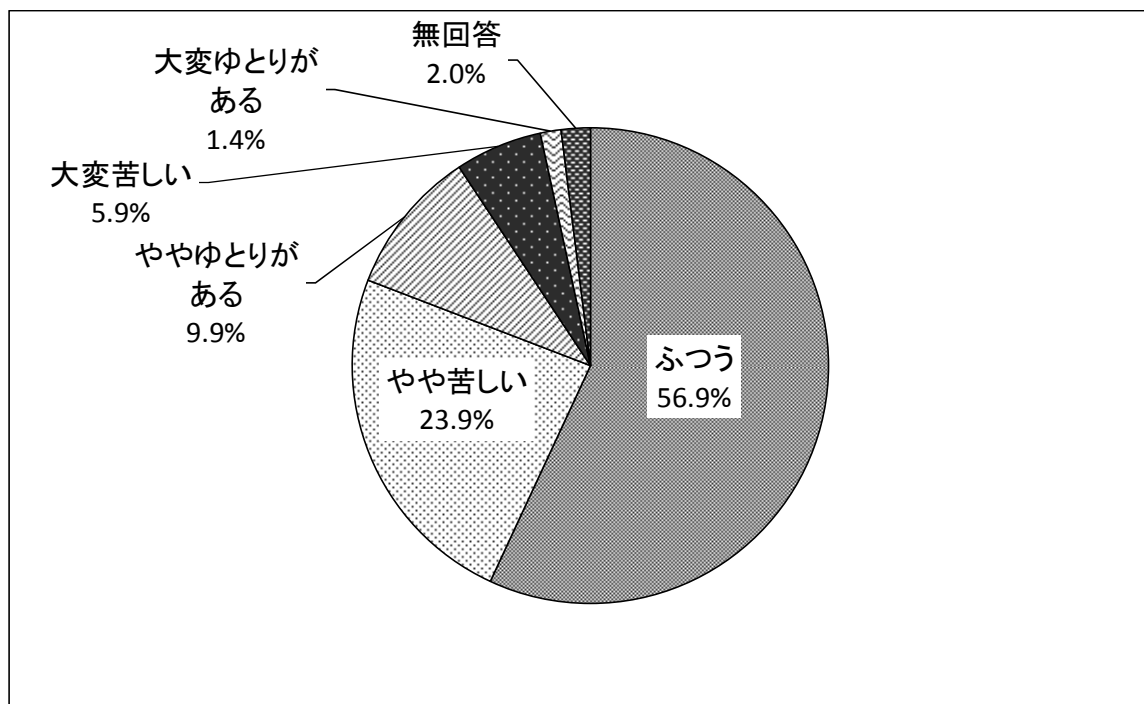
現在、お母さんは働いているかについては、「働いていない」が54.1%と最も高く、次いで、「勤め（パート・アルバイト）」が20.3%、「勤め（正規職員）」が17.5%、「自営業・家業」が2.5%、「育児休業中である」が2.0%、「内職」が0.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	10	2.8%
勤め(正規職員)	62	17.5%
勤め(パート・アルバイト)	72	20.3%
自営業・家業	9	2.5%
内職	1	0.3%
その他	2	0.6%
育児休業中である	7	2.0%
働いていない	192	54.1%
	355	100.0%

問26 現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか。

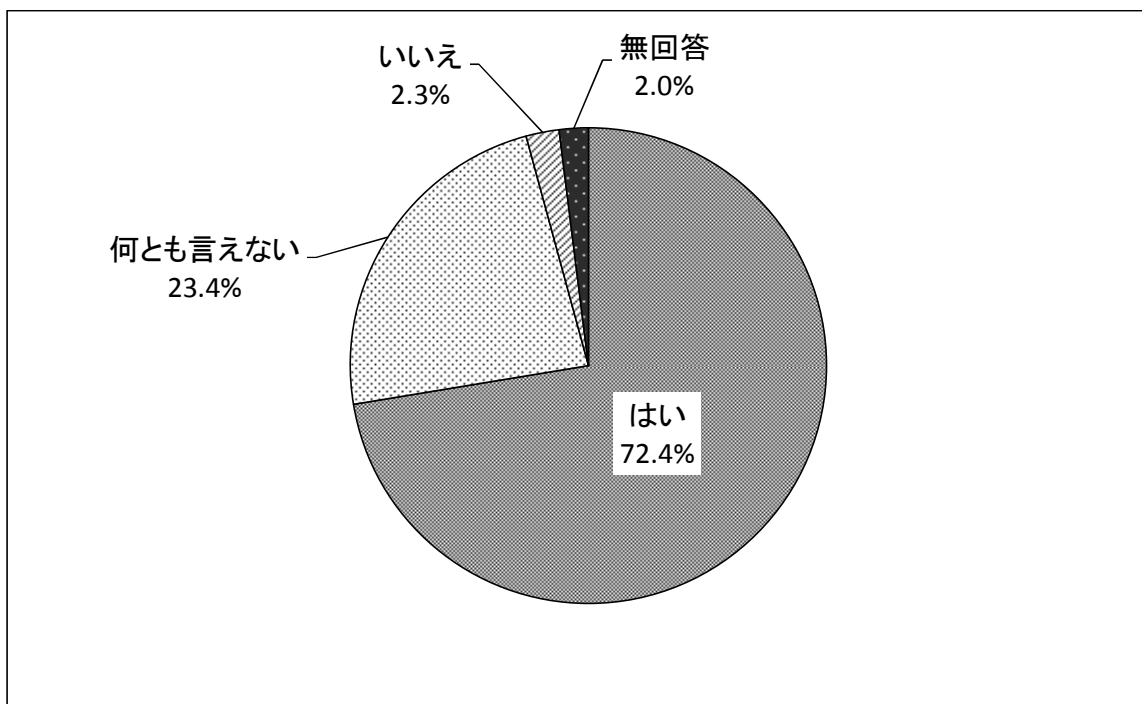
現在の暮らしの経済的な状況について、どう感じているかについては、「ふつう」が56.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.9%、「ややゆとりがある」が9.9%、「大変苦しい」が5.9%、「大変ゆとりがある」が1.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
大変ゆとりがある	5	1.4%
ややゆとりがある	35	9.9%
ふつう	202	56.9%
やや苦しい	85	23.9%
大変苦しい	21	5.9%
	355	100.0%

問27 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

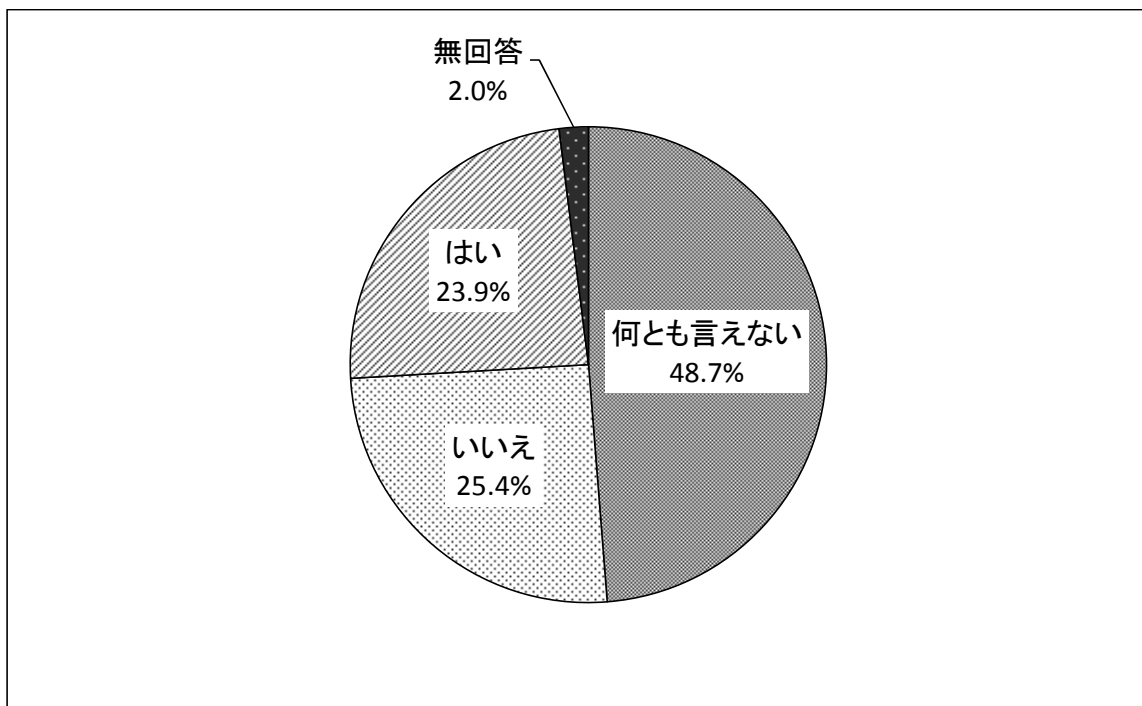
お母さんが、ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間があるかについては、「はい」が72.4%と最も高く、次いで「何とも言えない」が23.4%、「いいえ」が2.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	257	72.4%
いいえ	8	2.3%
何とも言えない	83	23.4%
	355	100.0%

問28 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

お母さんが育児に自信が持てないことがあるかについては、「何とも言えない」が48.7%と最も高く、次いで「いいえ」が25.4%、「はい」が23.9%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	85	23.9%
いいえ	90	25.4%
何とも言えない	173	48.7%
	355	100.0%

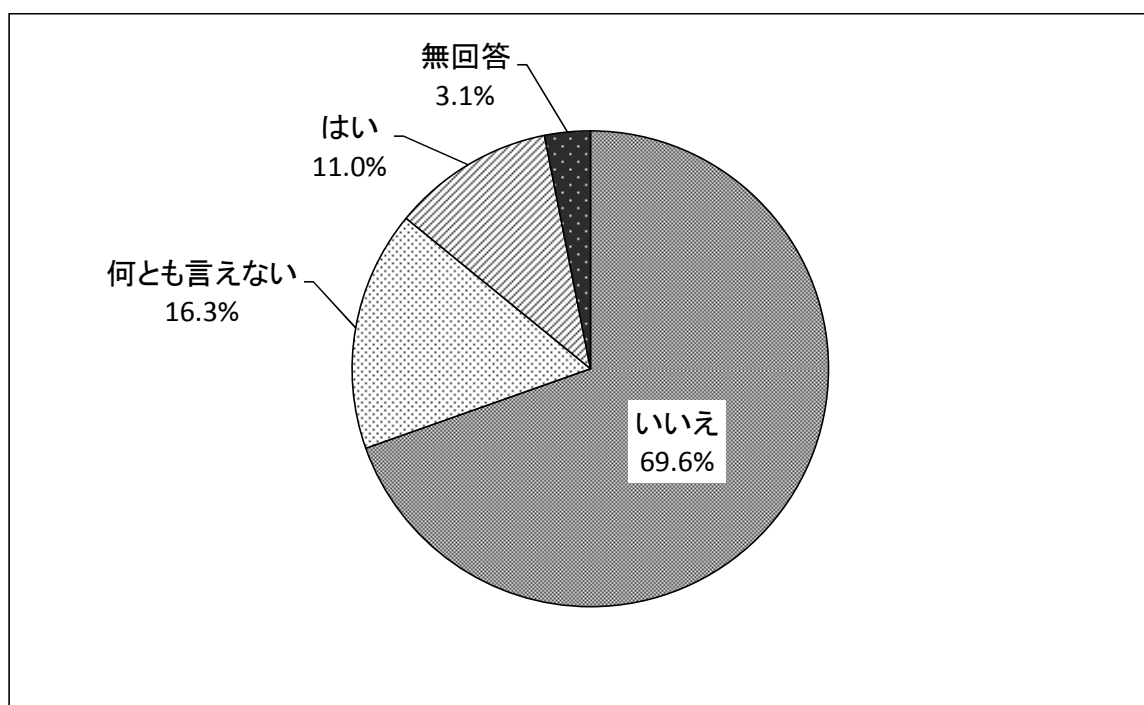
問29 お母さんは、子どもを虐待しているのではないかと思う事がありますか。

お母さんは、子供を虐待しているのではないかと思う事があるかについては、「いいえ」が69.6%と最も高く、次いで「何とも言えない」が16.3%、「はい」が11.0%であった。

(クロス集計の結果より)

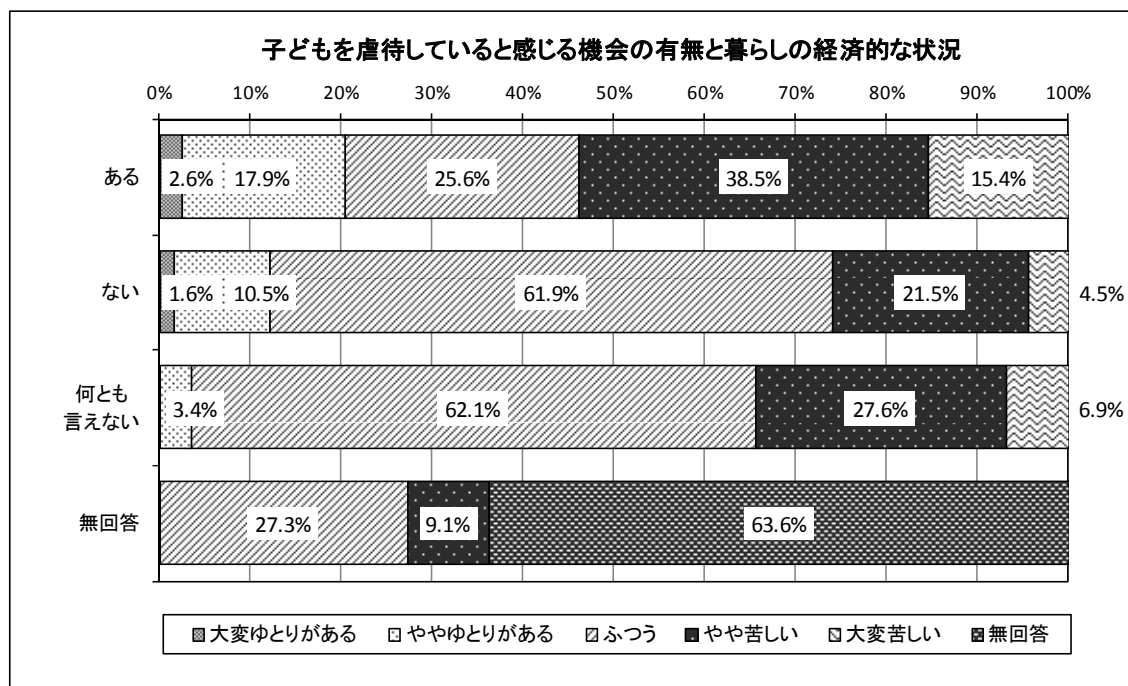
子どもを虐待していると感じる事が「ある」と回答した人は、暮らしの経済的な状況において、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせると回答した割合は5割以上と高い。

子供を虐待していると感じる事が「ない」と回答した人は、夫の育児協力への満足度において、「満足している」「だいたい満足している」を合わせると回答の割合は4割以上であった。



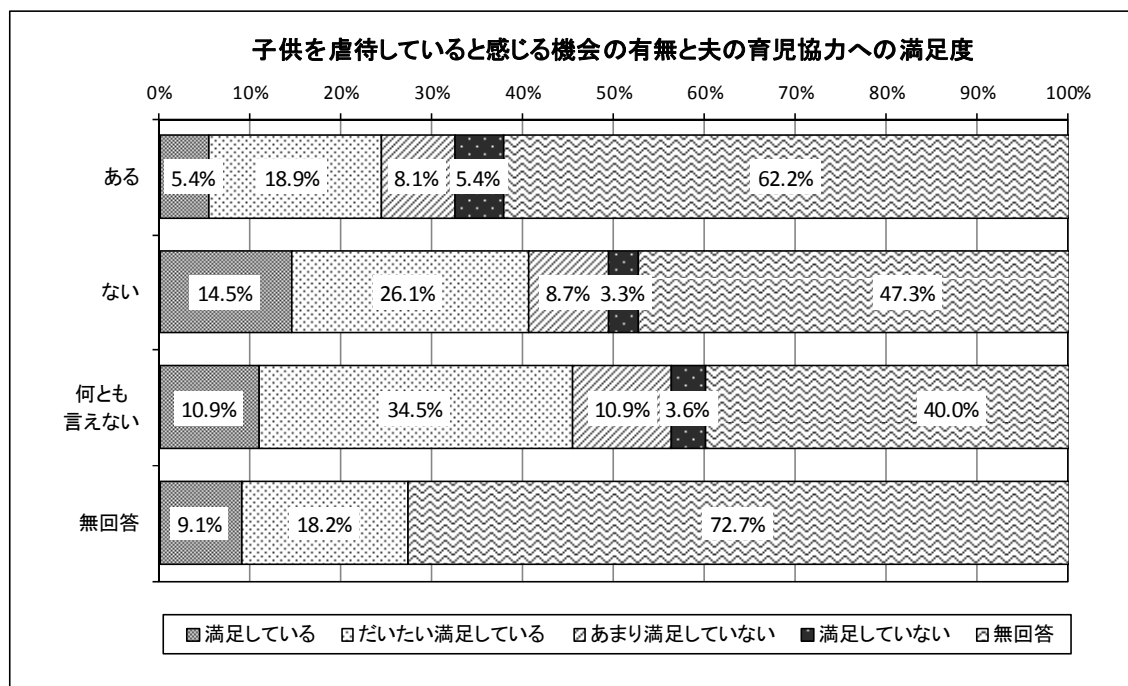
	回答数	回答割合
無回答	11	3.1%
はい	39	11.0%
いいえ	247	69.6%
何とも言えない	58	16.3%
	355	100.0%

■「子どもを虐待していると感じる機会の有無」と「暮らしの経済的な状況」



子どもを虐待している と感じる機会の有無	暮らしの経済的な状況						
	サンプル数	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	ふつう	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全体	355	5	35	202	85	21	7
	100.0%	1.4%	9.9%	56.9%	23.9%	5.9%	2.0%
ある	39	1	7	10	15	6	0
	100.0%	2.6%	17.9%	25.6%	38.5%	15.4%	0.0%
ない	247	4	26	153	53	11	0
	100.0%	1.6%	10.5%	61.9%	21.5%	4.5%	0.0%
何とも言えない	58	0	2	36	16	4	0
	100.0%	0.0%	3.4%	62.1%	27.6%	6.9%	0.0%
無回答	11	0	0	3	1	0	7
	100.0%	0.0%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	63.6%

■「子どもを虐待していると感じる機会の有無」と「夫の育児協力への満足度」

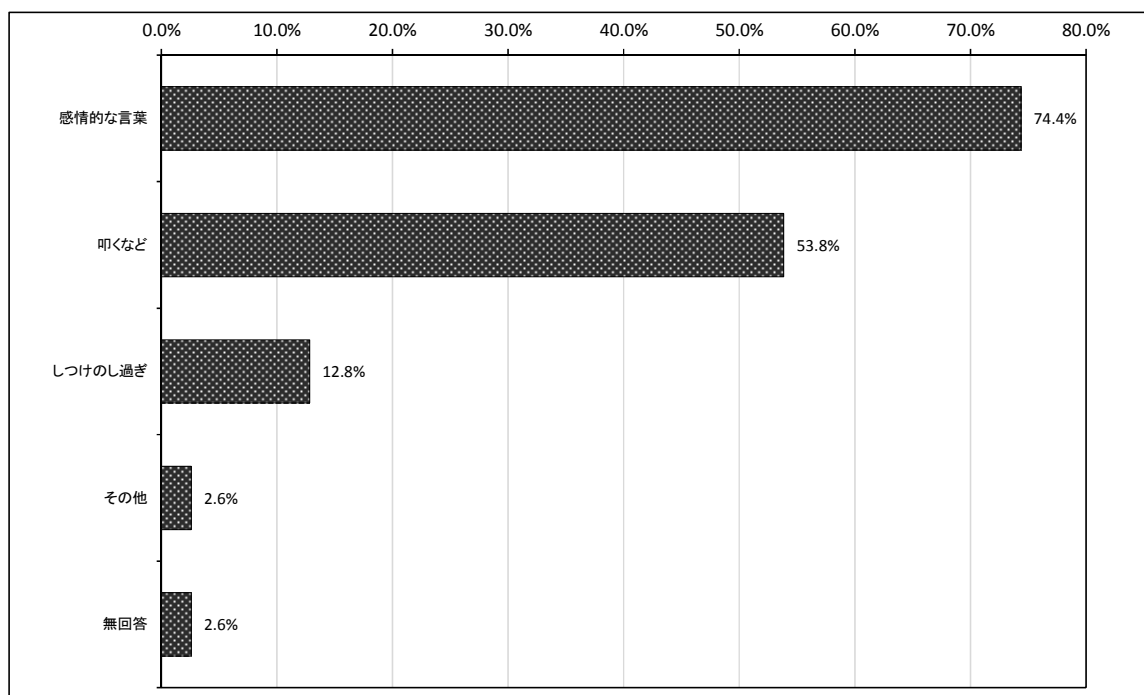


子どもを虐待していると感じる機会の有無	夫の育児協力への満足度					
	サンプル数	満足している	だいたい満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体	344	44	91	30	12	167
	100.0%	12.8%	26.5%	8.7%	3.5%	48.5%
ある	37	2	7	3	2	23
	100.0%	5.4%	18.9%	8.1%	5.4%	62.2%
ない	241	35	63	21	8	114
	100.0%	14.5%	26.1%	8.7%	3.3%	47.3%
何とも言えない	55	6	19	6	2	22
	100.0%	10.9%	34.5%	10.9%	3.6%	40.0%
無回答	11	1	2	0	0	8
	100.0%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	72.7%

問29-1 子どもを虐待しているのではないかと思うのは、どのようなことですか。

子供を虐待しているのではないかと思うのは、どのようなことかについては、「感情的な言葉」が74.4%と最も高く、次いで「叩くなど」が53.8%、「しつけのし過ぎ」が12.8%であった。

(複数回答)

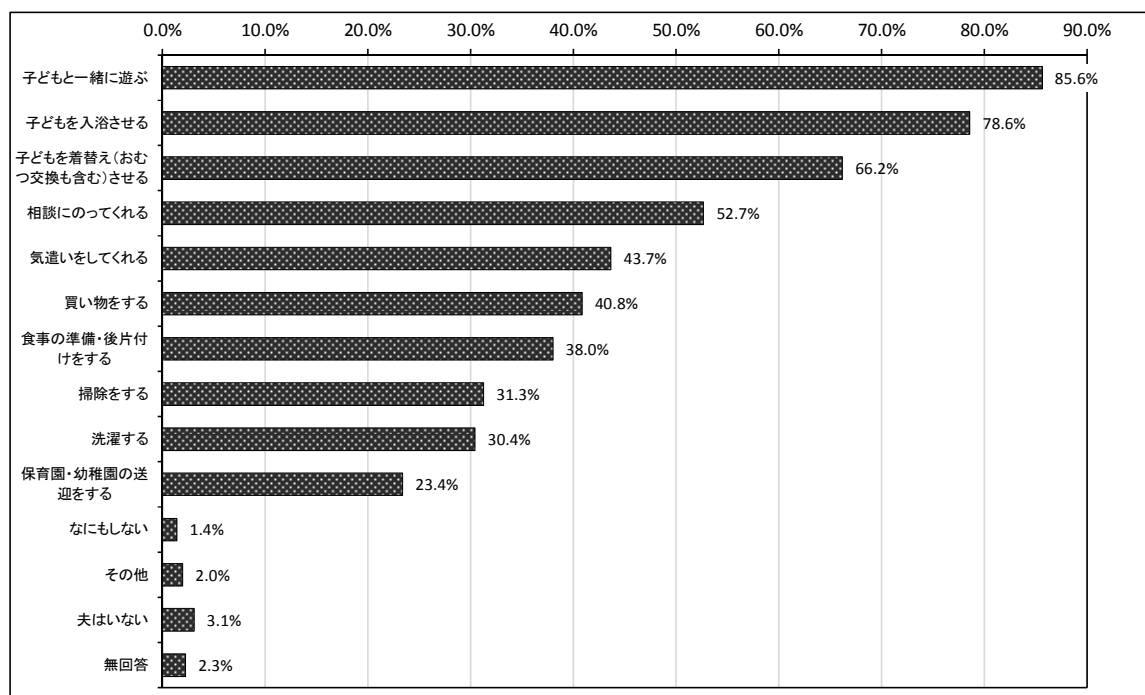


	回答数	回答割合
無回答	1	2.6%
叩くなど	21	53.8%
食事を長時間与えないなどの制限や放置	0	0.0%
しつけのし過ぎ	5	12.8%
感情的な言葉	29	74.4%
その他	1	2.6%

問30 夫は育児にどのような形で参加してくれていますか。

夫は育児にどのような形で参加してくれているかについては、「子どもと一緒に遊ぶ」が85.6%と最も高く、次いで「子どもを入浴させる」が78.6%、「子どもを着替え（おむつ交換も含む）させる」が66.2%であった。

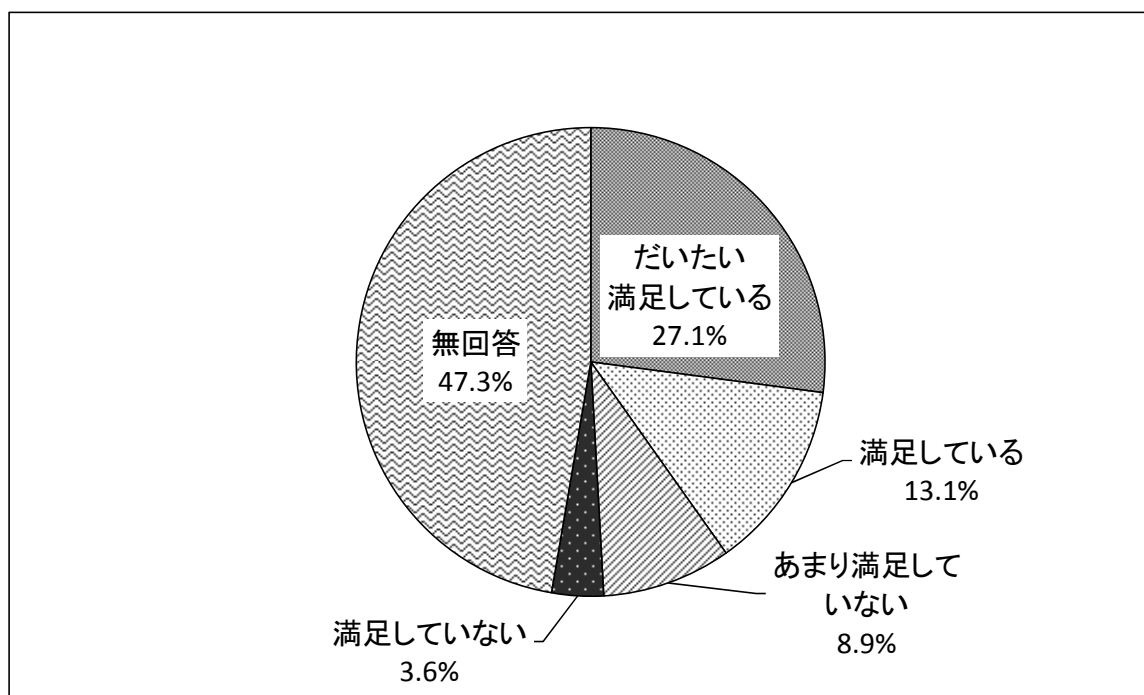
(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	8	2.3%
子どもを入浴させる	279	78.6%
子どもを着替え(おむつ交換も含む)させる	235	66.2%
子どもと一緒に遊ぶ	304	85.6%
保育園・幼稚園の送迎をする	83	23.4%
洗濯する	108	30.4%
食事の準備・後片付けをする	135	38.0%
買い物をする	145	40.8%
掃除をする	111	31.3%
相談にのってくれる	187	52.7%
気遣いをしてくれる	155	43.7%
なにもしない	5	1.4%
その他	7	2.0%
夫はいない	11	3.1%

問30-1 夫の育児等の協力を満足していますか。

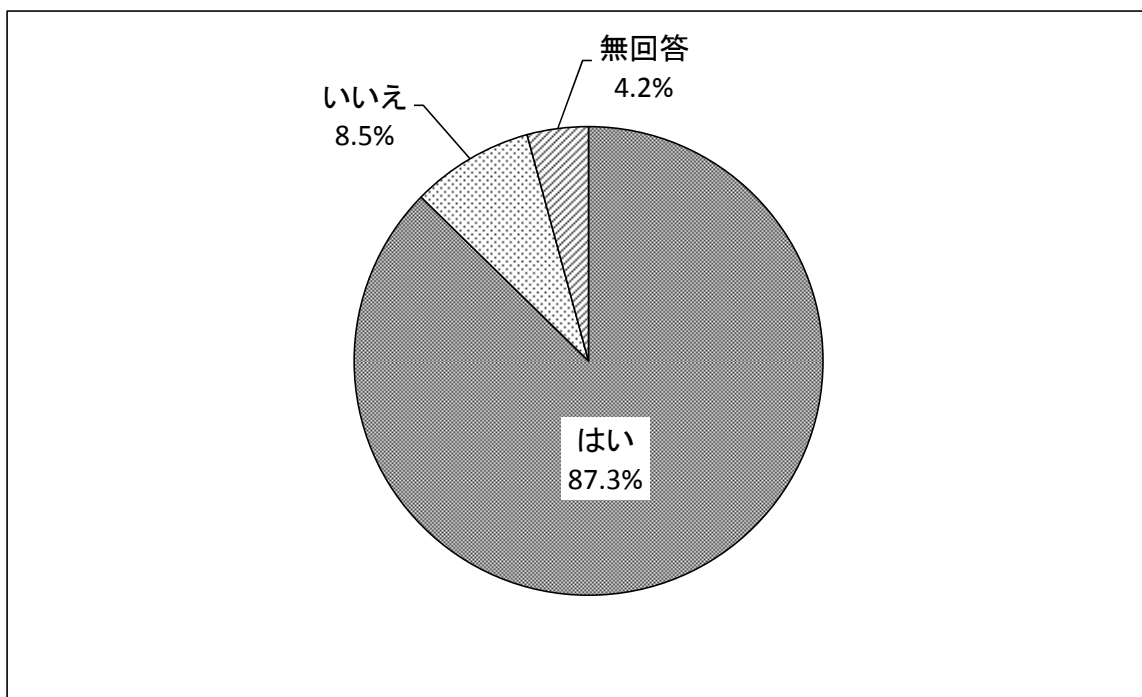
夫の育児等の協力を満足しているかについては、「だいたい満足している」が27.1%と最も高く、次いで「満足している」が13.1%、「あまり満足していない」が8.9%、「満足していない」が3.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	159	47.3%
満足している	44	13.1%
だいたい満足している	91	27.1%
あまり満足していない	30	8.9%
満足していない	12	3.6%
	336	100.0%

問31 お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいますか。

お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいるかについては、「はい」が87.3%と高く、次いで「いいえ」が8.5%であった。

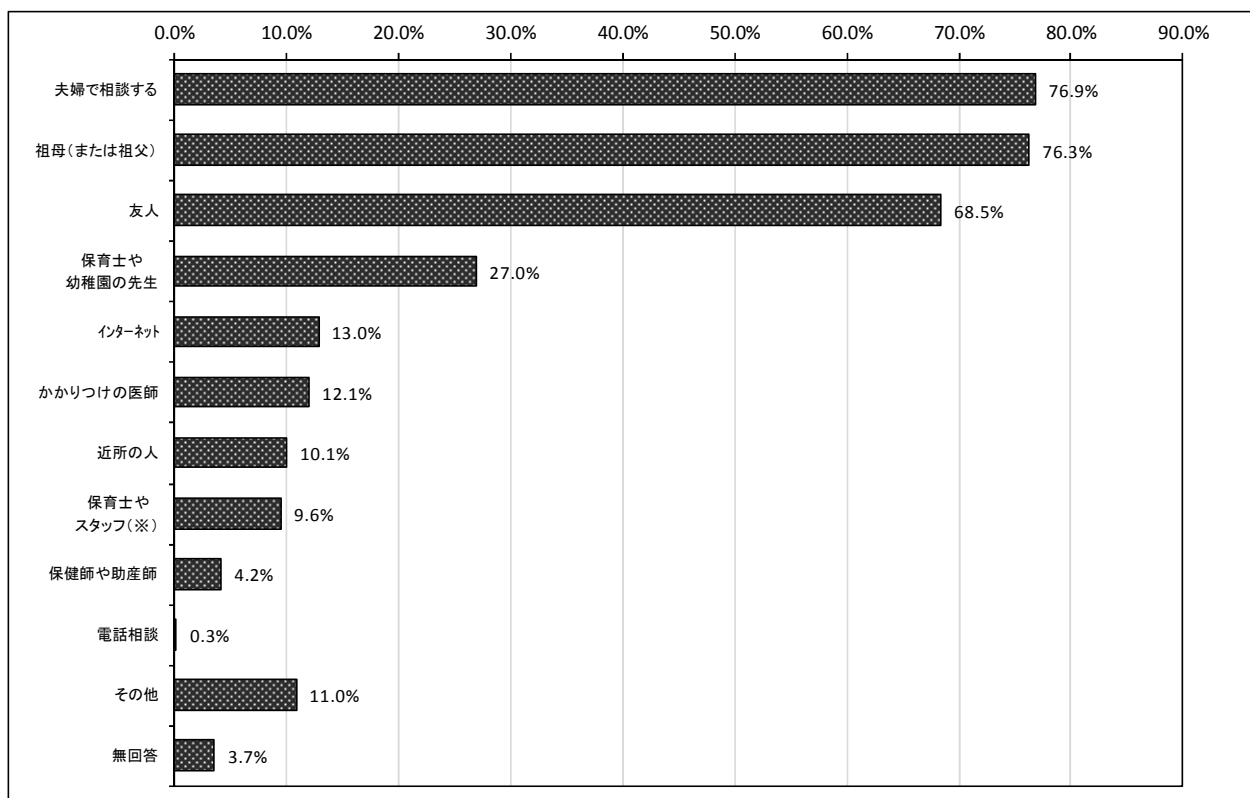


	回答数	回答割合
無回答	15	4.2%
はい	310	87.3%
いいえ	30	8.5%
	355	100.0%

問32 お母さんにとって、日常の育児の相談相手は誰ですか。

お母さんにとって、日常の育児の相談相手は誰かについては、「夫婦で相談する」が76.9%と最も高く、次いで「祖母（または祖父）」が76.3%、「友人」が68.5%であった。

(複数回答)



※子育て支援センターや親子つどいの広場の保育士やスタッフ

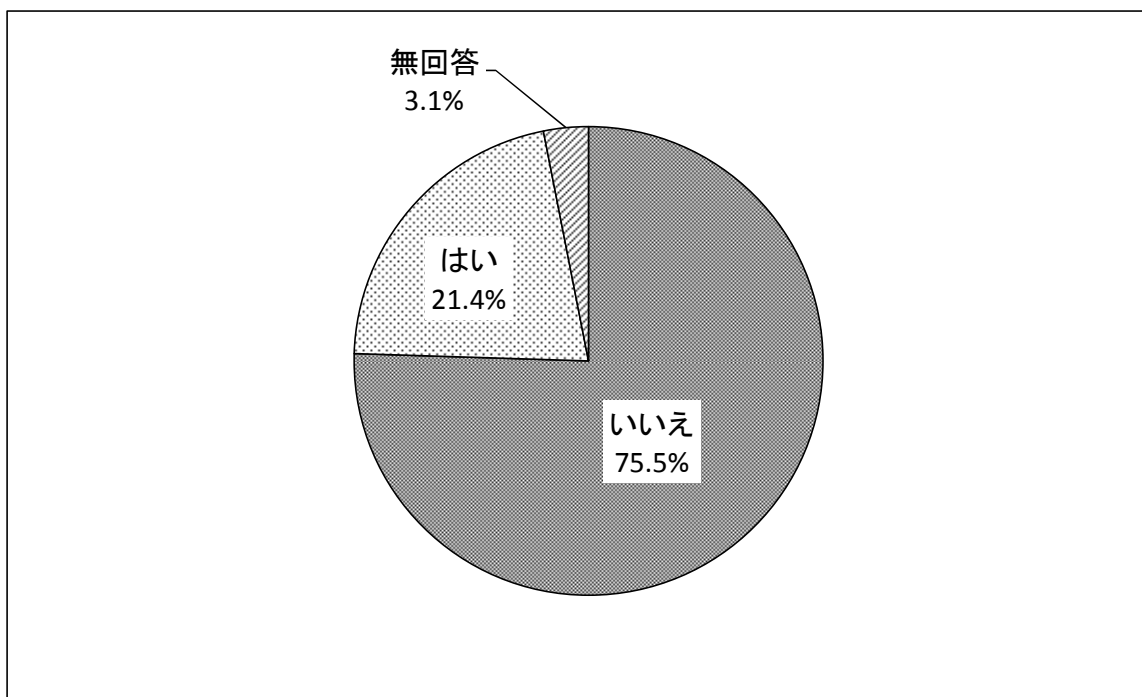
	回答数	回答割合
無回答	13	3.7%
夫婦で相談する	273	76.9%
祖母(または祖父)	271	76.3%
近所の人	36	10.1%
友人	243	68.5%
かかりつけの医師	43	12.1%
保健師や助産師	15	4.2%
子育て支援センターや親子つどいの広場の保育士やスタッフ	34	9.6%
保育士や幼稚園の先生	96	27.0%
電話相談	1	0.3%
インターネット	46	13.0%
その他	39	11.0%
誰もいない	0	0.0%

(その他の内容)

- 妹や姉 (24件)
- 職場の同僚 (6件)
- 保育園のママ友 (3件)

問33 地域の子育てサークルや子育てサロンに参加していますか。

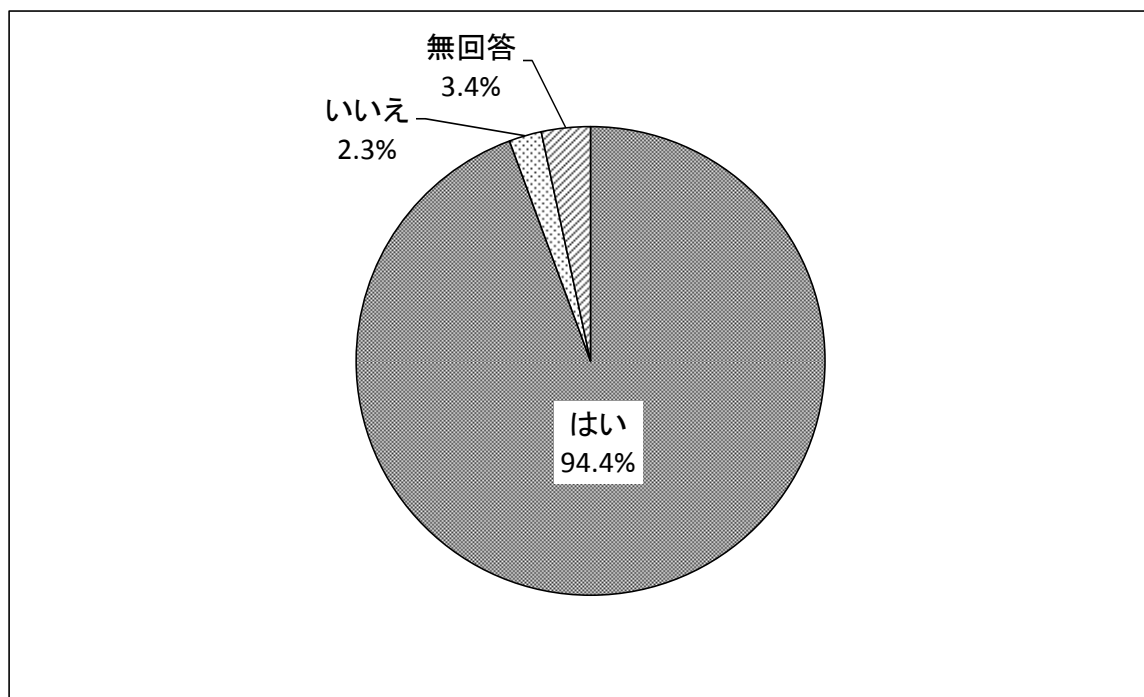
地域の子育てサークルや子育てサロンに参加しているかについては、「いいえ」が75.5%と高く、次いで「はい」が21.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	11	3.1%
はい	76	21.4%
いいえ	268	75.5%
	355	100.0%

問34 かかりつけ医を持っていますか。

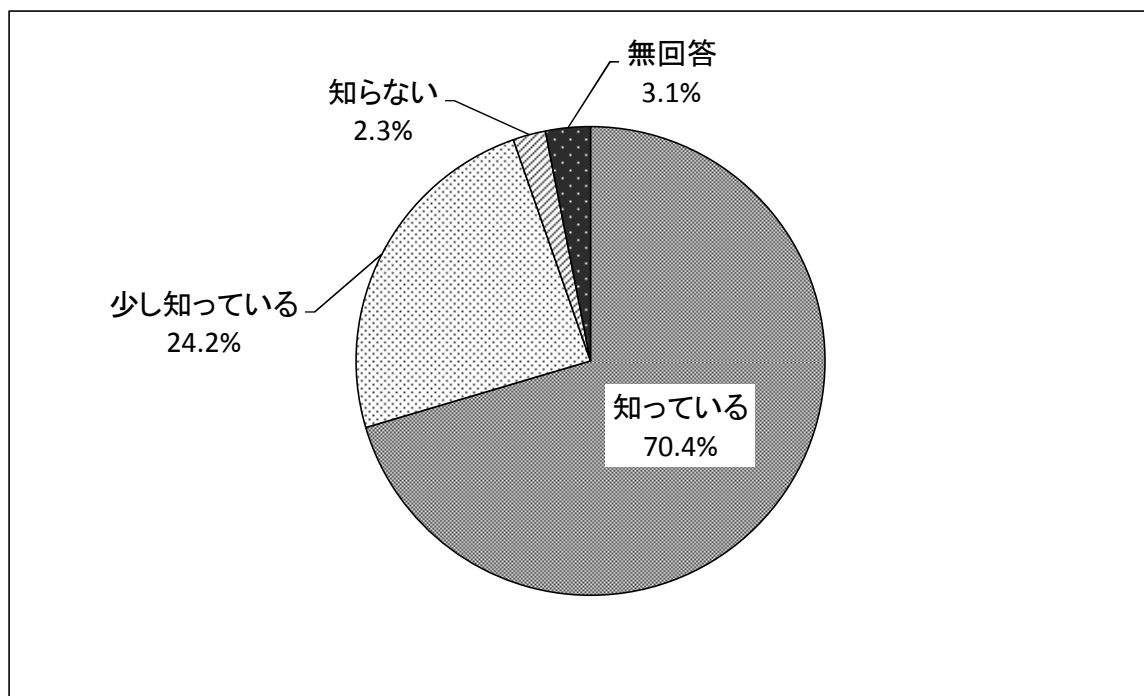
かかりつけ医を持っているかについては、「はい」が94.4%と高く、次いで「いいえ」が2.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	12	3.4%
はい	335	94.4%
いいえ	8	2.3%
	355	100.0%

問35 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

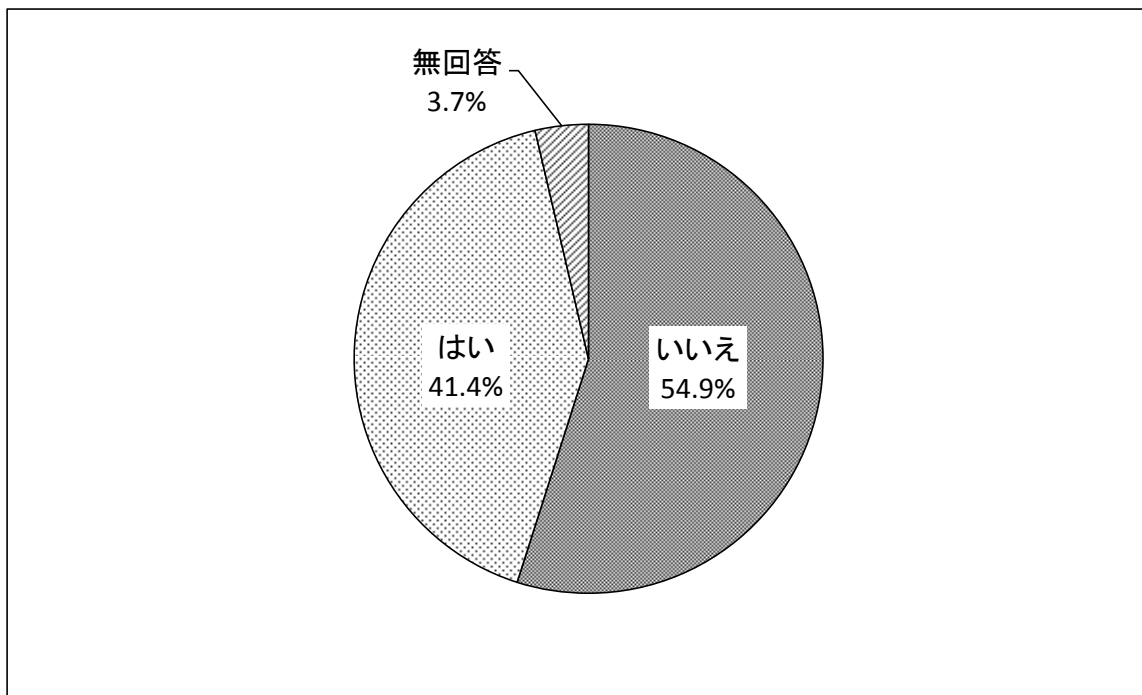
休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っているかについては、「知っている」が70.4%と最も高く、次いで「少し知っている」が24.2%、「知らない」が2.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	11	3.1%
知っている	250	70.4%
少し知っている	86	24.2%
知らない	8	2.3%
	355	100.0%

問36 「鹿児島市夜間急病センター」を、お子さんが受診したことがありますか。

「鹿児島市夜間急病センター」を、お子さんが受診したことがあるかについては、「いいえ」が54.9%と高く、次いで「はい」が41.4%であった。

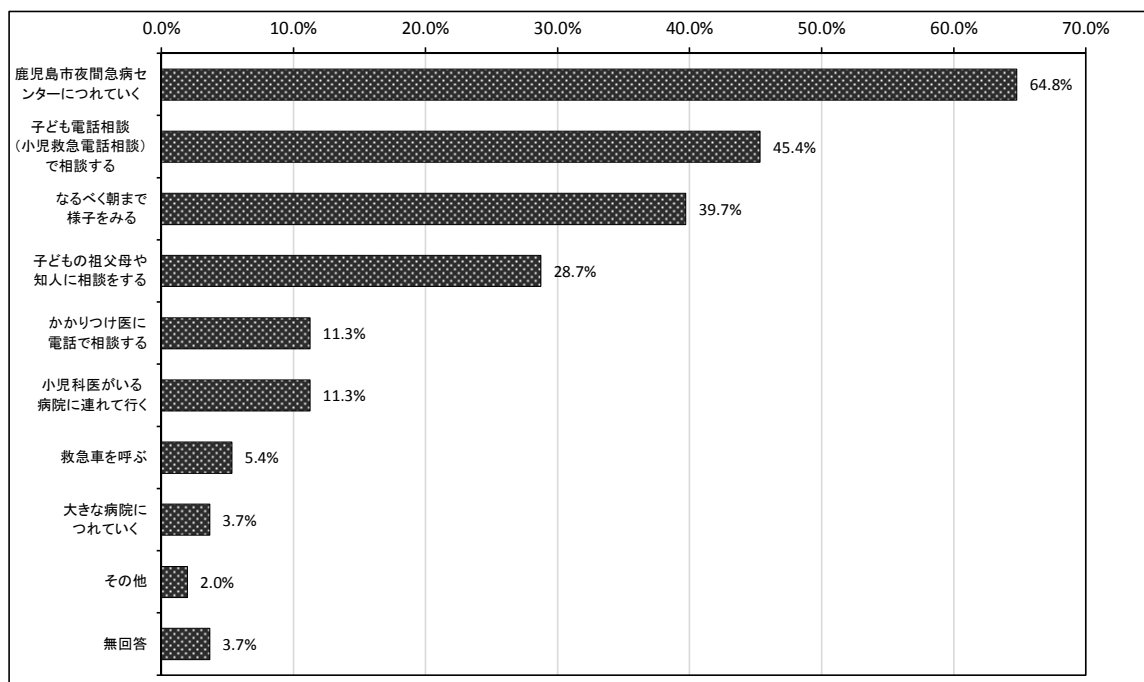


	回答数	回答割合
無回答	13	3.7%
はい	147	41.4%
いいえ	195	54.9%
	355	100.0%

問37 夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうしますか。

夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうするかについては、「鹿児島市夜間急病センターに連れていく」が64.8%と最も高く、次いで「子供電話相談（小児救急電話相談）で相談する」が45.4%、「なるべく朝まで様子を見る」が39.7%であった。

(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	13	3.7%
子ども電話相談(小児救急電話相談)で相談する	161	45.4%
かかりつけ医に電話で相談する	40	11.3%
鹿児島市夜間急病センターに連れていく	230	64.8%
小児科医がいる病院に連れて行く	40	11.3%
大きな病院につれていく	13	3.7%
救急車を呼ぶ	19	5.4%
子どもの祖父母や知人に相談をする	102	28.7%
なるべく朝まで様子を見る	141	39.7%
その他	7	2.0%

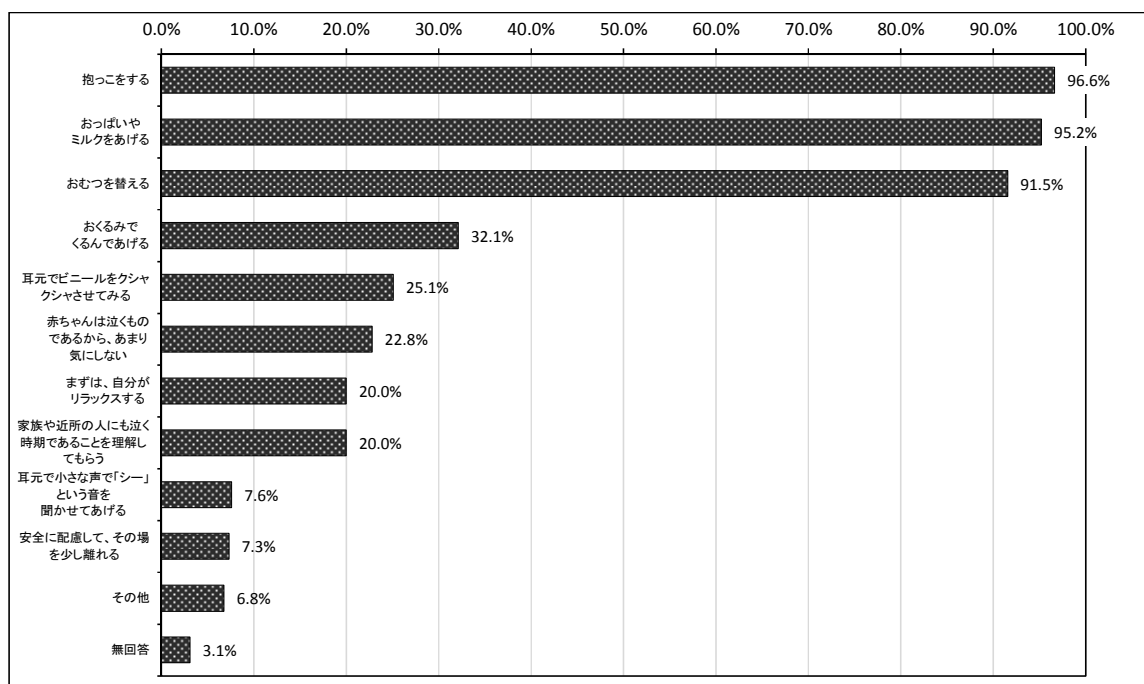
(その他の内容)

- 市民の広場を見る
- 具合の悪さの度合いによる
- 小児科勤務の友達に相談する
- 勤務先の病院に相談
- ネットなどで症状を検索する

問38 生後1～5か月頃の赤ちゃんが「泣く」時の対処法について、自分の行動や考え方であてはまるものを教えてください。

生後1～5か月頃の赤ちゃんが「泣く」時の対処法について、自分の行動や考え方であてはまるものについては、「抱っこをする」が96.6%と最も高く、次いで「おっぱいやミルクをあげる」が95.2%、「おむつを替える」が91.5%であった。

(複数回答)

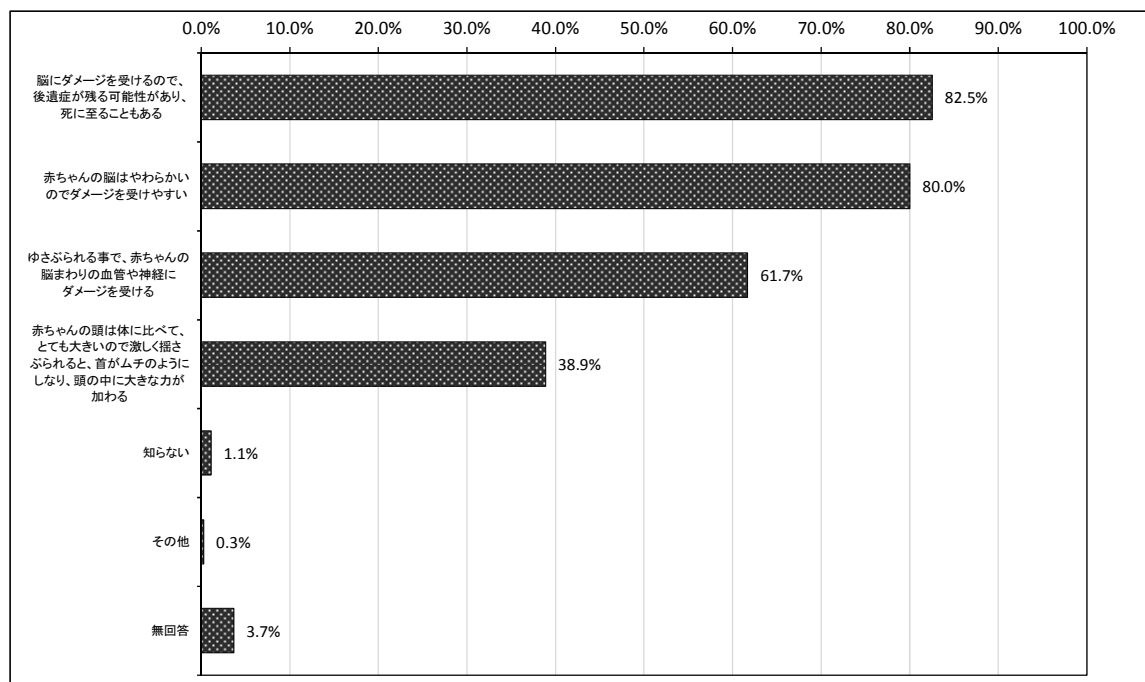


	回答数	回答割合
無回答	11	3.1%
おっぱいやミルクをあげる	338	95.2%
おむつを替える	325	91.5%
抱っこをする	343	96.6%
おくるみでくるんであげる	114	32.1%
耳元で小さな声で「シー」という音を聞かせてあげる	27	7.6%
耳元でビニールをクシャクシャさせてみる	89	25.1%
赤ちゃんは泣くものであるから、あまり気にしない	81	22.8%
安全に配慮して、その場を少し離れる	26	7.3%
まずは、自分がリラックスする	71	20.0%
家族や近所の人にも泣く時期であることを理解してもらおう	71	20.0%
その他	24	6.8%

問39 「乳幼児ゆさぶられ症候群」について、どのような事を知っていますか。

「乳幼児ゆさぶられ症候群」について、どのような事を知っているかについては、「脳にダメージを受けるので、後遺症が残る可能性があり、死に至ることもある」が82.5%と最も高く、次いで「赤ちゃんの脳はやわらかいのでダメージを受けやすい」が80.0%、「ゆさぶられる事で、赤ちゃんの脳まわりの血管や神経にダメージを受ける」が61.7%であった。

(複数回答)

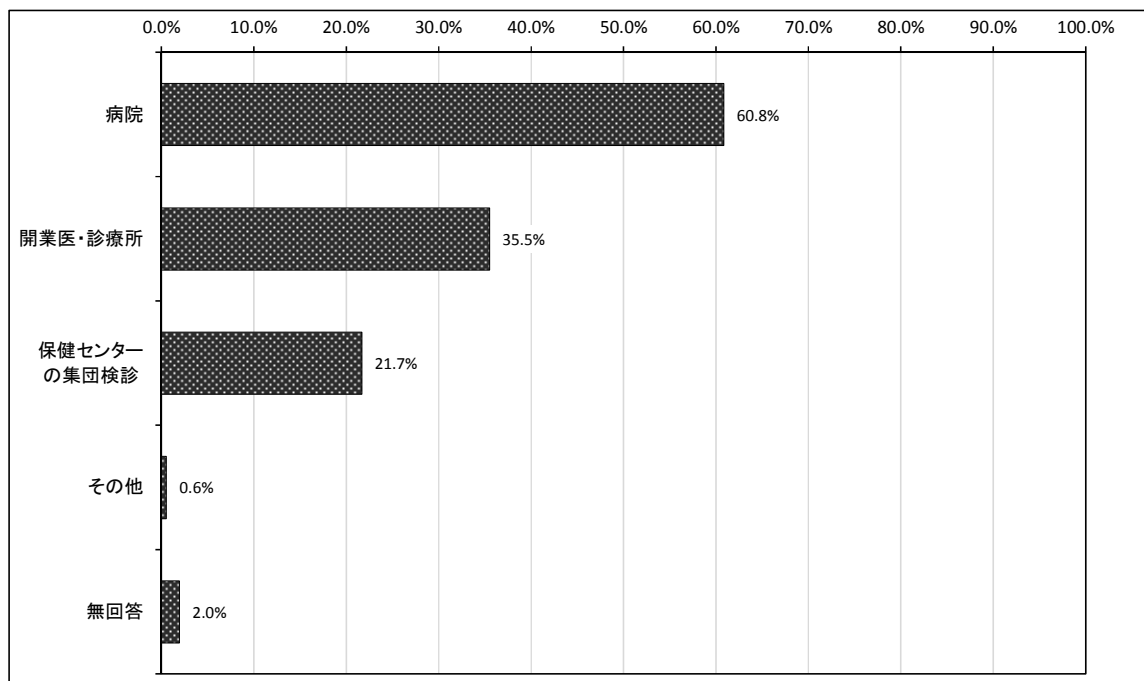


	回答数	回答割合
無回答	13	3.7%
赤ちゃんの脳はやわらかいのでダメージを受けやすい	284	80.0%
赤ちゃんの頭は体に比べて、とても大きいので激しく揺さぶられると、首がムチのようになり、頭の中に大きな力が加わる	138	38.9%
ゆさぶられる事で、赤ちゃんの脳まわりの血管や神経にダメージを受ける	219	61.7%
脳にダメージを受けるので、後遺症が残る可能性があり、死に至ることもある	293	82.5%
知らない	4	1.1%
その他	1	0.3%

問40 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。

これまでに乳幼児健診は主にどこで受けたかについては、「病院」が60.8%と最も高く、次いで「開業医・診療所」が35.5%、「保健センターの集団検診」が21.7%であった。

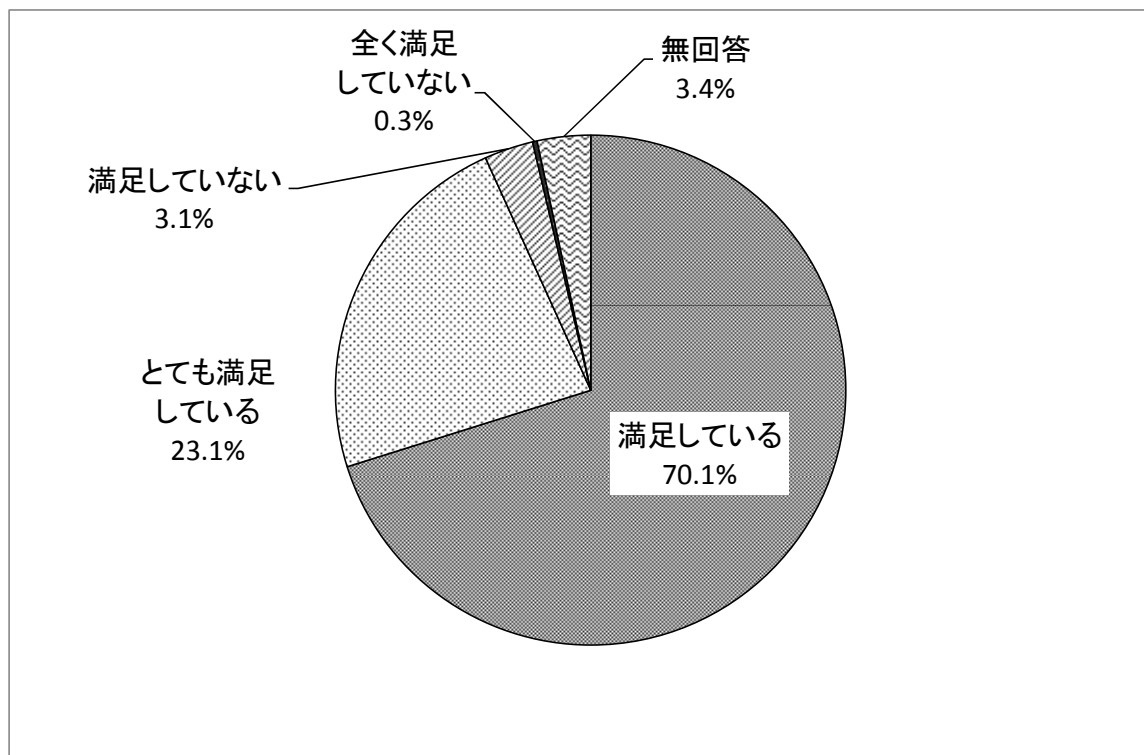
(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
保健センターの集団検診	77	21.7%
開業医・診療所	126	35.5%
病院	216	60.8%
受けていない	0	0.0%
その他	2	0.6%

問41 健診についての状況はいかがでしたか。

健診についての状況については、「満足している」が70.1%と最も高く、次いで「とても満足している」が23.1%、「満足していない」が3.1%、「全く満足していない」が0.3%であった。

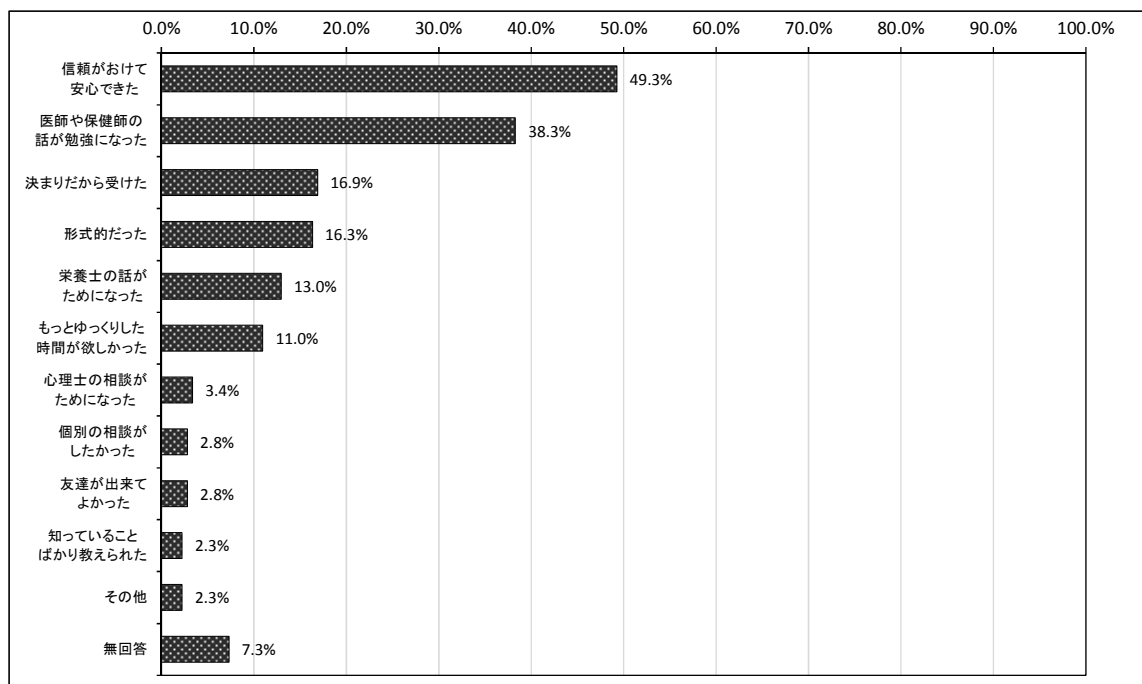


	回答数	回答割合
無回答	12	3.4%
とても満足している	82	23.1%
満足している	249	70.1%
満足していない	11	3.1%
全く満足していない	1	0.3%
	355	100.0%

問42 健診を受けた感想はいかがですか。

健診を受けた感想については、「信頼がおけて安心できた」が49.3%と最も高く、次いで「医師や保健師の話が勉強になった」が38.3%、「決まりだから受けた」が16.9%であった。

(複数回答)



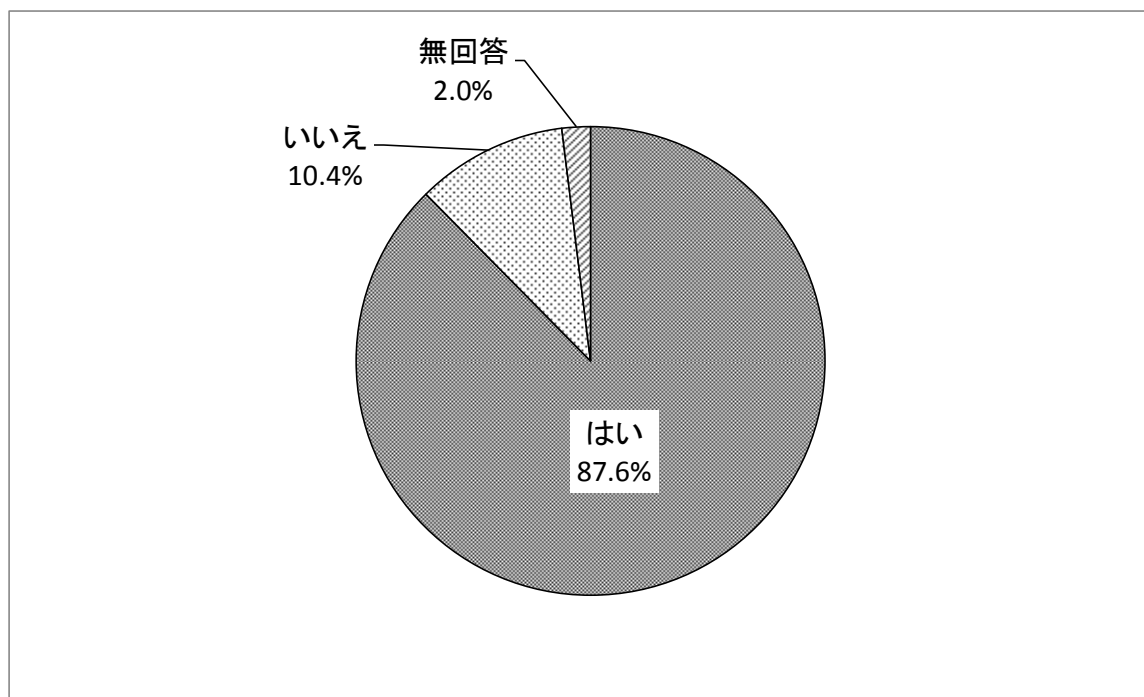
	回答数	回答割合
無回答	26	7.3%
信頼がおけて安心できた	175	49.3%
医師や保健師の話が勉強になった	136	38.3%
栄養士の話がためになった	46	13.0%
心理士の相談がためになった	12	3.4%
もっとゆっくりした時間が欲しかった	39	11.0%
個別の相談がしたかった	10	2.8%
決まりだから受けた	60	16.9%
知っていることばかり教えられた	8	2.3%
形式的だった	58	16.3%
友達が来てよかった	10	2.8%
その他	8	2.3%

(その他の内容)

- 子供の成長を客観的に判断してもらえて安心した
- 成長記録が分かるので良い
- 保健師さん達が話やすかった
- 質問に答えてもらった
- 待ち時間が長かった
- 話が一方的な感じがあった
- 異常が無い事が確認出来て安心した

問43 お子さんの食事や間食（おやつ）の時間はだいたい決まっていますか。

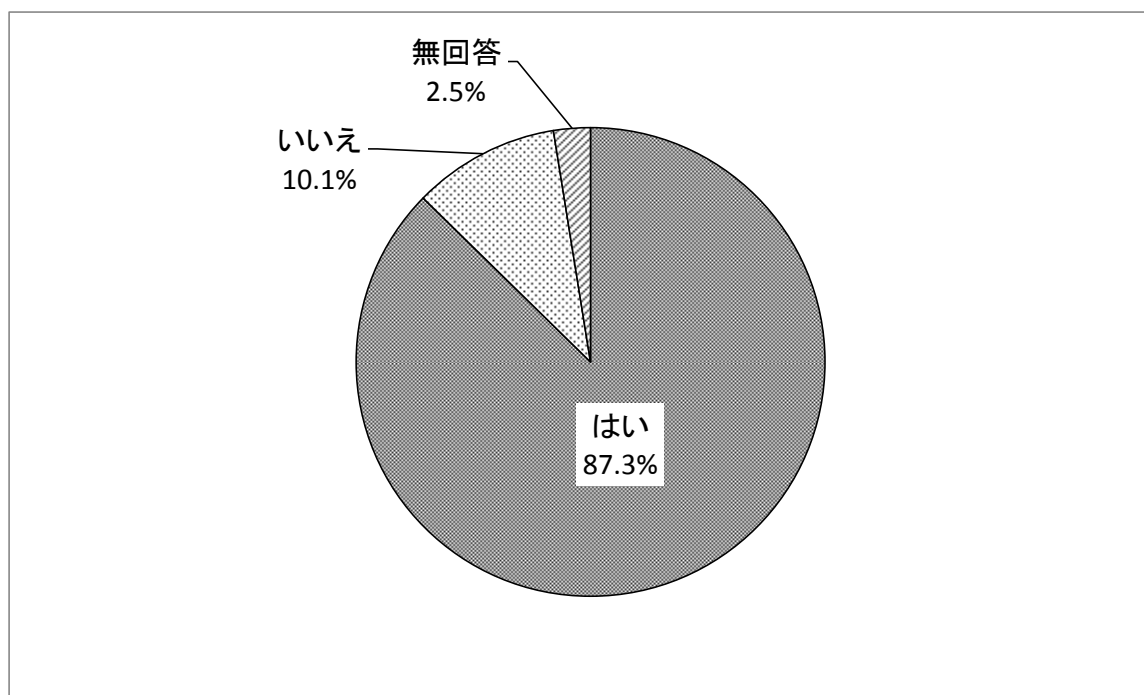
お子さんの食事や間食（おやつ）の時間はだいたい決まっているかについては、「はい」が87.6%と高く、次いで「いいえ」が10.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	311	87.6%
いいえ	37	10.4%
	355	100.0%

問44 ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視していますか。

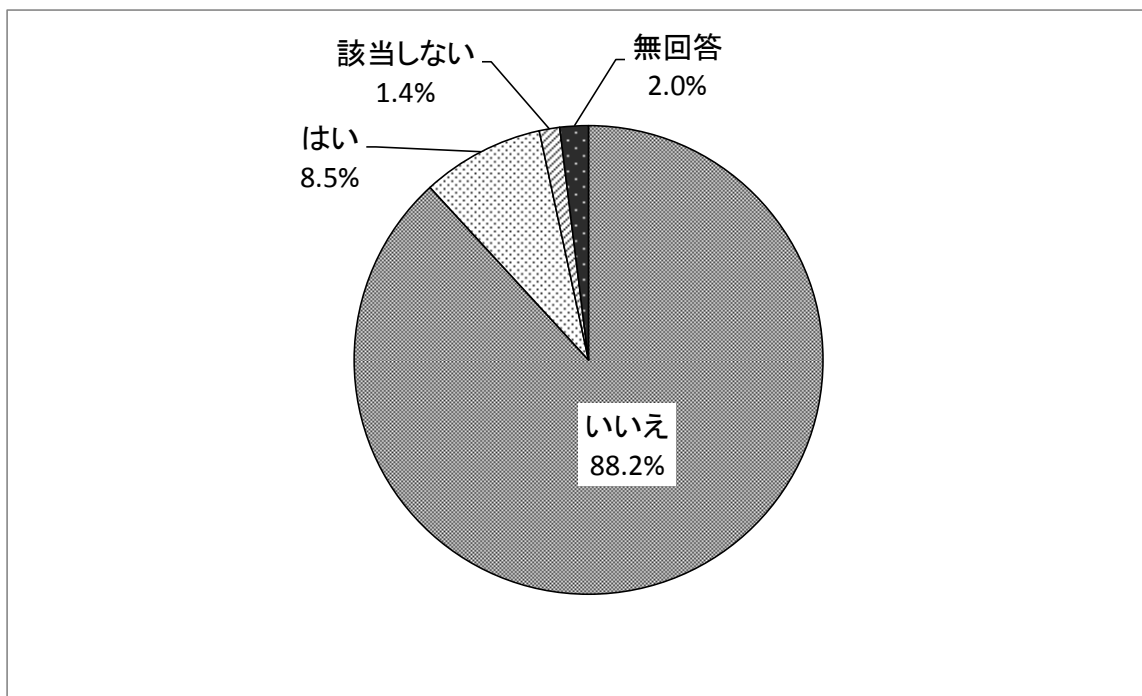
ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視しているかについては、「はい」が87.3%と高く、次いで「いいえ」が10.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	9	2.5%
はい	310	87.3%
いいえ	36	10.1%
	355	100.0%

問44-1 子どもを家に一人で残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

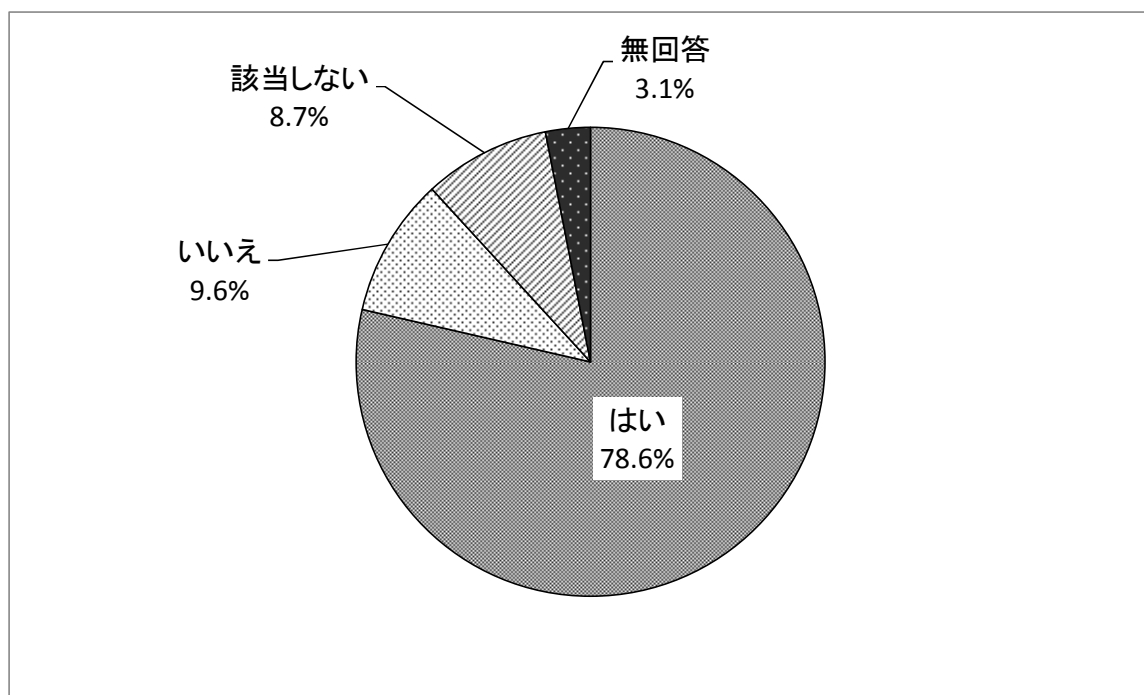
子供を家に一人で残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがあるかについては、「いいえ」が88.2%と高く、次いで「はい」が8.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	30	8.5%
いいえ	313	88.2%
該当しない	5	1.4%
	355	100.0%

問44-2 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。

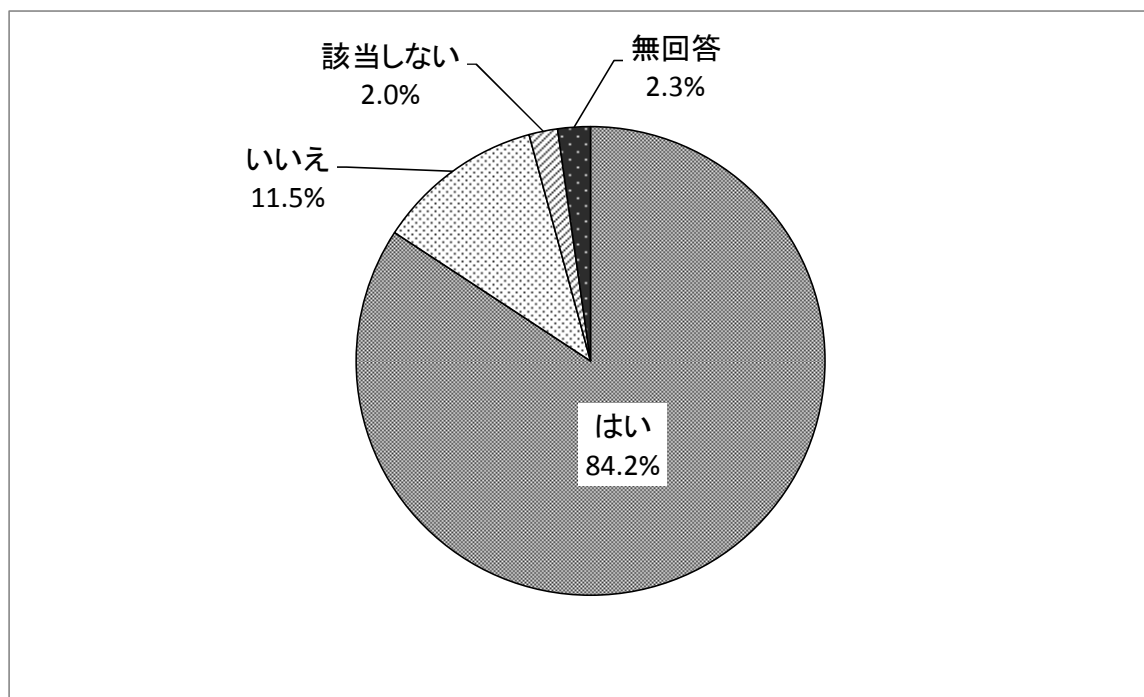
自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せているかについては、「はい」が78.6%と高く、次いで「いいえ」が9.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	11	3.1%
はい	279	78.6%
いいえ	34	9.6%
該当しない	31	8.7%
	355	100.0%

問44-3 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。

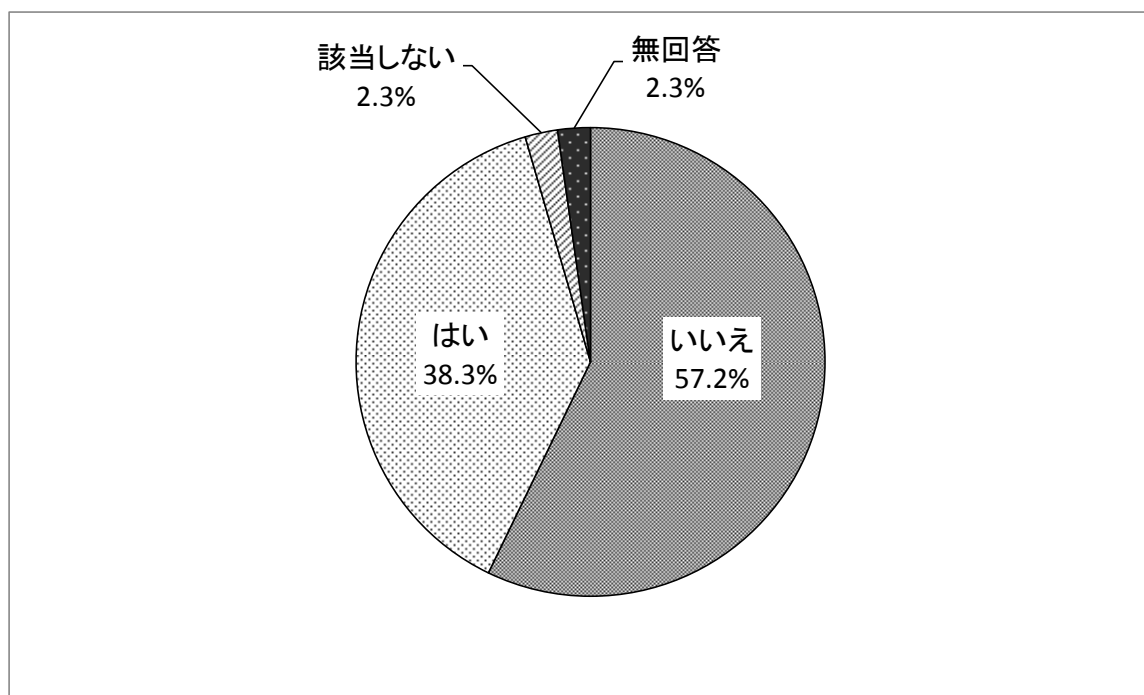
浴槽に水をためたままにしないように注意しているかについては、「はい」が84.2%と高く、次いで「いいえ」が11.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	8	2.3%
はい	299	84.2%
いいえ	41	11.5%
該当しない	7	2.0%
	355	100.0%

問44-4 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。

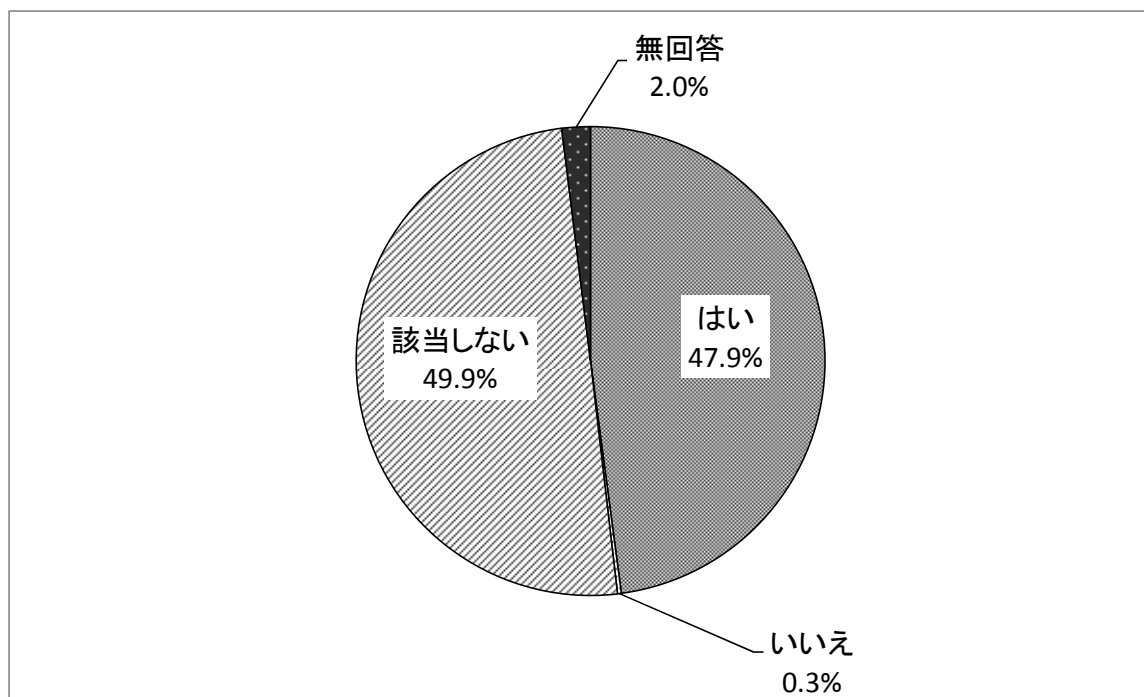
浴室のドアには、子供が一人で開ける事が出来ないような工夫がしてあるかについては、「いいえ」が57.2%と高く、次いで「はい」が38.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	8	2.3%
はい	136	38.3%
いいえ	203	57.2%
該当しない	8	2.3%
	355	100.0%

問44-5 タバコや灰皿は、いつも子どもの手の届かないところに置いていますか。

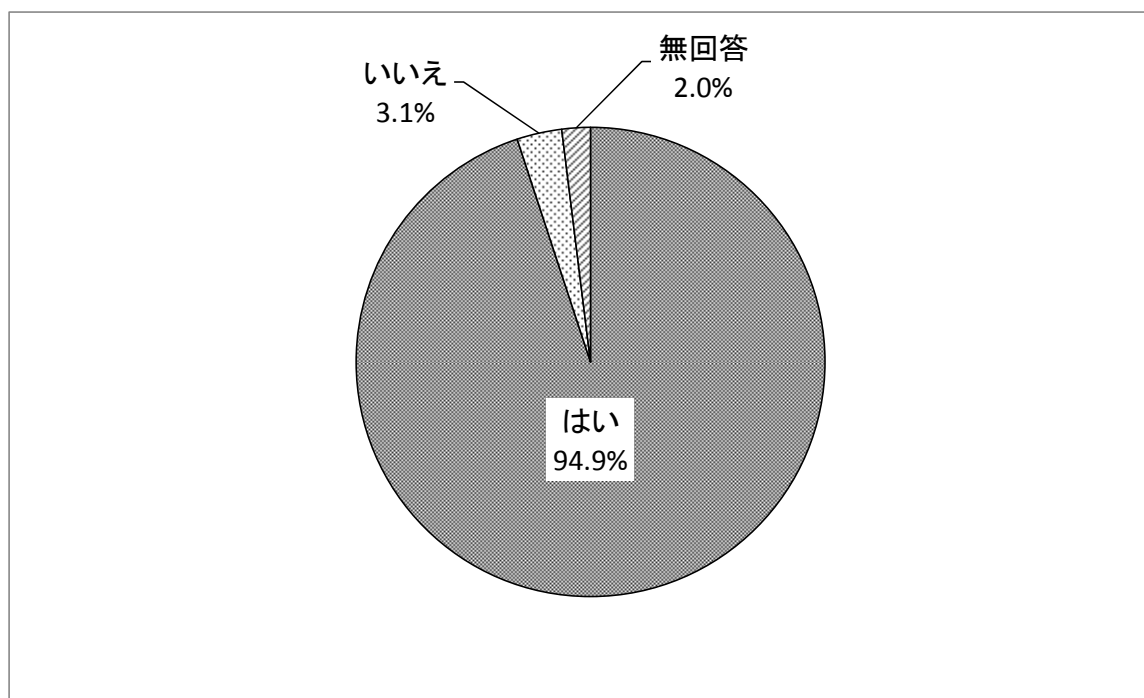
タバコや灰皿は、いつも子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が47.9%と高く、次いで「いいえ」が0.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	170	47.9%
いいえ	1	0.3%
該当しない	177	49.9%
	355	100.0%

問44-6 ピーナッツやあめ玉などは、子どもの手の届かないところに置いていますか。

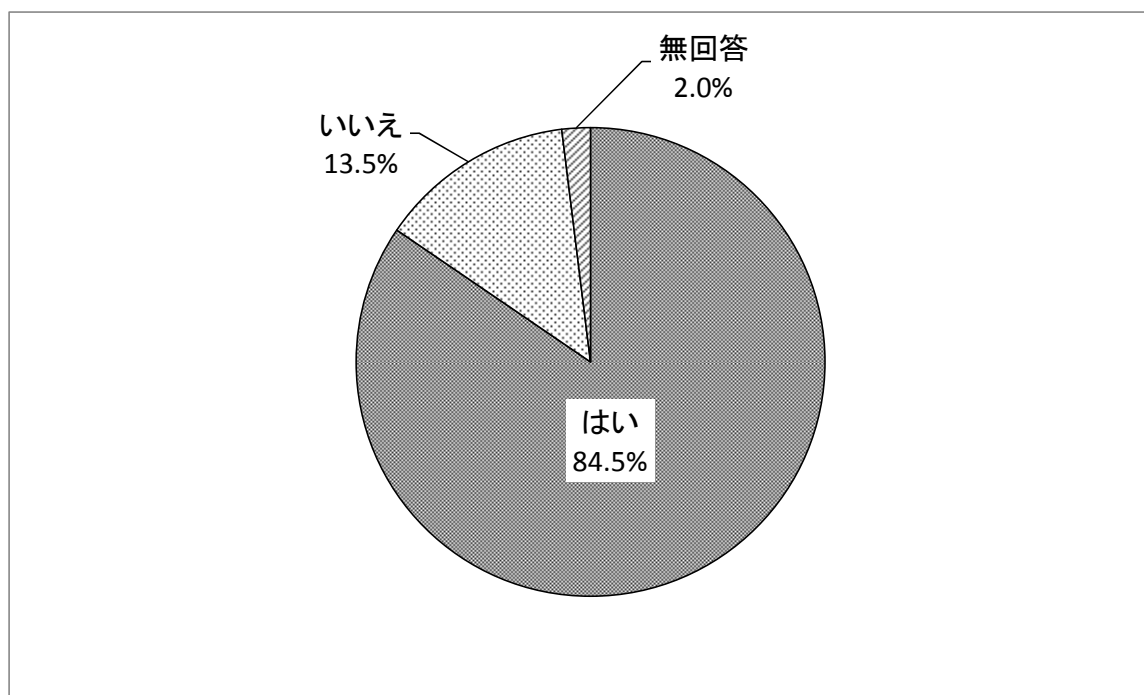
ピーナッツやあめ玉などは、子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が94.9%と高く、次いで「いいえ」が3.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	337	94.9%
いいえ	11	3.1%
	355	100.0%

問44-7 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

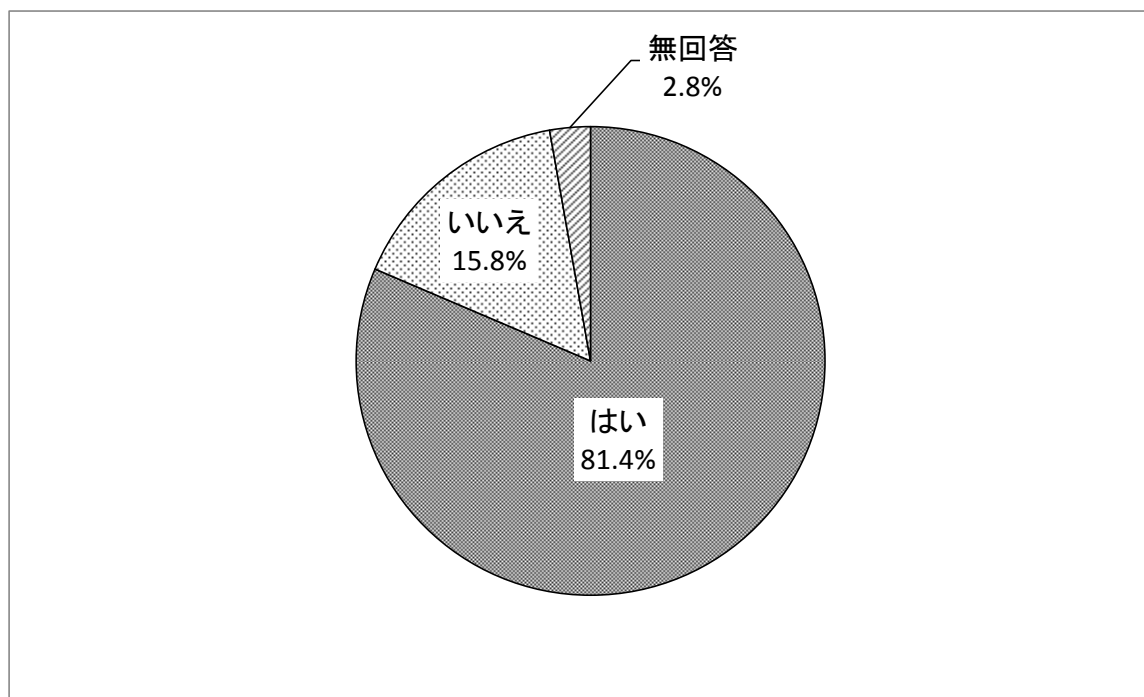
医薬品、化粧品、洗剤などは子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が84.5%と高く、次いで「いいえ」が13.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	300	84.5%
いいえ	48	13.5%
	355	100.0%

問44-8 ポットや炊飯器は、子どもの手の届かないところに置いていますか。

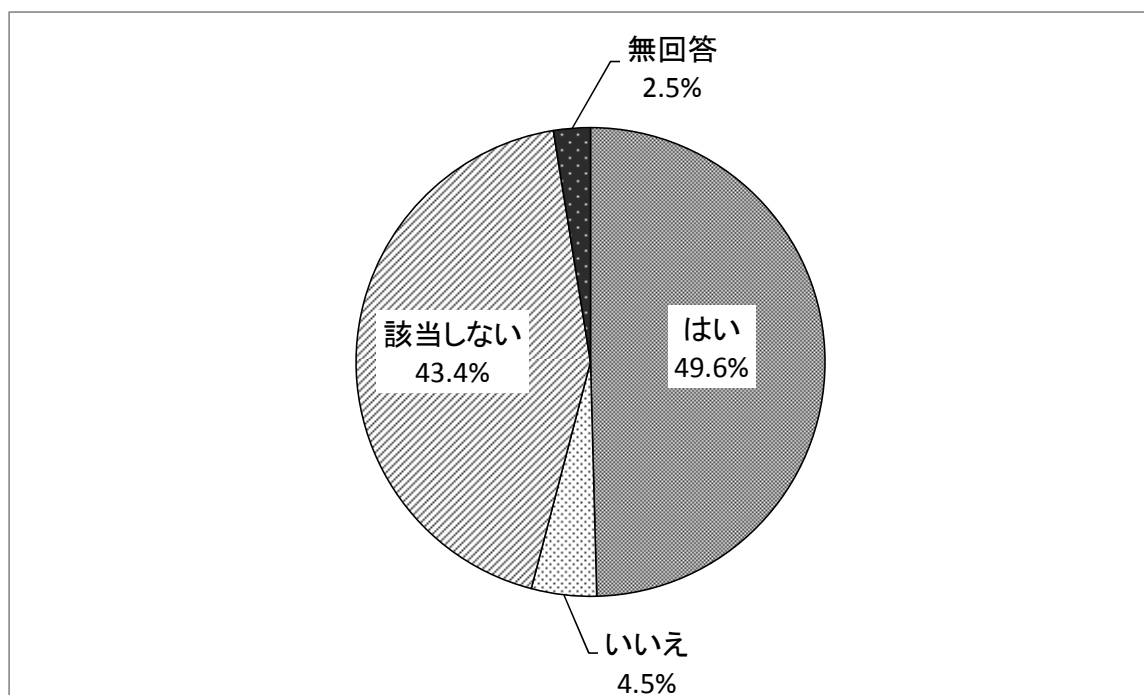
ポットや炊飯器は、子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が81.4%と高く、次いで「いいえ」が15.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	10	2.8%
はい	289	81.4%
いいえ	56	15.8%
	355	100.0%

問44-9 ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。

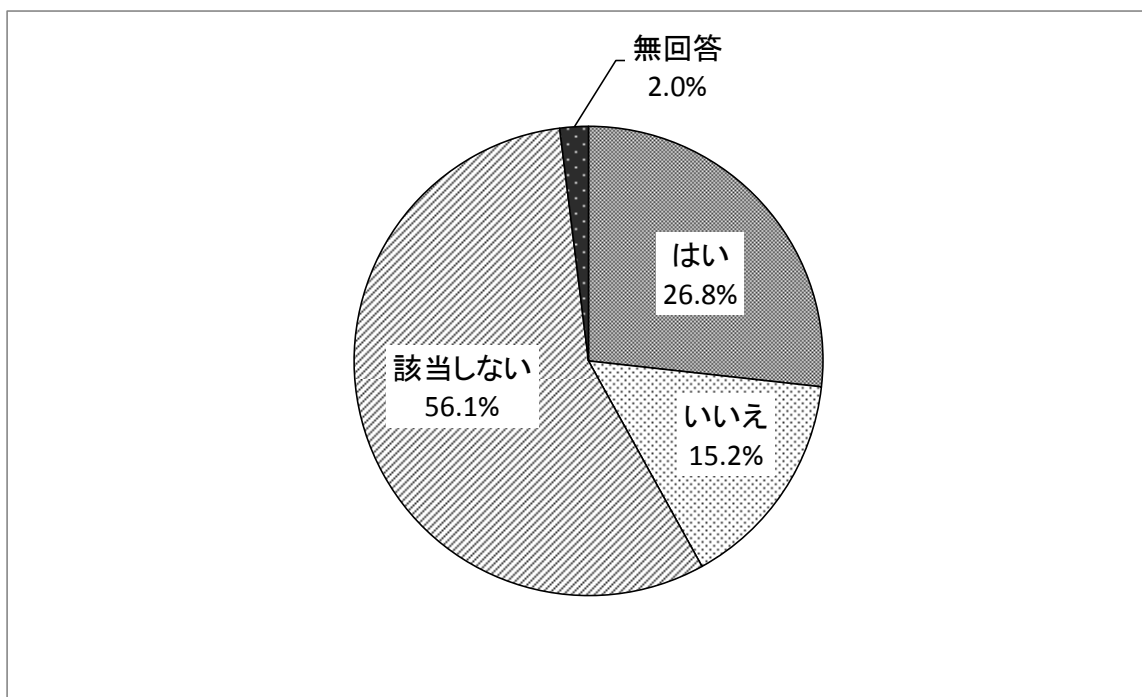
ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子供が直接触れないようにしているかについては、「はい」が49.6%と高く、次いで「いいえ」が4.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	9	2.5%
はい	176	49.6%
いいえ	16	4.5%
該当しない	154	43.4%
	355	100.0%

問44-10 階段に転落防止用の柵を取り付けていますか。

階段に転落防止用の柵を取り付けているかについては、「はい」が26.8%と高く、次いで「いいえ」が15.2%であった。

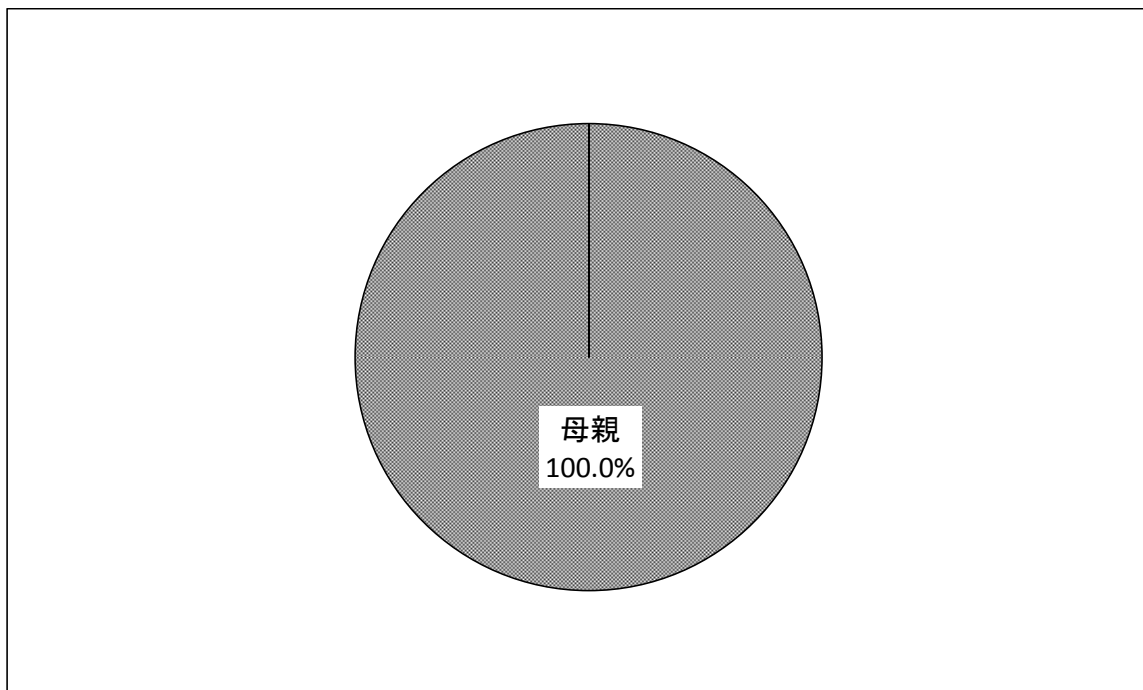


	回答数	回答割合
無回答	7	2.0%
はい	95	26.8%
いいえ	54	15.2%
該当しない	199	56.1%
	355	100.0%

第4編
3歳児の保護者

問1 記入していただく方のお子さんとの続柄を教えてください。

子どもとの続柄については、「母」が100.0%であった。



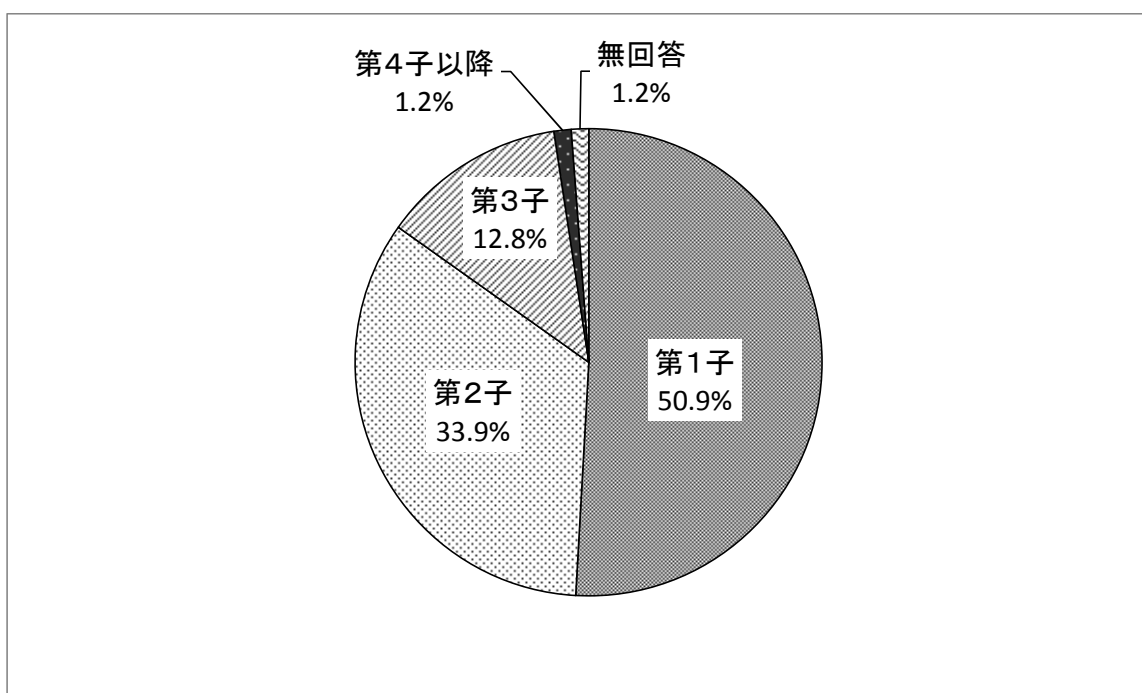
	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
母親	336	100.0%
父親	0	0.0%
祖父母	0	0.0%
その他	0	0.0%
	336	100.0%

問3 お子さんは何番目のお子さんですか。

お子さんは何番目のお子さんですかについては、「第1子」が50.9%と最も高く、次いで「第2子」が33.9%、「第3子」が12.8%、「第4子以降」が1.2%であった。

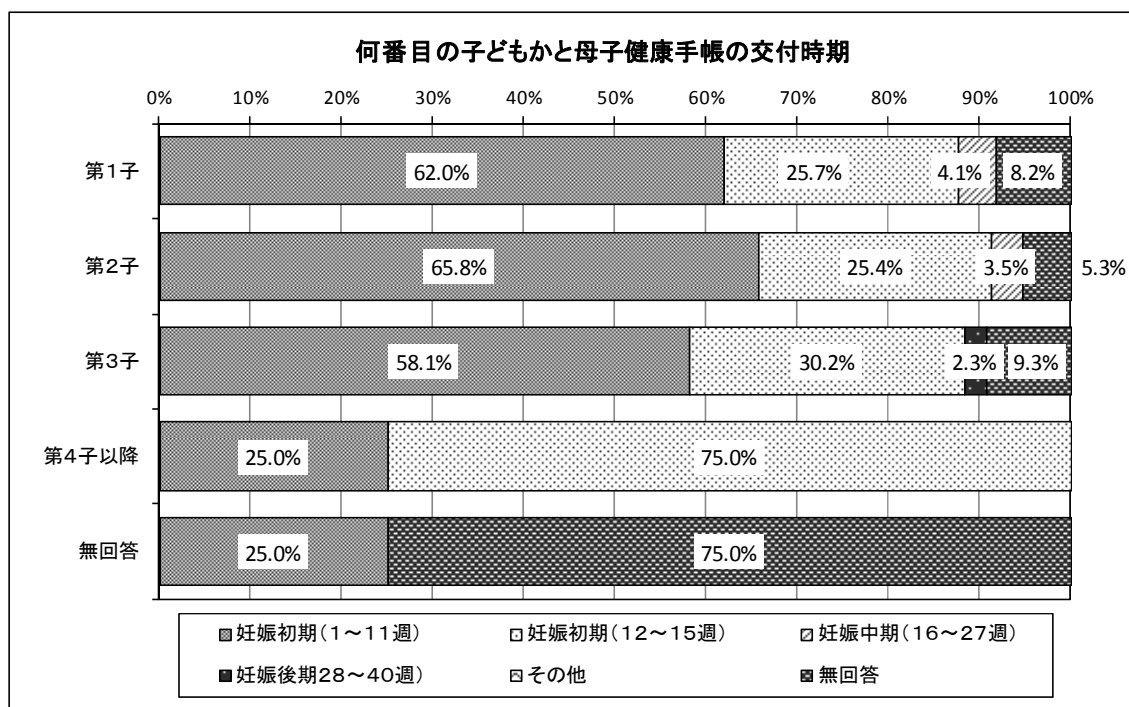
(クロス集計の結果より)

母子健康手帳の交付時期については、生まれた子どもの順番に関わらず、6割以上が妊娠初期の段階で母子健康手帳の交付を受けている。



	回答数	回答割合
無回答	4	1.2%
第1子	171	50.9%
第2子	114	33.9%
第3子	43	12.8%
第4子以降	4	1.2%
	336	100.0%

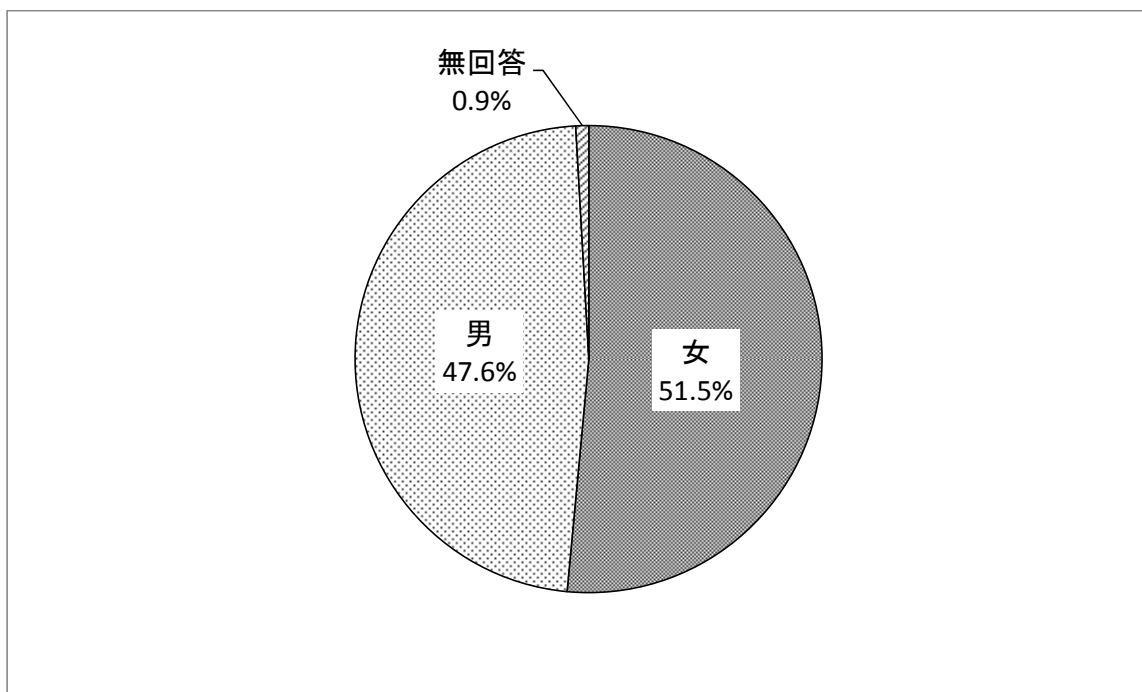
■「何番目の子どもか」と「母子健康手帳の交付時期」



何番目の子どもか	母子健康手帳の交付時期		妊娠初期(1~11週)	妊娠初期(12~15週)	妊娠中期(16~27週)	妊娠後期(28~40週)	その他	無回答
	サンプル数	上段:実数 下段:構成比(%)						
全体	336	208 100.0%	89 61.9%	11 26.5%	1 3.3%	0 0.3%	0 0.0%	27 8.0%
第1子	171	106 100.0%	44 62.0%	7 25.7%	0 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 8.2%
第2子	114	75 100.0%	29 65.8%	4 25.4%	0 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.3%
第3子	43	25 100.0%	13 58.1%	0 30.2%	1 0.0%	0 2.3%	0 0.0%	4 9.3%
第4子以降	4	1 100.0%	3 25.0%	0 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	4	1 100.0%	0 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%

問4 お子さんの性別を教えてください。

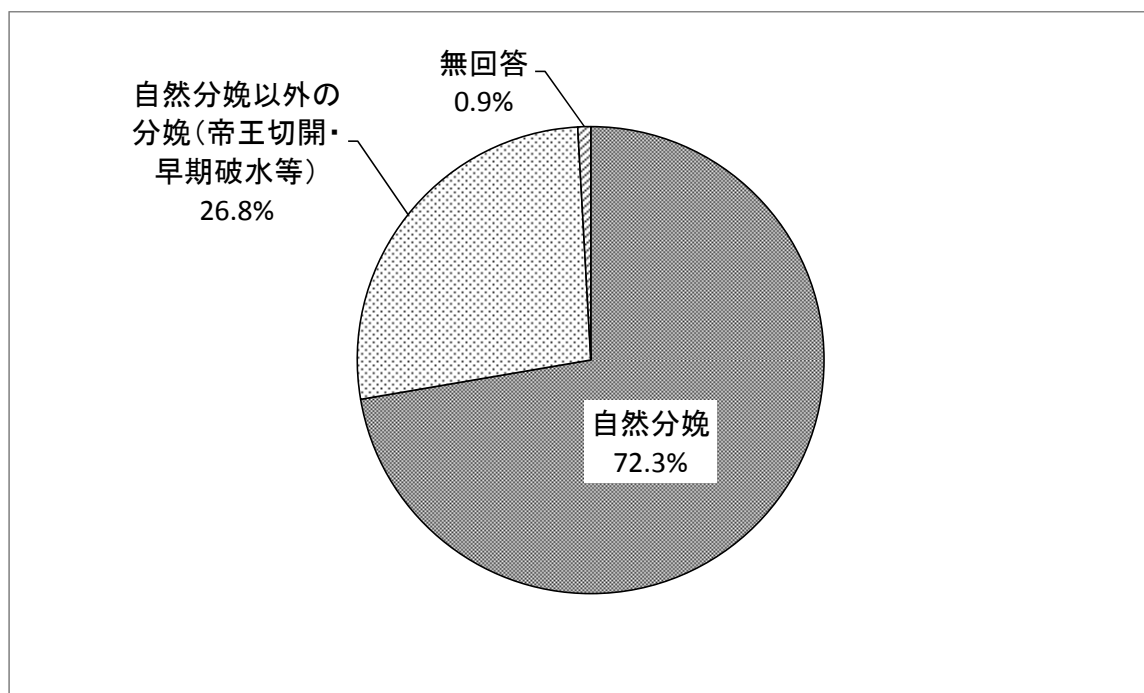
お子さんの性別については、「女」が51.5%と高く、次いで「男」が47.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	0.9%
男	160	47.6%
女	173	51.5%
	336	100.0%

問5 お子さんを出産された時の状態はどうでしたか。

お子さんを出産された時の状態については、「自然分娩」が72.3%と高く、次いで「自然分娩以外の分娩（帝王切開・早期破水等）」が26.8%であった。

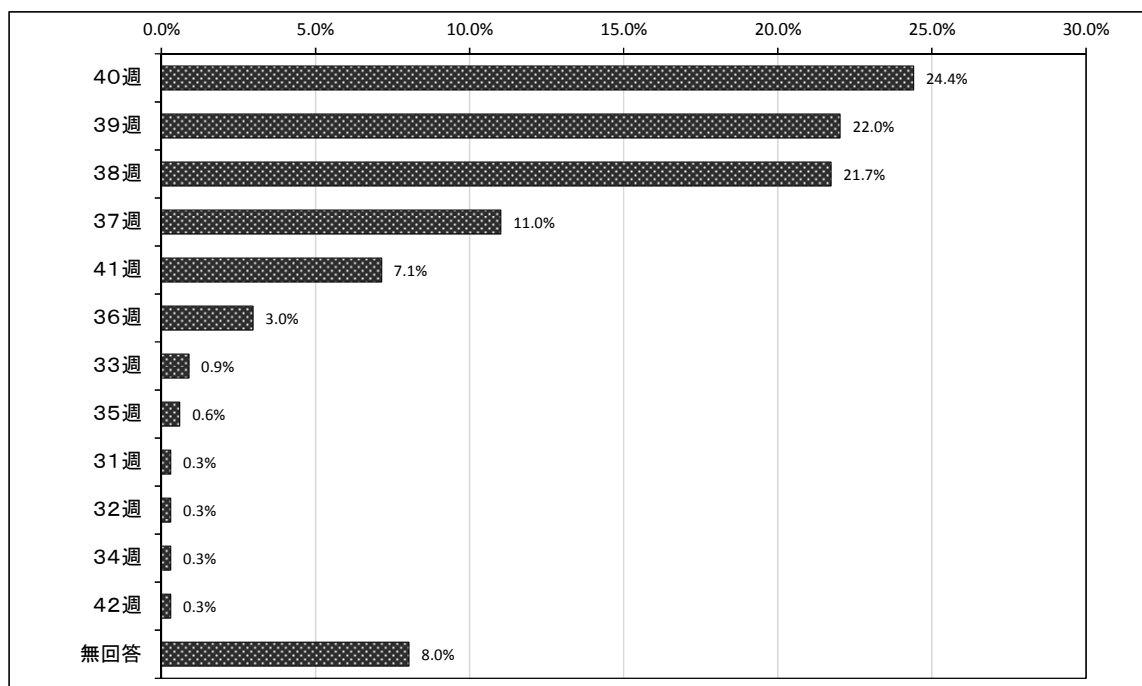


	回答数	回答割合
無回答	3	0.9%
自然分娩	243	72.3%
自然分娩以外の分娩(帝王切開・早期破水等)	90	26.8%
	336	100.0%

問6 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください。

出生時の妊娠期間については、「40週」が24.4%と最も高く、次いで「39週」が22.0%、「38週」が21.7%であった。

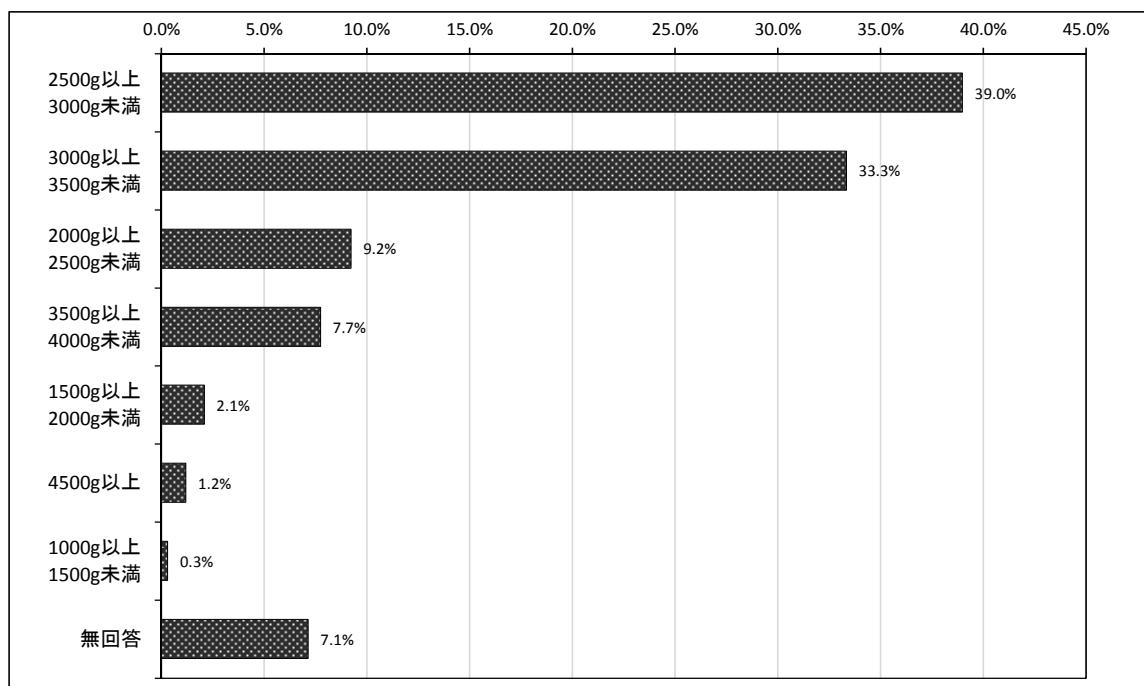
■出生時の妊娠期間



	回答数	回答割合
無回答	27	8.0%
31週	1	0.3%
32週	1	0.3%
33週	3	0.9%
34週	1	0.3%
35週	2	0.6%
36週	10	3.0%
37週	37	11.0%
38週	73	21.7%
39週	74	22.0%
40週	82	24.4%
41週	24	7.1%
42週	1	0.3%
	336	100.0%

体重については、「2500g以上3000g未満」が39.0%と最も高く、次いで「3000g以上3500g未満」が33.3%、「2000g以上2500g未満」が9.2%であった。

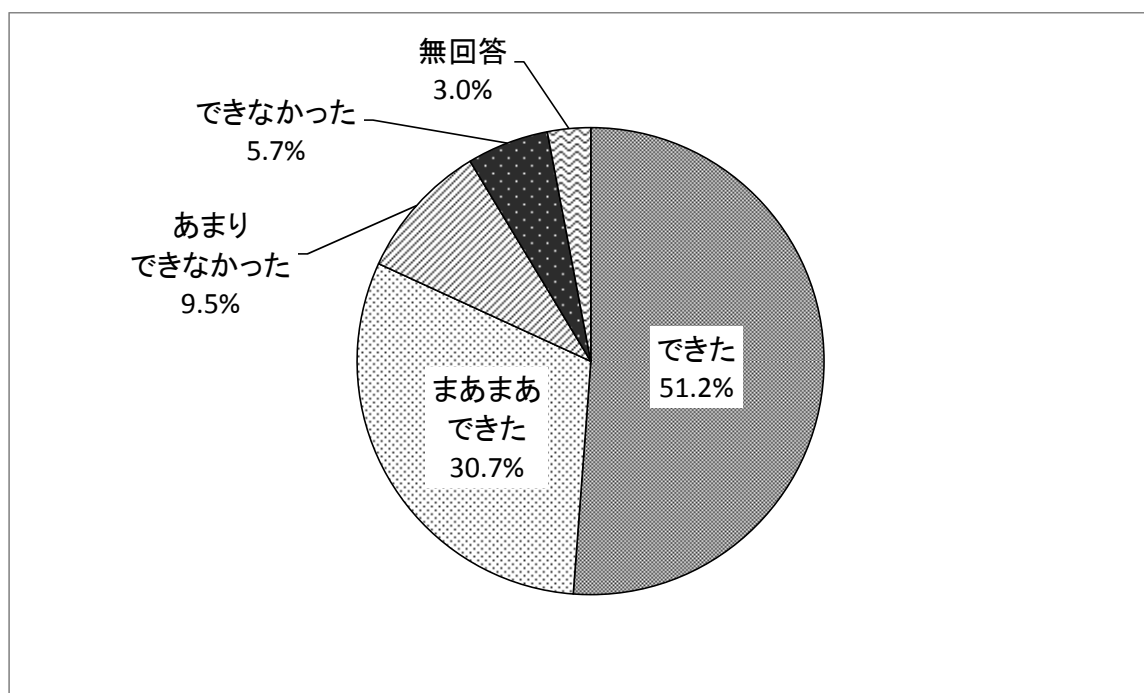
■体重



	回答数	回答割合
無回答	24	7.1%
1000g以上1500g未満	1	0.3%
1500g以上2000g未満	7	2.1%
2000g以上2500g未満	31	9.2%
2500g以上3000g未満	131	39.0%
3000g以上3500g未満	112	33.3%
3500g以上4000g未満	26	7.7%
4000g以上4500g未満	0	0.0%
4500g以上	4	1.2%
	336	100.0%

問7 自分の希望した（満足な）出産が出来ましたか。

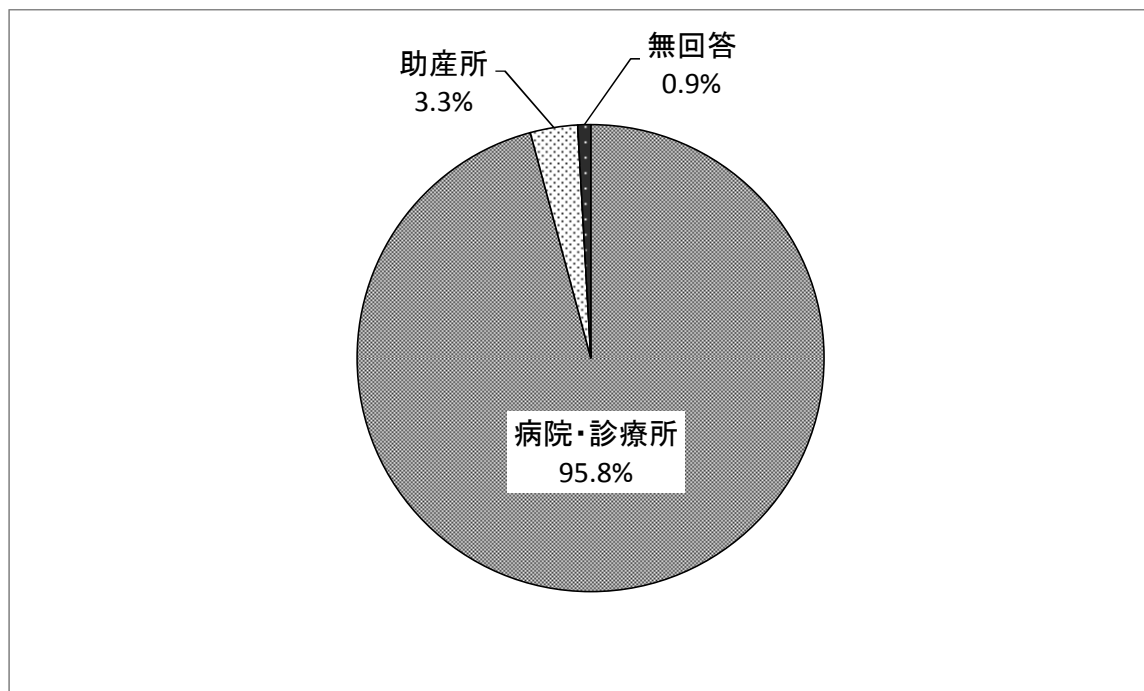
自分の希望した（満足な）出産が出来たかについては、「できた」が51.2%と最も高く、次いで「まあまあできた」が30.7%、「あまりできなかった」が9.5%、「できなかった」が5.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	10	3.0%
できた	172	51.2%
まあまあできた	103	30.7%
あまりできなかった	32	9.5%
できなかった	19	5.7%
	336	100.0%

問8 出産はどこでされましたか。

出産をどこでしたかについては「病院・診療所」が95.8%と高く、次いで「助産所」が3.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	0.9%
病院・診療所	322	95.8%
助産所	11	3.3%
その他	0	0.0%
	336	100.0%

問9 出産した時のお母さんの年齢はいくつでしたか。

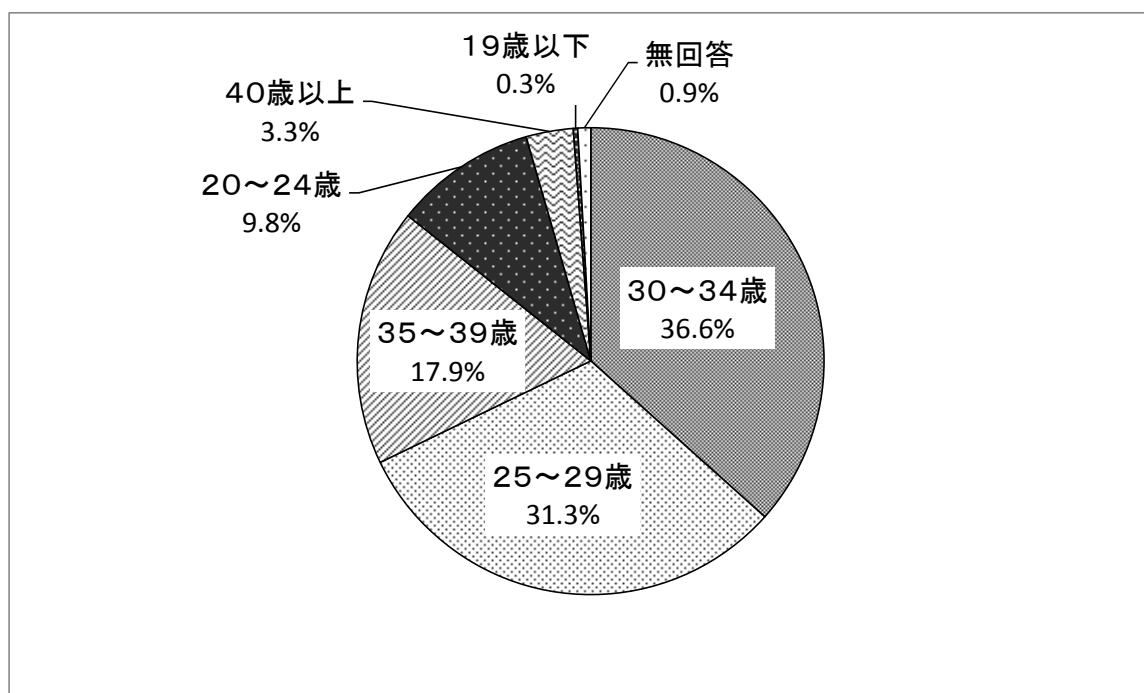
出産した時のお母さんの年齢はいくつだったかについては、「30～34歳」が36.6%と最も高く、次いで「25～29歳」が31.3%、「35～39歳」が17.9%、「20～24歳」が9.8%、「40歳以上」が3.3%、「19歳以下」が0.3%であった。

(クロス集計の結果より)

妊娠が分かった時の喫煙については、喫煙「していた」が「20～24歳」が30.3%と最も高く、次いで「25～29歳」が19.0%であった。

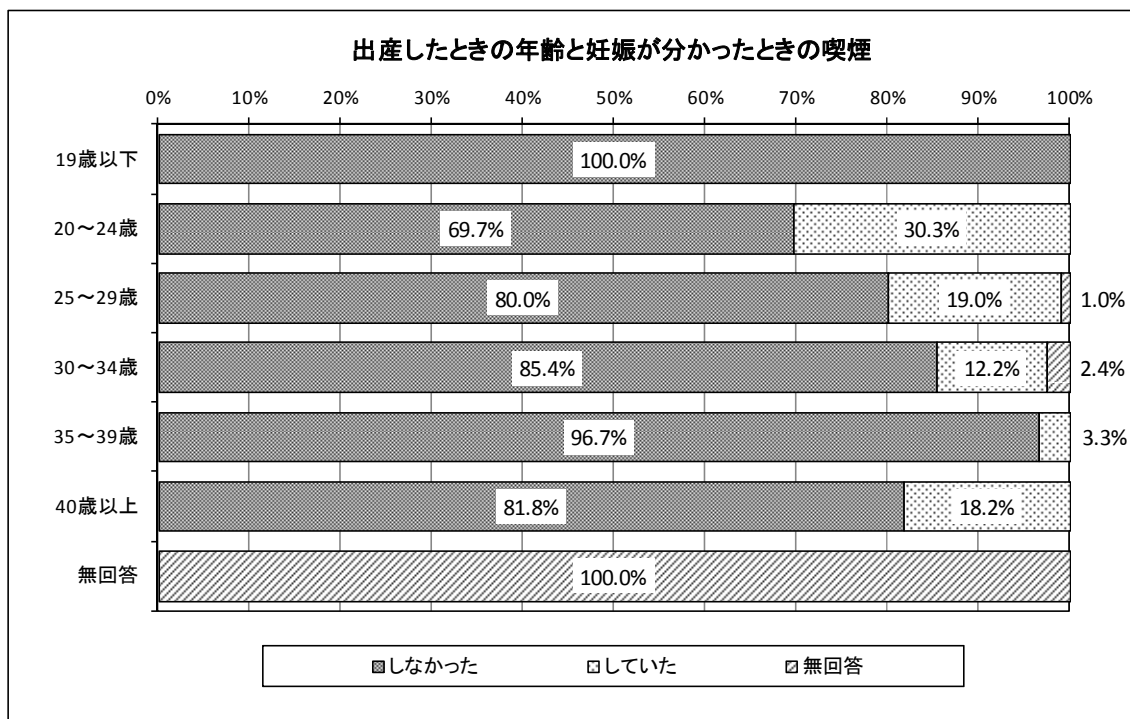
妊娠中のパートナーの喫煙については、喫煙「していた」が「20～24歳」が66.7%と最も高く、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向がみられる。

子どもを虐待していると感じる機会の有無については、「30～34歳」が20.3%と最も高かった。



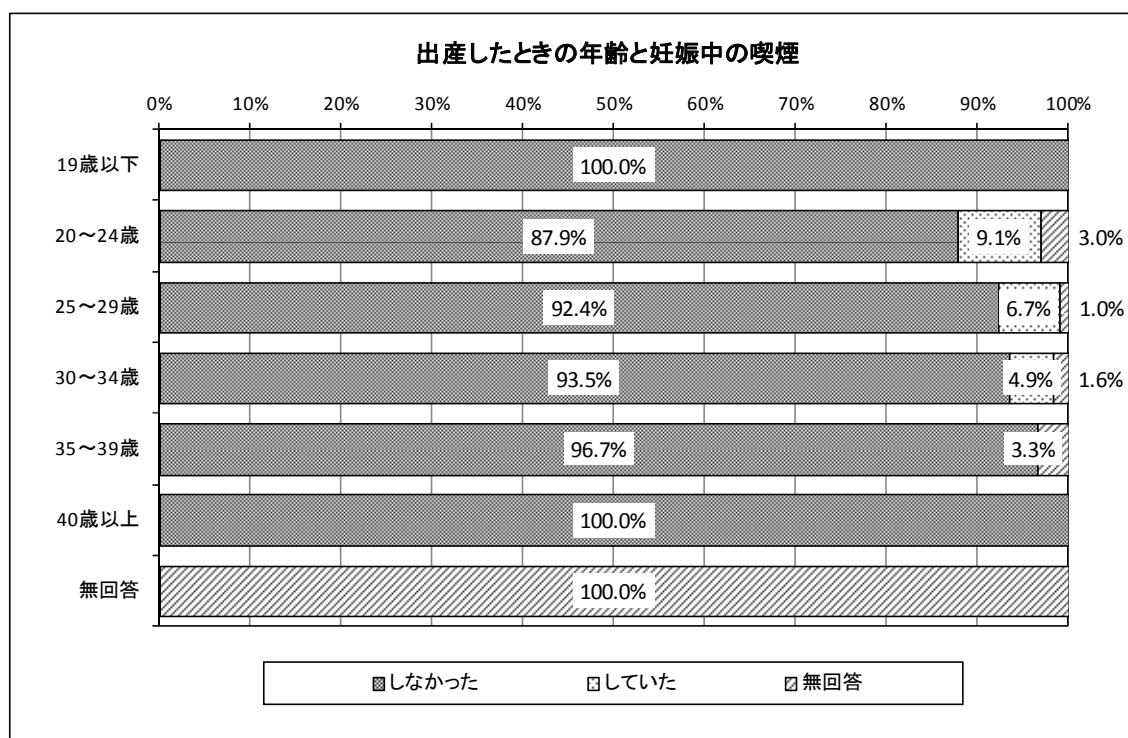
	回答数	回答割合
無回答	3	0.9%
19歳以下	1	0.3%
20～24歳	33	9.8%
25～29歳	105	31.3%
30～34歳	123	36.6%
35～39歳	60	17.9%
40歳以上	11	3.3%
	336	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「妊娠が分かったときの喫煙」



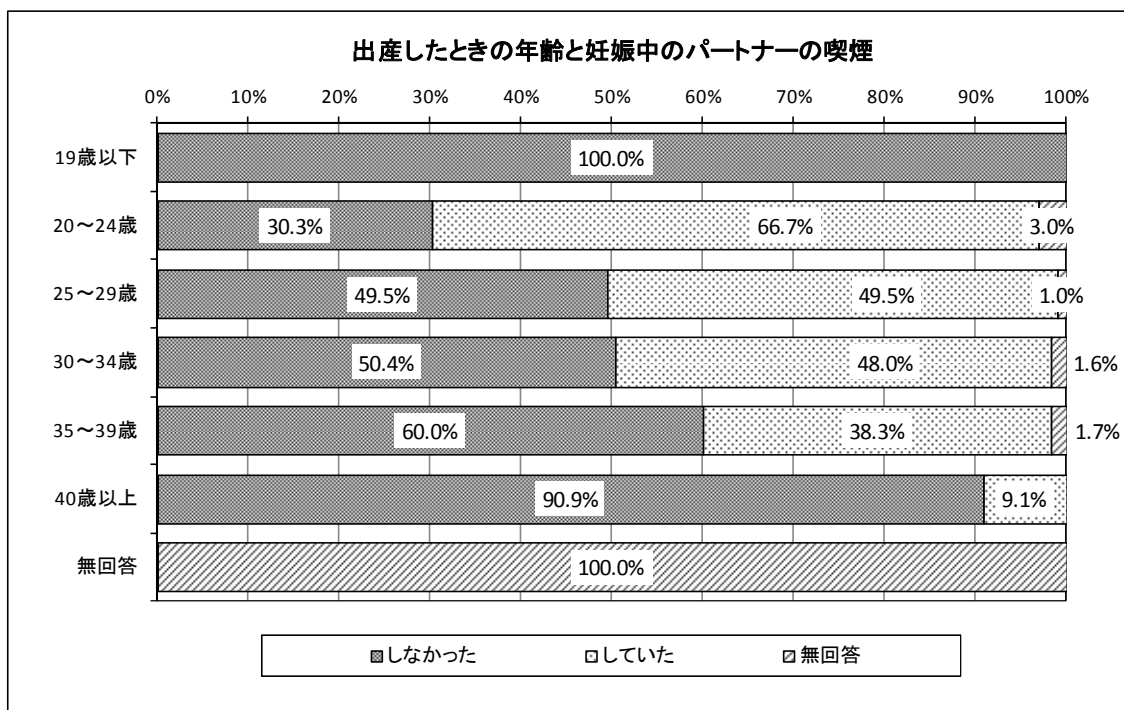
出産したときの年齢	妊娠が分かったときの喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	336	280	49	7
	100.0%	83.3%	14.6%	2.1%
19歳以下	1	1	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20～24歳	33	23	10	0
	100.0%	69.7%	30.3%	0.0%
25～29歳	105	84	20	1
	100.0%	80.0%	19.0%	1.0%
30～34歳	123	105	15	3
	100.0%	85.4%	12.2%	2.4%
35～39歳	60	58	2	0
	100.0%	96.7%	3.3%	0.0%
40歳以上	11	9	2	0
	100.0%	81.8%	18.2%	0.0%
無回答	3	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「妊娠中の喫煙」



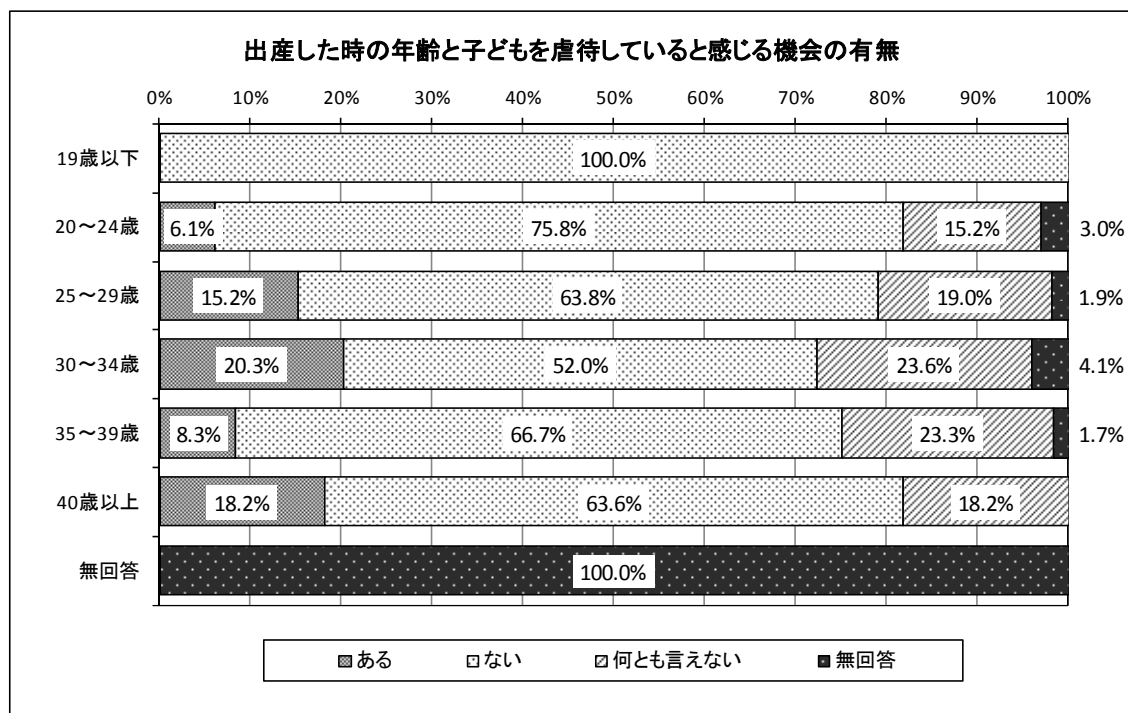
出産したときの年齢	妊娠中の喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	336	311	16	9
	100.0%	92.6%	4.8%	2.7%
19歳以下	1	1	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20~24歳	33	29	3	1
	100.0%	87.9%	9.1%	3.0%
25~29歳	105	97	7	1
	100.0%	92.4%	6.7%	1.0%
30~34歳	123	115	6	2
	100.0%	93.5%	4.9%	1.6%
35~39歳	60	58	0	2
	100.0%	96.7%	0.0%	3.3%
40歳以上	11	11	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 「出産したときの年齢」と「妊娠中のパートナーの喫煙」



出産したときの年齢	妊娠中のパートナーの喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	336	171	157	8
	100.0%	50.9%	46.7%	2.4%
19歳以下	1	1	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20~24歳	33	10	22	1
	100.0%	30.3%	66.7%	3.0%
25~29歳	105	52	52	1
	100.0%	49.5%	49.5%	1.0%
30~34歳	123	62	59	2
	100.0%	50.4%	48.0%	1.6%
35~39歳	60	36	23	1
	100.0%	60.0%	38.3%	1.7%
40歳以上	11	10	1	0
	100.0%	90.9%	9.1%	0.0%
無回答	3	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 「出産した時の年齢」と「子どもを虐待していると感じる機会の有無」



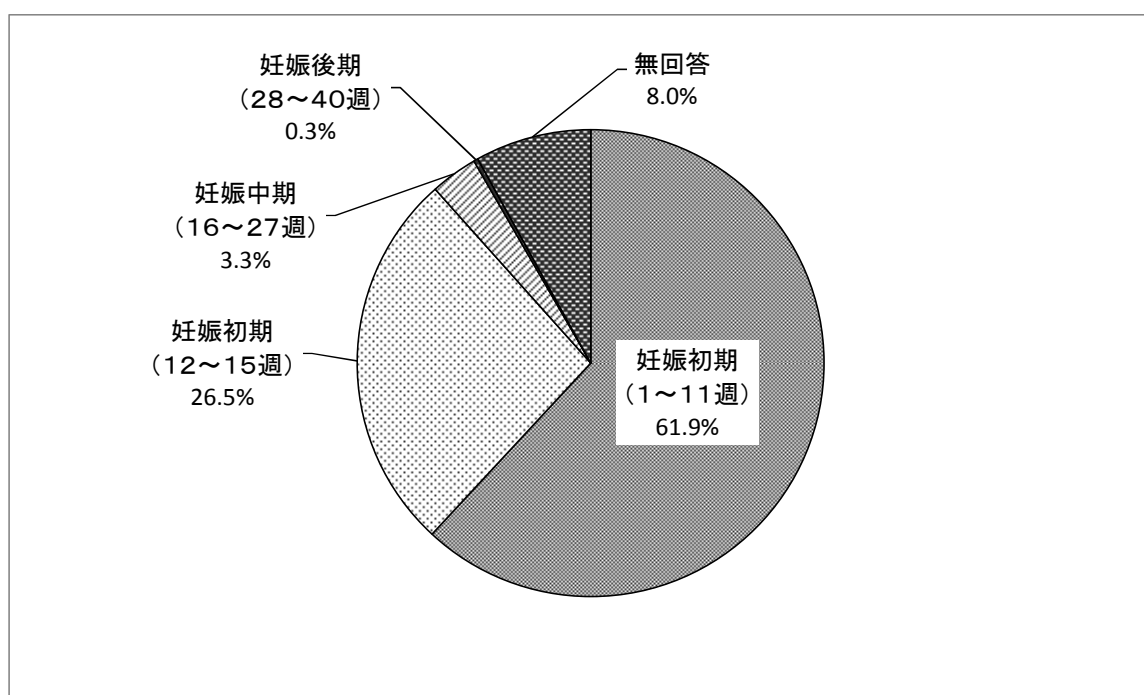
出産したときの年齢	子どもを虐待していると感じる機会の有無	サンプル数	ある	ない	何とも言えない	無回答
			上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)
全体		336	50	204	70	12
		100.0%	14.9%	60.7%	20.8%	3.6%
19歳以下		1	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20～24歳		33	2	25	5	1
		100.0%	6.1%	75.8%	15.2%	3.0%
25～29歳		105	16	67	20	2
		100.0%	15.2%	63.8%	19.0%	1.9%
30～34歳		123	25	64	29	5
		100.0%	20.3%	52.0%	23.6%	4.1%
35～39歳		60	5	40	14	1
		100.0%	8.3%	66.7%	23.3%	1.7%
40歳以上		11	2	7	2	0
		100.0%	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%
無回答		3	0	0	0	3
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問10 母子健康手帳の交付を受けたのは、いつごろでしたか。

母子健康手帳の交付を受けたのは、いつごろだったかについては、「妊娠初期（1～11週）」が61.9%と最も高く、次いで「妊娠初期（12～15週）」が26.5%、「妊娠中期（16～27週）」が3.3%、「妊娠後期（28～40週）」が0.3%であった。

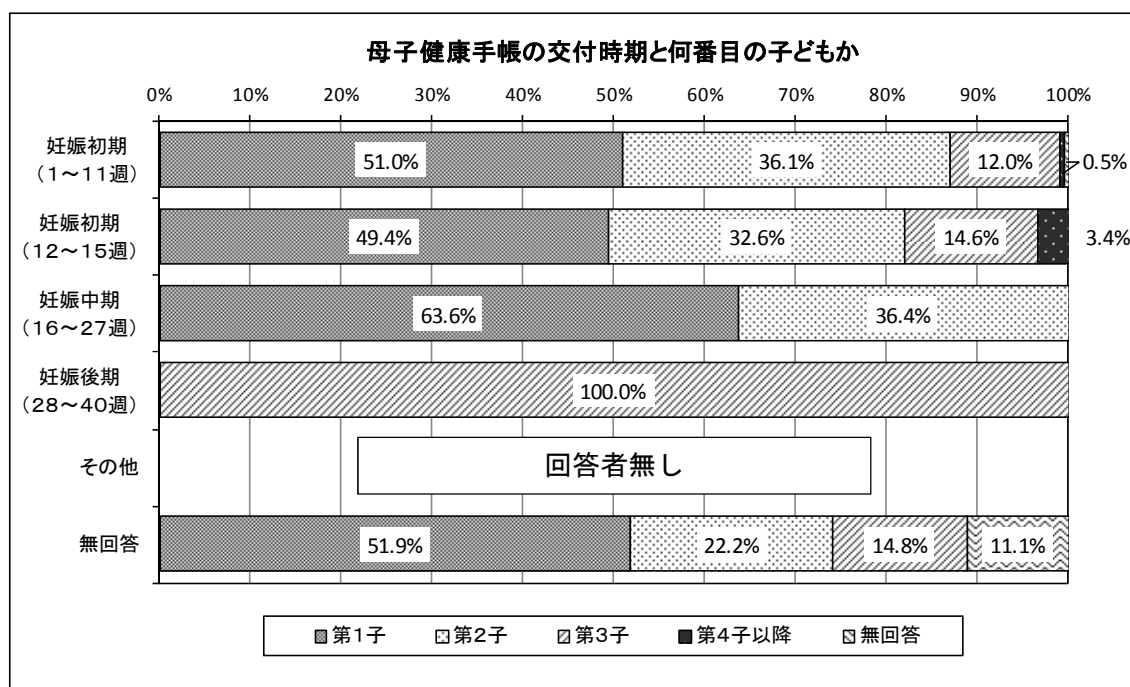
（クロス集計の結果より）

子どもを虐待していると感じる機会が「ある」と回答した人は、母子健康手帳の交付が「妊娠中期」の人が27.3%と最も高く、「妊娠初期」に母子健康手帳を交付してもらっている人よりも、約2倍程度割合が高かった。



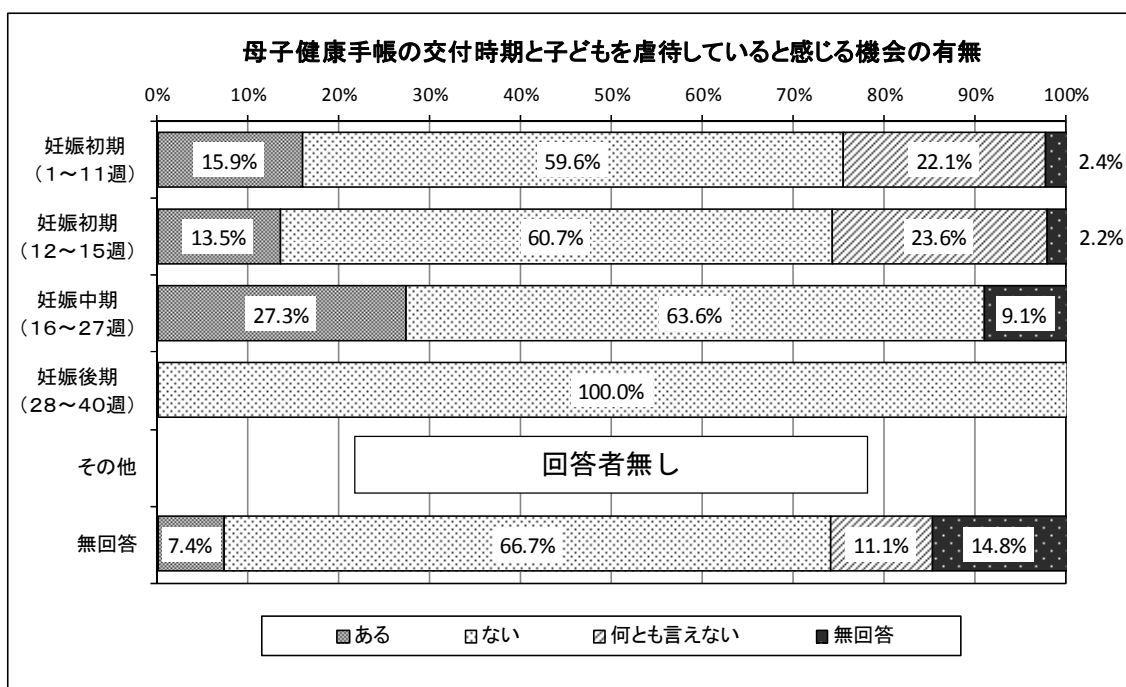
	回答数	回答割合
無回答	27	8.0%
妊娠初期(1～11週)	208	61.9%
妊娠初期(12～15週)	89	26.5%
妊娠中期(16～27週)	11	3.3%
妊娠後期(28～40週)	1	0.3%
その他	0	0.0%
	336	100.0%

■ 「母子健康手帳の交付時期」と「何番目の子どもか」



母子健康手帳の交付時期	何番目の子どもか	サンプル数	第1子	第2子	第3子	第4子以降	無回答
			上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数	下段: 構成比(%)	上段: 実数
全体		336	171	114	43	4	4
		100.0%	50.9%	33.9%	12.8%	1.2%	1.2%
妊娠初期(1~11週)		208	106	75	25	1	1
		100.0%	51.0%	36.1%	12.0%	0.5%	0.5%
妊娠初期(12~15週)		89	44	29	13	3	0
		100.0%	49.4%	32.6%	14.6%	3.4%	0.0%
妊娠中期(16~27週)		11	7	4	0	0	0
		100.0%	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
妊娠後期(28~40週)		1	0	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答		27	14	6	4	0	3
		100.0%	51.9%	22.2%	14.8%	0.0%	11.1%

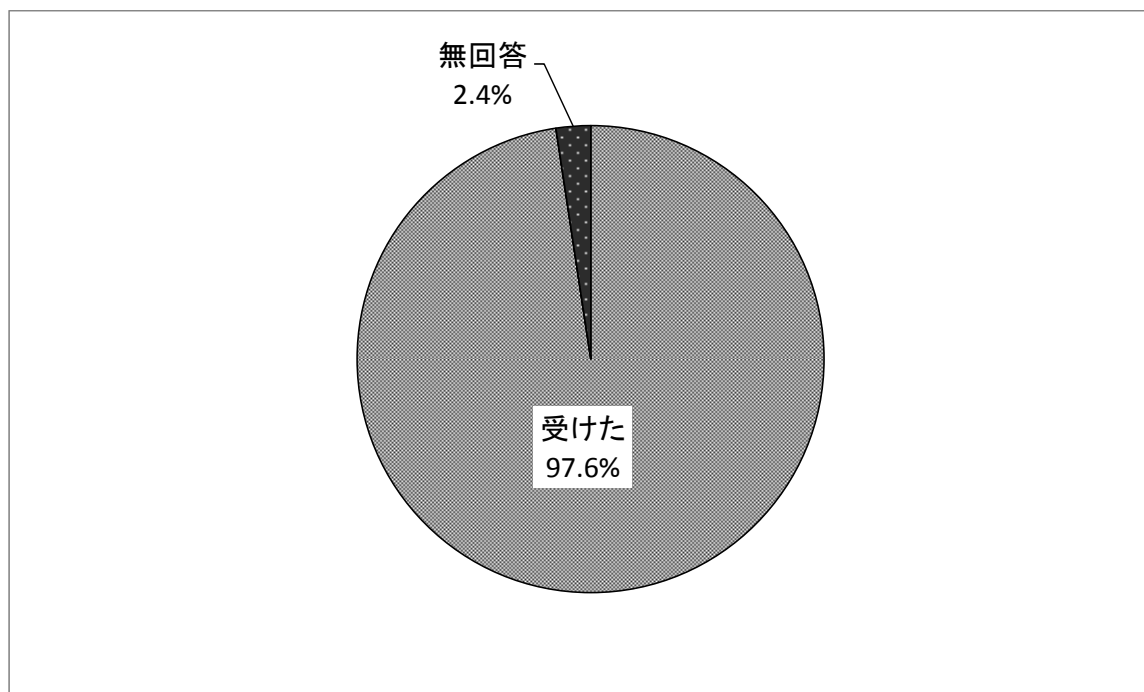
■ 「母子健康手帳の交付時期」と「子どもを虐待していると感じる機会の有無」



母子健康手帳の交付時期	子どもを虐待していると感じる機会の有無	サンプル数	ある	ない	何とも言えない	無回答
			上段: 実数	下段: 構成比 (%)	上段: 実数	下段: 構成比 (%)
全体		336	50	204	70	12
		100.0%	14.9%	60.7%	20.8%	3.6%
妊娠初期 (1~11週)		208	33	124	46	5
		100.0%	15.9%	59.6%	22.1%	2.4%
妊娠初期 (12~15週)		89	12	54	21	2
		100.0%	13.5%	60.7%	23.6%	2.2%
妊娠中期 (16~27週)		11	3	7	0	1
		100.0%	27.3%	63.6%	0.0%	9.1%
妊娠後期 (28~40週)		1	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他		0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答		27	2	18	3	4
		100.0%	7.4%	66.7%	11.1%	14.8%

問11 妊娠中、定期的に健診を受けましたか。

妊娠中、定期的に健診を受けたかについては、「受けた」が97.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	8	2.4%
受けた	328	97.6%
受けたことがあった	0	0.0%
まったく受けなかった	0	0.0%
	336	100.0%

問11-1 健診を受けなかった理由はなんですか。

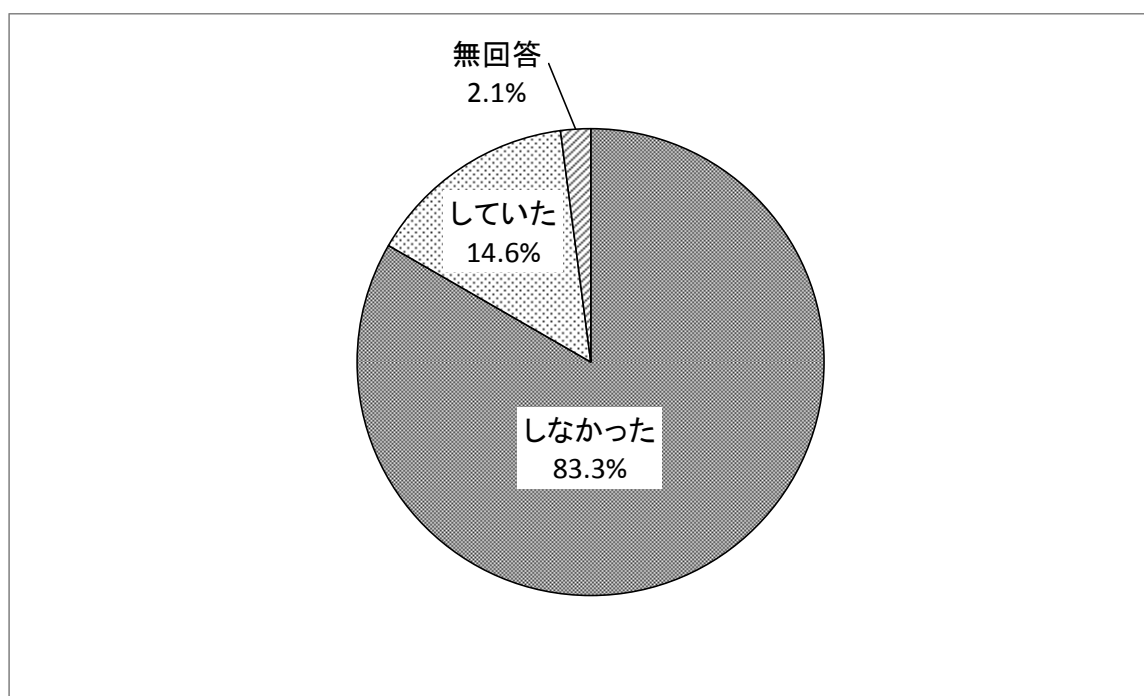
※対象者無し

問12 妊娠していると分かった時、あなた（お母さん）は喫煙していましたか。

妊娠していると分かった時、お母さんは喫煙していたかについては、「しなかった」が83.3%と高く、次いで「していた」が14.6%であった。

(クロス集計より)

妊娠していると分かった時に喫煙「していた」と回答した人は、20～29歳が6割以上と高かった。

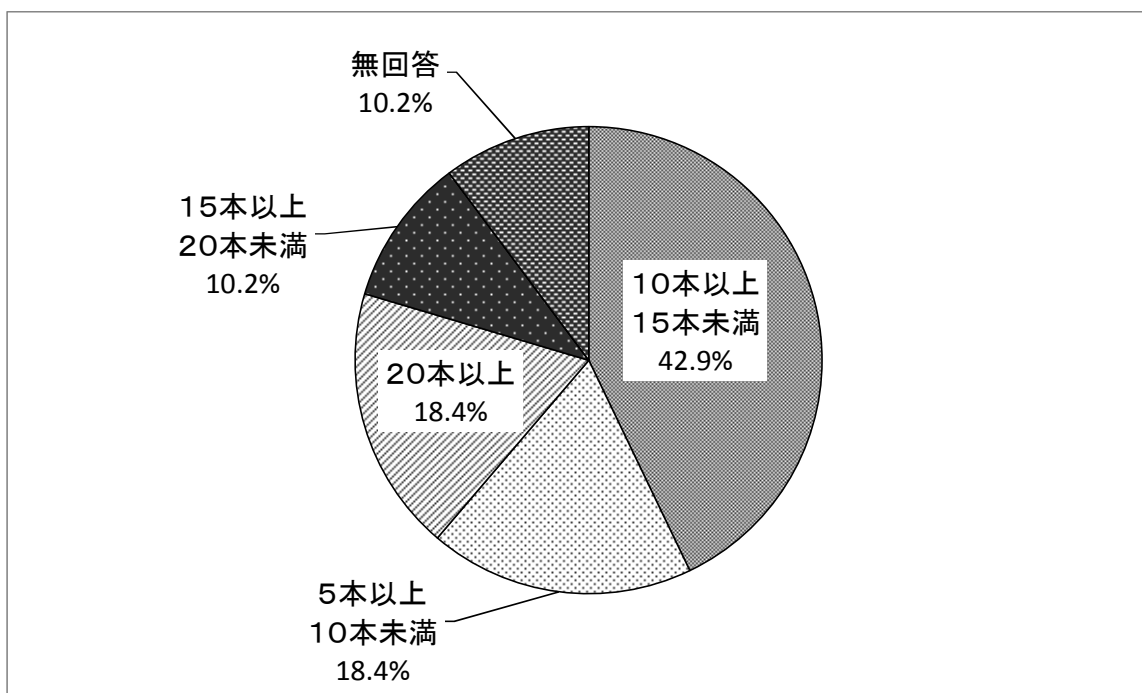


	回答数	回答割合
無回答	7	2.1%
しなかった	280	83.3%
していた	49	14.6%
	336	100.0%

※問12で、妊娠していると分かった時、喫煙を「していた」と回答した人を対象。

1日の喫煙本数については、「10本以上15本未満」が42.9%と最も高く、次いで、「5本以上10本未満」が18.4%、「20本以上」が18.4%、「15本以上20本未満」が10.2%であった。

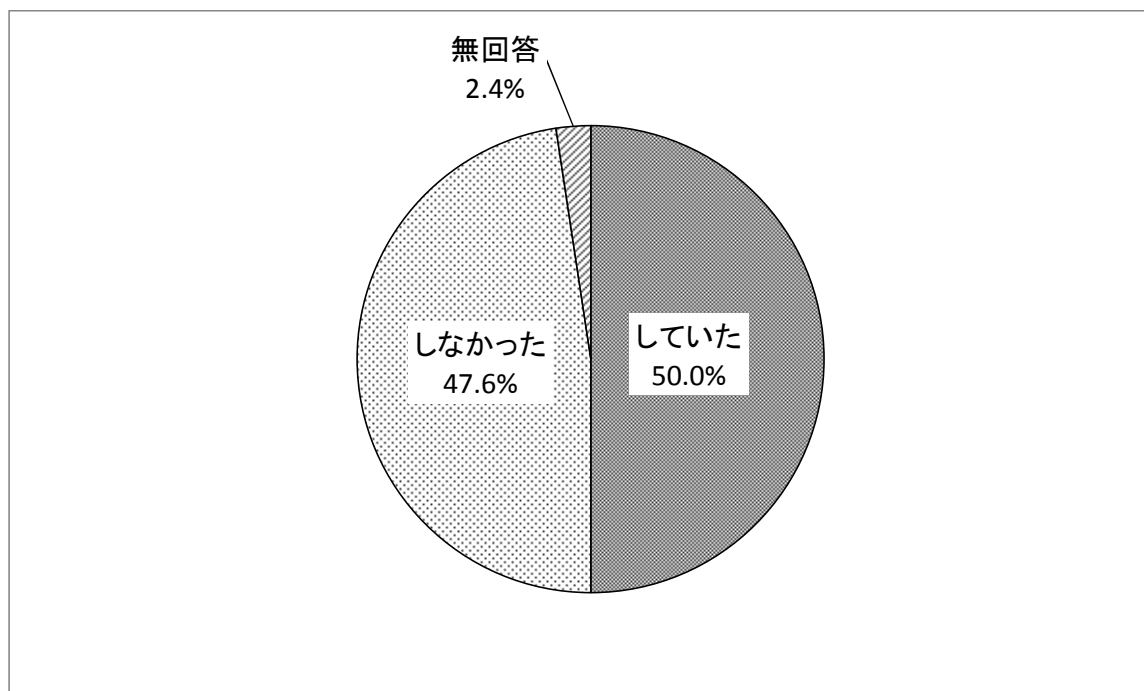
■ 1日の喫煙本数



	回答数	回答割合
無回答	5	10.2%
1本以上5本未満	0	0.0%
5本以上10本未満	9	18.4%
10本以上15本未満	21	42.9%
15本以上20本未満	5	10.2%
20本以上	9	18.4%
	49	100.0%

問13 あなた（お母さん）が妊娠していると分かったとき、夫・パートナー（お父さん）は喫煙していましたか。

お母さんが妊娠していると分かったとき、夫・パートナーは喫煙していたかについては、「していた」が50.0%と高く、次いで「しなかった」が47.6%であった。

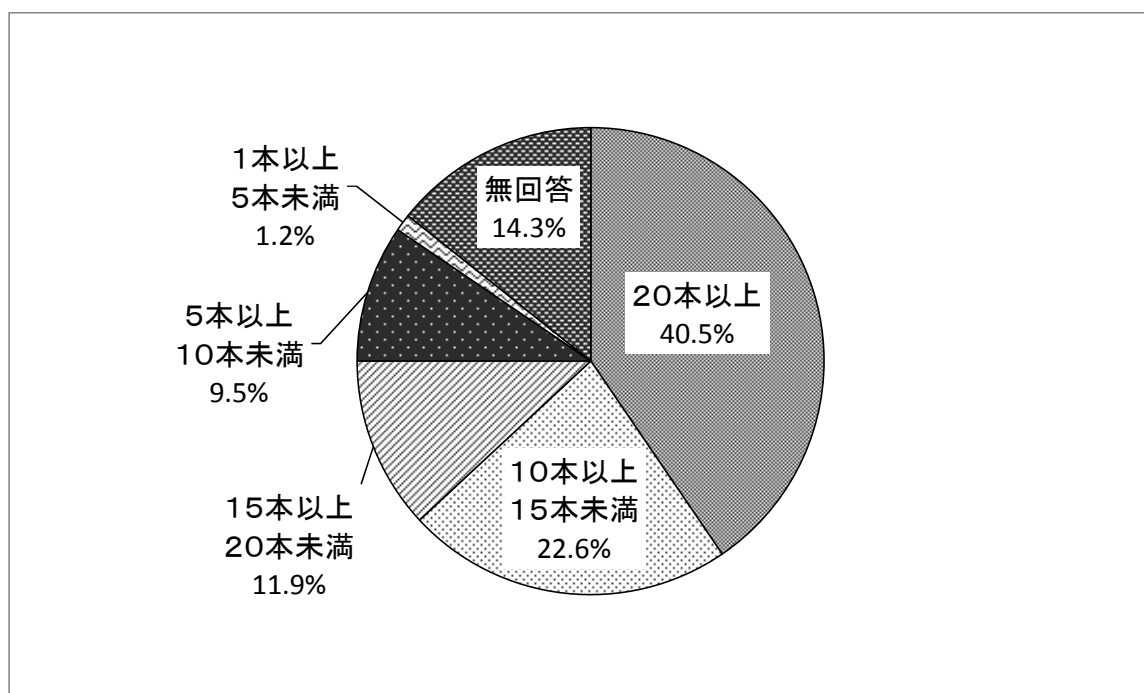


	回答数	回答割合
無回答	8	2.4%
しなかった	160	47.6%
していた	168	50.0%
	336	100.0%

※問13で、お母さんが妊娠していると分かったとき、夫・パートナーは喫煙を「していた」と回答した人を対象。

1日の喫煙本数については、「20本以上」が40.5%と最も高く、次いで、「10本以上15本未満」が22.6%、「15本以上20本未満」が11.9%、「5本以上10本未満」が9.5%、「1本以上5本未満」が1.2%であった。

■ 1日の喫煙本数



	回答数	回答割合
無回答	24	14.3%
1本以上5本未満	2	1.2%
5本以上10本未満	16	9.5%
10本以上15本未満	38	22.6%
15本以上20本未満	20	11.9%
20本以上	68	40.5%
	168	100.0%

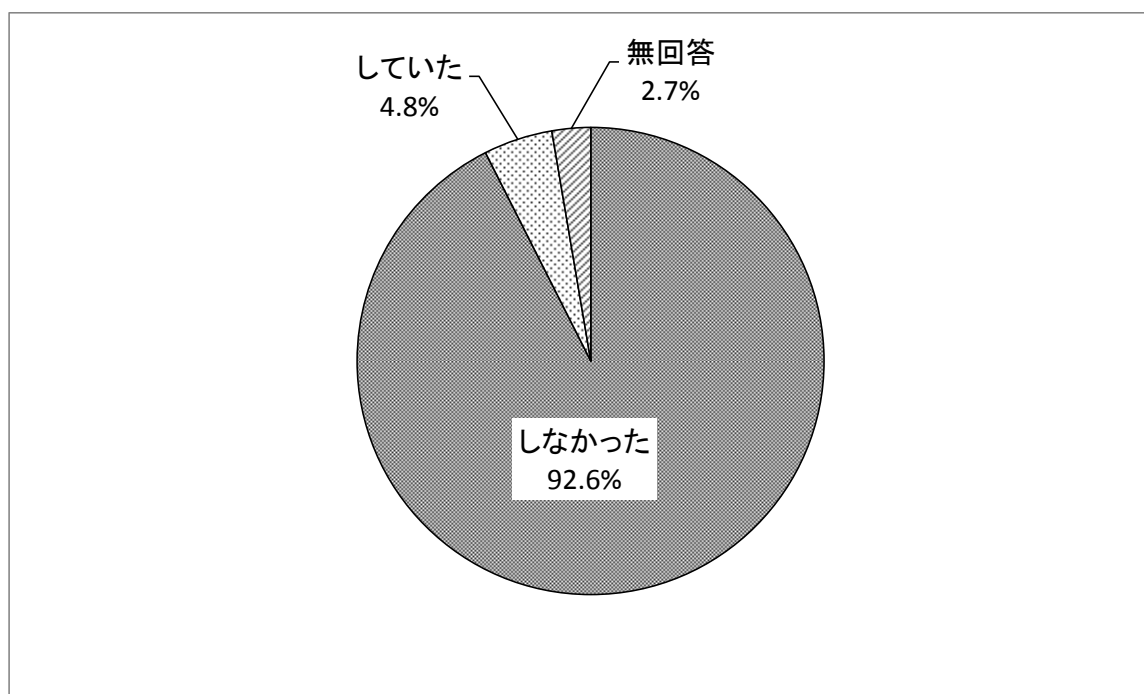
問14 妊娠中にあなた（お母さん）は、喫煙していましたか。

妊娠中にお母さんは喫煙していたかについては、「しなかった」が92.6%と高く、次いで「していた」が4.8%であった。

妊娠が分かった時に喫煙「していた」と回答した人が49人だったのに対して、妊娠中の喫煙者は16人と減少しており、妊娠を機に喫煙をやめている傾向がみられる。

(クロス集計の結果より)

妊娠中の喫煙を「していた」と回答した人は、20～29歳が6割以上と高い。また、年齢に関わらず、妊娠中に喫煙「していた」全員が、パートナーが妊娠中に喫煙「していた」と回答している。

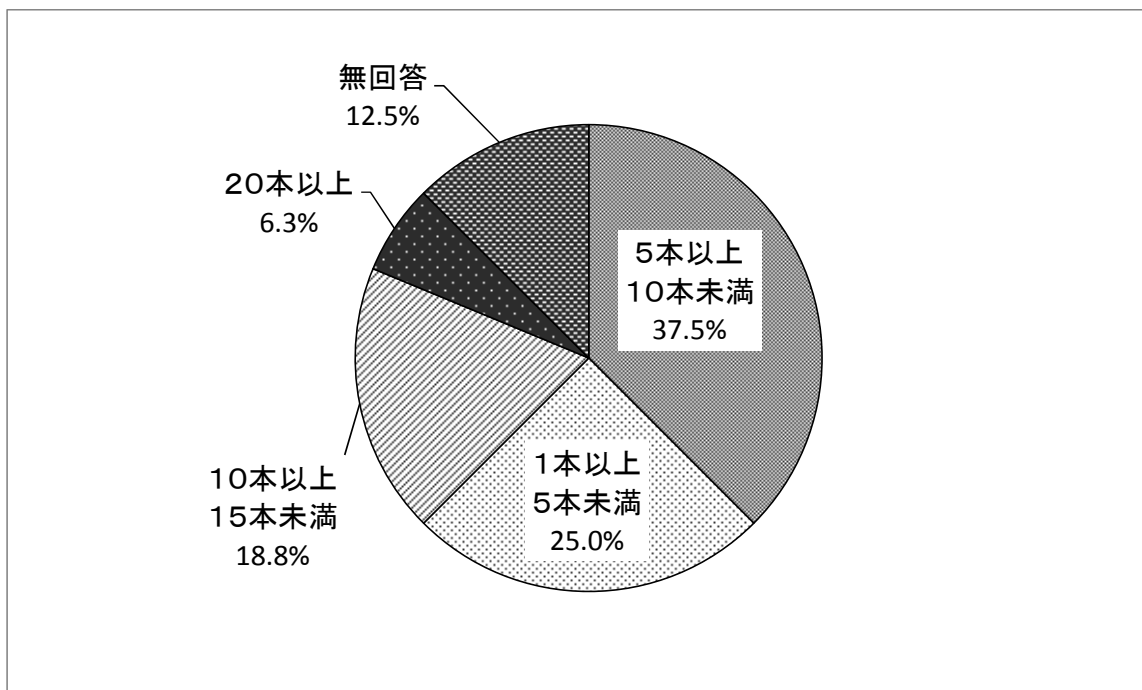


	回答数	回答割合
無回答	9	2.7%
しなかった	311	92.6%
していた	16	4.8%
	336	100.0%

※問 14 で、妊娠中にお母さんは喫煙を「していた」と回答した人を対象。

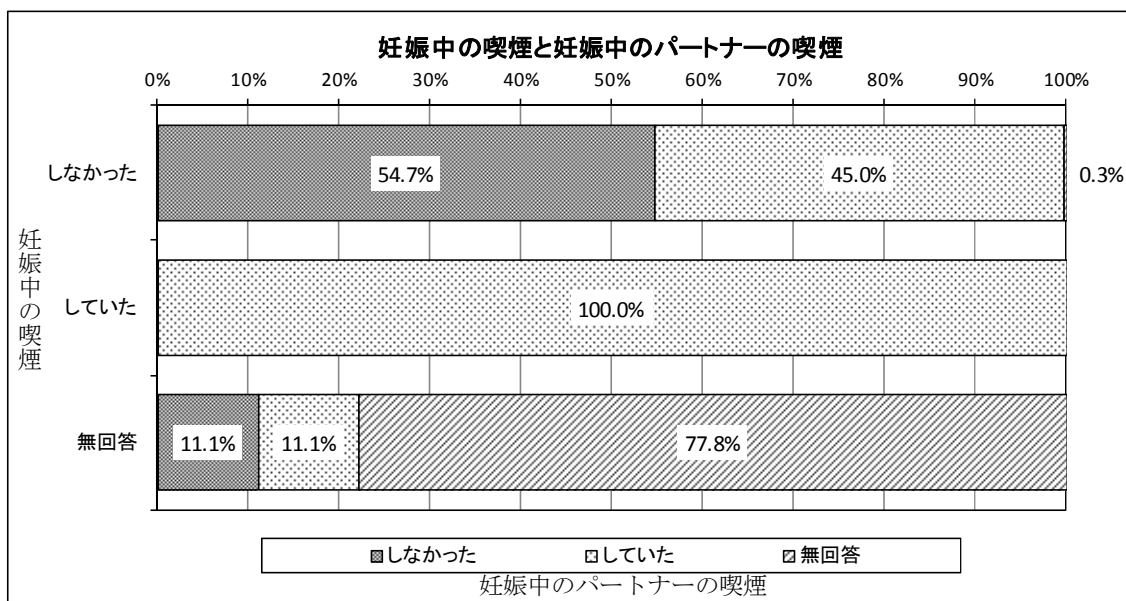
1日の喫煙本数については、「5本以上10本未満」が37.5%と最も高く、次いで、「1本以上5本未満」が25.0%、「10本以上15本未満」が18.8%、「20本以上」が6.3%であった。

■ 1日の喫煙本数



	回答数	回答割合
無回答	2	12.5%
1本以上5本未満	4	25.0%
5本以上10本未満	6	37.5%
10本以上15本未満	3	18.8%
15本以上20本未満	0	0.0%
20本以上	1	6.3%
	16	100.0%

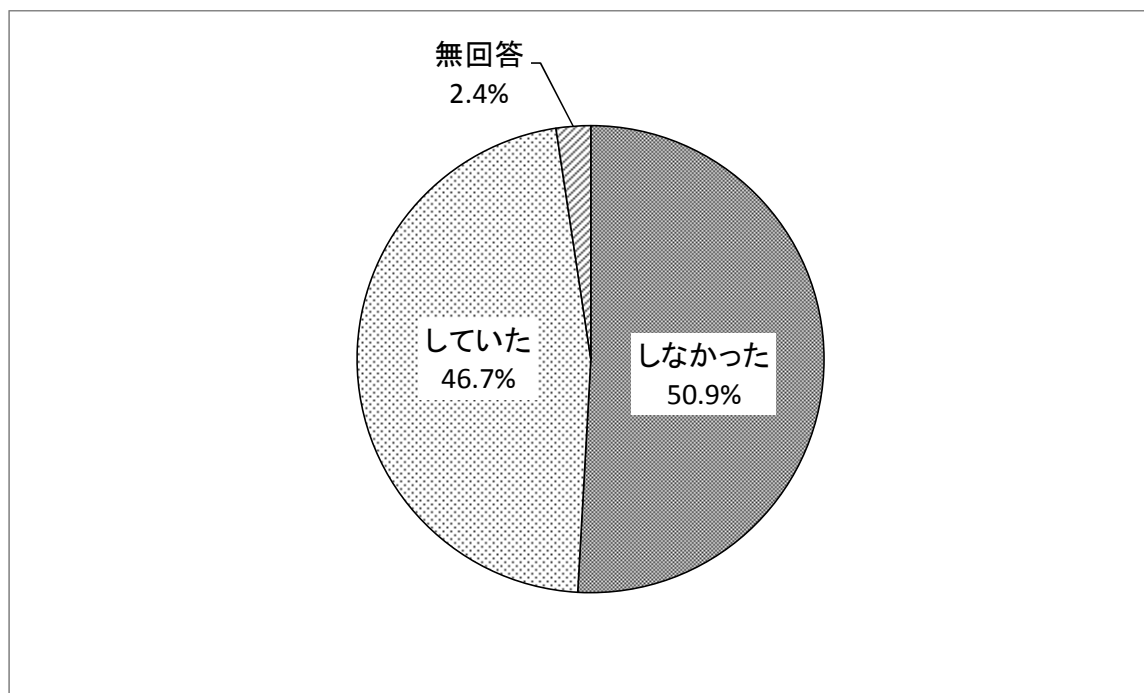
■「妊娠中の喫煙」と「妊娠中のパートナーの喫煙」



妊娠中の喫煙	妊娠中のパートナーの喫煙			
	サンプル数	しなかった	していた	無回答
全体	336	171	157	8
	100.0%	50.9%	46.7%	2.4%
しなかった	311	170	140	1
	100.0%	54.7%	45.0%	0.3%
していた	16	0	16	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無回答	9	1	1	7
	100.0%	11.1%	11.1%	77.8%

問15 妊娠中にあなた（お母さん）の夫・パートナー（お父さん）は、喫煙していましたか。

妊娠中にお母さんの夫・パートナーは喫煙していたかについては、「しなかった」が50.9%と高く、次いで「していた」が46.7%であった。

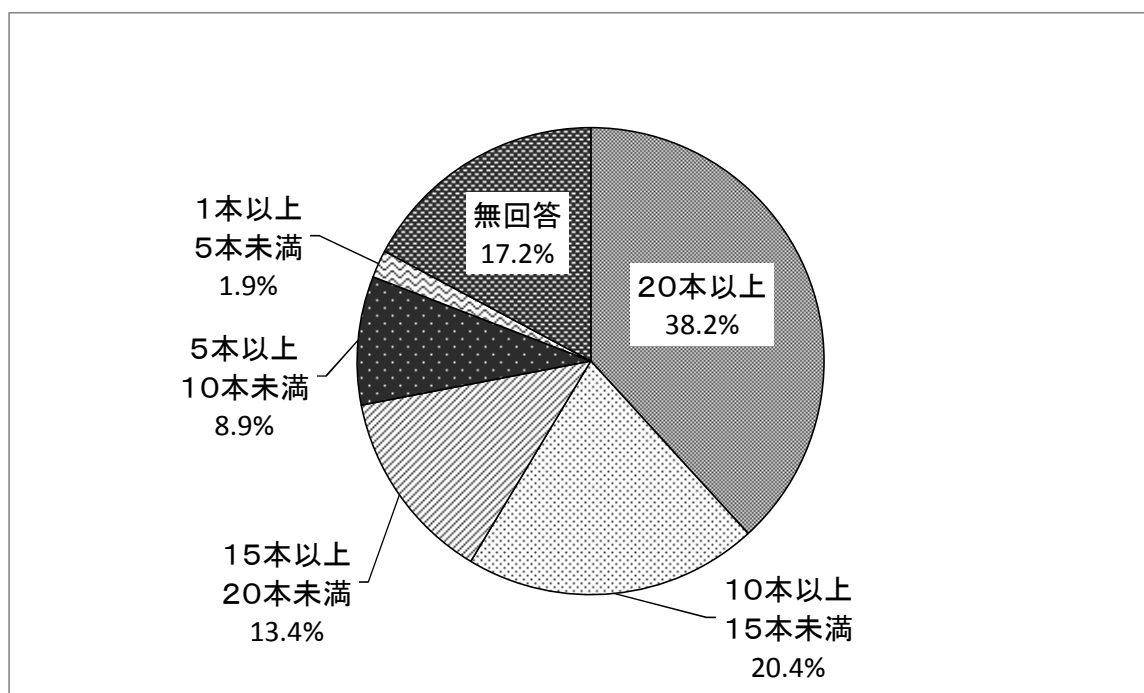


	回答数	回答割合
無回答	8	2.4%
しなかった	171	50.9%
していた	157	46.7%
	336	100.0%

※問 15 で、お母さんが妊娠中に、夫・パートナーは喫煙を「していた」と回答した人を対象。

1日の喫煙本数については、「20本以上」が38.2%と最も高く、次いで、「10本以上15本未満」が20.4%、「15本以上20本未満」が13.4%、「5本以上10本未満」が8.9%、「1本以上5本未満」が1.9%であった。

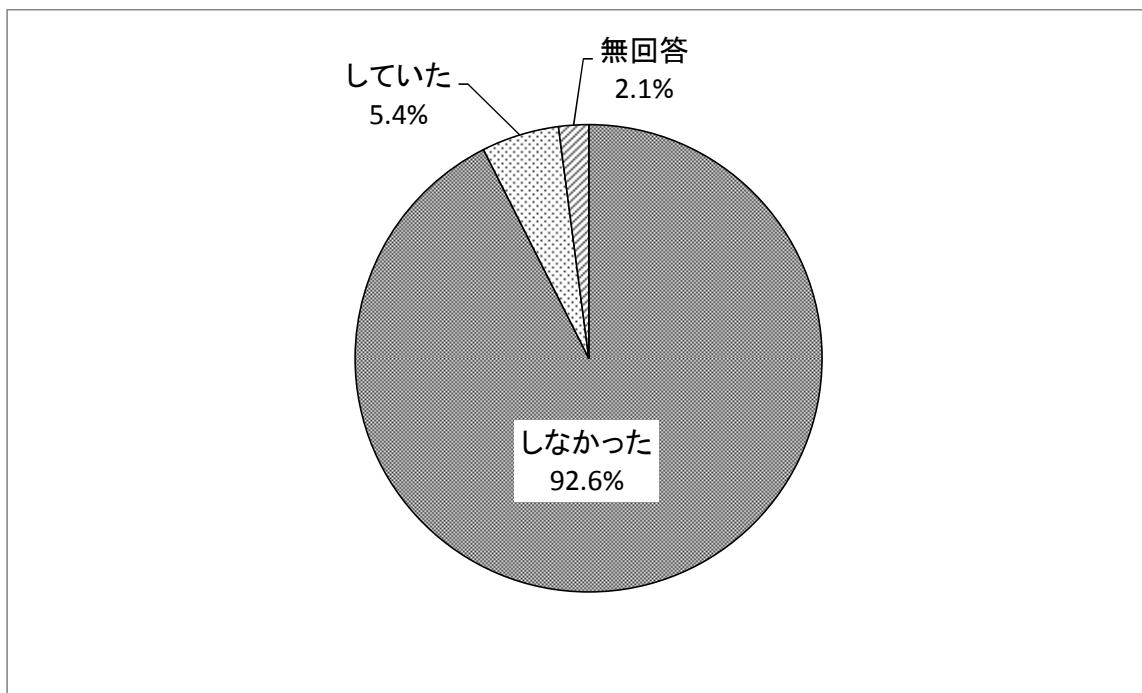
■ 1日の喫煙本数



	回答数	回答割合
無回答	27	17.2%
1本以上5本未満	3	1.9%
5本以上10本未満	14	8.9%
10本以上15本未満	32	20.4%
15本以上20本未満	21	13.4%
20本以上	60	38.2%
	157	100.0%

問16 妊娠中にあなた（お母さん）は、飲酒はしていましたか。

妊娠中にお母さんは、飲酒していたかについては、「しなかった」が92.6%と高く、次いで「していた」が5.4%であった。

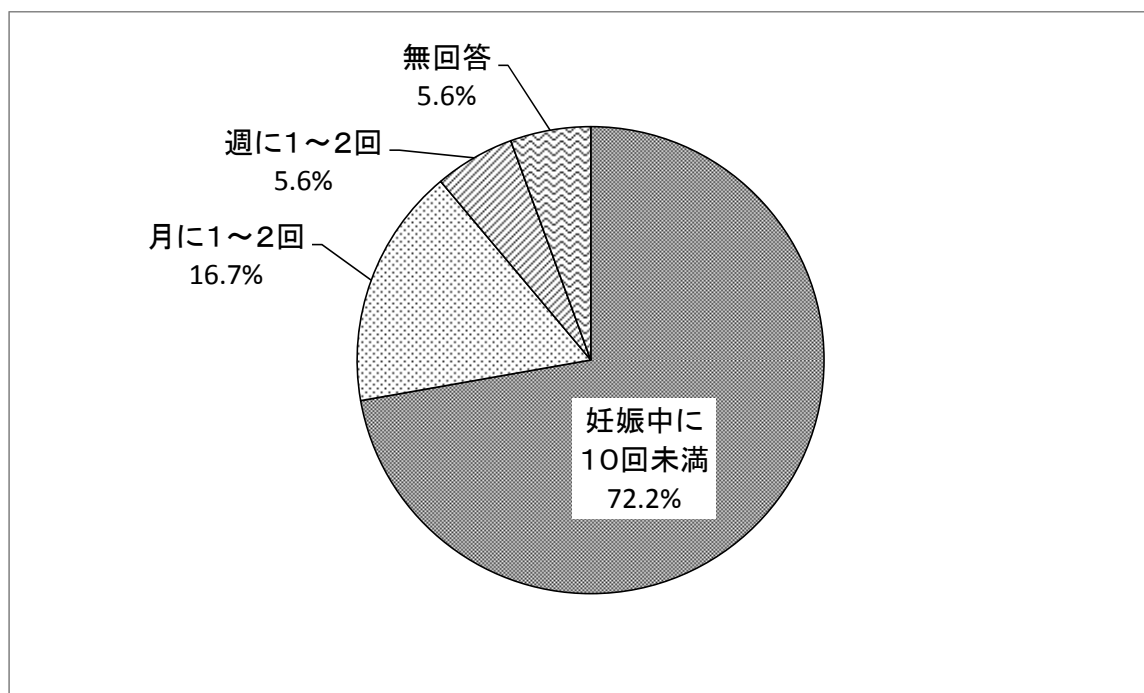


	回答数	回答割合
無回答	7	2.1%
しなかった	311	92.6%
していた	18	5.4%
	336	100.0%

※問16で、お母さんは妊娠中に飲酒「していた」と回答した人を対象。

飲酒していた頻度については、「妊娠中に10回未満」が72.2%と最も高く、次いで、「月に1～2回」が16.7%、「週に1～2回」が5.6%であった。

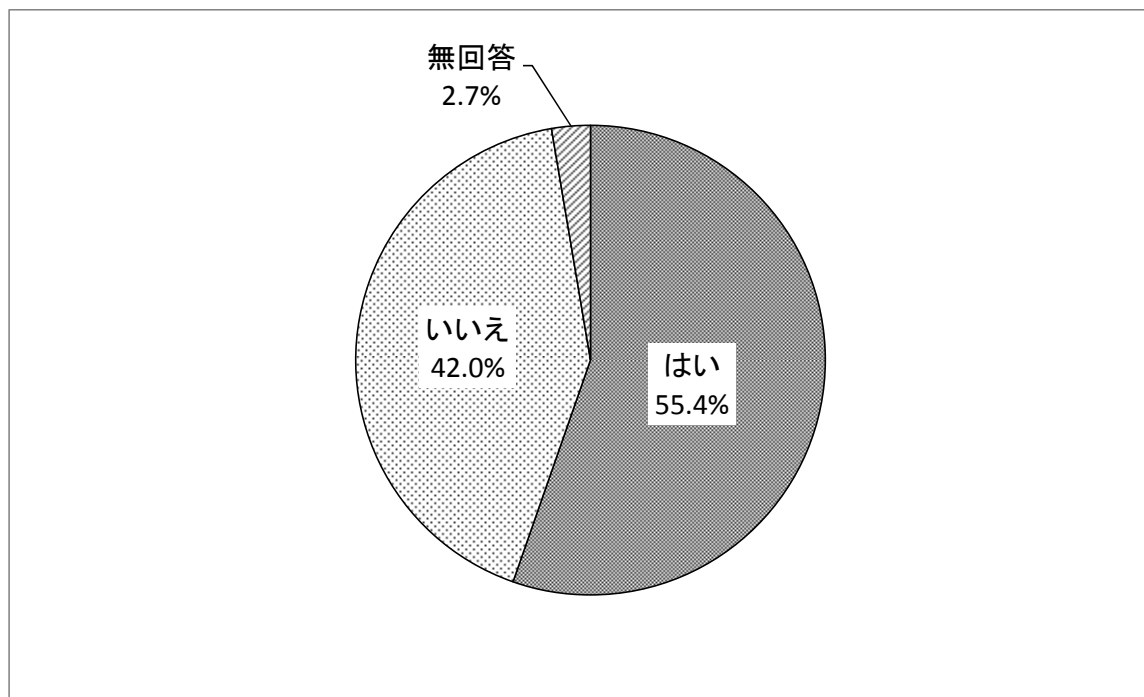
■ 飲酒していた頻度



	回答数	回答割合
無回答	1	5.6%
妊娠中に10回未満	13	72.2%
月に1～2回	3	16.7%
週に1～2回	1	5.6%
週3回以上	0	0.0%
	18	100.0%

問17 母親学級に参加しましたか。

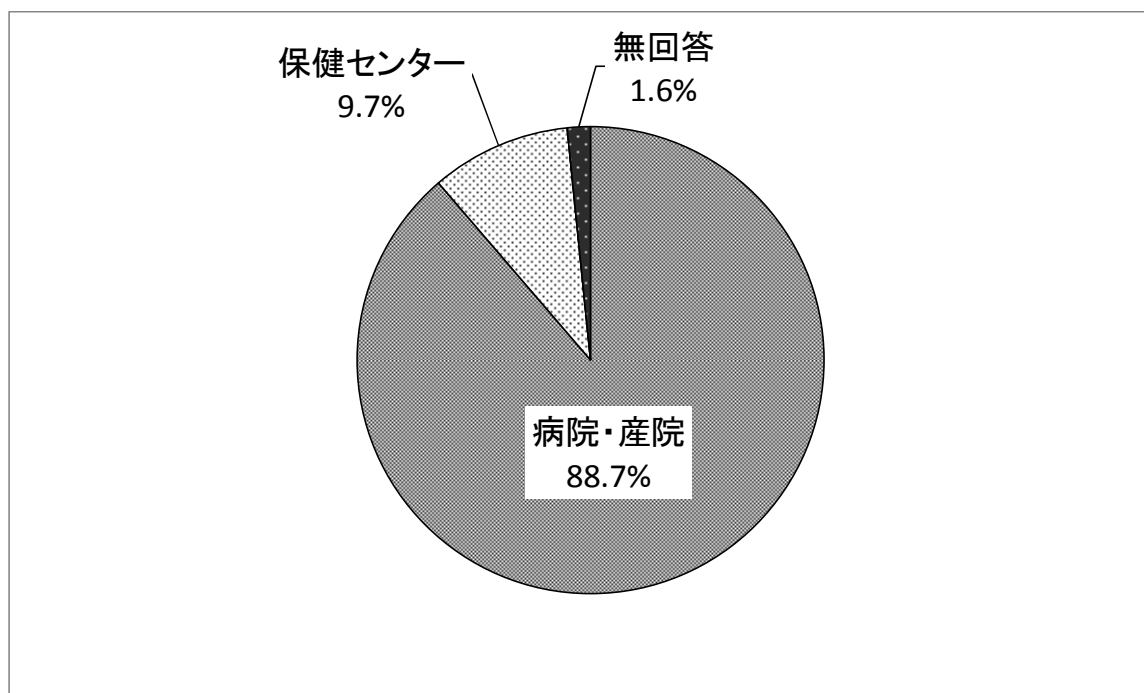
どこで母親学級に参加したかについては、「はい」が55.4%と高く、次いで「いいえ」が42.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	9	2.7%
はい	186	55.4%
いいえ	141	42.0%
	336	100.0%

問17-1 どこで母親学級に参加しましたか。

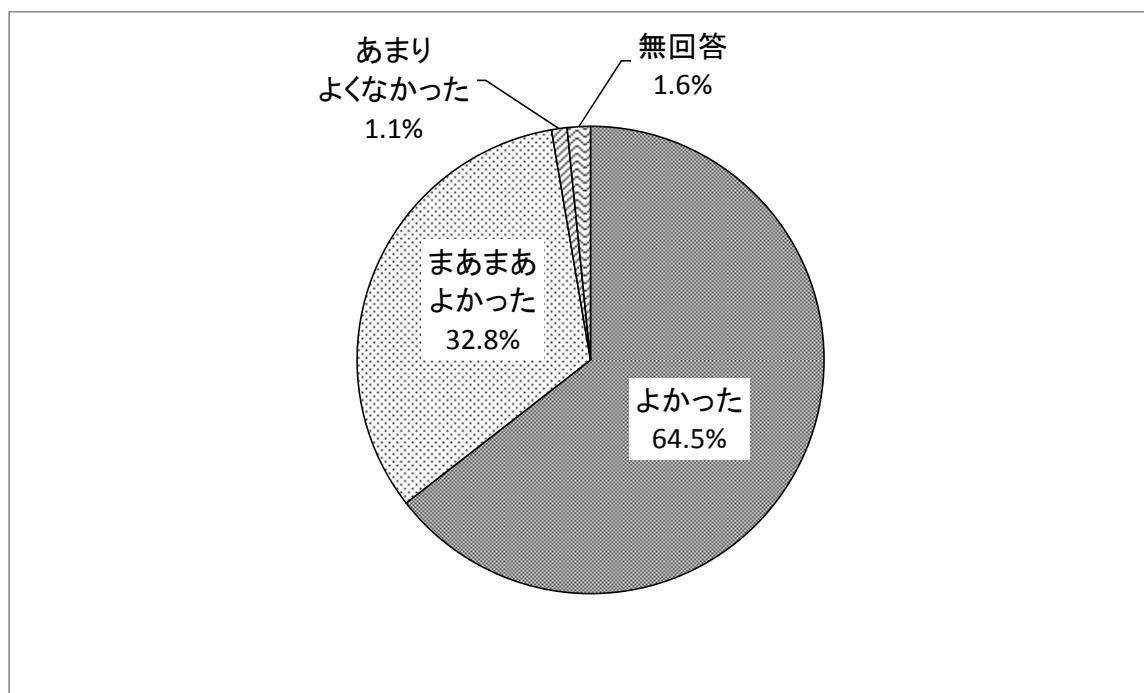
どこで母親学級に参加しましたかについては、「病院・産院」が88.7%と高く、次いで「保健センター」が9.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	1.6%
保健センター	18	9.7%
病院・産院	165	88.7%
その他	0	0.0%
	186	100.0%

問17-2 参加してよかったと思いますか。

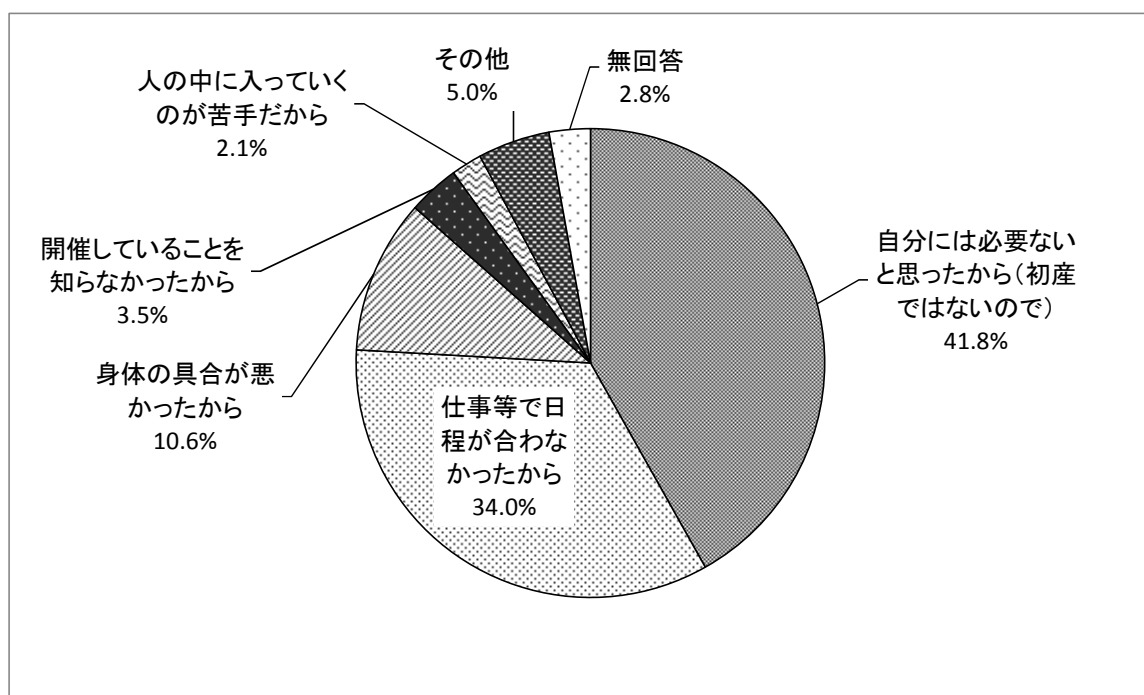
母親学級に参加してよかったと思うかについては、「よかった」が64.5%と最も高く、次いで「まあまあよかった」が32.8%、「あまりよくなかった」が1.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	1.6%
よかった	120	64.5%
まあまあよかった	61	32.8%
あまりよくなかった	2	1.1%
よくなかった	0	0.0%
	186	100.0%

問17-3 参加しなかった理由で、最もあてはまるものは何ですか。

参加しなかった理由で、最もあてはまるものは何かについては、「自分には必要ないと思ったから（初産ではないので）」が41.8%と最も高く、次いで「仕事で日程が合わなかったから」が34.0%、「身体の具合が悪かったから」が10.6%、「開催していることを知らなかったから」が3.5%、「人の中に入っていきるのが苦手だから」が2.1%であった。



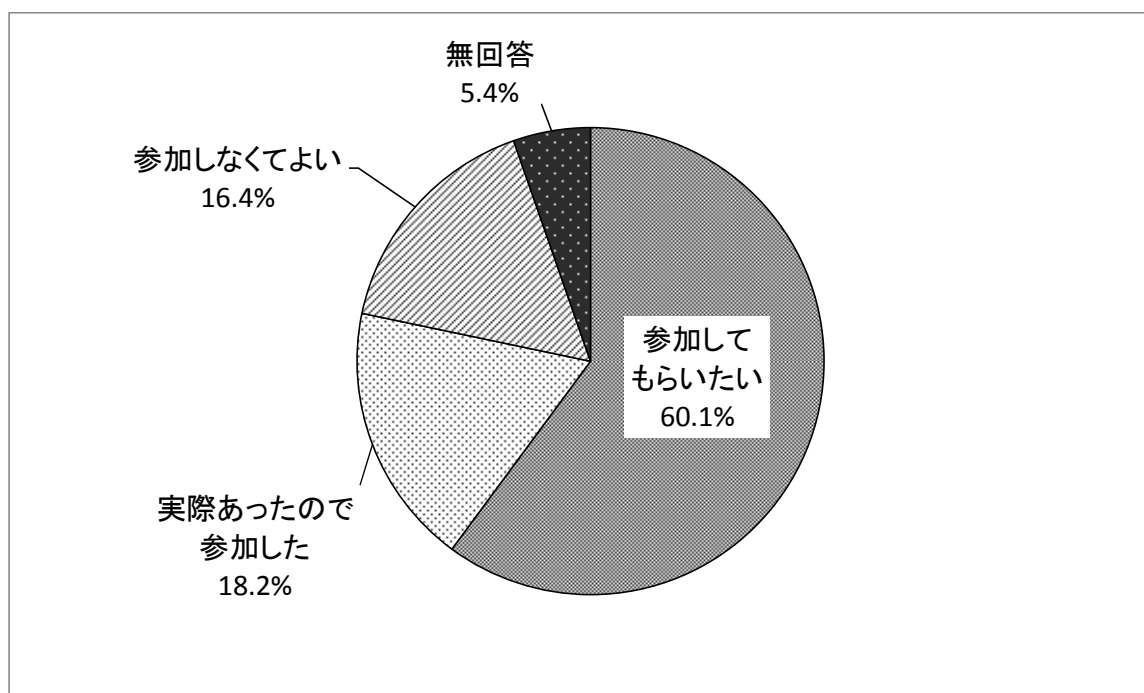
	回答数	回答割合
無回答	4	2.8%
自分には必要ないと思ったから(初産ではないので)	59	41.8%
仕事等で日程が合わなかったから	48	34.0%
身体の具合が悪かったから	15	10.6%
人の中に入っていきるのが苦手だから	3	2.1%
開催していることを知らなかったから	5	3.5%
その他	7	5.0%
	141	100.0%

(その他の内容)

- 上の子どもを預けることが難しかった
- 特に薦められなかった。2人目だったため
- 病院から紹介されなかった
- 上の子がいたから
- 定員オーバーで受けられなかった

問18 「両親学級」「父親学級」があれば、夫にも参加してもらいたいですか。

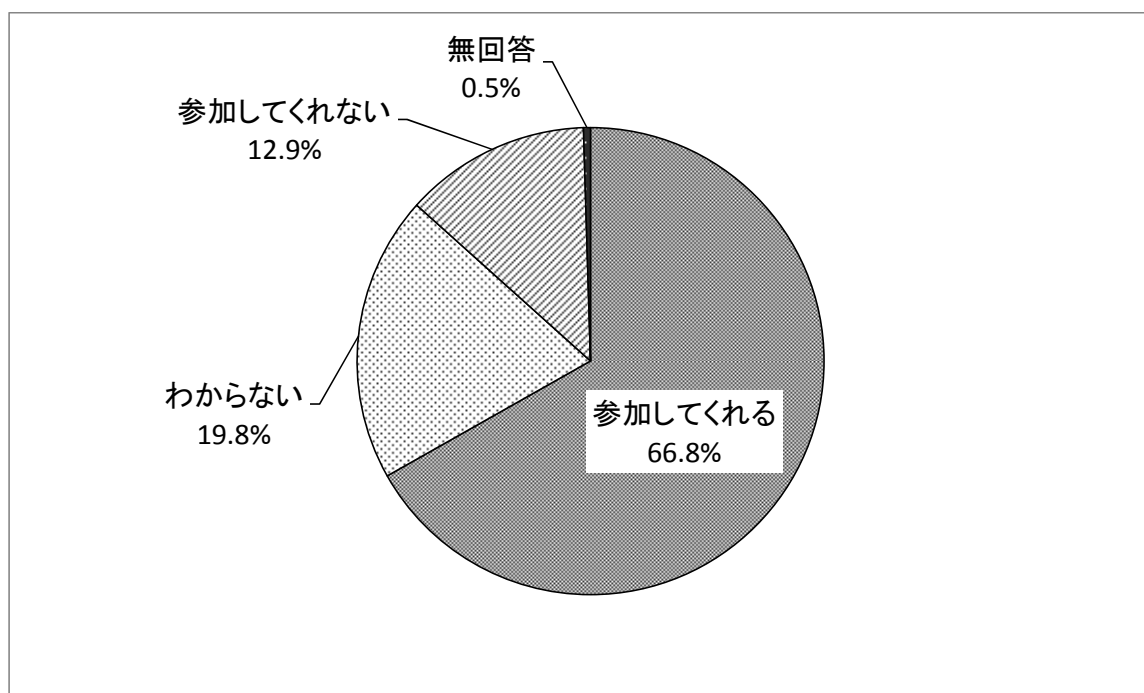
「両親学級」「父親学級」があれば、夫にも参加してもらいたいかについては、「参加してもらいたい」が60.1%と最も高く、次いで「実際あったので参加した」が18.2%、「参加しなくてよい」が16.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	18	5.4%
参加してもらいたい	202	60.1%
実際あったので参加した	61	18.2%
参加しなくてよい	55	16.4%
	336	100.0%

問18-1 夫は「両親学級」「父親学級」に参加してくれると思いますか。

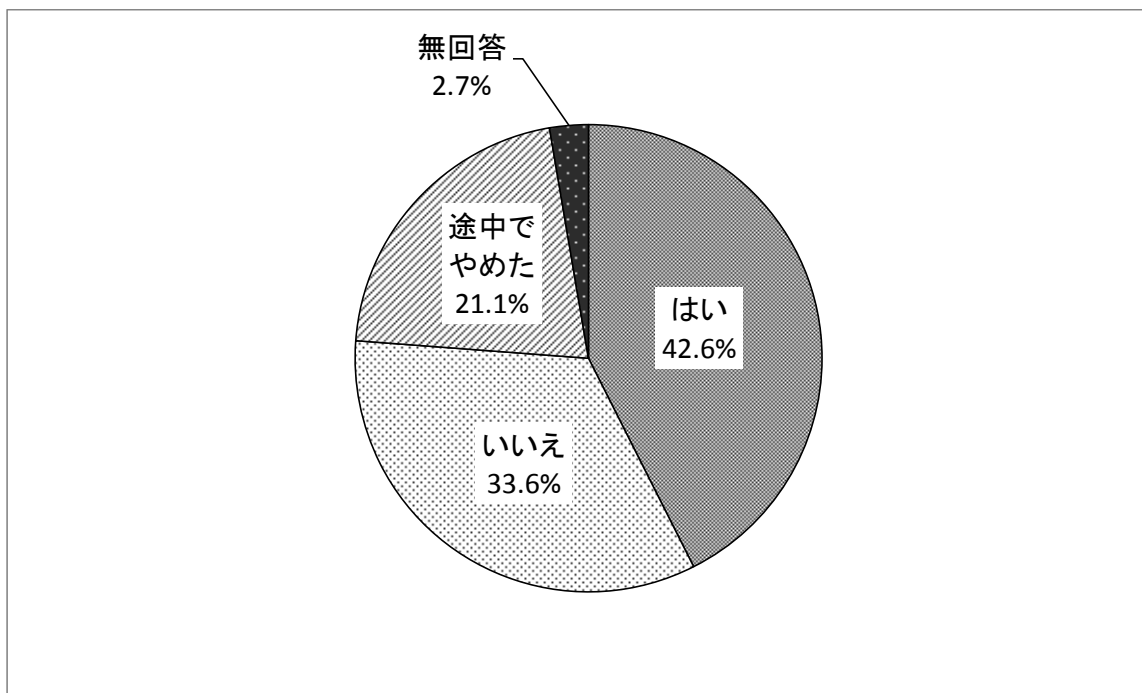
夫は「両親学級」「父親学級」に参加してくれると思うかについては、「参加してくれる」が66.8%であった。次いで「わからない」が19.8%、「参加してくれない」が12.9%であった。



	回答数	回答割合
無回答	1	0.5%
参加してくれる	135	66.8%
参加してくれない	26	12.9%
わからない	40	19.8%
	202	100.0%

問19 妊娠中、仕事を持っていたか。

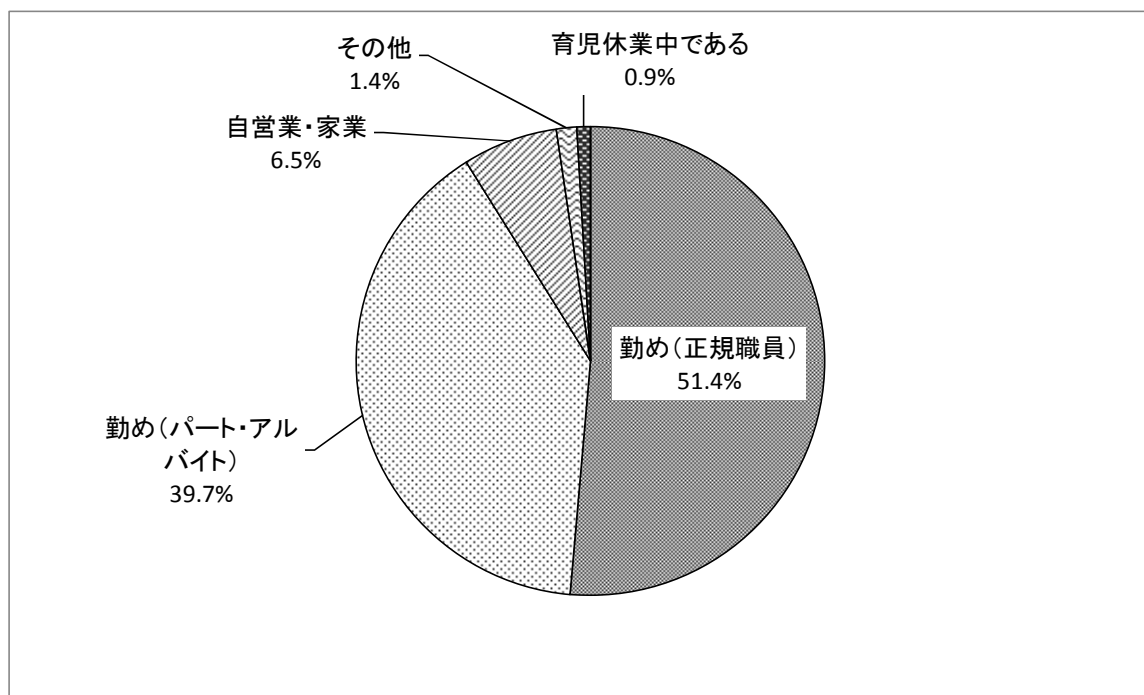
妊娠中、仕事を持っていたかについては、「はい」が42.6%であった。次いで「いいえ」が33.6%、「途中でやめた」が21.1%であった。



	回答数	回答割合
無回答	9	2.7%
はい	143	42.6%
途中でやめた	71	21.1%
いいえ	113	33.6%
	336	100.0%

問19-1 妊娠中に持っていた仕事の職業は何ですか。(あるいは何でしたか)

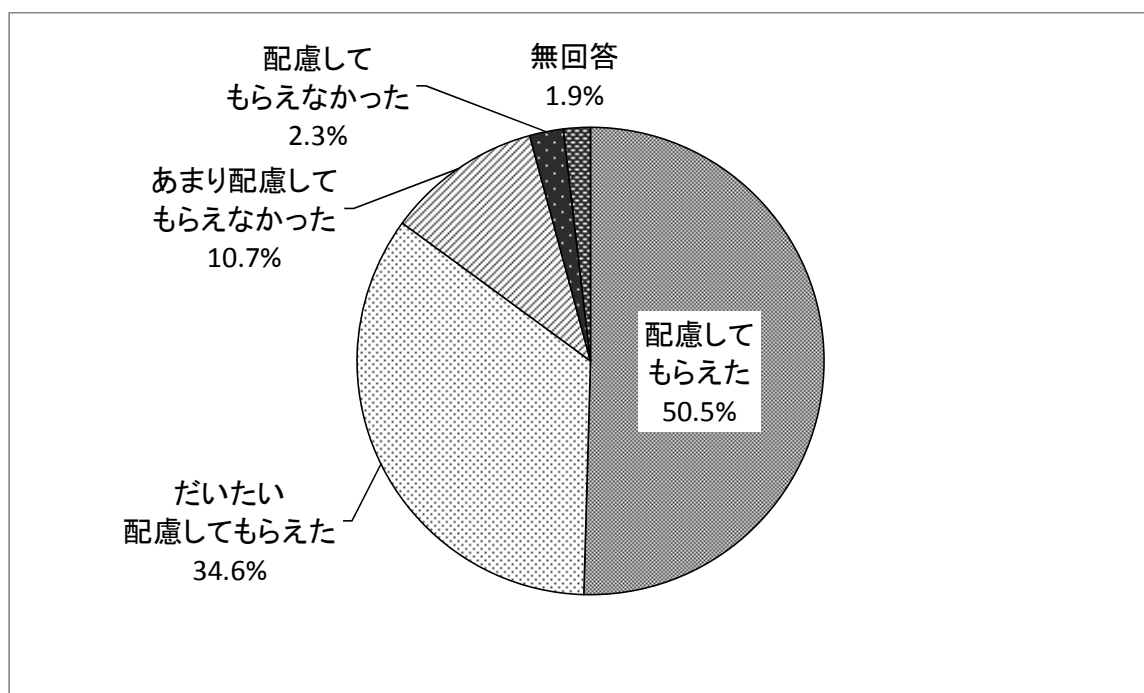
妊娠中に持っていた仕事の職業は何かについては、「勤め(正規職員)」が51.4%と最も高く、次いで「勤め(パート・アルバイト)」が39.7%、「自営業」が6.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	0	0.0%
勤め(正規職員)	110	51.4%
勤め(パート・アルバイト)	85	39.7%
自営業・家業	14	6.5%
内職	0	0.0%
その他	3	1.4%
育児休業中である	2	0.9%
	214	100.0%

問19-2 妊娠中ということで、仕事上配慮してもらえたと思いますか。

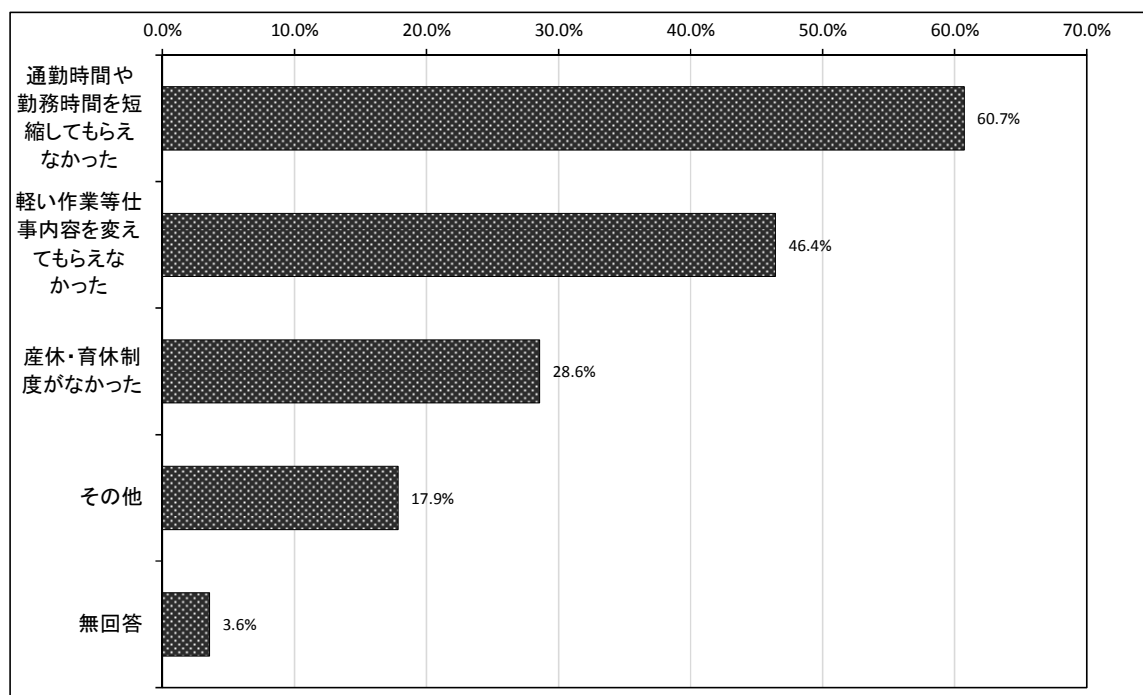
妊娠中に仕事上配慮してもらえたかについては、「配慮してもらえた」が50.5%と最も高く、次いで「だいたい配慮してもらえた」が34.6%、「あまり配慮してもらえなかった」が10.7%、「配慮してもらえなかった」が2.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	4	1.9%
配慮してもらえた	108	50.5%
だいたい配慮してもらえた	74	34.6%
あまり配慮してもらえなかった	23	10.7%
配慮してもらえなかった	5	2.3%
	214	100.0%

問19-3 妊娠中、どんな点が配慮してもらえませんでしたか。

妊娠中、どんな点が配慮してもらえなかったかについては、「通勤時間や勤務時間を短縮してもらえなかった」が60.7%と最も高く、次いで「軽い作業等仕事内容を変えてもらえなかった」が46.4%、「産休・育休制度がなかった」が28.6%であった。



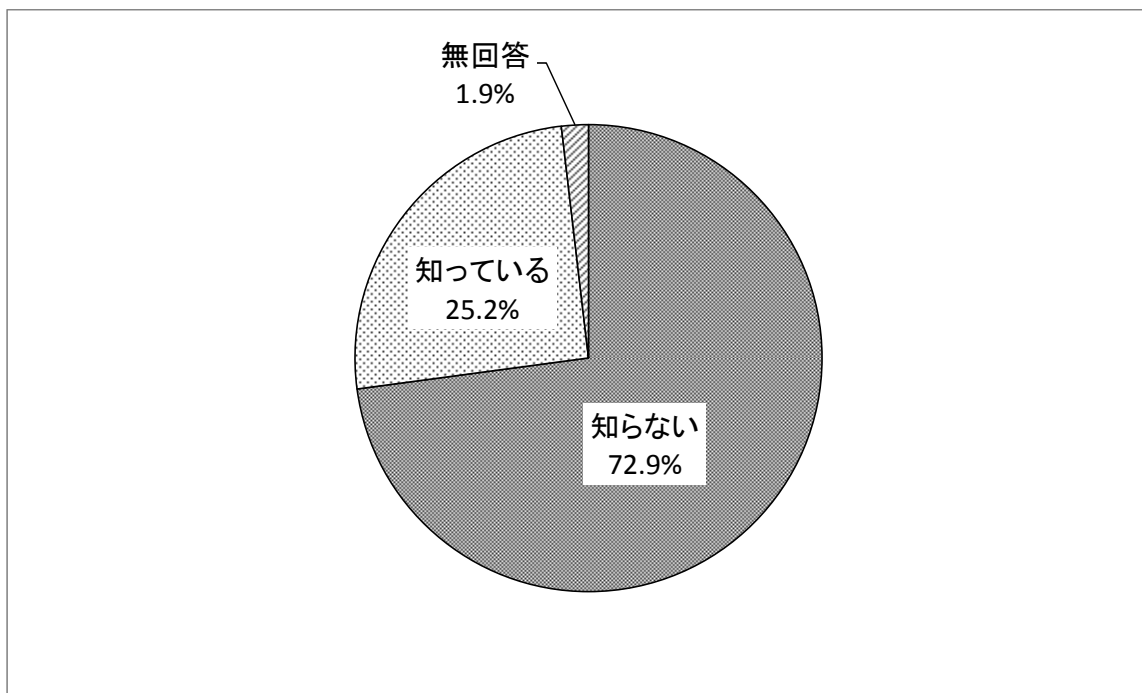
	回答数	回答割合
無回答	1	3.6%
産休・育休制度がなかった	8	28.6%
産休はとれたが、育休がとれなかった	0	0.0%
軽い作業等仕事内容を変えてもらえなかった	13	46.4%
通勤時間や勤務時間を短縮してもらえなかった	17	60.7%
その他	5	17.9%

(その他の内容)

- 妊娠した次の日から来なくてよいといわれた
- 仕事内容は配慮があったが、毎日のように精神的なストレスを与えられた
- 母親学級が平日だったため、休みをもらったがすごく嫌がられた
- 農作業していたので休めなかった
- 出張まで行かされた

問20 母子健康管理指導事項連絡カードを知っていますか。

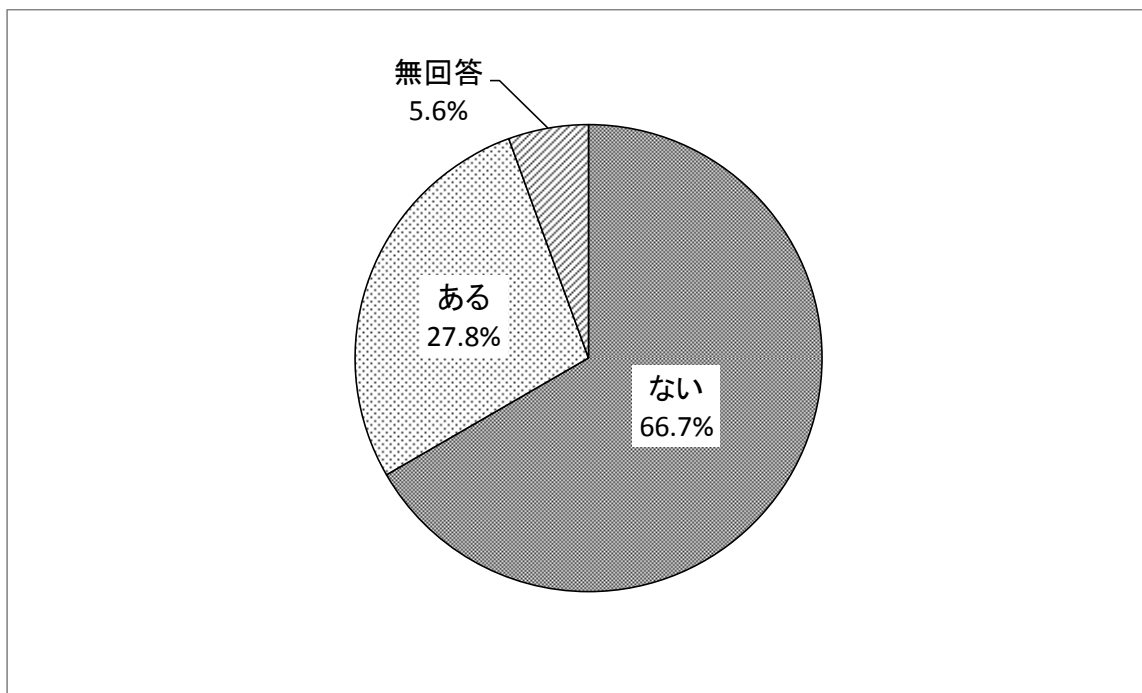
母子健康管理指導事項連絡カードを知っているかについては、「知らない」が72.9%と高く、次いで「知っている」が25.2%であった。



	回答数	回答割合
無回答	4	1.9%
知っている	54	25.2%
知らない	156	72.9%
	214	100.0%

問20-1 母子健康管理指導事項連絡カードを、利用したことはありますか。

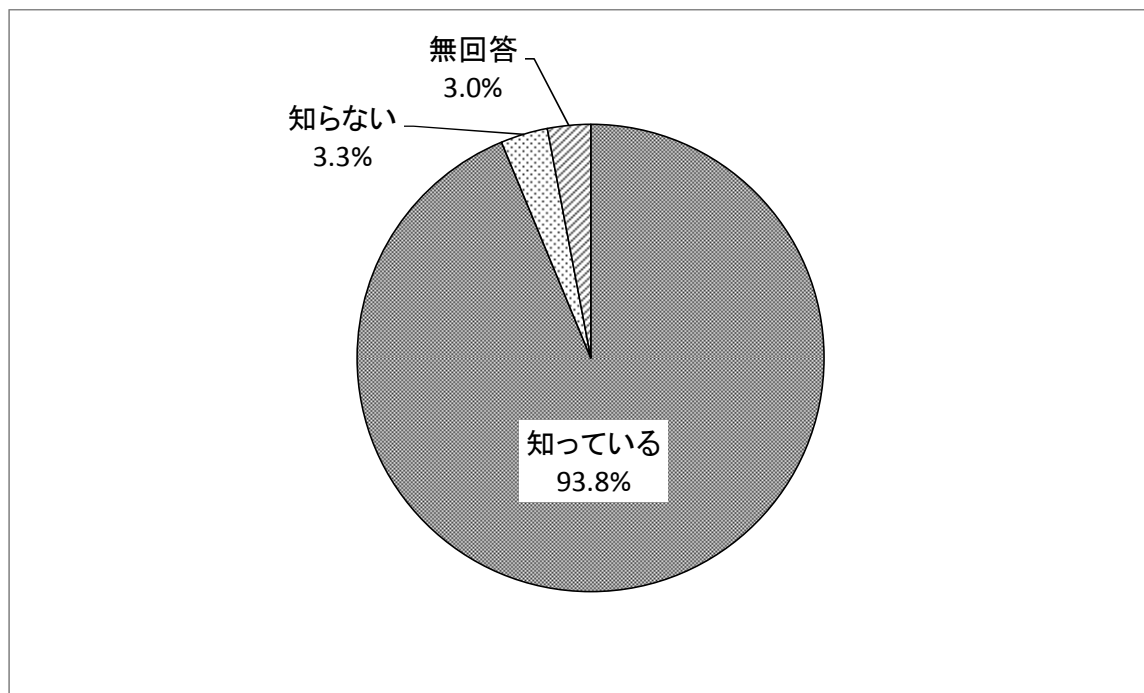
母子健康管理指導事項連絡カードを利用したことがあるかについては、「ない」が66.7%と高く、次いで「ある」が27.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	3	5.6%
ある	15	27.8%
ない	36	66.7%
	54	100.0%

問21 マタニティマークを知っていますか。

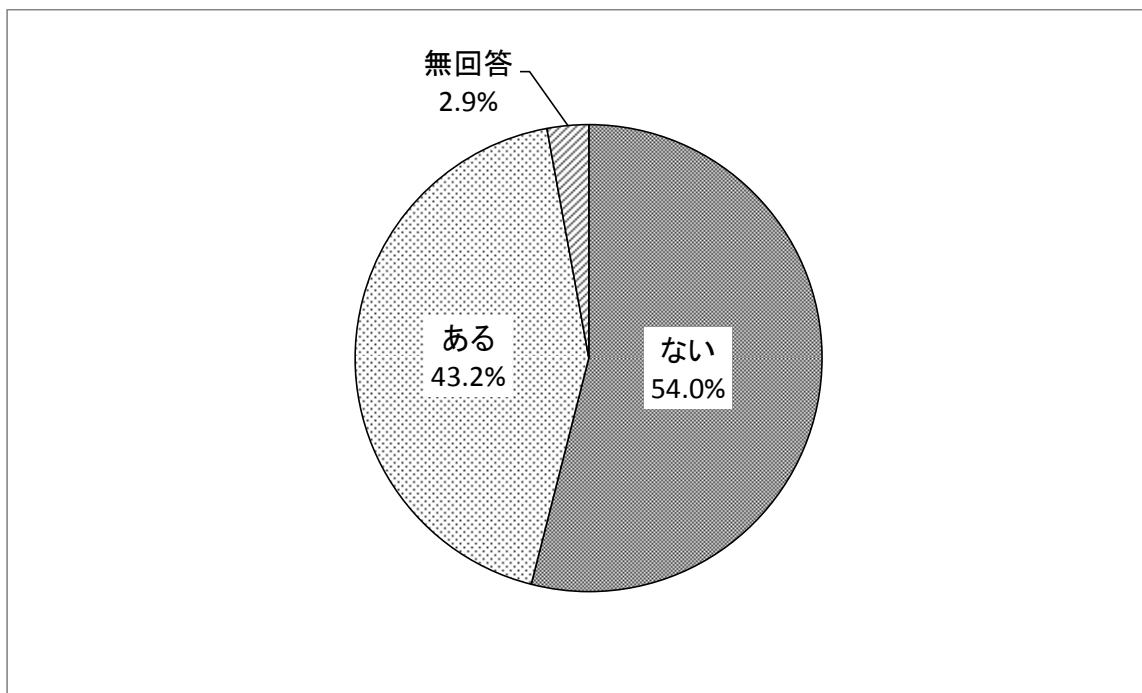
マタニティマークを知っていますかについては、「知っている」が93.8%と高く、次いで「知らない」が3.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	10	3.0%
知っている	315	93.8%
知らない	11	3.3%
	336	100.0%

問21-1 マタニティマークの効果を感じたことがありますか。

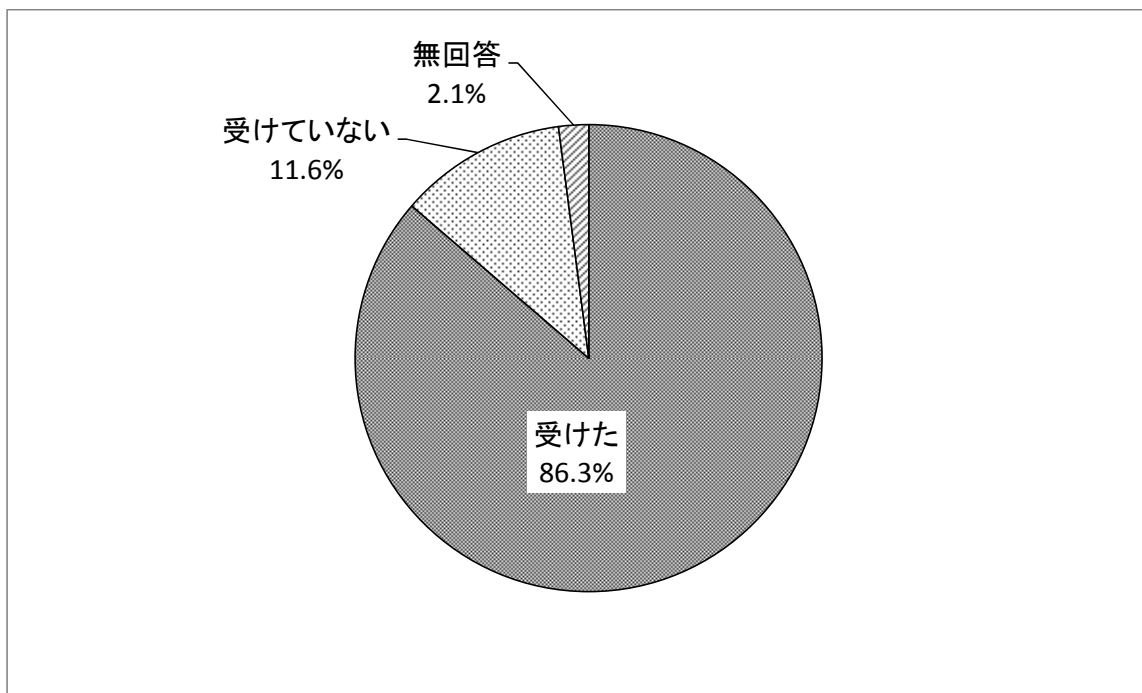
マタニティマークの効果を感じたことがあるかについては、「ない」が54.0%と高く、次いで「ある」が43.2%であった。



	回答数	回答割合
無回答	9	2.9%
ある	136	43.2%
ない	170	54.0%
	315	100.0%

問22 産後に助産師や保健師による家庭訪問を受けましたか。

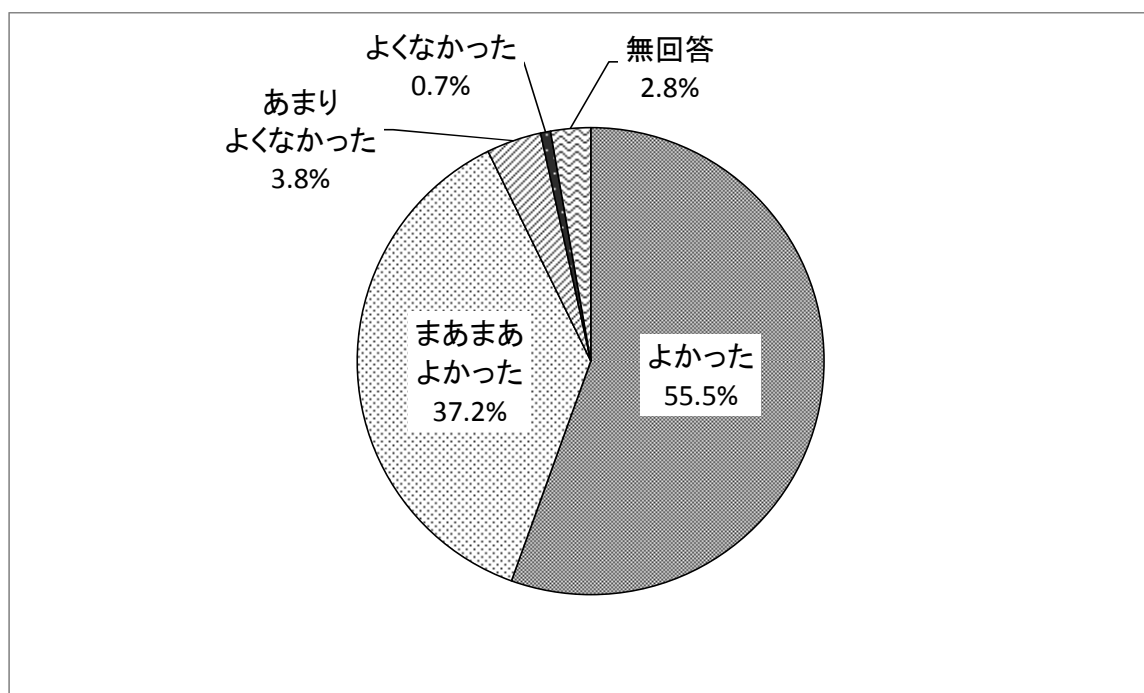
産後に助産師や保健師による家庭訪問を受けたかについては、「受けた」が86.3%と高く、次いで「受けていない」が11.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	7	2.1%
受けた	290	86.3%
受けていない	39	11.6%
	336	100.0%

問22-1 訪問指導を受けた感想はいかがでしたか。

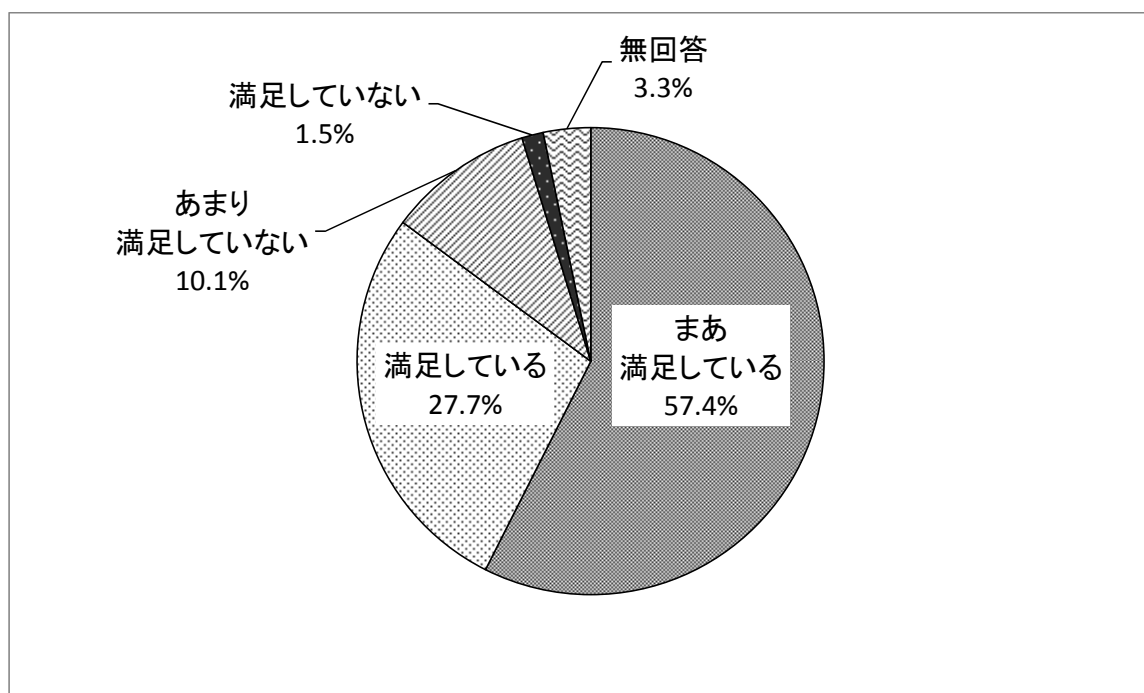
訪問指導を受けた感想については、「よかった」が55.5%と最も高く、次いで「まあまあよかった」が37.2%、「あまりよくなかった」が3.8%、「よくなかった」が0.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	8	2.8%
よかった	161	55.5%
まあまあよかった	108	37.2%
あまりよくなかった	11	3.8%
よくなかった	2	0.7%
	290	100.0%

問23 現在の子育ての状況についてどう思いますか。

現在の子育ての状況についてどう思うかについては、「まあ満足している」が57.4%と最も高く、次いで「満足している」が27.7%、「あまり満足していない」が10.1%、「満足していない」が1.5%であった。



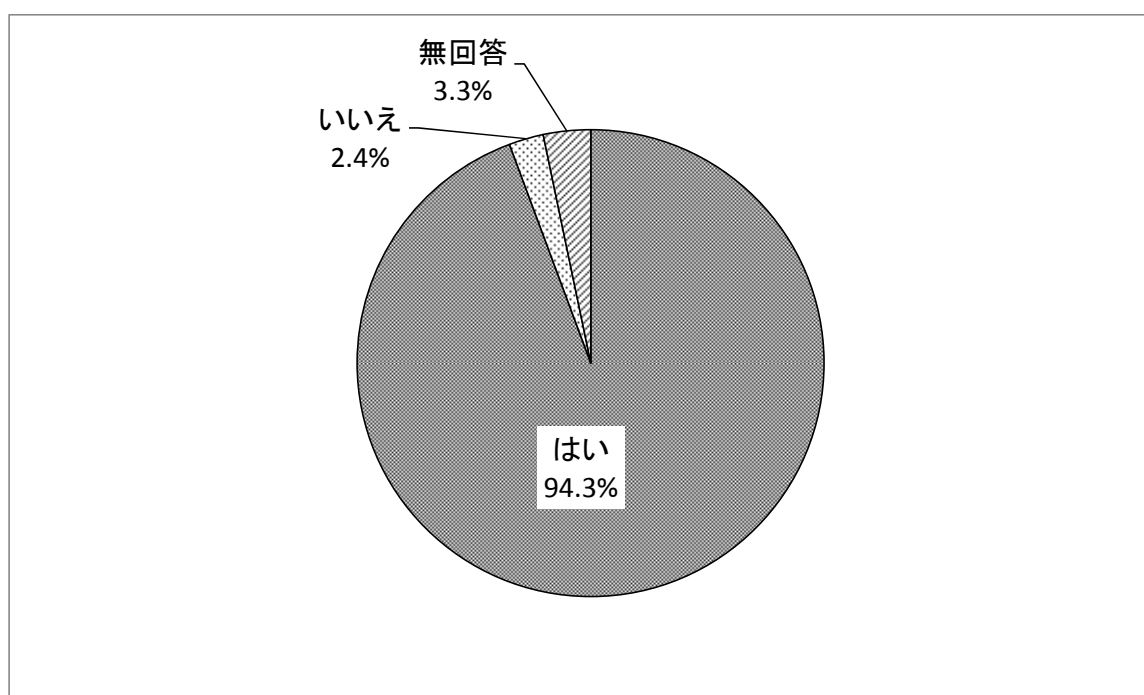
	回答数	回答割合
無回答	11	3.3%
満足している	93	27.7%
まあ満足している	193	57.4%
あまり満足していない	34	10.1%
満足していない	5	1.5%
	336	100.0%

問24 子育てについて気軽に相談できる人はいますか。

子育てについて気軽に相談できる人はいるかについては、「はい」が94.3%と高く、次いで「いいえ」が2.4%であった。

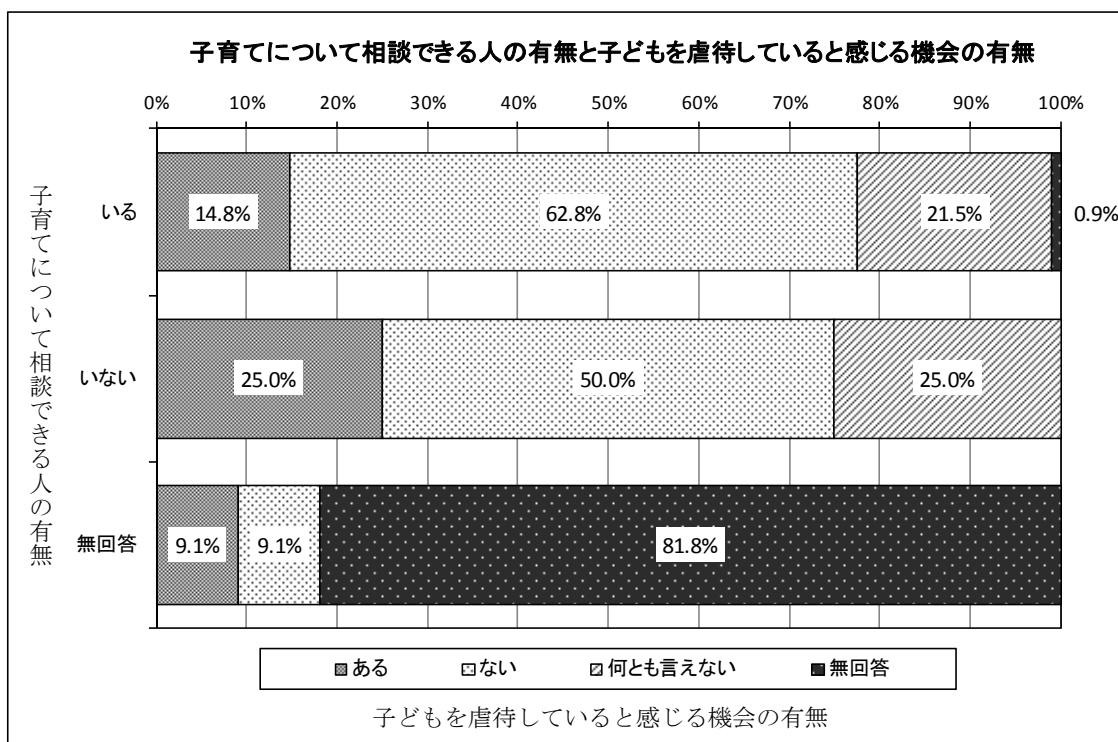
(クロス集計の結果より)

子育てについて相談できる人が「いない」と回答した人で、子どもを虐待していると感じる機会が「ある」と回答した割合は25.0%で、子育てについて相談できる人が「いる」と回答した人で、子どもを虐待していると感じる機会が「ある」と回答した人は、14.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	11	3.3%
はい	317	94.3%
いいえ	8	2.4%
	336	100.0%

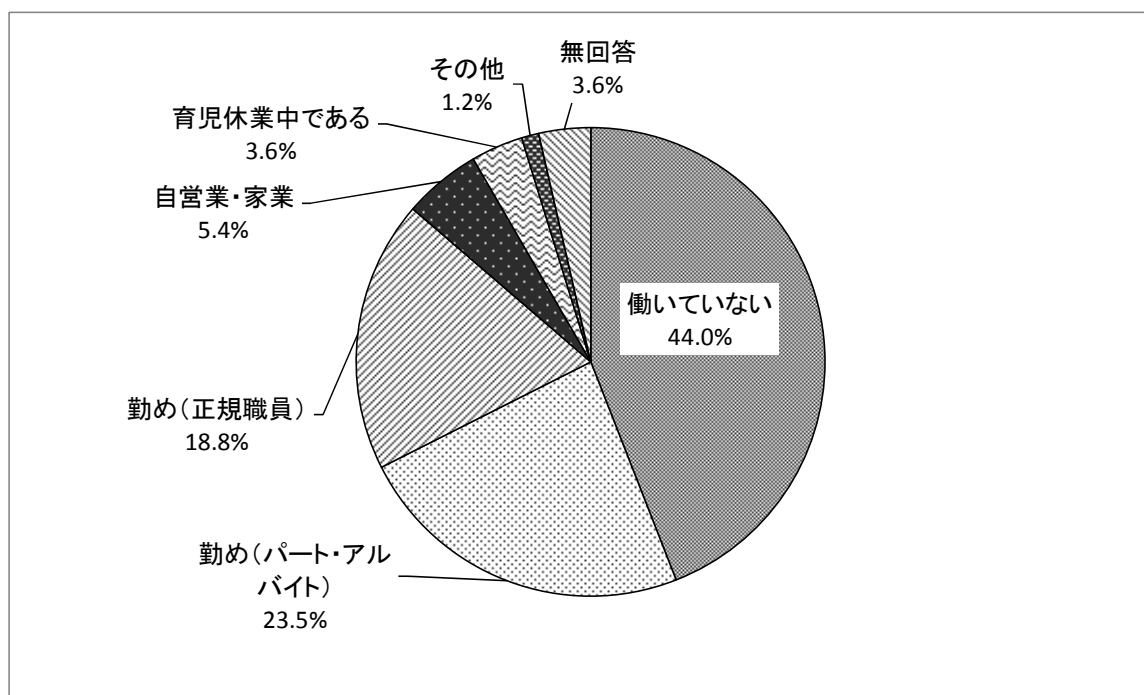
■「子育てについて相談できる人の有無」と「子どもを虐待していると感じる機会の有無」



子育てについて 相談できる人の有無	子どもを虐待している と感じる機会の有無	サンプル数	ある	ない	何とも言えない	無回答	
			上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数	下段:構成比(%)	上段:実数
全体		336	50	204	70	12	
		100.0%	14.9%	60.7%	20.8%	3.6%	
ある		317	47	199	68	3	
		100.0%	14.8%	62.8%	21.5%	0.9%	
ない		8	2	4	2	0	
		100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
無回答		11	1	1	0	9	
		100.0%	9.1%	9.1%	0.0%	81.8%	

問25 現在、お母さんは働いていますか。

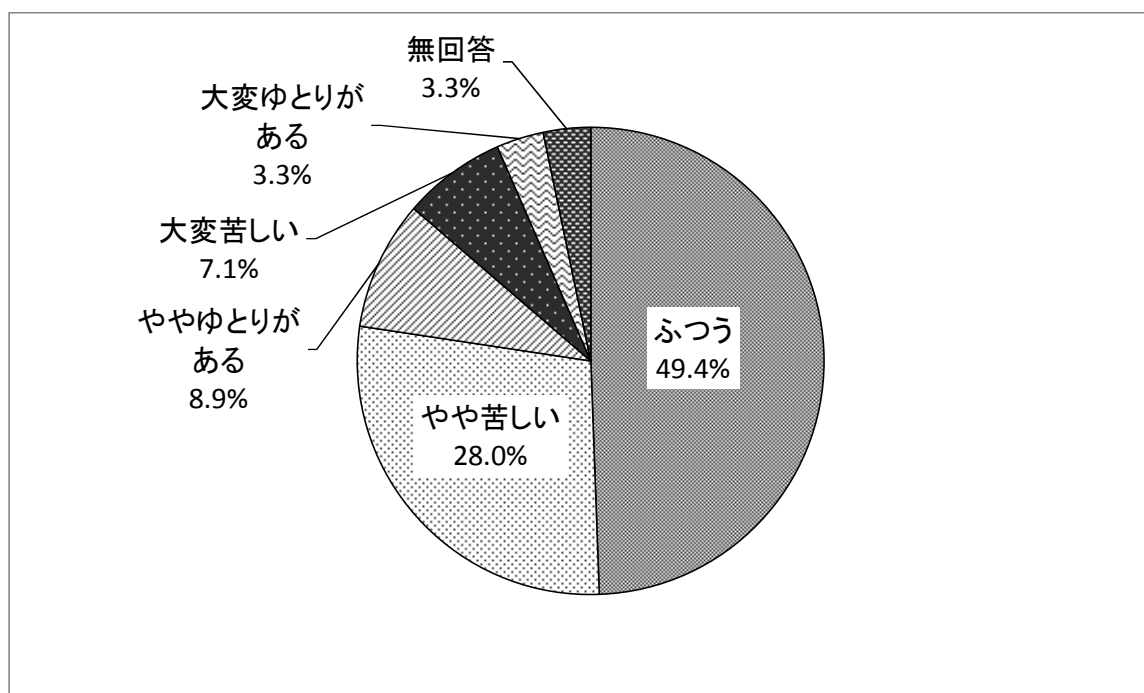
現在、お母さんは働いているかについては、「働いていない」が44.0%と最も高く、次いで、「勤め（パート・アルバイト）」が23.5%、「勤め（正規職員）」が18.8%、「自営業・家業」が5.4%、「育児休業中である」が3.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	12	3.6%
勤め(正規職員)	63	18.8%
勤め(パート・アルバイト)	79	23.5%
自営業・家業	18	5.4%
内職	0	0.0%
その他	4	1.2%
育児休業中である	12	3.6%
働いていない	148	44.0%
	336	100.0%

問26 現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか。

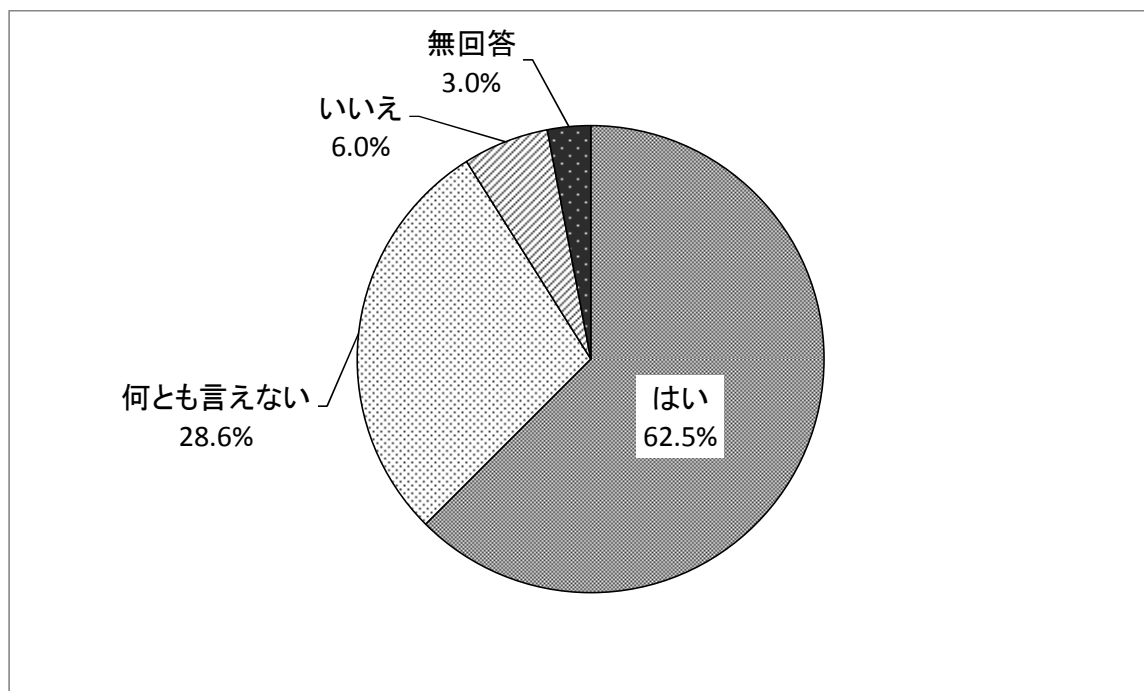
現在の暮らしの経済的な状況について、どう感じているかについては、「ふつう」が49.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」が28.0%、「ややゆとりがある」が8.9%、「大変苦しい」が7.1%、「大変ゆとりがある」が3.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	11	3.3%
大変ゆとりがある	11	3.3%
ややゆとりがある	30	8.9%
ふつう	166	49.4%
やや苦しい	94	28.0%
大変苦しい	24	7.1%
	336	100.0%

問27 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

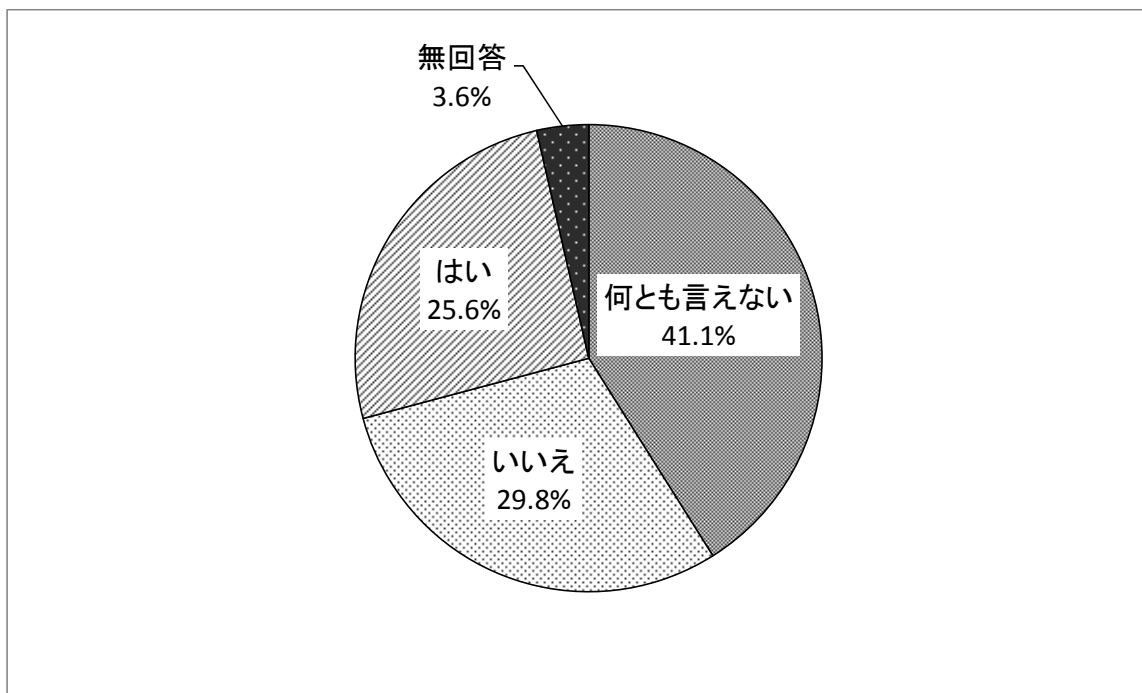
お母さんが、ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間があるかについては、「はい」が62.5%と最も高く、次いで「何とも言えない」が28.6%、「いいえ」が6.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	10	3.0%
はい	210	62.5%
いいえ	20	6.0%
何とも言えない	96	28.6%
	336	100.0%

問28 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

お母さんが育児に自信が持てないことがあるかについては、「何とも言えない」が41.1%と最も高く、次いで「いいえ」が29.8%、「はい」が25.6%であった。



	回答数	回答割合
無回答	12	3.6%
はい	86	25.6%
いいえ	100	29.8%
何とも言えない	138	41.1%
	336	100.0%

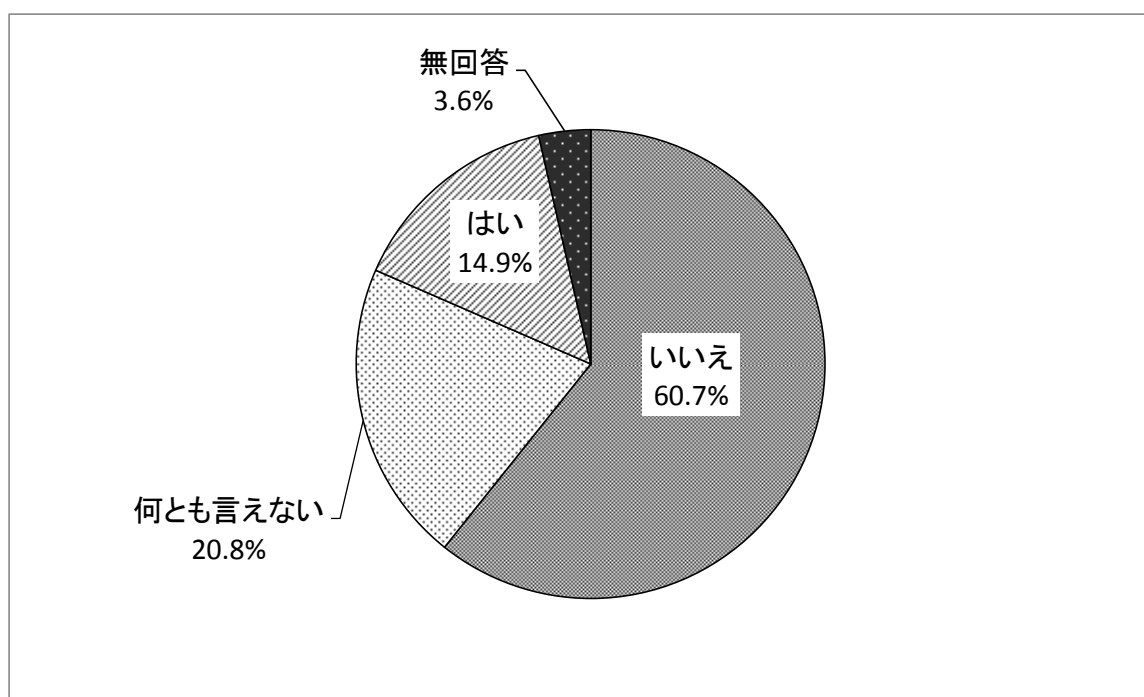
問29 お母さんは、子どもを虐待しているのではないかと思う事がありますか。

お母さんは、子供を虐待しているのではないかと思う事があるかについては、「いいえ」が60.7%と最も高く、次いで「何とも言えない」が20.8%、「はい」が14.9%であった。

(クロス集計の結果より)

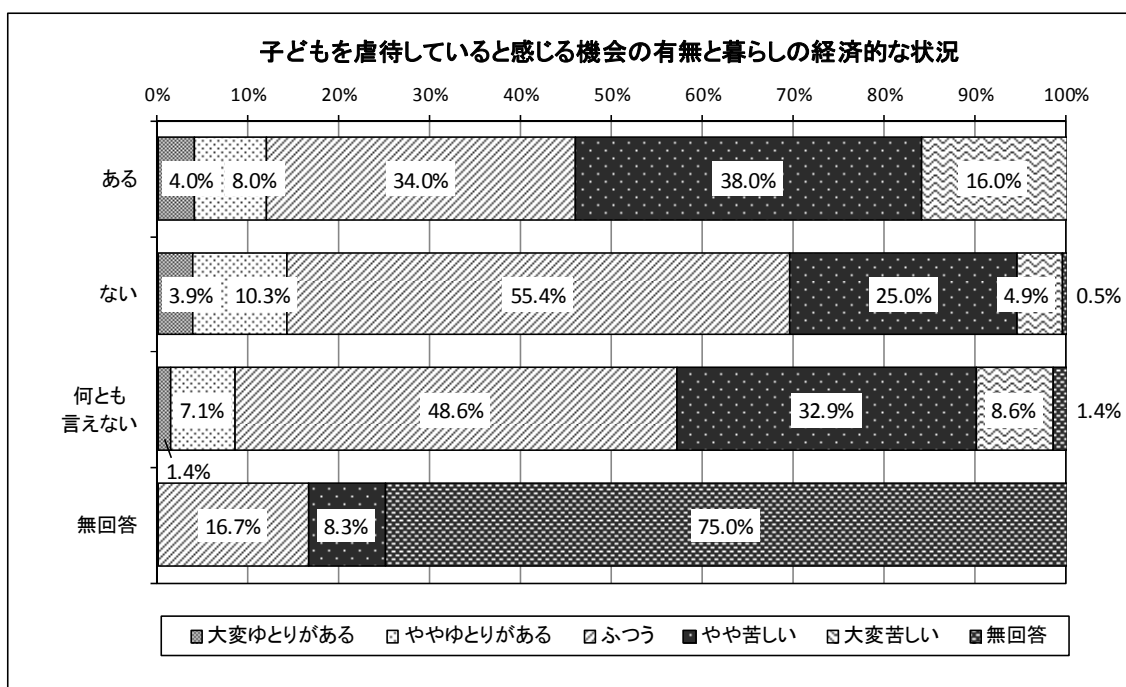
子どもを虐待していると感じる機会が「ある」と回答した人は、暮らしの経済的な状況が「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせると5割以上となっている。

また、子どもを虐待していると感じる機会が「ある」と回答した人は、夫の育児協力への満足度で「満足している」が12.5%と、「ない」の20.0%より低くなっている。



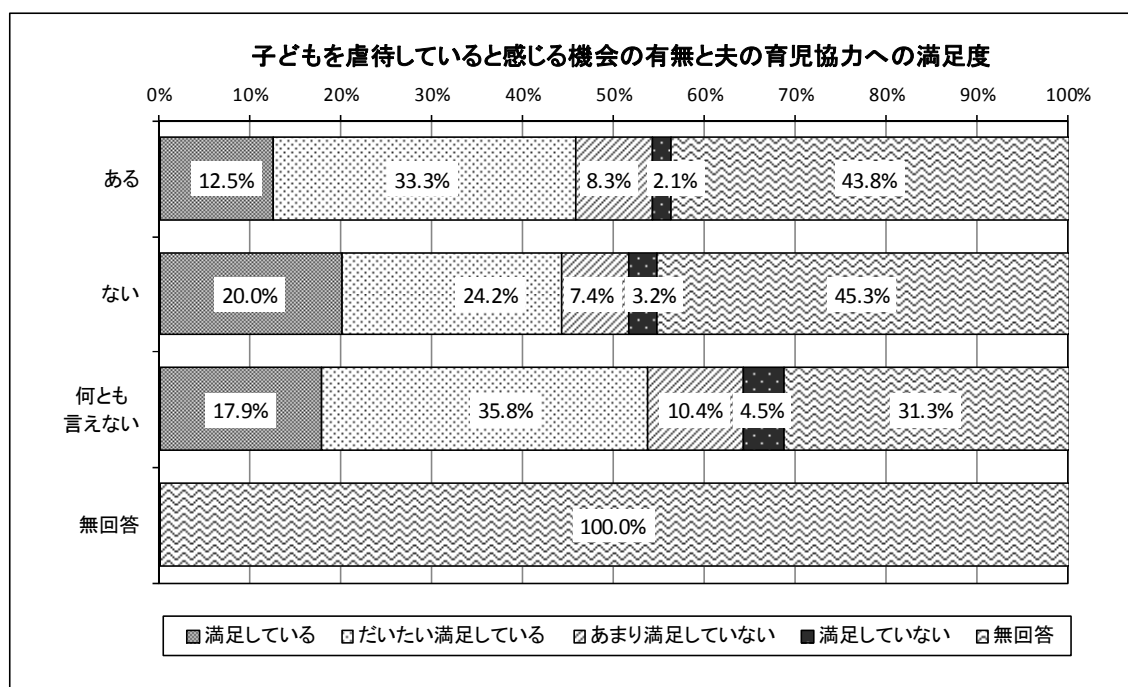
	回答数	回答割合
無回答	12	3.6%
はい	50	14.9%
いいえ	204	60.7%
何とも言えない	70	20.8%
	336	100.0%

■「子どもを虐待していると感じる機会の有無」と「暮らしの経済的な状況」



暮らしの経済的な状況	サンプル数	子どもを虐待していると感じる機会の有無					
		大変ゆとりがある	ややゆとりがある	ふつう	やや苦しい	大変苦しい	無回答
		上段: 実数					
		下段: 構成比(%)					
全体	336	11	30	166	94	24	11
	100.0%	3.3%	8.9%	49.4%	28.0%	7.1%	3.3%
ある	50	2	4	17	19	8	0
	100.0%	4.0%	8.0%	34.0%	38.0%	16.0%	0.0%
ない	204	8	21	113	51	10	1
	100.0%	3.9%	10.3%	55.4%	25.0%	4.9%	0.5%
何とも言えない	70	1	5	34	23	6	1
	100.0%	1.4%	7.1%	48.6%	32.9%	8.6%	1.4%
無回答	12	0	0	2	1	0	9
	100.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	75.0%

■「子どもを虐待していると感じる機会の有無」と「夫の育児協力への満足度」

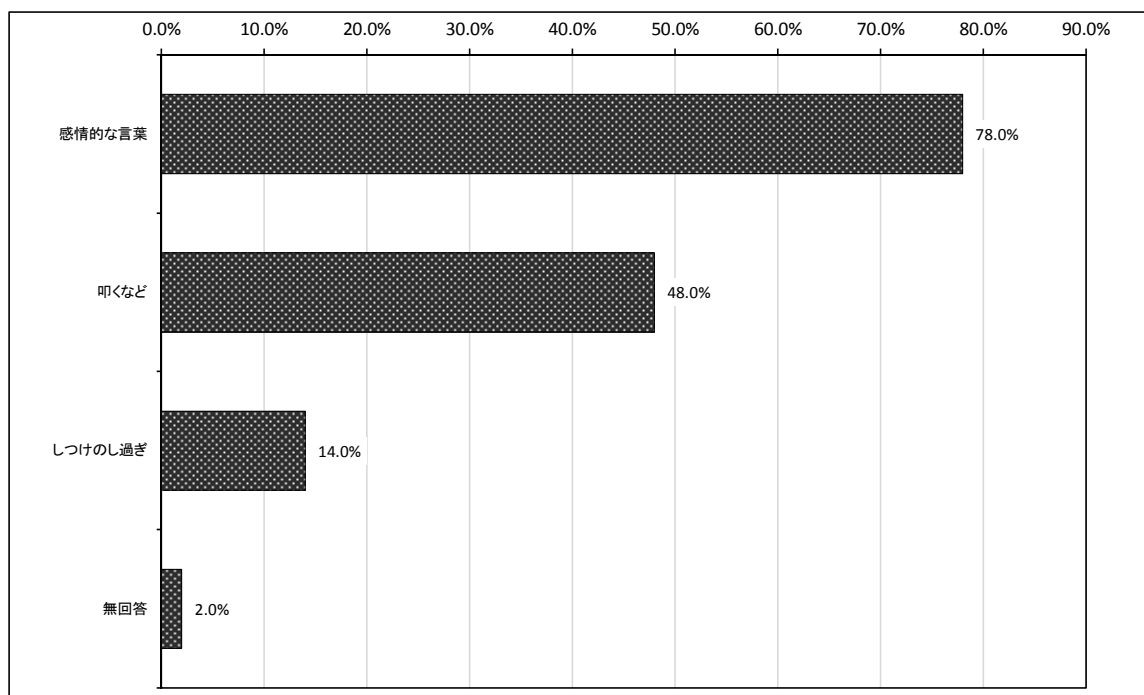


子どもを虐待している と感じる機会の有無	夫の育児協力への満足度					
	サンプル数	満足している	だいたい満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
上段: 実数 下段: 構成比 (%)						
全体	317	56	86	25	10	140
	100.0%	17.7%	27.1%	7.9%	3.2%	44.2%
ある	48	6	16	4	1	21
	100.0%	12.5%	33.3%	8.3%	2.1%	43.8%
ない	190	38	46	14	6	86
	100.0%	20.0%	24.2%	7.4%	3.2%	45.3%
何とも言えない	67	12	24	7	3	21
	100.0%	17.9%	35.8%	10.4%	4.5%	31.3%
無回答	12	0	0	0	0	12
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問29-1 子どもを虐待しているのではないかと思うのは、どのようなことですか。

子供を虐待しているのではないかと思うのは、どのようなことかについては、「感情的な言葉」が78.0%と最も高く、次いで、「叩くなど」が48.0%、「しつけのし過ぎ」が14.0%であった。

(複数回答)

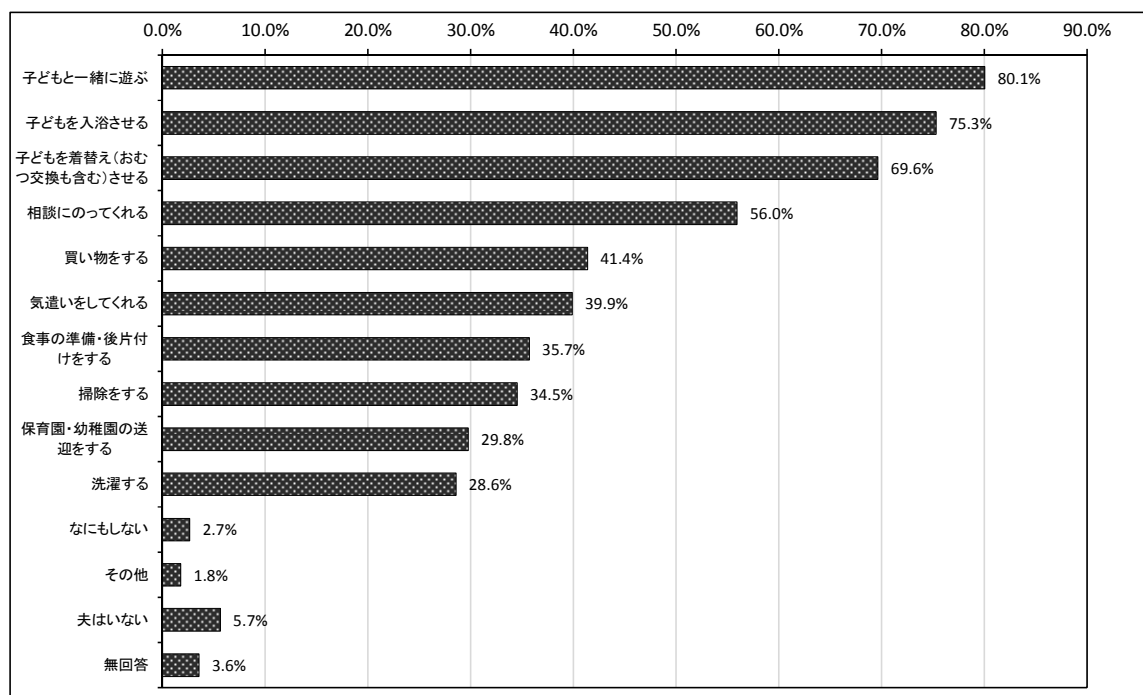


	回答数	回答割合
無回答	1	2.0%
叩くなど	24	48.0%
食事を長時間与えないなどの制限や放置	0	0.0%
しつけのし過ぎ	7	14.0%
感情的な言葉	39	78.0%
その他	0	0.0%

問30 夫は育児にどのような形で参加してくれていますか。

夫は育児にどのような形で参加してくれているかについては、「子どもと一緒に遊ぶ」が80.1%と最も高く、次いで、「子どもを入浴させる」が75.3%、「子どもを着替え（おむつ交換も含む）させる」が69.6%であった。

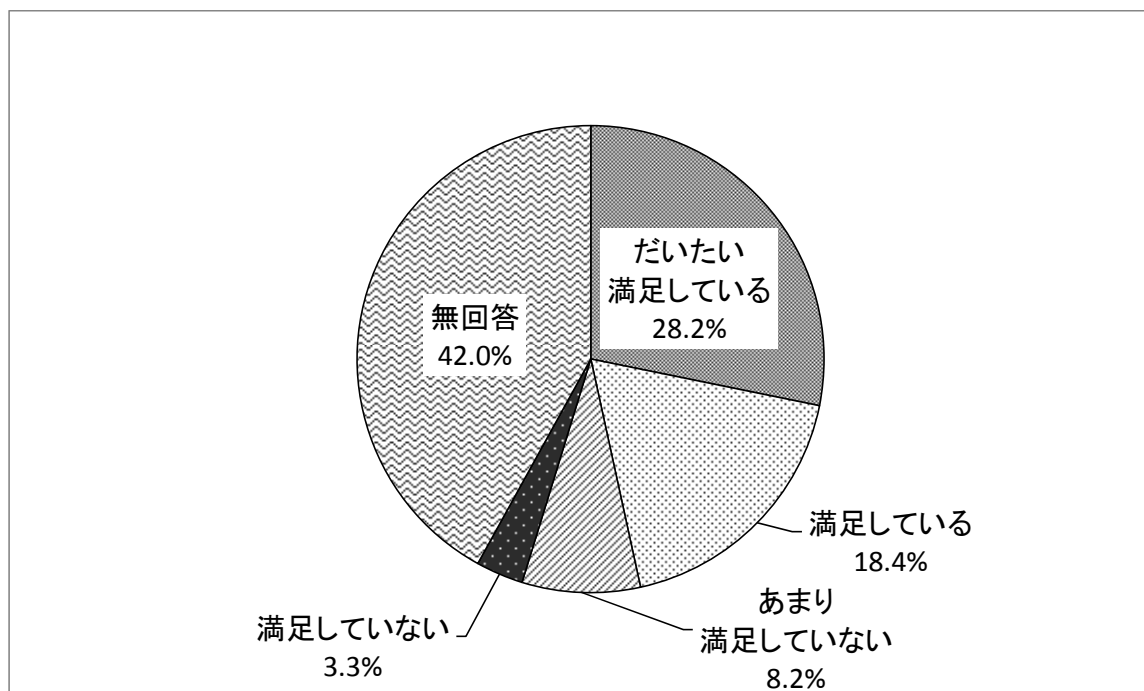
(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	12	3.6%
子どもを入浴させる	253	75.3%
子どもを着替え(おむつ交換も含む)させる	234	69.6%
子どもと一緒に遊ぶ	269	80.1%
保育園・幼稚園の送迎をする	100	29.8%
洗濯する	96	28.6%
食事の準備・後片付けをする	120	35.7%
買い物をする	139	41.4%
掃除をする	116	34.5%
相談にのってくれる	188	56.0%
気遣いをしてくれる	134	39.9%
なにもしない	9	2.7%
その他	6	1.8%
夫はいない	19	5.7%

問30-1 夫の育児等の協力を満足していますか。

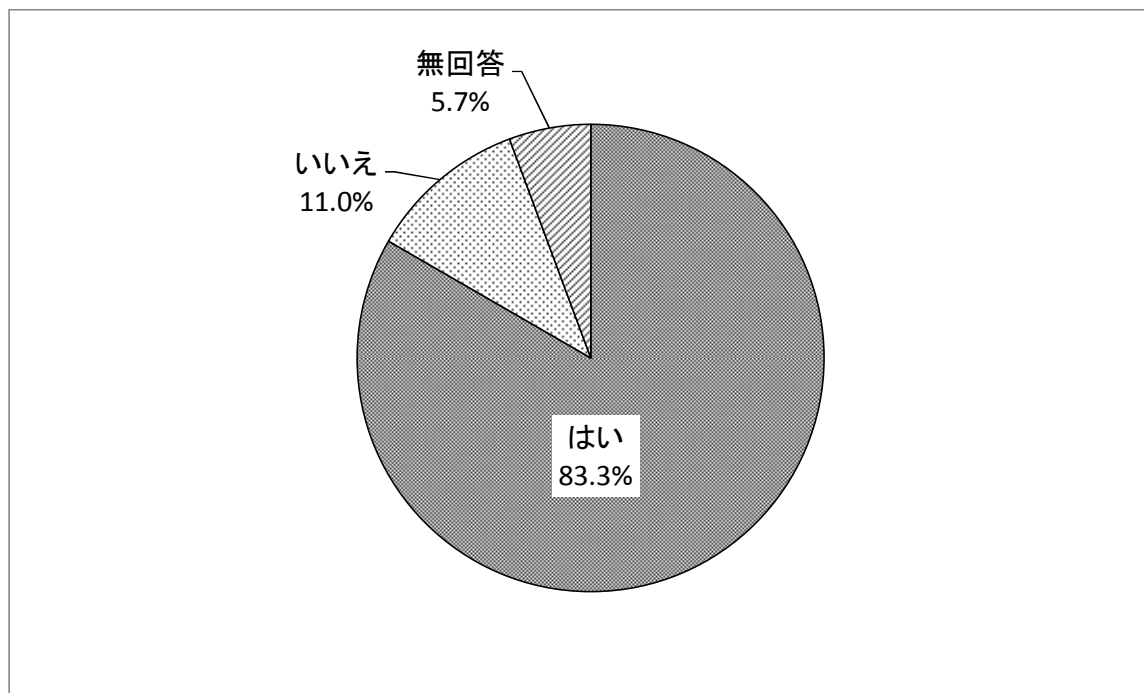
夫の育児等の協力を満足しているかについては、「だいたい満足している」が28.2%と最も高く、次いで「満足している」が18.4%、「あまり満足していない」が8.2%、「満足していない」が3.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	128	42.0%
満足している	56	18.4%
だいたい満足している	86	28.2%
あまり満足していない	25	8.2%
満足していない	10	3.3%
	305	100.0%

問31 お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいますか。

お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいるかについては、「はい」が83.3%と高く、次いで「いいえ」が11.0%であった。

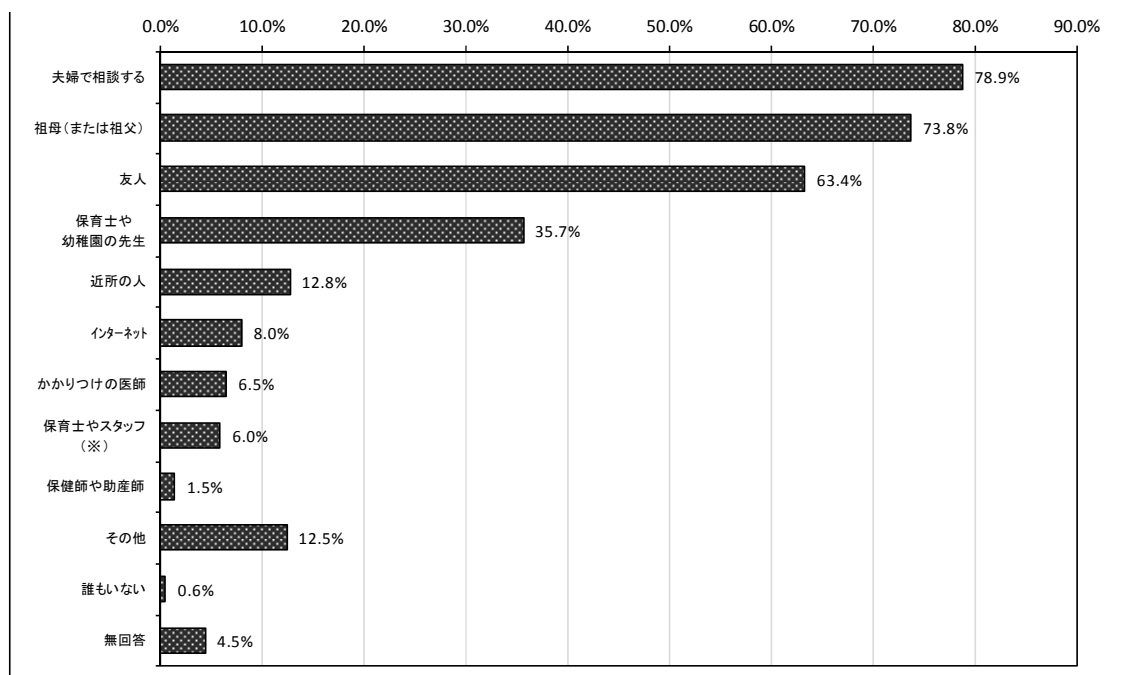


	回答数	回答割合
無回答	19	5.7%
はい	280	83.3%
いいえ	37	11.0%
	336	100.0%

問32 お母さんにとって、日常の育児の相談相手は誰ですか。

お母さんにとって、日常の育児の相談相手は誰かについては、「夫婦で相談する」が78.9%と最も高く、次いで「祖母（または祖父）」が73.8%、「友人」が63.4%であった。

(複数回答)



※子育て支援センターや親子つどいの広場の保育士やスタッフ

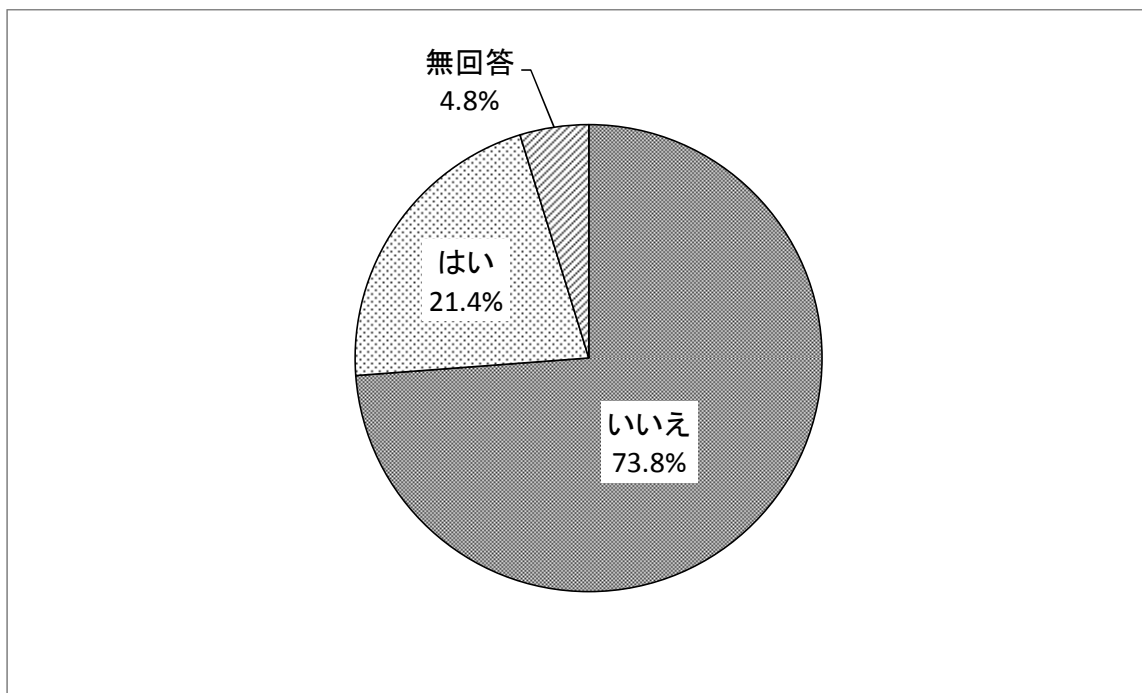
	回答数	回答割合
無回答	15	4.5%
夫婦で相談する	265	78.9%
祖母(または祖父)	248	73.8%
近所の人	43	12.8%
友人	213	63.4%
かかりつけの医師	22	6.5%
保健師や助産師	5	1.5%
子育て支援センターや親子つどいの広場の保育士やスタッフ	20	6.0%
保育士や幼稚園の先生	120	35.7%
電話相談	0	0.0%
インターネット	27	8.0%
その他	42	12.5%
誰もいない	2	0.6%

(その他の内容)

- 妹や姉 (27件)
- 職場の同僚 (12件)
- ママ友 (2件)

問33 地域の子育てサークルや子育てサロンに参加していますか。

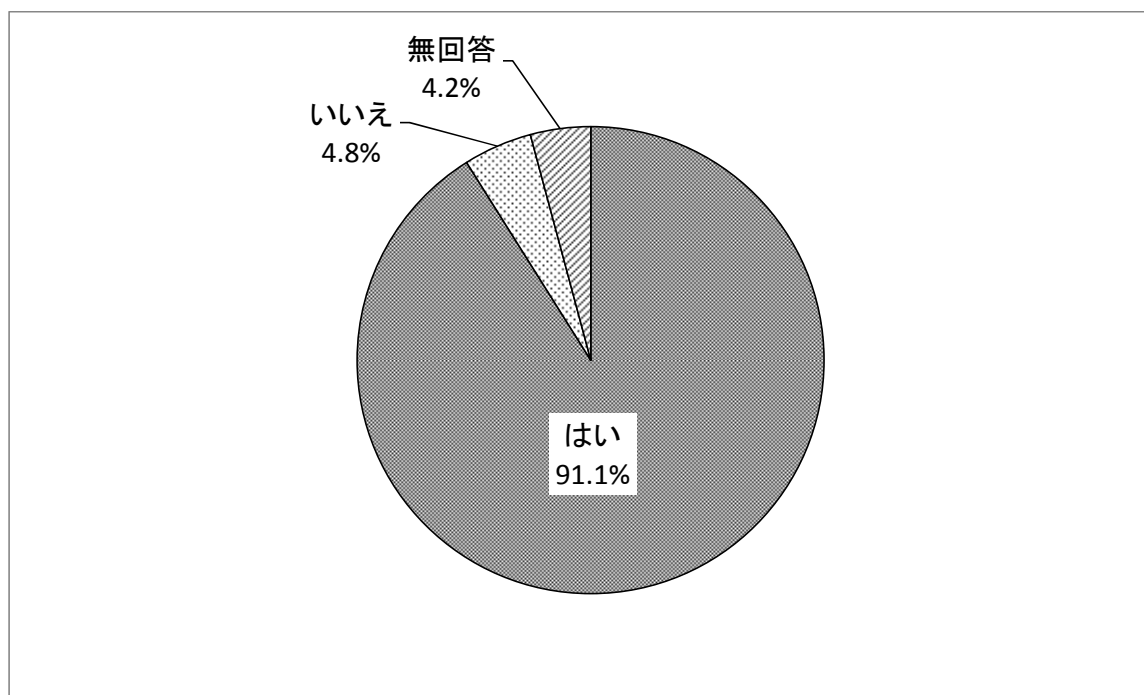
地域の子育てサークルや子育てサロンに参加しているかについては、「いいえ」が73.8%と高く、次いで「はい」が21.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	16	4.8%
はい	72	21.4%
いいえ	248	73.8%
	336	100.0%

問34 かかりつけ医を持っていますか。

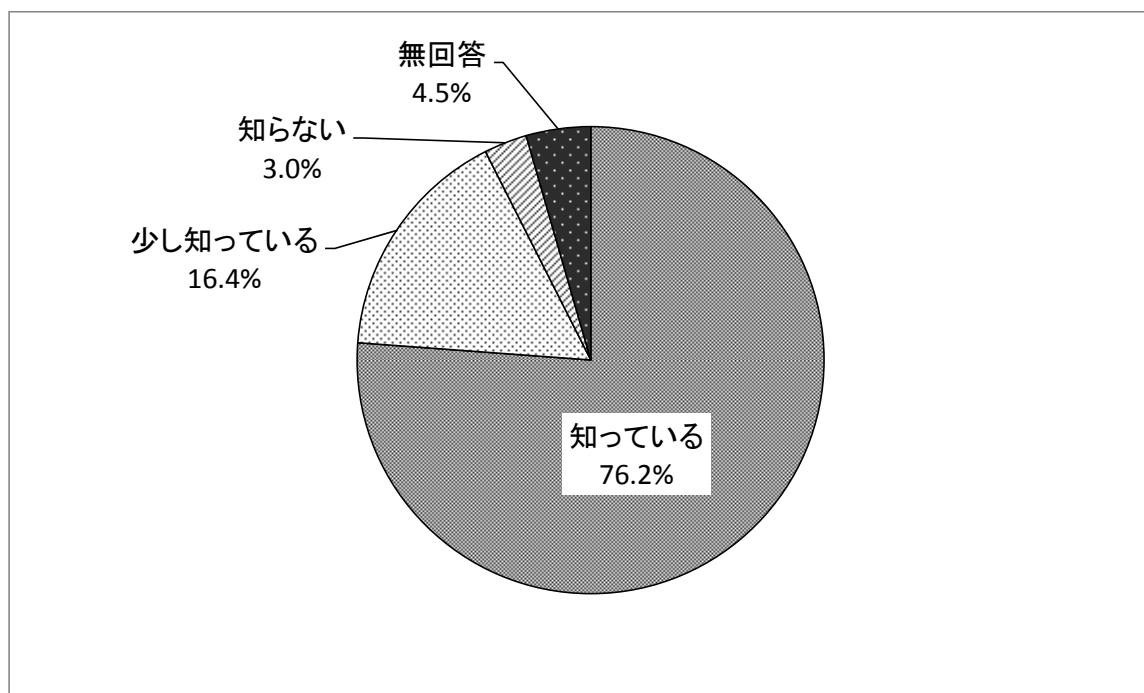
かかりつけ医を持っているかについては、「はい」が91.1%と高く、次いで「いいえ」が4.8%であった。



	回答数	回答割合
無回答	14	4.2%
はい	306	91.1%
いいえ	16	4.8%
	336	100.0%

問35 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

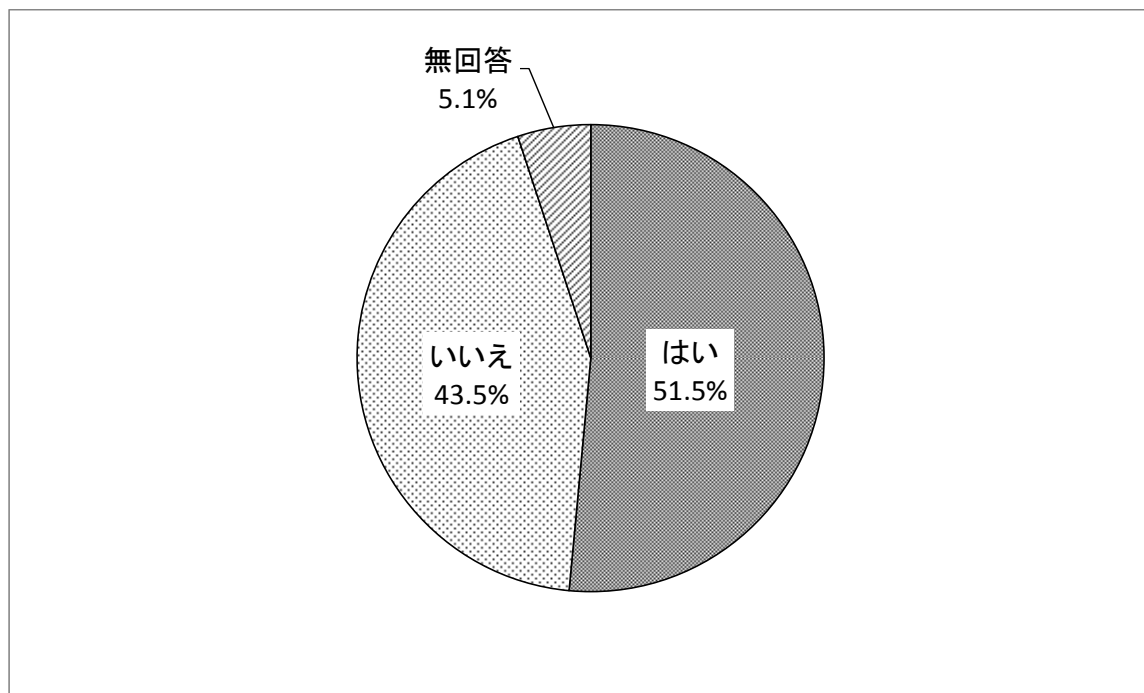
休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っているかについては、「知っている」が76.2%と最も高く、次いで「少し知っている」が16.4%、「知らない」が3.0%であった。



	回答数	回答割合
無回答	15	4.5%
知っている	256	76.2%
少し知っている	55	16.4%
知らない	10	3.0%
	336	100.0%

問36 「鹿児島市夜間急病センター」を、お子さんが受診したことがありますか。

「鹿児島市夜間急病センター」を、お子さんが受診したことがあるかについては、「はい」が51.5%と高く、次いで「いいえ」が43.5%であった。

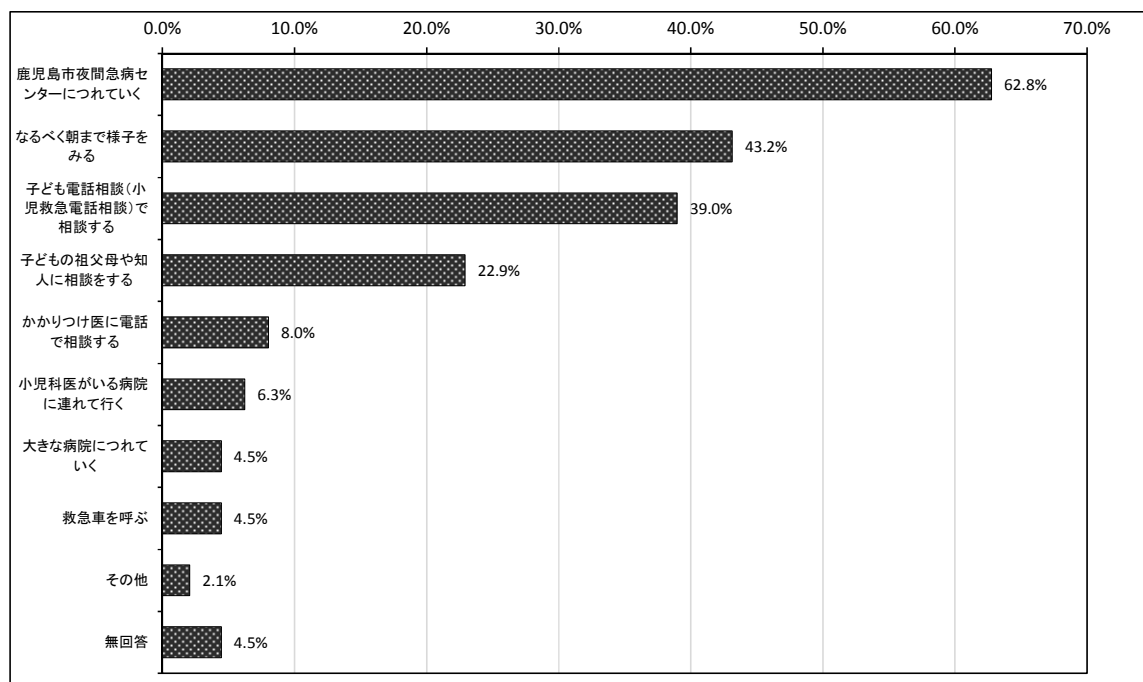


	回答数	回答割合
無回答	17	5.1%
はい	173	51.5%
いいえ	146	43.5%
	336	100.0%

問37 夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうしますか。

夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうするかについては、「鹿児島市夜間急病センターに連れていく」が62.8%と最も高く、次いで「なるべく朝まで様子を見る」が43.2%、「子供電話相談（小児救急電話相談）で相談する」が39.0%であった。

(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	15	4.5%
子ども電話相談(小児救急電話相談)で相談する	131	39.0%
かかりつけ医に電話で相談する	27	8.0%
鹿児島市夜間急病センターにつれていく	211	62.8%
小児科医がいる病院に連れて行く	21	6.3%
大きな病院につれていく	15	4.5%
救急車を呼ぶ	15	4.5%
子どもの祖父母や知人に相談をする	77	22.9%
なるべく朝まで様子を見る	145	43.2%
その他	7	2.1%

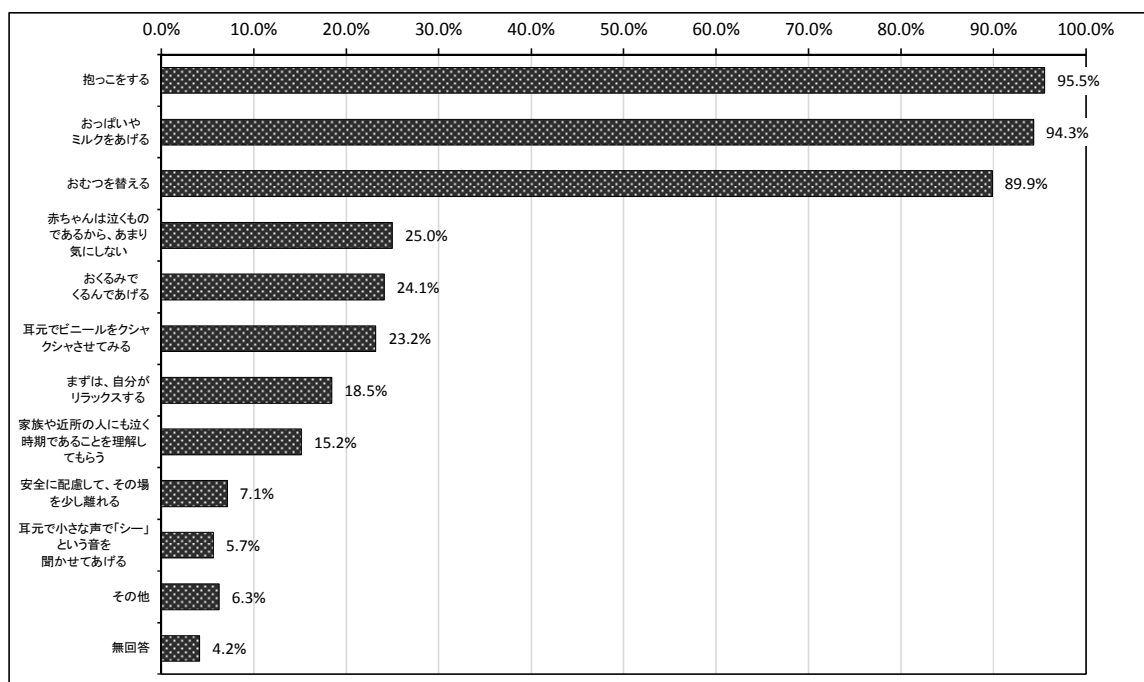
(その他の内容)

- 急病センターに電話で聞く
- 具合の様子しだいで対応する (2件)
- 育児書を見て対応後
- インターネットで症状を調べる
- 残薬を与える

問38 生後1～5か月頃の赤ちゃんが「泣く」時の対処法について、自分の行動や考え方であてはまるものを教えてください。

生後1～5か月頃の赤ちゃんが「泣く」時の対処法について、自分の行動や考え方であてはまるものについては、「抱っこをする」が95.5%と最も高く、次いで「おっぱいやミルクをあげる」が94.3%、「おむつを替える」が89.9%であった。

(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	14	4.2%
おっぱいやミルクをあげる	317	94.3%
おむつを替える	302	89.9%
抱っこをする	321	95.5%
おくるみでくるんであげる	81	24.1%
耳元で小さな声で「シー」という音を聞かせてあげる	19	5.7%
耳元でビニールをクシャクシャさせてみる	78	23.2%
赤ちゃんは泣くものであるから、あまり気にしない	84	25.0%
安全に配慮して、その場を少し離れる	24	7.1%
まずは、自分がリラックスする	62	18.5%
家族や近所の人にも泣く時期であることを理解してもらおう	51	15.2%
その他	21	6.3%

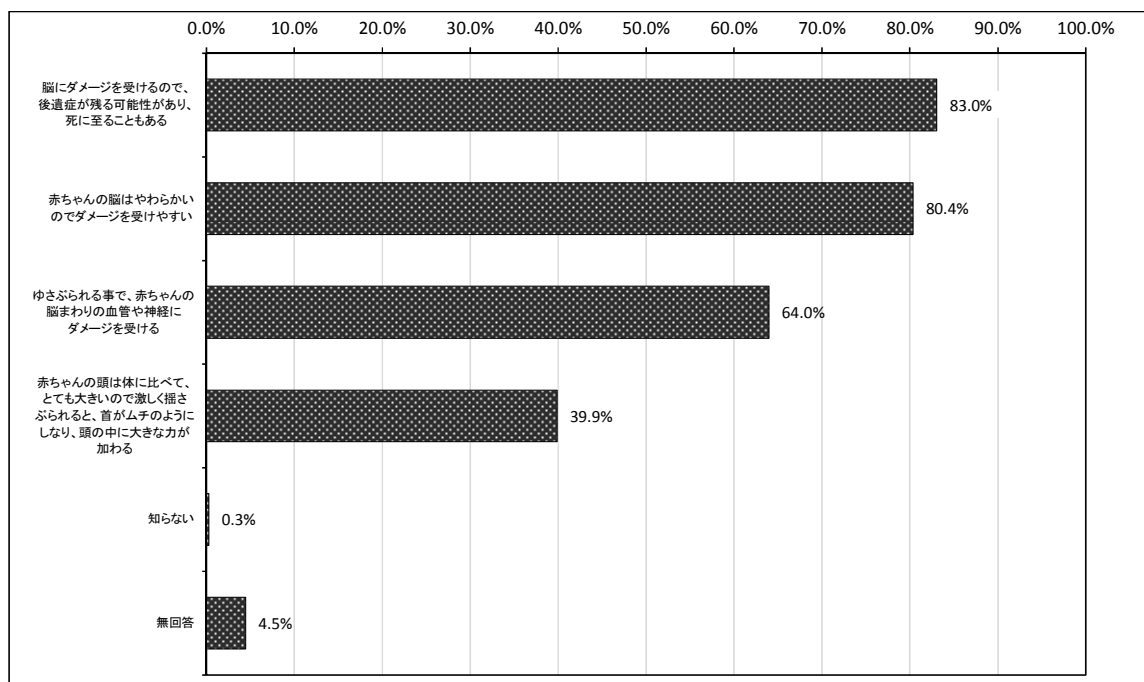
(その他の内容)

- 話しかける (5件)
- 歌をうたう (7件)
- 音楽を聴かせる (3件)
- 散歩やドライブをする (2件)

問39 「乳幼児ゆさぶられ症候群」について、どのような事を知っていますか。

「乳幼児ゆさぶられ症候群」について、どのような事を知っているかについては、「脳にダメージを受けるので、後遺症が残る可能性があり、死に至ることもある」が83.0%と最も高く、次いで「赤ちゃんの脳はやわらかいのでダメージを受けやすい」が80.4%、「ゆさぶられる事で、赤ちゃんの脳まわりの血管や神経にダメージを受ける」が64.0%であった。

(複数回答)

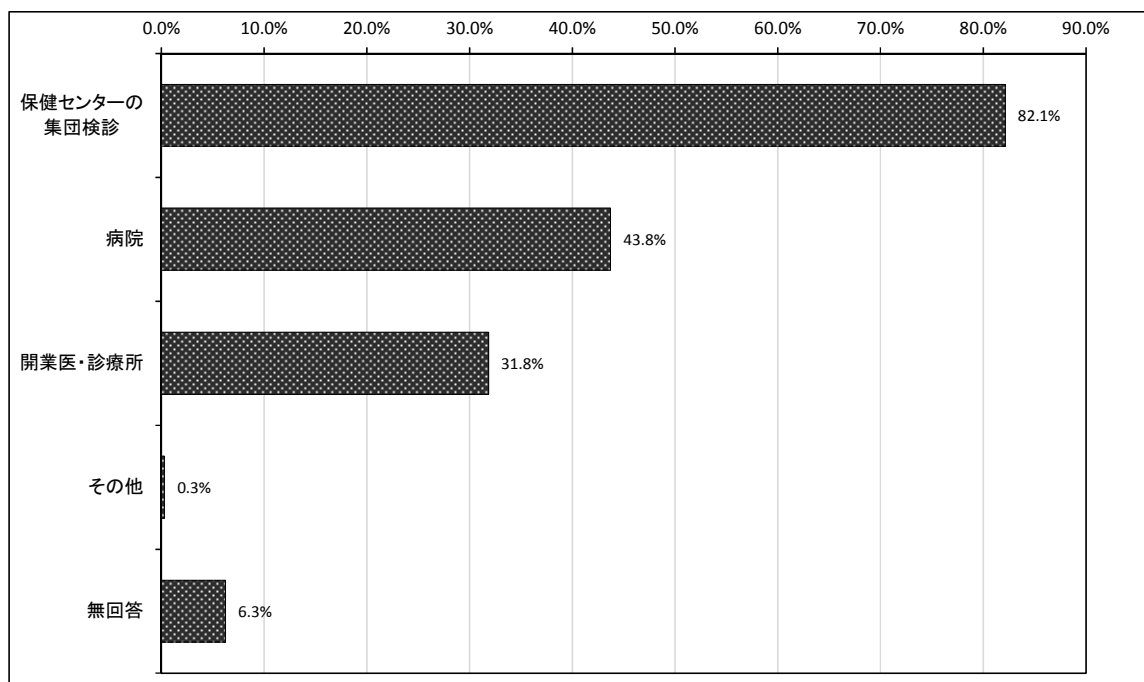


	回答数	回答割合
無回答	15	4.5%
赤ちゃんの脳はやわらかいのでダメージを受けやすい	270	80.4%
赤ちゃんの頭は体に比べて、とても大きいので激しく揺さぶられると、首がムチのようになり、頭の中に大きな力が加わる	134	39.9%
ゆさぶられる事で、赤ちゃんの脳まわりの血管や神経にダメージを受ける	215	64.0%
脳にダメージを受けるので、後遺症が残る可能性があり、死に至ることもある	279	83.0%
知らない	1	0.3%
その他	0	0.0%

問40 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。

これまでに乳幼児健診は主にどこで受けたかについては、「保健センターの集団検診」が82.1%と最も高く、次いで「病院」が43.8%、「開業医・診療所」が31.8%であった。

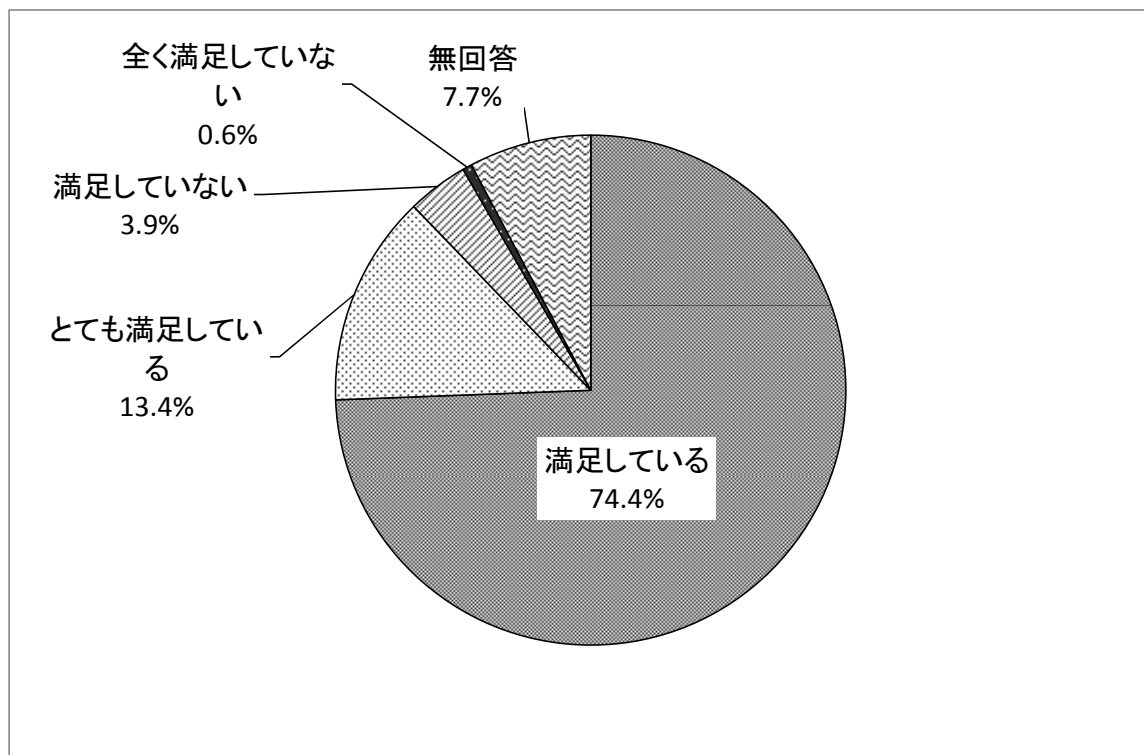
(複数回答)



	回答数	回答割合
無回答	21	6.3%
保健センターの集団検診	276	82.1%
開業医・診療所	107	31.8%
病院	147	43.8%
受けていない	0	0.0%
その他	1	0.3%

問41 健診についての状況はいかがでしたか。

健診についての状況については、「満足している」が74.4%と最も高く、次いで「とても満足している」が13.4%、「満足していない」が3.9%、「全く満足していない」が0.6%であった。

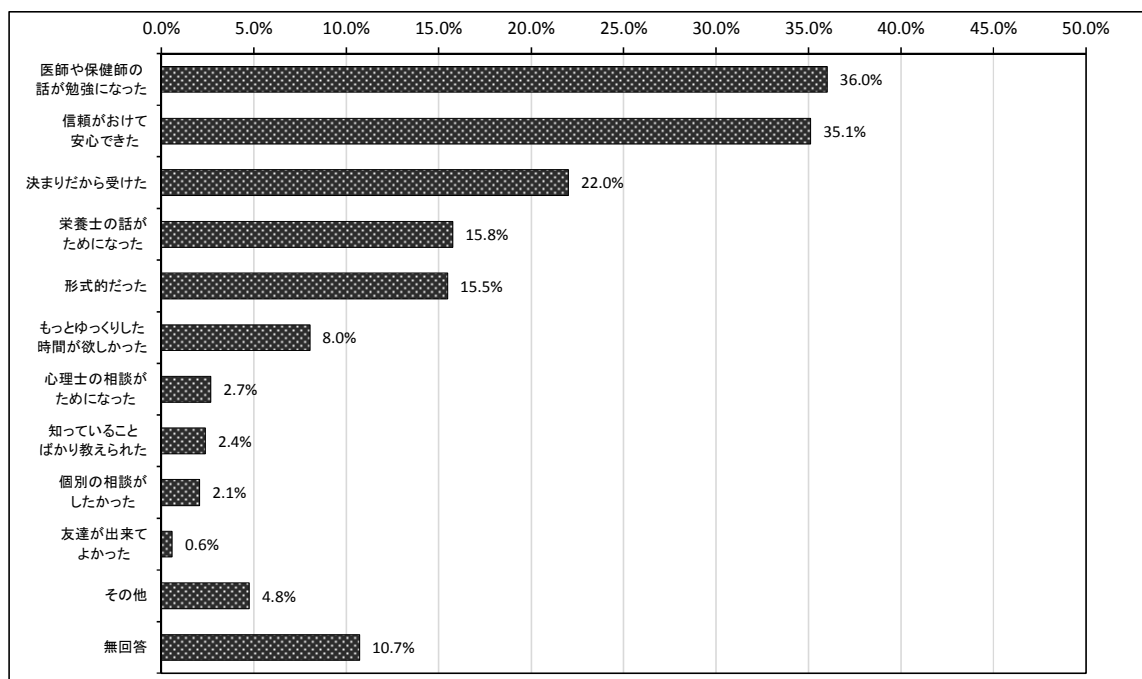


	回答数	回答割合
無回答	26	7.7%
とても満足している	45	13.4%
満足している	250	74.4%
満足していない	13	3.9%
全く満足していない	2	0.6%
	336	100.0%

問42 健診を受けた感想はいかがですか。

健診を受けた感想については、「医師や保健師の話が勉強になった」が36.0%と最も高く、次いで「信頼がおけて安心できた」が35.1%、「決まりだから受けた」が22.0%であった。

(複数回答)



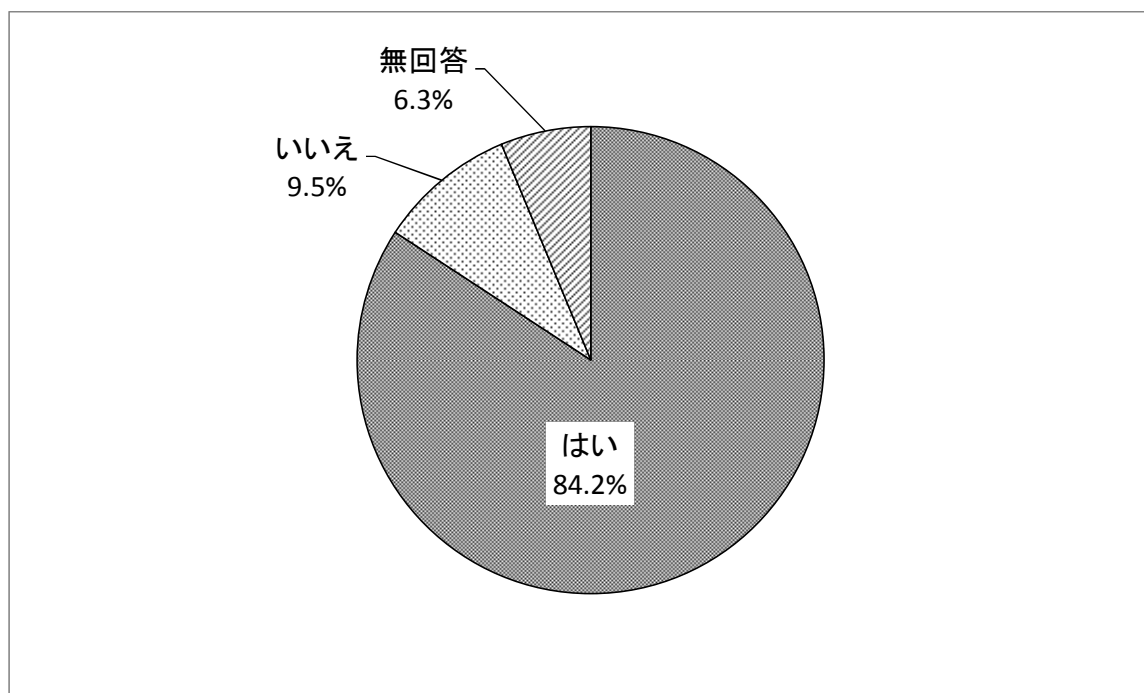
	回答数	回答割合
無回答	36	10.7%
信頼がおけて安心できた	118	35.1%
医師や保健師の話が勉強になった	121	36.0%
栄養士の話がためになった	53	15.8%
心理士の相談がためになった	9	2.7%
もっとゆっくりした時間が欲しかった	27	8.0%
個別の相談がしたかった	7	2.1%
決まりだから受けた	74	22.0%
知っていることばかり教えられた	8	2.4%
形式的だった	52	15.5%
友達が出来てよかった	2	0.6%
その他	16	4.8%

(その他の内容)

- もっと日数を増やして1回の人数を少数にして欲しい。長時間でないと普段出来てる事が発揮出来ず、結局いつもの様子を見せる事が出来ず『ダメ』の判断をされる
- 子どもが成長していることや変わったことが無く安心した
- 子どもの状態を把握出来なかった
- 歯の話はためになった
- 集団の話が長い。もう少し要点をまとめて短めにしてほしい。子どもがいたら長時間じっとしておくのは難しい
- 仕事を持っており、土日だとゆとりが持てて、もっと質問など出来そうだと感じた
- 仕事の都合がつけにくい
- 身体の状態・状況を知る為、社会問題状、家庭状況をみたり、母と子の心のバランスをこの機会で見抜いてくれようとする姿勢は、素晴らしい事でもある。でも、全く悩んでもない私は、「心理士に相談して帰りなさい」と言われても、「逆に不安になる」という状況でした
- フッ素添付の事を知れたのは良かった
- 対応が失礼な方がいた。相談に行ってるのに落ち込んで帰ってきたりした
- 待つ時間が長く、子どもがぐずってしまった
- 我が子の成長を知る事が出来た
- 土日開催を望む。働く母親への配慮がほしい
- 人が多く、ゆっくりとした話などはできないし、子どももバタバタする
- 子どもの理解をしてくれない
- 身長、体重以外は空欄だったため、自分で記入した

問43 お子さんの食事や間食（おやつ）の時間はだいたい決まっていますか。

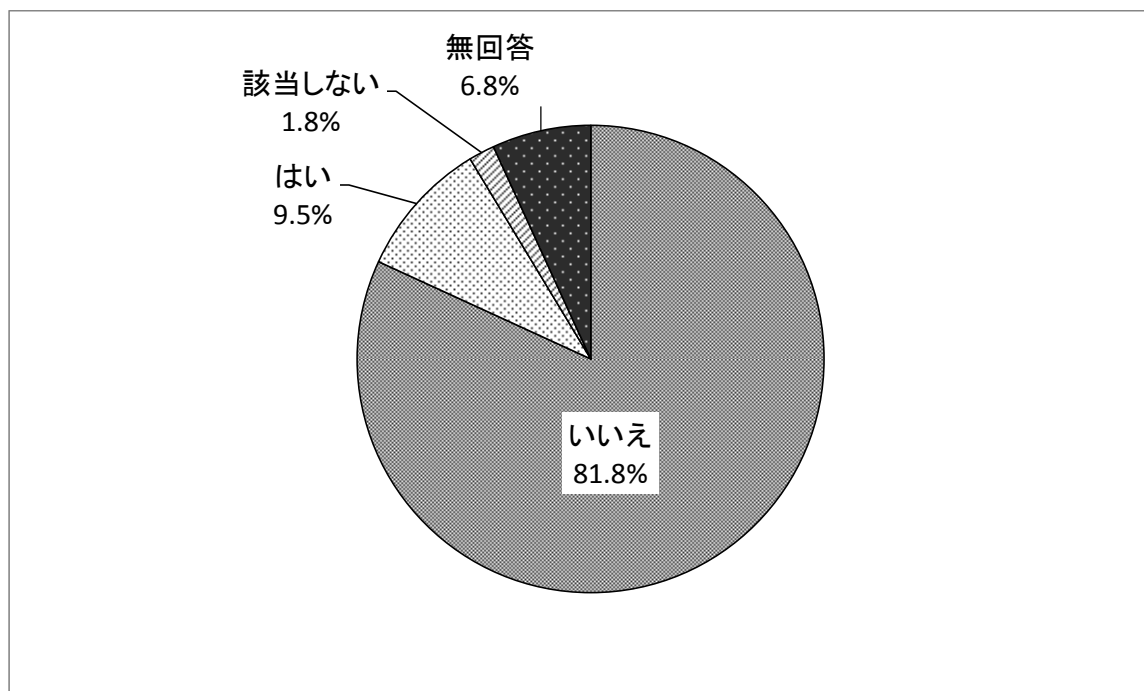
お子さんの食事や間食（おやつ）の時間はだいたい決まっているかについては、「はい」が84.2%と高く、次いで「いいえ」が9.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	21	6.3%
はい	283	84.2%
いいえ	32	9.5%
	336	100.0%

問44 子どもを家に一人で残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

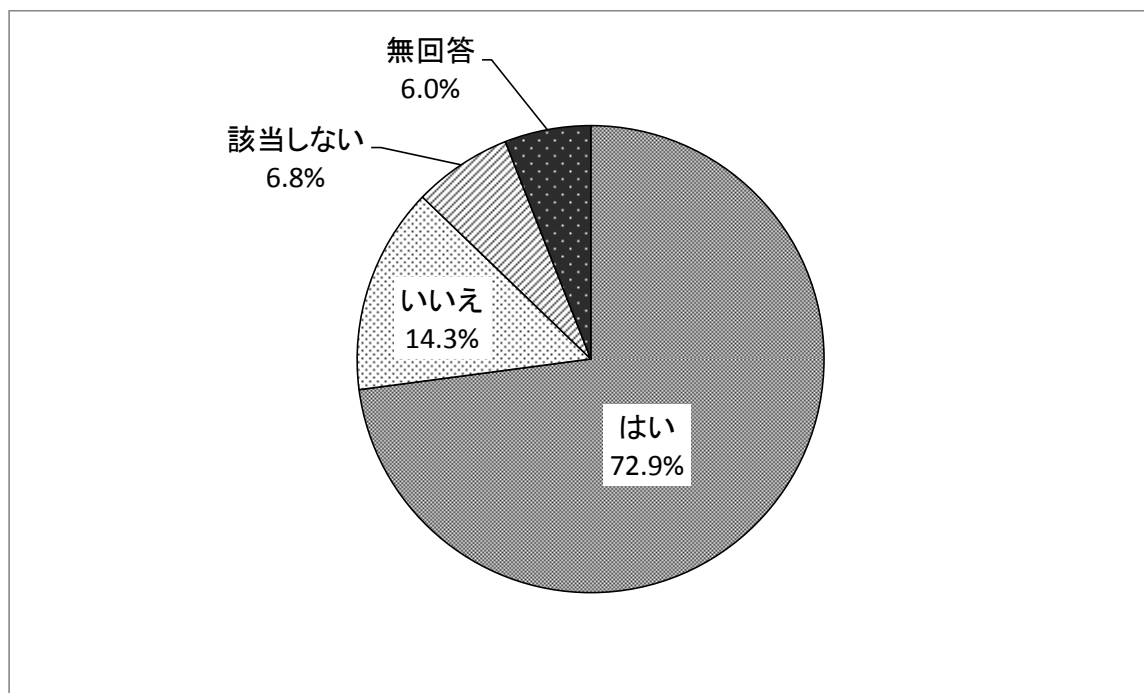
子供を家に一人で残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがあるかについては、「いいえ」が81.8%と高く、次いで「はい」が9.5%であった。



	回答数	回答割合
無回答	23	6.8%
はい	32	9.5%
いいえ	275	81.8%
該当しない	6	1.8%
	336	100.0%

問44-1 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。

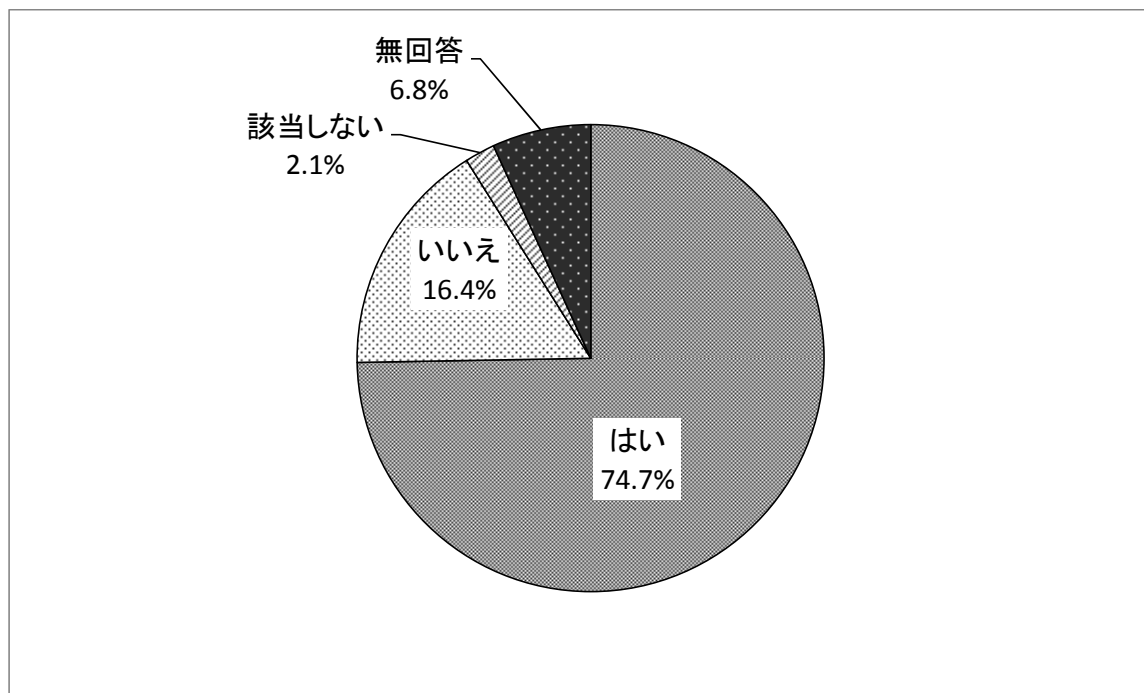
自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せているかについては、「はい」が72.9%と高く、次いで「いいえ」が14.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	20	6.0%
はい	245	72.9%
いいえ	48	14.3%
該当しない	23	6.8%
	336	100.0%

問44-2 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。

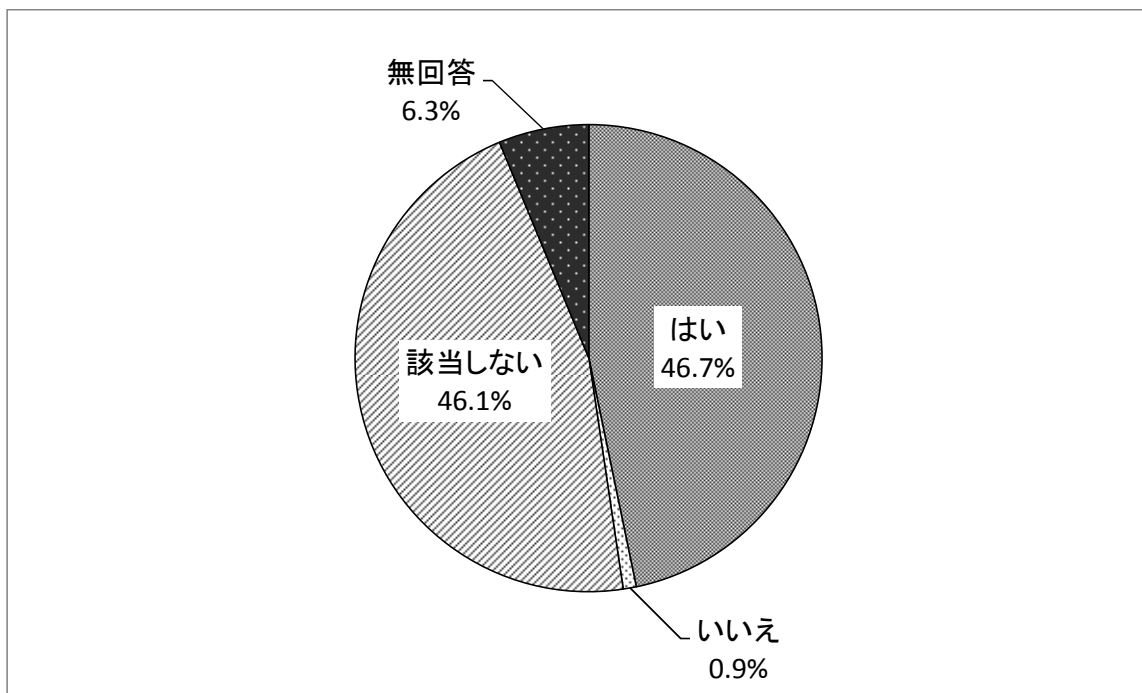
浴槽に水をためたままにしないように注意しているかについては、「はい」が74.7%と高く、次いで「いいえ」が16.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	23	6.8%
はい	251	74.7%
いいえ	55	16.4%
該当しない	7	2.1%
	336	100.0%

問44-3 タバコや灰皿は、いつも子どもの手の届かないところに置いていますか。

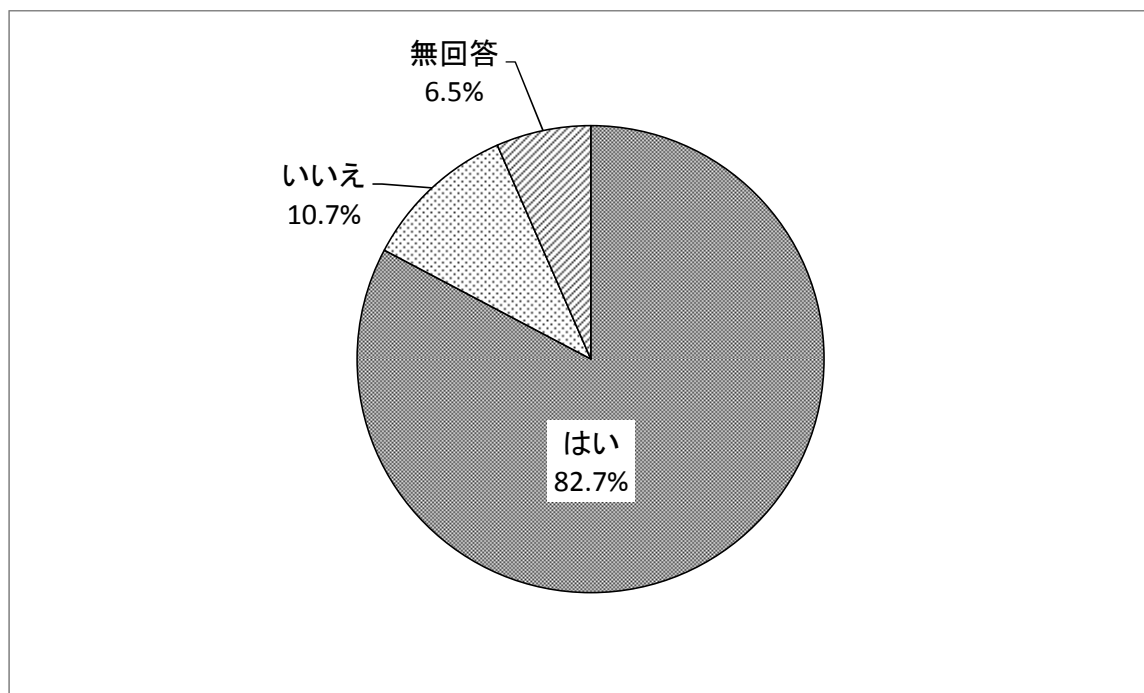
タバコや灰皿は、いつも子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が46.7%と高く、次いで「いいえ」が0.9%であった。



	回答数	回答割合
無回答	21	6.3%
はい	157	46.7%
いいえ	3	0.9%
該当しない	155	46.1%
	336	100.0%

問44-4 ピーナッツやあめ玉などは、子どもの手の届かないところに置いていますか。

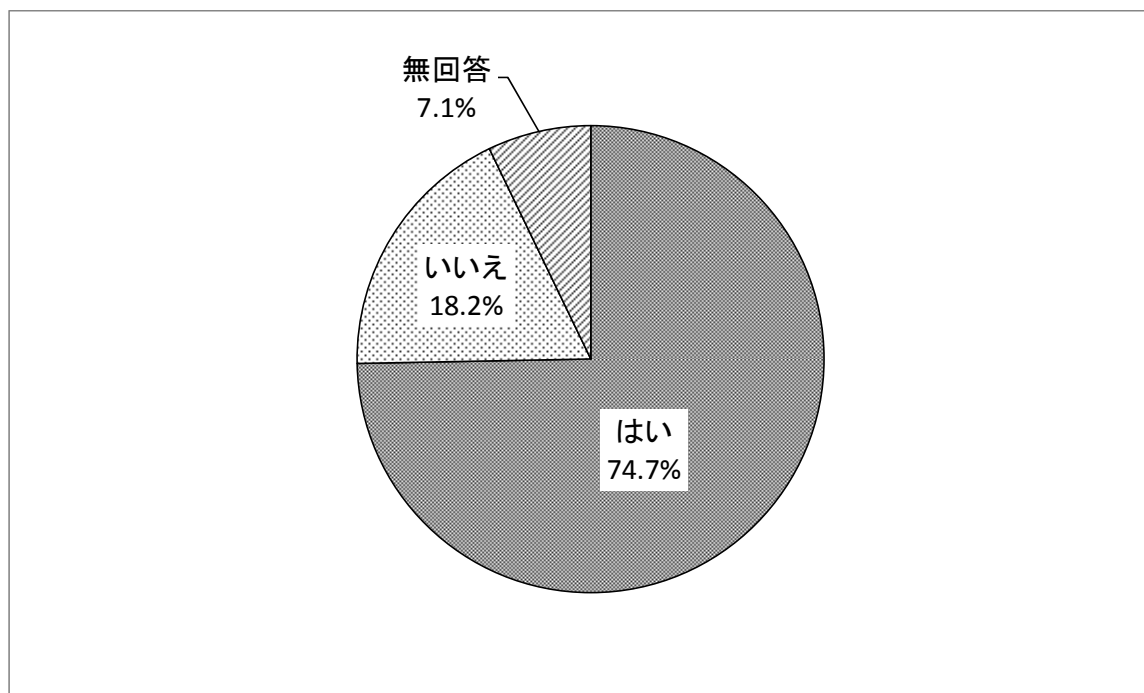
ピーナッツやあめ玉などは、子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が82.7%と高く、次いで「いいえ」が10.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	22	6.5%
はい	278	82.7%
いいえ	36	10.7%
	336	100.0%

問44-5 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

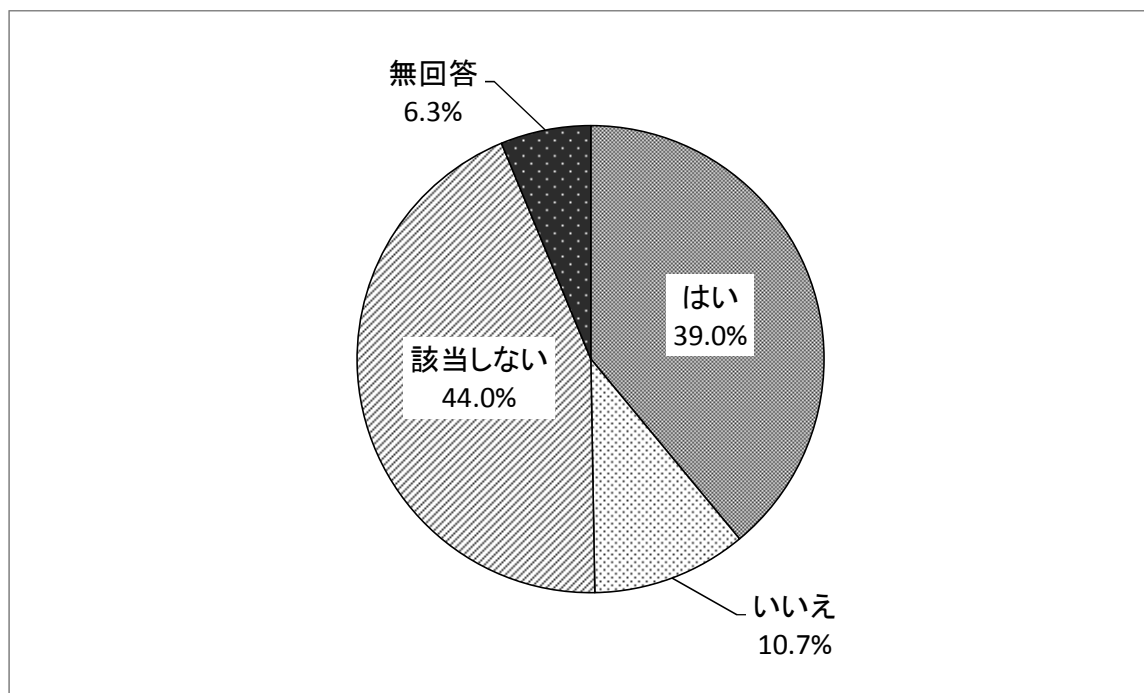
医薬品、化粧品、洗剤などは子供の手の届かないところに置いているかについては、「はい」が74.7%と高く、次いで「いいえ」が18.2%であった。



	回答数	回答割合
無回答	24	7.1%
はい	251	74.7%
いいえ	61	18.2%
	336	100.0%

問44-6 ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。

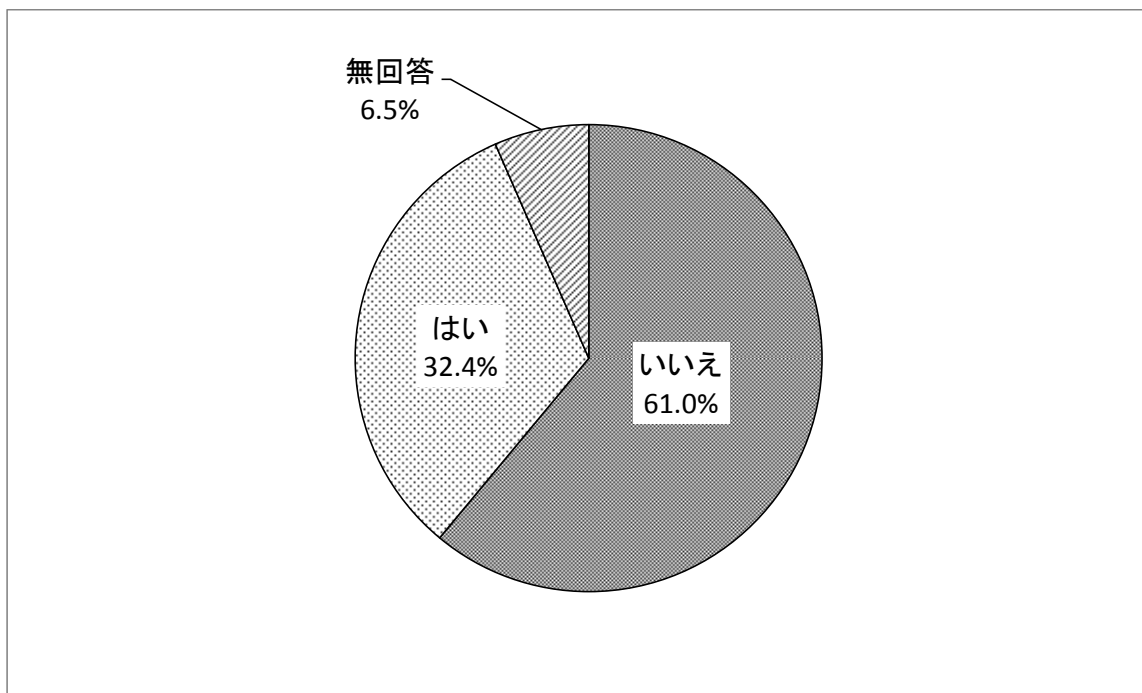
ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子供が直接触れないようにしているかについては、「はい」が39.0%と高く、次いで「いいえ」が10.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	21	6.3%
はい	131	39.0%
いいえ	36	10.7%
該当しない	148	44.0%
	336	100.0%

問44-7 お箸や歯ブラシなどを、くわえて走り回ることがありますか。

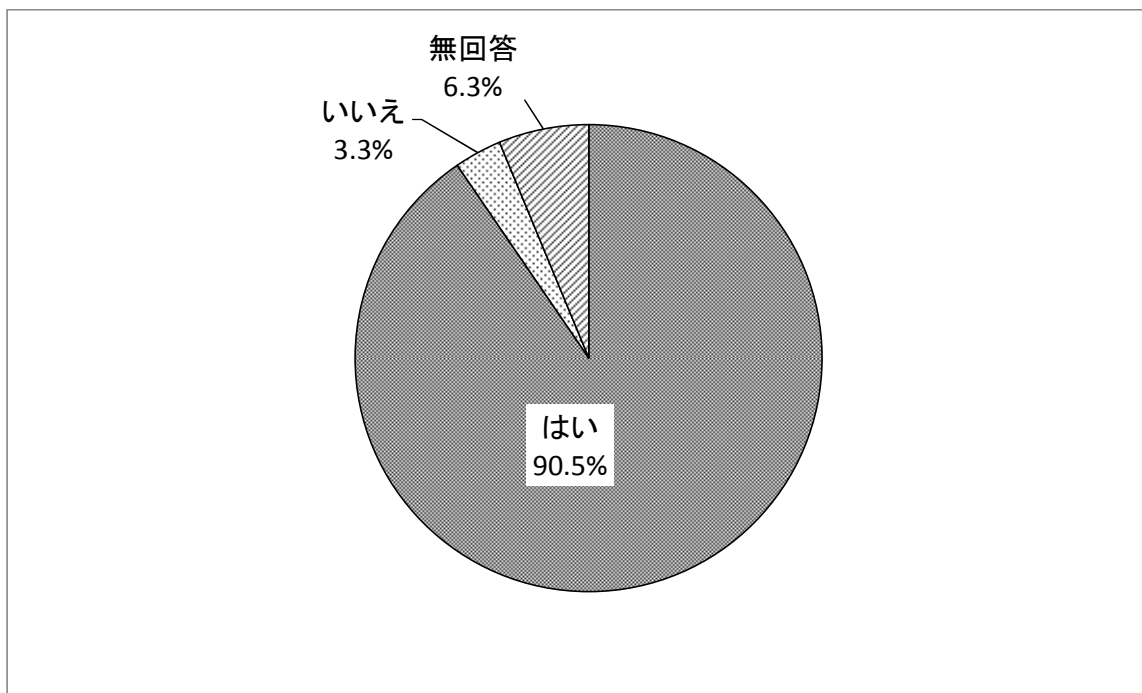
お箸や歯ブラシなどを、くわえて走り回ることがあるかについては、「いいえ」が61.0%と高く、次いで「はい」が32.4%であった。



	回答数	回答割合
無回答	22	6.5%
はい	109	32.4%
いいえ	205	61.0%
	336	100.0%

問44-8 すべり台やブランコの安全な乗り方を教えていますか。

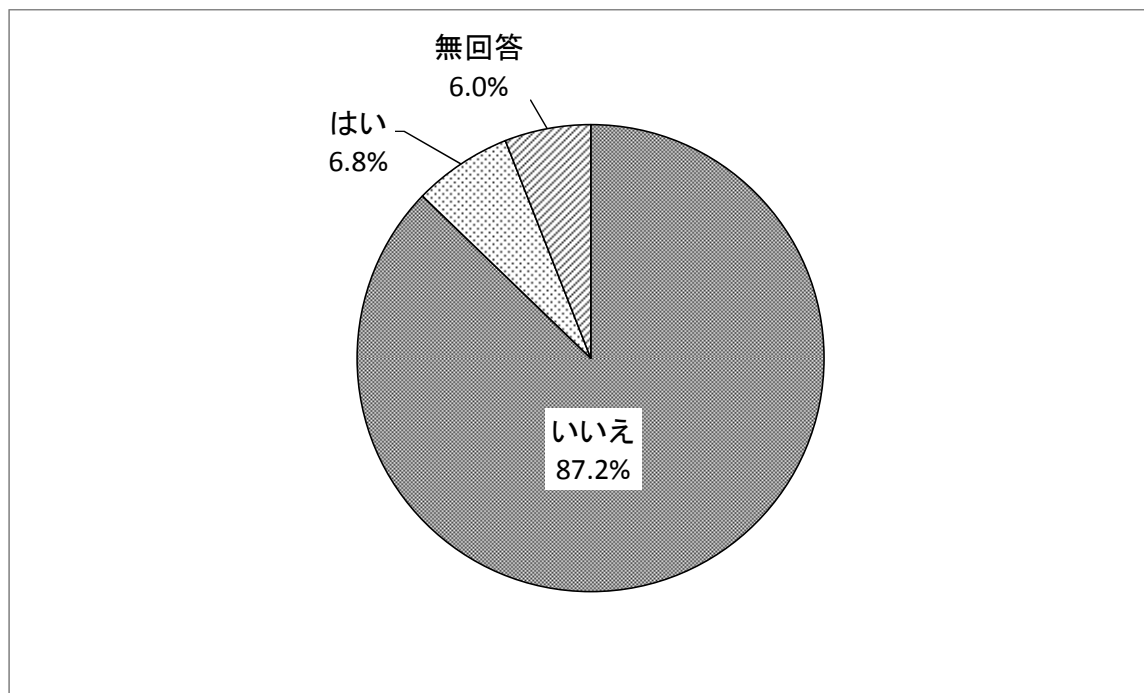
すべり台やブランコの安全な乗り方を教えているかについては、「はい」が90.5%と高く、次いで「いいえ」が3.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	21	6.3%
はい	304	90.5%
いいえ	11	3.3%
	336	100.0%

問44-9 ベランダや窓の側に、踏み台になるものがありますか。

ベランダや窓の側に、踏み台になるものがあるかについては、「いいえ」が87.2%と高く、次いで「はい」が6.8%であった。

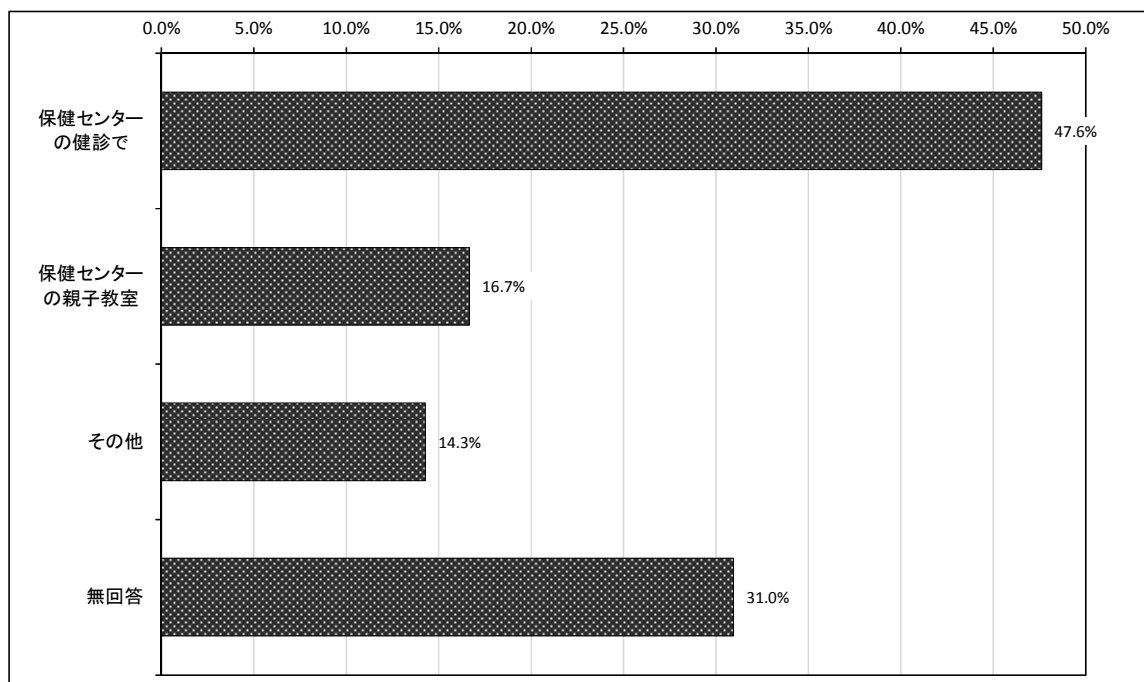


	回答数	回答割合
無回答	20	6.0%
はい	23	6.8%
いいえ	293	87.2%
	336	100.0%

問45 児童発達支援センター・事業所の利用のきっかけは何ですか。

児童発達支援センター・事業所の利用のきっかけについては、「保健センターの健診で」が47.6%と最も高く、次いで「保健センターの親子教室」が16.7%であった。

(複数回答)



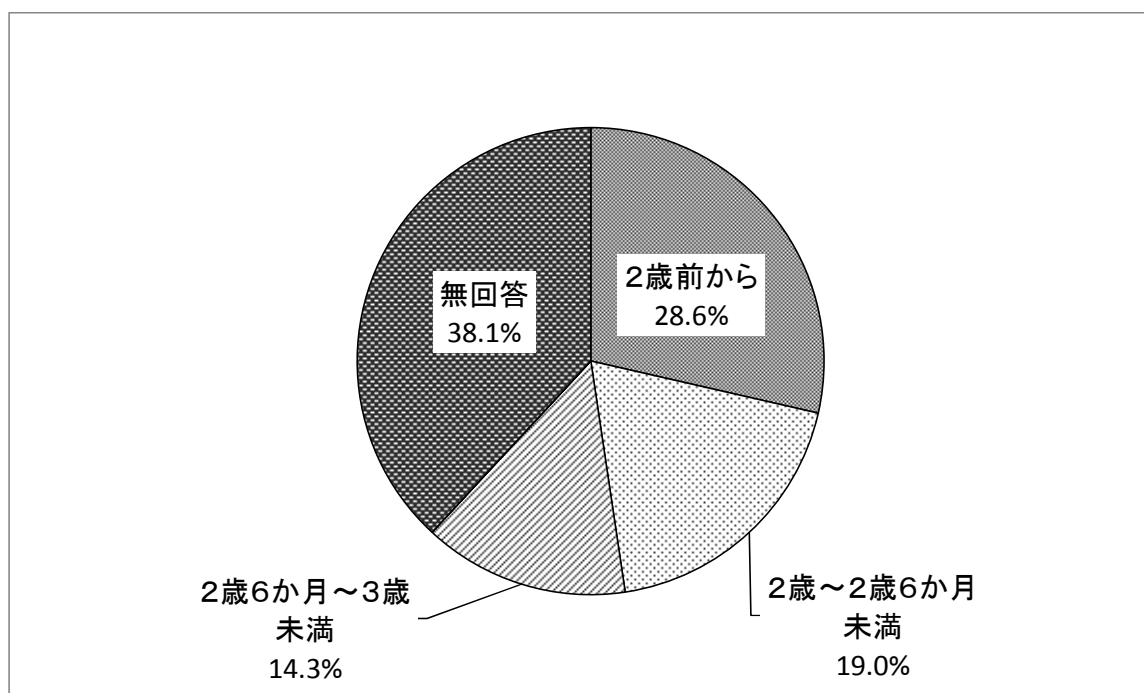
	回答数	回答割合
無回答	13	31.0%
保健センターの健診で	20	47.6%
保健センターの親子教室	7	16.7%
保育園からの勧め	0	0.0%
その他	6	14.3%

(その他の内容)

- 妹の子どもが利用している所
- 友人の薦め
- 療育センターからの薦め

問46 児童発達支援センター・事業所をいつから利用していますか。

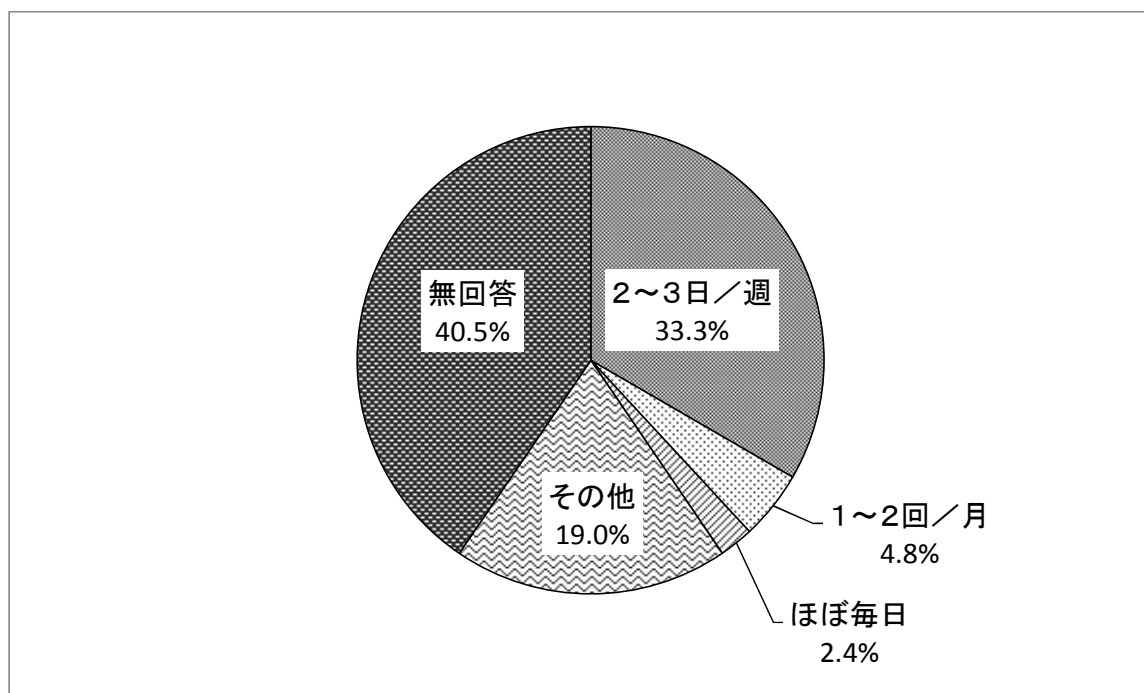
児童発達支援センター・事務所をいつから利用しているかについては、「2歳前から」が28.6%と最も高く、次いで「2歳～2歳6カ月未満」が19.0%、「2歳6カ月～3歳未満」が14.3%であった。



	回答数	回答割合
無回答	16	38.1%
2歳前から	12	28.6%
2歳～2歳6か月未満	8	19.0%
2歳6か月～3歳未満	6	14.3%
3歳～3歳6か月未満	0	0.0%
3歳6か月～4歳未満	0	0.0%
	42	100.0%

問47 児童発達支援センター・事業所の利用の頻度はどれくらいですか。

児童発達支援センター・事務所の利用の頻度については、「2～3日/週」が33.3%と最も高く、次いで「1～2回/月」が4.8%、「ほぼ毎日」が2.4%であった。

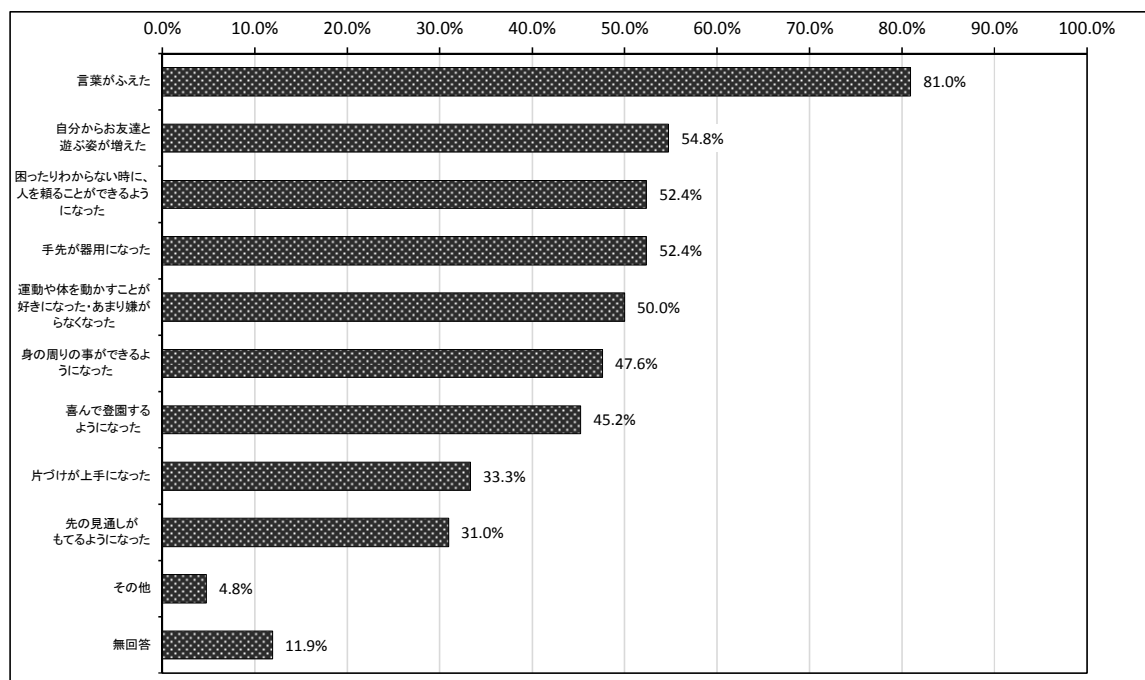


	回答数	回答割合
無回答	17	40.5%
ほぼ毎日	1	2.4%
2～3日/週	14	33.3%
1回/週	0	0.0%
1～2回/月	2	4.8%
その他	8	19.0%
	42	100.0%

問48 児童発達支援センター・事業所を利用して、子ども自身の成長・変容をどんな点で感じますか。

児童発達支援センター・事業所を利用して、子ども自身の成長・変容をどんな点で感じるかについては、「言葉がふえた」が81.0%と最も高く、次いで「自分からお友達と遊ぶ姿が増えた」が54.8%、「困ったりわからない時に、人を頼ることができるようになった」が52.4%であった。

(複数回答)



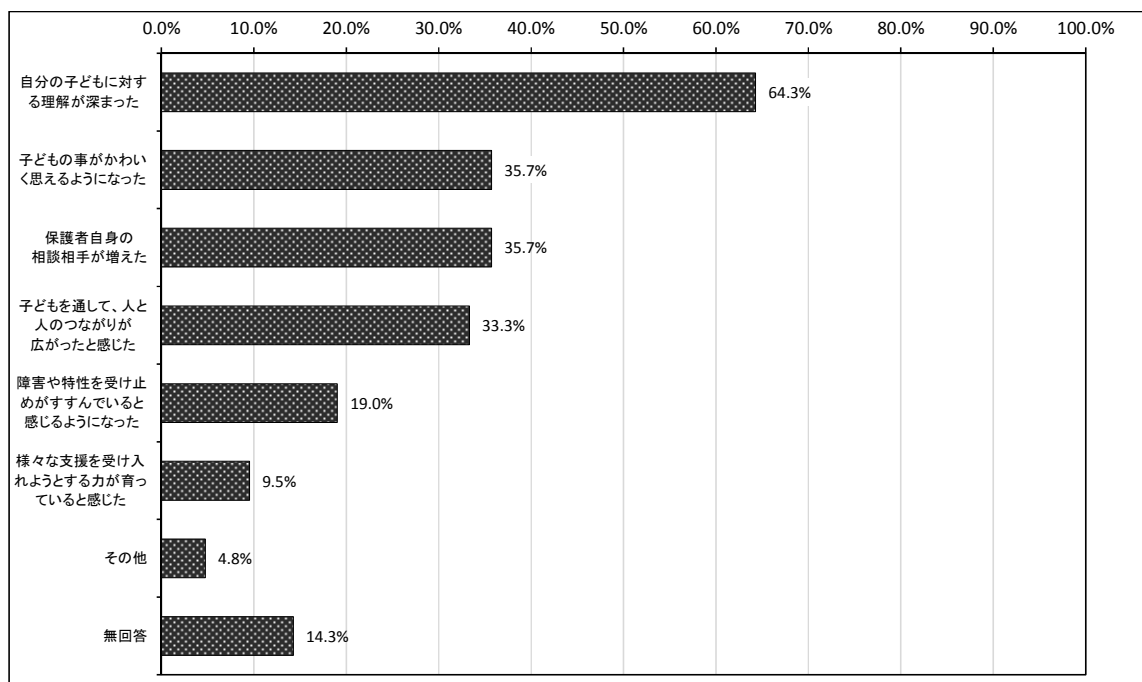
	回答数	回答割合
無回答	5	11.9%
言葉がふえた	34	81.0%
先の見通しがもてるようになった	13	31.0%
喜んで登園するようになった	19	45.2%
自分からお友達と遊ぶ姿が増えた	23	54.8%
困ったりわからない時に、人を頼ることができるようになった	22	52.4%
身の周りの事ができるようになった	20	47.6%
手先が器用になった	22	52.4%
片づけが上手になった	14	33.3%
運動や体を動かすことが好きになった・あまり嫌がらなくなった	21	50.0%
その他	2	4.8%
特に感じない	0	0.0%

(その他の内容)

- 気持ちの切り替えができるようになった。癩癩が減った。指示を守ることができるようになった。

問48-1 児童発達支援センター・事業所を利用して、保護者自身の変化・変容について感じるがありましたか。

児童発達支援センター・事業所を利用して、子ども自身の成長・変容をどんな点で感じるかについては、「自分の子どもに対する理解が深まった」が64.3%と最も高く、次いで「子供の事がかわいく思えるようになった」が35.7%、「保護者自身の相談相手が増えた」が35.7%であった。



	回答数	回答割合
無回答	6	14.3%
子どもの事がかわいく思えるようになった	15	35.7%
自分の子どもに対する理解が深まった	27	64.3%
障害や特性を受け止めがすすんでいると感じるようになった	8	19.0%
子どもを通して、人と人のつながりが広がったと感じた	14	33.3%
保護者自身の相談相手が増えた	15	35.7%
様々な支援を受け入れようとする力が育っていると感じた	4	9.5%
その他	2	4.8%
特に何も感じなかった	0	0.0%

(その他の内容)

- 子どもは可愛いのですが、言葉が発達し文句も言うのでカチンときたり、イラっとすることも増えた

第5編
自由意見

自由意見（高校生）

- ・学校で性感染症の検査をするようにしたらいいと思う
- ・現代の社会において「性」の若年性が問題になっている以上、これからの性教育においては「性行為しない」ではなく、「正しい避妊法」などを実施した方が現実的だと思う。中途半端な性教育では性行為への意欲をかきたてるだけである
- ・性同一性障害や LGBT などに対する支援をして欲しい。難しいと思うけど、宜しくお願いします
- ・相談所ってありますか？
- ・私達も大人であると思うので、もっと詳しく知った方がいいと思う
- ・結婚を全ての人が有意義なものだと考えているが、その考えが分からない
- ・スキン（コンドーム）をもっと手軽に手に入れられるようにしてほしい
- ・自分からなにか言える勇気をもつのが一番大変だと思う。個々の心の強さは分かりにくいものだから素直に接していける場が必要ではないか
- ・マタニティマークを持っている人を見ると、優しくできるし気づけるので、とても良いと思います
- ・男女交際はしっかりとしたい
- ・悪い所は何もないと思う
- ・男女差別をもっと徹底的になくして欲しい
- ・将来、子供に関わる仕事に就こうと思っているので、思春期の事をしっかりと学習しておきたい。
- ・授業でする内容が生々しくて気分が悪くなる
- ・思春期から大人に変わる
- ・思春期は難しいものなので、しっかり教育していきましょう
- ・今年上がった税金の分のお金は、どこに還元されるんですか
- ・もっともっと命に関わること、大切さなど、心のケアや体の事を知れるような会や、講話を増やすべき
- ・思春期には、どうしても心の発達により、体に興味を持ち始めます。性的・性的接触の事も興味があるので性行為には気を付けたいです
- ・もっと相談の場を増やした方がいい
- ・性感染症などの病気には、非常に気を付けたいです
- ・思春期は、人間にとって大切なものである
- ・性教育を増加して欲しい
- ・女子の制服（スカート）がすごく嫌。スカートは穿きたくない
- ・もし妊娠できない身体になってしまったとして（または妊娠する確率が低い身体）、養子をいただける様な施設は鹿児島県にあるのでしょうか？代理出産は日本ではできず、外国でしかできないのでしょうか？費用なども少し気になります
- ・少子化対策のために援助をもっとするべき

(自由意見)

- ・責任を持って子供を育てられる親になりたい
- ・WEB（インターネット）では正しい情報のみを出来るだけのせて欲しい
- ・日本でも同性婚を認める様にして欲しい
- ・相談したくても気軽には行けないし、どこにあるのかよく分からないと思う
- ・男の人にもっと女の人の避妊についての知識が必要だと思う。自分の気分で避妊させないケースが多い様な気がします
- ・いまいち、体の仕組みを理解できていないので、どうなってるのか知らないけど、特に将来が不安です。（男、女どっちも分からない）
- ・教材に、どうしたら妊娠するか書いてない

自由意見（小学生・中学生・高校生保護者）

<不妊について>

- 不妊に悩む方が今すごく多く感じます。そういう方が安心して相談できる場がもっと増えていけばと思う。
- 子育て、高齢者の領域は法改訂でどんどん整備されていますが、子供の少子化を非難するだけではなく、不妊治療の保険適応などの社会保障を充実させる事が先決。不妊治療をされている方も多。人口受精など高額負担で、何度も挑戦できない。
- 自分自身が不妊で長い間治療しました。途中諦めたりくじけそうになり、最終的には自信を無くしてしまい、辞めてしまいました。

<金銭面・経済面について>

- 国や市などから補助金など。子育てに必要なお金の相談。
- 経済的なことも大切だと思う。子育てはお金がかかります。
- 子育てにはお金がかかる。児童手当など幼児に手厚くなっているが、中高生の方がお金はかかると思うので手当てを考えて欲しい。小中学校とは違い、高校を卒業させるのも大変。これじゃ子供を産む親も安心して子育て出来ないと思う。義務教育は中学生までだが、高校を卒業して大人になるのだから。
- 子育てをする事は、子供の事に対しての悩みもあるが、収入とかお金の面で大変だと思う。賃金が安いうえに、消費税アップ・・・子供を育てるにはお金が大事。仕事（パート）の紹介、保育園を増やす事は大事。
- 金銭面の相談。現在はお金がないと子作りできない。
- 子育てに1人3000万円掛かるとか、お金の心配ばかりの報道があると不安になると思う。ビッグダディみたいに後先考えずにどんどん産んでも無責任だけど、3人くらいはお金なくても大丈夫みたいな安心感が欲しいです。
- 子供を出産から育児、子育てまでをサポートして頂ける窓口（児童手当や母子手当以外でのサポート支援）を強化して欲しい。（例えば児童手当を高校まで引き上げや大学進学をサポートまで）0才～3才までの児童手当は減額でもOKでは!?一番お金がかかるのは高校からだから。
- 子供を育てて実際大変だったのは保育料の高さと、子供にかかる色々なお金です。今は妊婦検診も無料になり、以前より良くなっていると思いますが、乳幼児だけではなく小学生、中学生もお金がかかります。中学生までは無料とか給食費は無料とかお金がかかると、子供も「3人人生みたいけど2人で」と考えると思います。子供が鹿児島市は子育てに良い所と思える様な市にして下さい。
- 経済の問題で子供を産まない方々もたくさんいます。子育て支援は体制だけでなく、しっかりとした保障も必要だと思います。充実したら必ず増えると思う！！
- 教育に関わる経済問題について

(自由意見)

- 経済的支援と共に、病気等で困った時にすぐに手を差し伸べてくれる機関あるいは、地域の方の支えが充実すれば安心できると思います。
- 経済的に子供を望めない事もあります。本当はたくさん欲しい。金銭関係は相談しにくいので、行政も待つ身ではなくて行政から話せるように、相談の券を発行してほしい。
- 経済的に厳しい生活環境の中での、母子家庭が多いと思います。また、父子家庭でもリストラなどで生活が苦しい人達も多いのが現状です。
- 子育てしていく上での経済的な余裕。
- 経済的な事。
- 金銭関係や教育資金（制度等）についての相談。
- 父子・母子に限らず、子供の将来の為に我慢させなくてもいいように、金銭的に幅を持たせて欲しい。
- 出産時、産後の補助（金銭的な）、安心して育てていける環境、学費の無償化など。
- 育児に関する事や、金銭面。特に金銭的な事は、学年があがるにつれ必要。助成金等。
- 相談体制より、教育資金がかかりすぎ。子供は「1人で十分」と2人目を諦める同年代が多かったと思います。
- 母子家庭で、所得制限ギリギリで母子手当を全く貰えない。1人の給料で子供2人育てるのは、本当にギリギリです。給食費だけでも免除して頂けると本当に助かります。
- 一番気になる事は、まず出産費用であって子供の成長によってかかる教育費の心配がありました。
- 現在母子家庭ですが、収入に余裕がなく塾に入れたくても入れられない現状があるので、補助的な制度があれば良いと思う。他県ではあるがニュースとかで、無料で受け入れている塾とかもあるというのを見た事がある。無料でなくても行政と塾がタッグを組んで頂けるようになれば良いと思う。

<相談について>

- 子育ての相談がもっと身近で出来るような体制。
- 教育委員会は教育者の味方。親や子供の立場での相談をする場が欲しい。いつも泣き寝入りで、大事になるので我慢する。
- 定職に就けない若者の相談。今の子は長く仕事が続かないし、すぐ辞める、すぐ休むいつまでも親は保護者なのか？
- 相談体制があるものでも、PR不足、もしくは足を向けにくい環境にあると思います。
- それぞれ専門の相談室があれば行きやすい。
- 育児に対する悩み等を、聞いてくれる体制があれば良いし、それだけで安心する事もある。聞いてくれるだけでいいと思う、逆にアドバイスを受けて、更に悩む場合もあるので。

- 子育てには、その年代（子供）ごとに色々な楽しみとともに、心配な事もあるなと感じています。子供が小さいうちは健診などがありますが、大きくなるとなかなかそういった機会も無く、学校の支援ボランティアの方に相談するは、気が引けてしまいます。気軽に相談できる場があればいいなと思いました。
- どの親も子を持って初めて親になる為、自分の親が一番の相談相手だが、親の居ない親も居るので、子育てについて経験のある先輩（スペシャリスト）が相談にのってくれるといい。
- 少々のストレスは、「親がはねのけなければ子供に気持ちは伝わるものだ」と思っています。最近、「相談相談」と大人が神経質になっているような気がする。もっと人との繋がりを大切にしていける事が、大切なような気がする。
- 誰もが悩む子育てや仕事、家庭の悩みを相談できるような体制が必要。特別な事ばかりに目を向けず普通の家庭でも相談できる場所が欲しい。
- 子供にとって必要な情報はそれぞれ違うので、どんなところに相談すればいいのかわかるような体制があれば良いと思う。
- 市役所の相談係とかありますが、もっと気軽に足を運べるような機関があったら良いのではと思います。
- 新生児の育て方の相談など
- （子連れでも）気軽に行けるカフェのような相談施設があったらいいなと思います。
- 子育て中の親や、若い人達のストレスを軽減する場。相談体制ではなく、気軽に色々な悩みを打ち明けられる場の提供。相談員と言われる人には相談したくない。
- それぞれ多かれ少なかれ悩んでいる事はあると思います。また、内容も様々だと思います。それぞれの悩みに対して、無料の相談体制があったら助かると思います。経験者に話を聞いてもらう等するといいいのでは。
- 親自身が虐待を受けていた人の、相談体制があると良いと思います。自分自身、子育てが出来たのか、不安でした。
- 様々な状況に対応できるような体制が必要だと思う。誰かに相談したり話すだけでも、気持ちが軽くなったり、解決方法が見出せる可能性が広がっていくから。
- 子供が病気や怪我の時に、どのような病院に行くといいのか相談できる体制が必要。
- 相談だけでなく、保育の手助け・児童の預かり（年齢制限なし）等、身近に頼れる人がいない人のサポートも必要だと思う。
- 相談体制ではなかなか解決に至らない。支援・補助として現実的に働いてもらいたい。
- 子育て中の、精神状態が不安定な母親の相談体制が必要。
- 母親も働く場合に、安心して子供を預けられる体制作り（病気の場合も）が必要。昔の御近所さんのような、気軽に相談できる社会体制等。
- 相談体制だけでは難しいと思います。子育てしやすい職場環境、子供が増えればその分、得をする制度（フランス？のような）等があったら良いのでは。
- 母親（父親）の精神的ケアや健康面の相談など、病院で受ける診察ではなく相談に気軽に行ける窓口などがあると良い。

(自由意見)

- 1人で悩まないで気軽に話せるような、相談体制にして欲しいです。
- 子育ての知恵、おばあちゃんの知恵袋のような相談体制があると良い。
- いろいろな悩みがあると思うので、なんでも相談という形が良いかと思う。
- 相談窓口が、その時になって調べないと全然分からないのはどうかと思う。もっと分かりやすく、いつでも相談に行けるような雰囲気があると良いと思う。
- 専門的な感じや大きな問題という感じではなくて、気軽に相談できる窓口が欲しい。友人や親が近くに居なくて、子育てしている人は沢山いると思うので。
- 相談体制がある事をもっと分かりやすくして欲しい。相談したくてもどこに行けば良いのか、知っている人と知らない人の差がある。
- 子育ての悩みを相談できる体制、同じ子育て中の人がおしゃべりできる機会や、気軽に参加できるサークル活動があれば良い。
- 小さな事でも相談できる相談体制。「結婚や子育てっていいなあ」と思えるような世の中であればいいけど、子育て中の親や独身の人にとっては、子育てを負担に思っている人が多いのではないかと感じます。
- 乳幼児の子育て中に、私自身の友人関係や親類関係で悩んでいる時、ある市役所の生活相談の電話相談で沢山話を聞いて頂き、救われました。親自身が健康な心を持たないと、子育てもうまく出来ないと思います。親の身の回りの悩みなど、相談できる窓口をもっと広く設けて頂き、伝えて頂けたらきっと良い方向にいくと思います。
- 職場での育児対応や制度の相談(育休など)、妊娠中であっても気軽に今の生活や仕事等の不安や悩みを、相談出来る所があれば良い。
- かしこまって相談をするという感じではなく、身内に話しをするような、ささいな話しから気軽に出来て、信頼できる存在が必要だと思います。(そこから心を開いて、話をしていけるのだと思います)電話はかけにくく、勇気も必要なので、子育て施設等の充実を期待します。
- 教育に正解がないように、相談して受けるアドバイスも色々あって良いと思う。1人の相談者じゃなくて、数人の意見が聞ける形が欲しいです。学校との連携は非常に良いと思うので、すすめて欲しいです。
- 子供がいても、子守りや預け先が無いときも働きやすい所や、家計の相談が出来る体制があると助かります。
- 相談する一歩が難しい場合が多いので、広く相談を受け入れてくれる窓口があれば良い。
- 全ての相談を受けられる体制が整ってこそ、安心出来ると思う。
- 専門的に細分化され、相談がたらいまわしにされない様、まとめて相談出来る体制が必要だと思います。
- 既に様々な相談体制はある様ですが、相談するだけでなく、具体的な対処法が見つかる社会になってほしい。
- 学校と家庭の問題(学校や教師に相談できない事)等を相談できる体制が必要。そのような問題をアンケート等で把握してほしいです。

- 妊娠中は大丈夫だと思いますが、出産した後がとても大変だと思います。特に第一子だと、親も子も何も分からないので悩む事だらけだと思います。常に相談できる体制を、もっと充実した方が良いと思います。
- 悩む内容など人それぞれなので、枠として区切るのではなく、1人1人の悩みに話を聞いてあげるだけでも心強い。気軽に（気兼ねなどせず）相談できる環境を作ってほしい。当人だけでなく、このような悩みを持つての方がいるという事、障害などの知識等、日本中の人を知るべき！
- 進学や進路について必要な費用の相談体制。
- 現在の社会の状況の中では、様々な相談体制を整えても、安心して子供を産み育てることは難しいと思います。
- 親も子も気軽に相談できる所があると良い。
- 相談体制よりも先に、地域（自分の生活する）での環境を整える事が大切だと思います。身近な人に相談できるような、人間関係を作れる様になれば良いと思います。
- 子育て中の不安に関する相談体制があると良い。
- 母親のストレス悩み相談。
- まだ母親になったばかりの頃、保健所やその他の機関で相談を数回受けました。私は「大丈夫よ、お母さん」と言って欲しかったのだと思います。しかし、相談員から「それは酷い！お母さん」と言われ、大変落ち込みました。命の電話でも「別の所へ電話したら」と言われ辛かったです。「大丈夫よ」の一言で母親は救われます。
- たいした事じゃなくても、本人にしてみれば重要な悩み（人には話せないような事も）だったりする時もあります。小さな事でも気軽に相談してみよう・・・と思える場所があればいいなと思う。
- 産婦人科、小児科での診察以外での相談窓口があれば良い。中学までは小児科です。高校生も内科の病院なら相談に行けると思う。
- 悩みや相談事があった際、どこに行けば良いか教えてくれる窓口があれば良い。自分が相談したい内容が、どこに行けば良いか分からない。全ての窓口で良いので一ヶ所にして教えて欲しい。
- 共働き家庭の学童保育等、放課後の過ごし方の相談。
- 近所に知人や親類、友人など育児の相談や雑談をしたり、見守ってくれる人がいない場合、公共の子育て教室にお世話になったが、参加する機会が少なかった。大切な用事がある時、一時的に預かってくれる場所、人が欲しい。
- 悩んだり迷ったりした時や誰にも話せない事がある時等、気軽に相談できる所があると良い。聞いてもらえるだけでも楽になれると思う。
- どのような問題に直面しても、その人が孤立することの無いような、オールマイティな相談体制があると良いと思う。
- どのような立場になるかで相談したいことも様々なので、あらゆる体制を整えておいて欲しいと思う。

(自由意見)

- 様々な相談体制を整える事も大切であるが、育児放棄等や事件等で、幼い命が失われないように見守っていく事や、そうならない様に若い親を育てていく体制も、必要だと思う。
- 子供達が高校生や中学生の時に、行政の窓口や相談機関を紹介したり、自分を大切に、相手も大切にすることの理解をもっと深めて欲しいと思う。なぜ知識を学ぶのか、命を大切にすることをもっと知って欲しい。
- それぞれの相談体制があると助かると思います。
- 子育てする時の相談体制、配偶者又は配偶者の両親への対応、今の子育て心理状態での相談体制等。
- 子供がいても、仕事をしていけるかどうかの相談体制が欲しい。
- 相談体制を整えるより、若い人達が産みたいけど諦めてる社会を変えて欲しい。女性の出産後の復帰であったり、待機児童（保育園）ゼロの達成であったり先だと思えます。
- 相談体制も必要ですが、若い人達が子供をちゃんと躡られるような環境が必要。マタニティ教室の時に指導教育（親としての責任等を教える事）が必要だと思います。
- 一人で悩まないように、何でも相談できるような気軽な相談体制があれば良い。
- 身近に相談できる相手がない場合、行政がそういう場を設けて、気軽に相談できる体制を整えておく事が望ましいと思う。
- 健常児と障害児の線引きが分からないまま、とにかく必死でやってきて、高校になると、家庭での対応だけでは学力等どうにもならないと感じています。高校を卒業後、どうすればいいのかとても不安ですが、相談する場所がありません。心療内科にも行きましたが、極端すぎて相談できませんでした。
- 相談に関する枠組みを作らずに、何でも相談できる機関があるのが理想。大学進学を控えているので、教育費に頭を悩ましています。
- 相談の内容もですが、市や県等の機関に相談すると名前や住所を聞かれたりして、重々しくて足が遠のきます。産婦人科や小児科等で、もう少し気軽に相談できると嬉しい。
- 気軽に相談できる（相談に行ける）学校があると良い。教師は問題に介入しようとしなない。教師は狭い世界しか知らなすぎる。そんなに偉いのか。教師にはもっと民間企業での研修をさせるべき。学校のスクールカウンセラーは、学校に居るので相談できない。学校はまず教師を守り、子供はいつも後回しである。
- 「愛情を持って子育てをすること」が分からない親の、相談をしてほしい。
- 気軽に（どんなことでも）相談できる体制があると良い。
- 働く母親が増えているので、保育園やその他のバックアップ体制についての相談が、できる所があると良い。
- 誰でも気軽に相談に行ける場所を、皆が分かる様に宣伝し、知る事が出来るようにしたら良いと思う。

- 親が子供の頃育ってきた環境や子供を産んで育てる環境等、悩む事や考え方も人それぞれで違うので、相談内容も個々で変わってくると思います。そう考えると、全てに対応可能な相談体制を整えていく必要があると思う。
- 子育て中に気軽に相談できる体制がほしい。(特に第1子)
- 1ヶ所で何でも解決できるような相談体制が必要。
- どれも大切で、人それぞれニーズが違う。どんな人も気軽に相談できる窓口が絶対必要だと思う。親が追いつめられないよう、子供が健全に育つ様なバックアップが必要。
- 友達の子供に発達障害児がおり、その大変さをよく聞く。そして友達の旦那さんが子供に暴力を振るうので相談に乗ったりしている。
- 子供の学校行事(PTAや部活)などがあっても、休みを取りにくい職場が多いと思う。職場の理解が必要である。学校行事に参加する事で親同士の繋がり、学校(先生)との繋がりが出来て、相談する事ができる相手が見つかると思います。
- 母子・父子家庭の相談が必要。
- 産後の母親の精神的ケア・相談する所が必要。保育所や一時預かり的な場所などを増やしてほしい。
- 情報の多い今、相談される方は安心を必要としています。折角相談しても「ここではありません」と拒否されると余計不安になります。まずは話を聞く事からお願いします。1つの入り口で幅広く対応していく力、経験者や各専門の方の横の繋がりや、生の声や心のあり方等、アドバイスで前向きになれる様にしてほしい。
- いろいろな事に対して、相談できる様な体制になれば良いと思う。
- ふれあい活動(1~3歳児等)、絵本の読み聞かせや親子体操等を月1回やりながら、相談があれば相談を受けるとか、他で活動している所と連携して相談を受けるとすれば良いのでは。
- 全てにおいて相談体制は必要だとは思いますが、悩む前にサークルの様に集まって人と関わる事が必要だと思います。そのような人が、孤立しない為に集まる機会を作って欲しいです。
- 夫が転勤族だったので、子育て・出産・産後といろいろな場面で辛い事がありました。鹿児島に来て下の子を2人産み育てていますが、こちらでは産後の助産師さんの訪問がとても有難かったです。知り合いもおらず、相談事も抱え込んでいたので母乳マッサージという形で何度か家に来て頂き、いろいろな話を聞いてもらえて良かったです。母乳マッサージとは関係なく、産後の訪問の回数が増えるともっと安心して子育てができそうな気がします。(そのためには、同じ方に来てもらえた方が嬉しいですね)
- 上記の様々な相談体制も必要だとは思いますが、その様な相談をどこに行ったら確実に出来るという事を皆が分かる様にしてほしい。相談に行った場所で、たらい回しにされる事がない様にしてほしい。しっかりした窓口がほしいです。
- 相談することはとても勇気のいる事です。ふりしぼった勇気を絶望に変えるのも、道に光を当てるのも相談員次第なので、相談員の人間性が重要です。一度絶望すると二度と相談できません。

(自由意見)

- 地域で相談できる場所があれば、行きやすいと思います。
- 子育て支援センター等の相談体制を、沢山整えていくと良いと思う。年齢に応じた悩みの相談体制等。
- 行政が子供が生まれる前から成人するまでの間、継続して親子をサポートできる相談体制を整えてほしい。どんな窓口があるのか分かりやすくしてほしい。
- 子育て中の母親を、精神的にサポートしてくれる様な相談体制があると良い。
- 子育てに悩んだり、不安な時の専門家に相談できる機関や、同年代の方々の集まる集会などが必要だと思います。
- 公的機関に相談をすると、障害を持っていなくても障害児扱いされたりするので、あまり相談する事に対して、私自身は積極的になれません。

<いじめについて>

- 「いじめ」については、いろいろな考え方があり難しいと思う。例えば「いじめられるなら、誰でもよかったいじめ」、「少し変わってる子に対するいじめ」、「いじめられた本人の自作自演」、「本人が周りをいじめて仕返しされる」というパターンがあり、一言に「いじめ」として判断できないものもある。子供達も「自作自演のいじめ」や「いじめの仕返し」に対して、「またか一困った」と言っているので、「無差別ないじめ」や「特定の対象へのいじめ」の場合との分け方が難しい。いじめられた本人の親に厳しい言葉を言う場合もあって、とても難しい問題だと思います。
- いじめをする若い子は命の大切さ、重みが分かっていないのでは？それを理解して乗り越えないと、結婚や子育てにたどり着かないと思う。
- いろいろな悩みを誰でも持っていると思います。健康で何事もなく成長していくのが幸福な事ですが、何よりも虐待やいじめのない家庭、学校を願っています。
- 最近の学校は、親が関わり過ぎて母親同士に派閥がある。それが子供同士のいじめにつながっていると思う。

<妊娠・出産について>

- 妊娠、出産、育児と、どうしたら妊娠して子供が出来るか・・・ちゃんと分かって欲しい。
- 家庭の状況や、望まない妊娠など背景が見えにくく、悩みを抱えやすい。若い人達がしっかり知識をもてば、結婚、妊娠、出産、育児といった各段階での受け入れもスムーズになるのでは？職場体験のような乳幼児に触れる機会、また高齢者と関わる機会を、学校の方でも時間を使って体験させてほしい。
- 今の世代の子達は「性」に対して、もの凄く安易に考えていると思う。スポーツ感覚で、妊娠の事とかを重要に思っていない。なので性教育は早すぎても駄目、また遅すぎても駄目だと思う。時期の見極めが大事！
- 産後の様々なケアが大切。

- 自営業者ですが、妊婦さんの雇用について、雇う側としては難しい面があります。主婦や元保育士の立場から考えると、女性に厳しい社会だなと思います。雇用に関してもう少し補助（自営業者に）があれば良いのにと痛感します。
- 産んだら必ず育てる！という事。必然的にどんな恋愛をして、どんな形で出産し、どう育てていくのか・・・というプロセスを考えることが必要であると本人が感じるはず。知識をしっかりと学ばせる事が大切だと思う。
- 出産後の母親のケアをしてくれる所。私の出産後は、1ヶ月後くらいに保健婦さんが来て下さいましたが、それ以前にただ話しを聞いてくれるだけでも良いのになと思います。そんなケアもこれからは必要なのではないかと思う。
- 昔私達が出産した時と違って、いろいろな体制や整備等も整っていると思います。まず、子供を産みたいと思える大人になってほしいと思います。（子供が嫌いという人もいるので）

<障害について>

- 小学校で子供が何か言われたりすると、いじめられた子のお母さんから、いじめた子のお母さんにすぐ電話やメールが届き、悩んでいるという話はよく耳にします。また、発達障害の軽度の子供さんがクラスにいて、発達障害と聞いていると、意地悪されてもどう対応したらよいのか親子で悩んでしまいます。
- 子供の状況（喘息、発達障害、その他）等、細かな部分を先生に伝えるのが難しい。喘息で子供は苦しいと言うので体育を休む様に本人に言うと、頑張ってみなさいと言われることもある。発達障害のこだわりの部分（学習以外の事でも）を伝えるのが難しいという、保護者の悩みを聞く事もあります。
- 保健所での健診で健常児と比べられて、人目が気になる。健診のアンケート用紙も出来ないことだらけで、精神的に落ち込む。情報が行き届いていない。療育センターが機能していない。あれだけの設備が有効活用されていない。行く意味がない。お金を徴収するのもおかしい。人材の育成が不足していると感じる。

<仕事のことについて>

- 仕事に復帰しようと思っても、子育てをしていると職場に理解を求めるのが難しい。急な病気、行事など、両親や家族に頼れない場合は仕事につけない。
- 相談ではなく、職場の体制を整える事が大切だと思う。子供が病気した時や、学校行事（PTA）の時に休める体制であること。また、相談なんて甘い考えでは駄目。子供が小さい時に「休みを取るな」と上司からパワハラに合い、自分がインフルエンザの時でも休ませてもらえませんでした。相談体制ではなく、しっかりとした体制を整えるべきです。アンケートで終わらせないで下さい。
- 子育て中の女性の就業時間を短縮し、子供と関われる時間を作れるような政策が出来てほしいです。

(自由意見)

- 子育てと仕事を、両立出来るような職場環境が整えば良いのでは・・・どちらも両立させるためには、どうしても女性の負担が大きいです。
- 仕事、PTA、家庭の事、さらに子供のスポーツや習い事、多忙過ぎる環境によるストレス、現在の社会、家族の悩み等、子供の事をゆっくりと考えたくても、考えられないジレンマがあります。もっとPTAや愛護の活動を見直すべきです。
- 保育園の預かり時間が短い。日祝や夜もやってほしい。常に子供の迎えの時間に縛られており、仕事と両立できない。また、子供の事を理由に日祝当番を断るのは周りから文句を言われる。老人のデイケアでさえ日祝もやっているのだから、保育園も不可能ではないはず。
- 仕事と子育ての両立の中で、学校行事に積極的に取り組めるような、職場や行政からの支援、協力体制の確立が必要と感じています。
- 女性が社会に出ることを応援する世の中ですが、私はもっと子育ての大切さや親子の会話、コミュニケーションの大切さを大人が分かるべきだと思います。子育てより仕事を大切にしている様な感じがします。
- 子育て中の親に対しては、母親も仕事（共働き）をしている人が多く、できれば3才までは親が子育てを出来る体制にして欲しい。（3年の育児休暇等の仕事を辞めなくてもいい体制）
- 自分が子育て（幼児）をしていた頃は仕事をしていたので、保育園へ預けていましたが、その時の苦勞（子供が病気で仕事を休んだり、小学校低学年の長期休みの預け先の不足、児童クラブに入れない）が改善されると良いと思います。
- 働きたくても、働く事が出来ない人の為の子育てに関するサポートが欲しい。

<虐待について>

- お腹を痛めて生んだ子を虐待するなど信じられないが、何かしら原因があると思う。

<情報について>

- 公共機関ではなかなか進まない問題ばかりだと思う。いろいろな組織や人々に声をかけて、情報提供すべきと思う。
- 安心して生活できるような講演や情報提供ができるイベントの開催があれば良い。

<若い親について>

- 若い子育て中の親は、色々な面で恵まれていると思う。世の中の考え方がおかしいのではと思う。甘やかす必要はない。私の子育て中では考えられない事（バス等の優先、駐車場の優先等）も多くある。これ以上必要ない。
- 子供達が大きくなって自分も成長して、子育てが楽しかったと思える。若い人達は必死で、大変だと思う。周りの人達が手を差し伸べて、協力していくべきだと思う。老人ホームにいる方々も精神面で支えられるのではないかな？

- 子育てをするには、親の安定した収入が必要です。家庭を築く事は責任が伴う事であり、今の若者では、なかなかその一歩踏み出せないのではないのでしょうか？
- 若い夫婦が離婚や別居をして、連れ子に内縁の夫や妻が暴力や食事を与えず死亡させる等のニュースが最近多いと思います。若い男女が結婚した後に、父親や母親になった時の、親としての責任感など心のアドバイスをして下さい。
- 今の人達は親としての自覚が見られない。スマホも大切だと思いますが、子供は泣いているのにスマホに夢中だったり、乳幼児の子に炭酸を簡単に与えていたり・・・。

<施設について>

- 小学生、中学生が対象で遊べるような施設も増やして欲しい。(りぼん館のような)
- 孤独に子育てをしている母親もいると思うので、子育て中(赤ちゃん～小学生低学年くらい)のお母さん達が気軽に足を運べる、子育てサロンのような施設が近くにあれば、悩んだり、疲れたりが軽減されると思います。
- 子供を預ける案内所があれば良い。
- 子供の一時預かりの体制が充実していると良いです。本当に困った時、少しだけ見ていて欲しいと思う事があった。
- 子育ての乳幼児期は息抜きも必要です。家の近くに子供を預けて、買い物や病院等に行きたいので預ける施設の紹介を沢山してほしい。

<その他>

- 他県では小児の医療費が無料や免除のところもあると聞きました。子育てについて、鹿児島はあまり対策をされていないと思います。
- 健全で健康な人でも、生まれて小さな赤ちゃんを育てるのはとても不安です。私もとても心細かったので、学生の頃に小さい子供や赤ちゃんに接する体験があれば、だいぶ違ったのではと思います。
- 10年前に比べたらデパートや駅など休憩所もあり育てやすいのでは？と思います。もっと活用したら良い。
- 子供と親ができるだけ一緒に過ごせる様に、親がそう考えるようになって、国の体制を変えてほしいです。長時間の労働や、親が子供を他に任せ過ぎているのも心配です。家族で過ごす時間が大切である事を考えてほしい。
- 男性への意識改善、夫の役割について指導する場を作ってほしい。
- 子育て中の悩みが、多種多様になっている気がします。「まったなし」の対応が欲しいです。
- 親だけど子供のままという人達も非常に多いので、もっと親の在り方を学べる場があると良いと思います。
- 小中学校のフリースクールを作ってほしい。
- 夫婦で協力して子育てをして、お互いを思いやる事を男性に分かって欲しいし、男性も勉強してほしいと思う。

(自由意見)

- 校長先生以下、先生方の生徒への生活指導方法について指導してほしい。
- 小1～小3は児童クラブがあるが良いが、4～6年生の母子・父子家庭の、放課後の子供の見守りはどうすべきか考えてほしい。
- 弱者の立場で考える事や思いやる事は、とても大変な事です。だから教育とはとても必要で重要です。理由が分かれば、相手が辛い状況に立たされている時など、少しは優しくできると感じます。
- 子供は平等であるはずなのに、児童手当や所得制限等があるのはおかしいと思います。
- 不登校や鬱（子供）で長い間親子で悩みました。子供を育てる間は、ほとんどの人がそれぞれ悩みを持っていると思います。
- 女性が働く機会が増え、結婚年齢が遅くなり、子供も年をとってから生まれて、子育てや自分の体の状態、お互いの両親の介護など、いくつもの悩み事が重なりとても生活しにくくなっています。公共の福祉を充実させて、親の負担を軽くしてほしいです。
- 子供が小さい頃に甘やかし過ぎる親が多く、公共の場での危険を感じさせないままで、子供が大人になっていくような気がします。自分たちのとっている行動は、子供の成長の中で植え付けられる事になると考えて欲しい。(例) デパートで子供が走り回っているが親が注意しない。もし、走り回っている場所が道路だとして、そこに大人がいないと、どうなるか考えてほしい。そういった子育てをしてほしい。自転車で乗りながら、ウォークマンや携帯をいじる子供が多いのは、こういったことにつながっているのではないのでしょうか。
- 親自身が病気やケガ、入院手術等になった時のサポート体制（特にひとり親や、単身赴任世帯、転勤族など）が必要。
- 子育て支援と言われ、保育所の充実等、取り組みをされていますが、基本的な考え方は男社会です。私もフルタイムで働き、子育てしてきましたが、結局女性の負担は大きいままです。
- 正常な成長過程で、反抗期の子供への接し方などが分からない。
- 自分自身で考えて、悩んで答えを見つけていく事が、大事なのではないかと思う。
- 子育ては関わりを持ちながら1人で悩まないようにする事。
- 子供だけでなく、親自身も常識について再確認する必要があると思う。
- 県立（公立）中学校は、学習ができないほどの校内素行の悪さが目立っている。授業がまともに行われていないため、学力が低下している。
- 老後を考えると、子供を一人か二人しか産めないという現実が一番問題として大きいと思います。今のままではみんな不安で一杯だと思います。私もそうです。
- 最近は子育てのサークルなど、県や市が積極的にそういう場を作って下さったり、インターネットだったり数多くなっていると思います。親自身が一步踏み出して一人で悩まないでほしいと思うし、もっと身近に感じられる場所であってほしいと思います。
- 配偶者の理解と協力、社会体制（共働き世帯、女性の職場での理解）の整備が何よりの課題だと思う。

- 高校性の娘がいますが、まだ今は毎日のやるべき事（学校でのテスト、勉強）を必死でやっている大事な時期です。この内容のアンケートも親子で話す事はあっても良いとは思いますが、この時期には中々難しいです。学校での授業等で習う方で良いと思っています。
- 医療費申請の手続きの簡略化。病児預かりの充実、認可保育園への待機問題の解消等。
- 大人になる前に友人を作る方法を経験して、一人で悩むことのない大人になってほしい。

Ⅲ 調 査 票

思春期保健に関する調査票（小学6年生用）

この調査は、小学6年生のみなさんの健康に関する考え方や行動について調査して、鹿児島市の母親・父親と子どもの健康づくり（母子保健）の参考にさせていただくためのものです。

あなた個人の結果を公表したり、他の目的で使用することは絶対にありませんので、調査にご協力をお願いいたします。記入が終わりましたら封筒に入れて封をして提出してください。

鹿児島市子育て支援部母子保健課

次の問1から問11までの質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別を教えてください。

- 1 男 2 女

問2 自分の体型（スタイル）について、どう感じていますか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 太っている 2 ちょうどよい 3 やせている 4 わからない

問3 学校のある日は、毎日、朝食（朝ごはん）を食べていますか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ

問4 今、学校が楽しいですか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問5 今、自分は健康だと思えますか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問6 将来の夢や希望がありますか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問7 お父さんやお母さんと会話をしていますか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 よく会話する 2 だいたい会話している 3 あまり会話しない
4 会話しない 5 お父さん・お母さんはいない

裏面に続きがあります

問8 今、悩みがありますか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

→ 「はい」と答えた方だけ回答してください。

問8-1 あなたが悩んでいることは何ですか。それはどんなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| 1 家族のこと | 2 友だちつきあい | 3 先生のこと |
| 4 好きな人のこと | 5 勉強・受験・進学 | 6 将来のこと |
| 7 自分の健康のこと | 8 自分の体型 (スタイル) | 9 自由な時間がない |
| 10 いじめ | 11 話す相手がいない | 12 家族の健康のこと |
| 13 経済的なこと | 14 その他 () | |

問9 悩みを相談できる人がいますか。 次の中から1つだけ選んでください。

- 1 いる 2 いない 3 わからない

→ 「いる」と答えた方だけ回答してください。

問9-1 相談できる人とは誰ですか。 あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------|-----------|--------|
| 1 学校や塾等での友人 | 2 母親 | 3 父親 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 先生 | 6 先輩 | 7 その他 () | |

問10 この1年間に赤ちゃんを抱いたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 ある 2 ない

→ 「ある」と答えた方だけ回答してください。

問10-1 赤ちゃんを抱いたのは、どういう機会でしたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 家族・親戚に赤ちゃんがいたから | 2 近所に赤ちゃんがいたから |
| 3 学校行事で | 4 ボランティア活動で |
| 5 その他 () | |

問11 赤ちゃんを育てることについてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 楽しそう 2 大変そう 3 わからない

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

思春期保健に関する調査票（中学3年生用）

この調査は、中学3年生のみなさんの健康に関する考え方や行動について調査して、鹿児島市の母親・父親と子どもの健康づくり（母子保健）の参考にさせていただくためのものです。

あなた個人の結果を公表したり、他の目的で使用することは絶対にありませんので、調査にご協力をお願いいたします。記入が終わりましたら封筒に入れて封をして提出してください。

鹿児島市子育て支援部母子保健課

次の問1から問15までの質問について、もっともあてはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別を教えてください。

- 1 男 2 女

問2 自分の体型（スタイル）について、どう感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 太っている 2 ちょうどよい 3 やせている 4 わからない

問3 ダイエットをしたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 ある 2 現在ダイエット中 3 ない 4 どちらとも言えない

問4 学校のある日は、毎日、朝食（朝ごはん）を食べていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ

問5 現在、学校生活が楽しいですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問6 今、自分は健康だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問7 自分が生まれてきてよかったと思っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問8 自分の生き方を自分で決定できると感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問9 将来の夢や希望がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問10 お父さんやお母さんと会話をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 よく会話する 2 だいたい会話している 3 あまり会話しない
4 会話しない 5 お父さん・お母さんはいない

裏面に続きがあります

問1 1 現在、悩みやストレスがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

「はい」と答えた方だけ回答してください。

問1 1-1 それはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------------------------|------------|
| 1 家族のこと | 2 友だちとの関係 | 3 先生との関係 |
| 4 恋愛・男女交際 | 5 勉強・受験・進学 | 6 将来のこと |
| 7 自分の健康のこと | 8 自分の体型（スタイル）容姿 | 9 自由な時間がない |
| 10 いじめ | 11 話す相手がいない | 12 家族の健康 |
| 13 経済的なこと | 14 その他（ ） | |

問1 2 悩みを相談できる人がいますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 いる 2 いない 3 わからない

「いる」と答えた方だけ回答してください。

問1 2-1 相談できる人とは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------|-------------------------------|--------|
| 1 学校や塾等での友人 | 2 母親 | 3 父親 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 先生 | 6 先輩 | 7 その他（ ） | |

問1 3 性的接触によってうつる病気（性感染症）があることを知っていますか。
次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

「はい」と答えた方だけ回答してください。

問1 3-1 性感染症についての情報はどこで得ましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------------|-------|--------------------------------|------------|
| 1 学校の授業 | 2 家族 | 3 交際相手 | 4 友人・先輩・後輩 |
| 5 養護教諭（保健室の先生） | 6 テレビ | 7 Web サイト | 8 雑誌・週刊誌 |
| 9 保健所・保健センター | 10 病院 | 11 その他（ ） | |

問1 4 この1年間に赤ちゃんを抱いたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 ある 2 ない

「ある」と答えた方だけ回答してください。

問1 4-1 赤ちゃんを抱いたのは、どういう機会でしたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 家族・親戚に赤ちゃんがいたから | 2 近所に赤ちゃんがいたから |
| 3 学校行事で | 4 ボランティア活動で |
| 5 その他（ ） | |

問1 5 赤ちゃんを育てることについてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 楽しそう | 2 だいたい楽しいが大変なこともある |
| 3 大変なことが多く楽しいのは少しだけ | 4 大変なだけ |
| 5 分からない | |

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

思春期保健に関する調査票（高校3年生用）

この調査は、高校生のみなさんの意識や行動について実態を知り、鹿児島市の母親・父親と子どもの健康づくり（母子保健）の中の思春期保健対策の参考にさせていただくためのものです。

あなた個人の結果を公表したり、他の目的で使用することは絶対にありませんので、調査にご協力をお願いいたします。記入が終わりましたら封筒に入れて封をして提出してください。

鹿児島市子育て支援部母子保健課

次の問1から問23までの質問について、もっともあてはまる選択肢の番号に○をつけて下さい。

問1 あなたの性別を教えてください。

- 1 男 2 女

問2 自分の体型（スタイル）について、どう感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 太っている 2 ちょうどよい 3 やせている 4 わからない

問3 ダイエットをしたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 ある 2 現在ダイエット中 3 ない 4 どちらとも言えない

問4 学校のある日は、毎日、朝食（朝ごはん）を食べていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ

問5 現在、学校生活が楽しいですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問6 現在、自分は健康だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問7 自分が生まれてきてよかったと思っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問8 自分の生き方を自分で決定できると感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問9 将来の夢や希望がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

問10 お父さんやお母さんと会話をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 よく会話する 2 だいたい会話している 3 あまり会話しない
4 会話しない 5 お父さん・お母さんはいない

問11 現在、悩みやストレスがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらとも言えない

「はい」と答えた方だけ回答してください。

問11-1 それはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--|------------|
| 1 家族のこと | 2 友だちとの関係 | 3 先生との関係 |
| 4 恋愛・男女交際 | 5 勉強・受験・進学 | 6 将来のこと |
| 7 自分の健康のこと | 8 自分の体型（スタイル）容姿 | 9 自由な時間がない |
| 10 いじめ | 11 話す相手がいない | 12 家族の健康 |
| 13 経済的なこと | 14 その他（ ） | |

問12 自分の悩みを相談できる人がいますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 いる 2 いない 3 わからない

「いる」と答えた方だけ回答してください。

問12-1 相談できる人とは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------------------|------|----------------|--------|
| 1 学校や塾等の友人 | 2 母親 | 3 父親 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 先生 | 6 先輩 | 7 アルバイト先の友人・知人 | |
| 8 その他（ ） | | | |

問13 友人の性的な行動や経験が、どの程度気になりますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 非常に気になる 2 少し気になる 3 全然気にならない

問14 性行為によってうつる病気（性感染症）があることを知っていますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

2と3を選んだ方は、問15へ進んでください

問14-1・14-2は、問14で「はい」と答えた方だけ回答してください。

問14-1 どんな性感染症を知っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|-----------------------------|----------|
| 1 クラミジア感染症 | 2 膣 ^{ちつ} トリコモナス炎 | 3 梅毒 |
| 4 淋菌 ^{りんきん} 感染症 | 5 尖圭 ^{せんけい} コンジローム | 6 性器ヘルペス |
| 7 HIV感染症(エイズ) | 8 その他() | |

問14-2 性感染症になるとどうなるか知っていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自覚症状がない場合も少なくない
- 2 目に感染するものもある
- 3 尿道に炎症が起こる
- 4 性器から膿がでる
- 5 不妊症の原因になる
- 6 妊娠中に感染すると子供に感染することもある
- 7 男子よりも女子が感染しやすい
- 8 10代～20代の感染者がもっとも多い
- 9 10代～20代前半の女性が感染しやすい
- 10 性感染症にかかるとHIV(エイズをひきおこすウイルス)に感染しやすくなる
- 11 その他()
- 12 わからない

問15 性感染症についての情報はどこで得ましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|-------|-----------|------------|
| 1 学校の授業 | 2 家族 | 3 交際相手 | 4 友人・先輩・後輩 |
| 5 養護教諭 | 6 テレビ | 7 Webサイト | 8 雑誌・週刊誌 |
| 9 保健所・保健センター | 10 病院 | 11 その他() | |

問16 性に関して相談できる人がいますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 いる 2 相談したいがない 3 相談の必要もないのでいない

問17 性に関して知りたいと思うことは何ですか。知りたいものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1 男性の身体のしくみ | 2 女性の身体のしくみ | 3 思春期の心理 |
| 4 男女交際 | 5 結婚の意義 | 6 妊娠・出産 |
| 7 避妊について | 8 不妊について | 9 性感染症 |
| 10 特にない | 11 その他() | |

問18 保健所でエイズの相談や検査をしているのを知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

問8 悩みを相談できる人がいますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 いる 2 いない 3 わからない

「いる」と答えた方だけ回答してください。

相談できる人とは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 配偶者 2 友人 3 兄弟姉妹
4 学校の先生 5 自分の親 6 その他

問9 親と子どもが性について話す機会をもつのは必要と思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 思う 2 どちらかと思う 3 どちらかと思わない
4 思わない 5 わからない

問10 性に関する教育は、いつごろからすると良いと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 幼児期 2 小学1～2年生 3 小学3～4年生
4 小学5～6年生 5 中学生 6 高校生
7 わからない

問11 子ども達に受けて欲しい、性に関する教育の内容はなんですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 月経と精通 2 第2次性徴（発毛。声変わり・乳房のふくらみ）
3 性交渉（セックス） 4 生命誕生（受精・妊娠・出産）
5 性器のはたらき・つくり 6 避妊の方法
7 性感染症の知識 8 HIV（エイズ）の知識
9 異性との交際の仕方 10 思春期の心理
11 男性と女性の心理や行動の違い 12 男性と女性の役割
13 特にない 14 その他（ ）

問12 親と子どもが死（身近な人やペットの死）について、話す機会をもつのは必要と思いますか。

次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 思う 2 どちらかと思う
3 どちらかと思わない 4 思わない
5 わからない

問13 子どもを育てることについてどう思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 楽しい 2 だいたい楽しいが大変なこともある
3 大変なことが多く楽しいのは少しだけ 4 大変なだけ
5 わからない

問14 マタニティマークを知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 はい 2 知らない

問15 子育て中の親や若い人たちが、結婚して安心して子どもを産み育てられるように、どのような相談体制を整えていくと良いと思いますか。下記の中から、いくつでも選んで○をつけて下さい。

また、ご意見やお考えなども、自由に記載して下さい。

- 1 妊娠に悩んでいる場合の相談体制 2 不妊に関する専門相談体制
3 障害児に関する相談体制 4 発達障害に関する相談体制
5 アレルギーに関する相談体制 6 いじめ・不登校の相談体制
7 ひきこもりの相談体制 8 その他（ ）

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

1歳6か月になるお子さんを含めた、現在の育児についておうかがいします。

問19 現在の子育ての状況についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない

問20 子育てについて気軽に相談できる人はいますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問21 現在、お母さんは働いていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 勤め(正規職員)
- 2 勤め(パート・アルバイト)
- 3 自営業・家業
- 4 内職
- 5 その他
- 6 育児休業中である
- 7 働いていない

問22 現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ややゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 やや苦しい
- 5 大変苦しい

問23 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 何とも言えない

問24 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 何とも言えない

問25 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 何とも言えない

「はい」と答えた方だけ回答してください。
それはどのようなことですか。

- 1 叩くなど
- 2 食事を長時間与えないなどの制限や放置
- 3 しつけのし過ぎ
- 4 感情的な言葉
- 5 その他

問26 夫は育児にどのような形で参加してくれていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもを入浴させる
- 2 子どもを着替え(おむつ交換も含む)させる
- 3 子どもと一緒に遊ぶ
- 4 保育園・幼稚園の送迎をする
- 5 洗濯する
- 6 食事の準備・後片付けをする
- 7 買い物をする
- 8 掃除をする
- 9 相談にのってくれる
- 10 気遣いをしてくれる
- 11 なにもしない
- 12 その他()

- 13 夫はいない

「夫はいない」と答えた方以外の方だけ回答してください。

問26-1 夫の協力に満足していますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 満足している
- 2 だいたい満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない

問27 お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいいますか。

- 1 はい 2 いいえ

問28 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 夫婦で相談する 2 祖母（または祖父） 3 近所の人
4 友人 5 かかりつけの医師 6 保健師や助産師
7 子育て支援センターや親子つどいの広場の保育士やスタッフ
8 保育士や幼稚園の先生 9 電話相談 10 インターネット
11 その他（ ） 12 誰もいない

問29 地域の子育てサークルや子育てサロンに参加していますか。

- 1 はい 2 いいえ

問30 かかりつけ医を持っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問31 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている 2 少し知っている 3 知らない

問32 「鹿児島市夜間急病センター」を、お子さんが受診したことがありますか。

- 1 はい 2 いいえ

問33 夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうしますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子ども電話相談（小児救急電話相談）で相談する
2 かかりつけ医に電話で相談する 3 鹿児島市夜間急病センターにつれていく
4 小児科医がいる病院に連れて行く 5 大きな病院につれていく
6 救急車を呼ぶ 7 子どもの祖父母や知人に相談する
8 なるべく朝まで様子を見る 9 その他（ ）

問34 生後1～5か月頃の赤ちゃんが「泣く」時の対処法について、自分の行動や考え方であてはまるものすべてに○をつけてください。（厚生労働省作成DVD「赤ちゃんが泣きやまない」より）

- 1 おっぱいやミルクをあげる
2 おむつを替える
3 抱っこをする
4 おくるみでくるんであげる
5 耳元で小さな声で「シー」いう音を聞かせてあげる
6 耳元でビニールをクシャクシャさせてみる
7 赤ちゃんは泣くものであるから、あまり気にしない
8 安全に配慮して、その場を少し離れる
9 まずは、自分がリラックスする
10 家族や近所の人にも泣く時期であることを理解してもらう
11 その他（ ）

問35 「乳幼児ゆさぶられ症候群」について、どのような事を知っていますか。

知っていることすべてに○をつけてください。

- 1 赤ちゃんの脳はやわらかいのでダメージを受けやすい
2 赤ちゃんの頭は体に比べて、とても大きいので激しく揺さぶられると、首がムチのようにしなり、頭の中に大きな力が加わる
3 ゆさぶられる事で、赤ちゃんの脳のまわりの血管や神経にダメージを受ける
4 脳にダメージを受けるので、後遺症が残る可能性があり、死に至ることもある
5 知らない 6 その他

問36 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------|------|
| 1 保健センターの集団健診 | 2 開業医・診療所 | 3 病院 |
| 4 受けていない | 5 その他 () | |

問37 健診についての状況はいかがでしたか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても満足している | 2 満足している |
| 3 満足していない | 4 全く満足していない |

問38 健診を受けた感想はいかがですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 信頼がおけて安心できた | 2 医師や保健師の話が勉強になった |
| 3 栄養士の話がためになった | 4 心理士の相談がためになった |
| 5 もっとゆっくりした時間が欲しかった | 6 個別の相談がしたかった |
| 7 決まりだから受けた | 8 知っていることばかり教えられた |
| 9 形式的だった | 10 友達が来てよかった |
| 11 その他 () | |

問39 お子さんの食事や間食（おやつ）の時間はだいたい決まっていますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問40 子どもの事故等について、お尋ねします。次の中からそれぞれ1つだけ選んでください。

- 1) ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視していますか。
1 はい 2 いいえ
- 2) 子どもを家に一人で残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 3) 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 4) 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 5) 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 6) タバコや灰皿はいつも子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 7) ピーナッツやあめ玉などは子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ
- 8) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ
- 9) ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ
- 10) ストープやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 11) 階段に転倒防止用の柵を取り付けていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

親と子の健康度調査(3歳児用)

記入していただく方のお子さんとの続柄をお書きください。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 母親 2 父親 3 祖父母 4 その他 ()

問1 お子さんの状況についてお尋ねします

①お子さんの年齢を教えてください。

- 1 1歳 ()月 2 その他 ()歳 ()月

②お子さんは何番目のお子さんですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 第1子 2 第2子 3 第3子 4 第4子以降

③ お子さんの性別

- 1 男 2 女

問2 現在3歳になるお子さんを妊娠・出産された時のことについてお伺いします。

①出産の状態はどうか

- 1 自然分娩 2 1以外の分娩 (帝王切開、早期破水等)

②お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください (母子健康手帳でご確認ください)

- 妊娠期間 ()週 ■体重 ()g

問3 自分の希望した(満足な)出産が出来ましたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 できた 2 まあまあできた 3 あまりできなかった 4 できなかった

問4 出産はどこでされましたか次の中から1つだけ選んでください。

- 1 病院・診療所 2 助産所 3 その他 ()

問5 出産した時のお母さんの年齢はいくつでしたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 19歳以下 2 20～24歳 3 25～29歳
4 30～34歳 5 35～39歳 6 40歳以上

問6 母子健康手帳の交付を受けたのは、いつごろでしたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 妊娠初期 (1～11週) 2 妊娠初期 (12～15週)
3 妊娠中期 (16～27週) 4 妊娠後期 (28～40週)
5 その他

問7 妊娠中、定期的に健診を受けましたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 受けた (問8へ)
2 受けたことがあった _____
3 まったく受けなかった _____
 ↓

「受けたことがあった」「まったく受けなかった」と答えた方だけ回答してください。

問7-1 健診を受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 必要ないと思ったから 2 身近なところに無かったから
3 忙しくて行けなかったから 4 体調が悪く、すでに病院にかかっていたから
5 経済的な理由で行けなかったから 6 その他

問8 妊娠していると分かったとき、あなた(お母さん)は喫煙していましたか。

- 1 しなかった 2 していた (1日 本ぐらい)

問9 あなた（お母さん）が妊娠していると分かったとき、夫・パートナー（お父さん）は喫煙していましたか。

- 1 しなかった 2 していた（1日 本ぐらい）

問10 妊娠中にあなた（お母さん）は喫煙していましたか。

- 1 しなかった 2 していた（1日 本ぐらい）

問11 妊娠中にあなた（お母さん）の夫・パートナー（お父さん）は喫煙していましたか。

- 1 しなかった 2 していた（1日 本ぐらい）

問12 妊娠中、飲酒はしていましたか

- 1 しなかった
2 していた（ 1 妊娠中に10回未満 2 月に1～2回 3 週に1～2回 4 週3回以上 ）

問13 母親学級に参加しましたか

- 1 はい 2 いいえ

「はい」と答えた方だけ回答してください。

問13-1 どこで母親学級に参加しましたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 保健センター 2 病院・産院 3 その他

問13-2 参加してよかったと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 よかった 2 まあまあよかった 3 あまりよくなかった 4 よくなかった

「いいえ」と答えた方だけ回答してください。

問13-3 参加しなかった理由で最もあてはまるものは何ですか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 自分には必要ないと思ったから（初めての出産ではないので）
2 仕事等で日程が合わなかったから 3 身体の具合が悪かったから
4 人の中に入って行くのが苦手だから 5 開催していることを知らなかったから
6 その他（ ）

問14 「両親学級」「父親学級」があれば、夫にも参加してもらいたいですか

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 参加してもらいたい 2 実際あったので参加した 3 参加しなくてよい

「参加してもらいたい」と答えた方だけ回答してください。

問14-1 「両親学級」「父親学級」に夫は参加してくれると思いますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 参加してくれる 2 参加してくれない 3 わからない

問15 妊娠中、仕事を持っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい 2 途中でやめた 3 いいえ → 問17へ

「はい」「途中でやめた」と答えた方だけ回答してください。

問15-1 妊娠中の職業は何でしたか。

- 1 勤め（正規職員） 2 勤め（パート・アルバイト） 3 自営業・家業
4 内職 5 その他 6 育児休業中である

問15-2 妊娠ということで、仕事上配慮してもらえたと思いますか。

- 1 配慮してもらえた 2 だいたい配慮してもらえた
3 あまり配慮してもらえなかった 4 配慮してもらえなかった

「あまり配慮してもらえなかった」「配慮してもらえなかった」と答えた方だけ回答してください。

問15-3 どんな点が配慮してもらえませんでしたか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 産休・育休制度がなかった
2 産休はとれたが、育休がとれなかった
3 軽い作業等仕事内容を変えてもらえなかった
4 通勤時間や勤務時間を短縮してもらえなかった
5 その他（ ）

問16 母子健康管理指導事項連絡カードを知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

「知っている」と答えた方だけ回答してください。

問16-1 利用したことはありますか。

- 1 ある 2 ない

問17 マタニティマークを知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

「知っている」と答えた方だけ回答してください。

問17-1 マタニティマークの効果を感じたことがありますか

- 1 ある 2 ない

問18 産後に助産師や保健師による家庭訪問を受けましたか。

- 1 受けた 2 受けていない

「受けた」と答えた方だけ回答してください。

問18-1 訪問指導を受けた感想はいかがでしたか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 よかった 2 まあまあよかった 3 あまりよくなかった 4 よくなかった

3歳になるお子さんを含めた、現在の育児についておうかがいします。

問19 現在の子育ての状況についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない

問20 子育てについて気軽に相談できる人はいますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問21 現在、お母さんは働いていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 勤め(正規職員)
- 2 勤め(パート・アルバイト)
- 3 自営業・家業
- 4 内職
- 5 その他
- 6 育児休業中である
- 7 働いていない

問22 現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ややゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 やや苦しい
- 5 大変苦しい

問23 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 何とも言えない

問24 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 何とも言えない

問25 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 何とも言えない

「はい」と答えた方だけ回答してください。
それはどのようなことですか。

- 1 叩くなど
- 2 食事を長時間与えないなどの制限や放置
- 3 しつけのし過ぎ
- 4 感情的な言葉
- 5 その他

問26 夫は育児にどのような形で参加してくれていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもを入浴させる
- 2 子どもを着替え(おむつ交換も含む)させる
- 3 子どもと一緒に遊ぶ
- 4 保育園・幼稚園の送迎をする
- 5 洗濯する
- 6 食事の準備・後片付けをする
- 7 買い物をする
- 8 掃除をする
- 9 相談にのってくれる
- 10 気遣いをしてくれる
- 11 なにもしない
- 12 その他()

- 13 夫はいない

「夫はいない」と答えた方以外の方だけ回答してください。

問26-1 夫の協力に満足していますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 満足している
- 2 だいたい満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない

問27 お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいいますか。

- 1 はい 2 いいえ

問28 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 夫婦で相談する 2 祖母（または祖父） 3 近所の人
4 友人 5 かかりつけの医師 6 保健師や助産師
7 子育て支援センターや親子つどいの広場の保育士やスタッフ
8 保育士や幼稚園の先生 9 電話相談 10 インターネット
11 その他（ ） 12 誰もいない

問29 地域の子育てサークルや子育てサロンに参加していますか。

- 1 はい 2 いいえ

問30 かかりつけ医を持っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問31 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている 2 少し知っている 3 知らない

問32 「鹿児島市夜間急病センター」を、お子さんが受診したことがありますか。

- 1 はい 2 いいえ

問33 夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうしますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子ども電話相談（小児救急電話相談）で相談する
2 かかりつけ医に電話で相談する 3 鹿児島市夜間急病センターにつれていく
4 小児科医がいる病院に連れて行く 5 大きな病院につれていく
6 救急車を呼ぶ 7 子どもの祖父母や知人に相談する
8 なるべく朝まで様子を見る 9 その他（ ）

問34 生後1～5か月頃の赤ちゃんが「泣く」時の対処法について、自分の行動や考え方であてはまるものすべてに○をつけてください。（厚生労働省作成DVD「赤ちゃんが泣きやまない」より）

- 1 おっぱいやミルクをあげる
2 おむつを替える
3 抱っこをする
4 おくるみでくるんであげる
5 耳元で小さな声で「シー」いう音を聞かせてあげる
6 耳元でビニールをクシャクシャさせてみる
7 赤ちゃんは泣くものであるから、あまり気にしない
8 安全に配慮して、その場を少し離れる
9 まずは、自分がリラックスする
10 家族や近所の人にも泣く時期であることを理解してもらう
11 その他（ ）

問35 「乳幼児ゆさぶられ症候群」について、どのような事を知っていますか。

知っていることすべてに○をつけてください。

- 1 赤ちゃんの脳はやわらかいのでダメージを受けやすい
2 赤ちゃんの頭は体に比べて、とても大きいので激しく揺さぶられると、首がムチのようにしなり、頭の中に大きな力が加わる
3 ゆさぶられる事で、赤ちゃんの脳のまわりの血管や神経にダメージを受ける
4 脳にダメージを受けるので、後遺症が残る可能性があり、死に至ることもある
5 知らない 6 その他

問36 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------|------|
| 1 保健センターの集団健診 | 2 開業医・診療所 | 3 病院 |
| 4 受けていない | 5 その他 () | |

問37 健診についての状況はいかがでしたか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても満足している | 2 満足している |
| 3 満足していない | 4 全く満足していない |

問38 健診を受けた感想はいかがですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 信頼がおけて安心できた | 2 医師や保健師の話が勉強になった |
| 3 栄養士の話がためになった | 4 心理士の相談がためになった |
| 5 もっとゆっくりした時間が欲しかった | 6 個別の相談がしたかった |
| 7 決まりだから受けた | 8 知っていることばかり教えられた |
| 9 形式的だった | 10 友達が来てよかった |
| 11 その他 () | |

問39 お子さんの食事や間食（おやつ）の時間はだいたい決まっていますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問40 子どもの事故等について、お尋ねします。次の中からそれぞれ1つだけ選んでください。

- 1) 子どもを家に一人で残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 2) 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 3) 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 4) タバコや灰皿はいつも子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 5) ピーナッツやあめ玉などは子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ
- 6) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。
1 はい 2 いいえ
- 7) ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。
1 はい 2 いいえ 3 該当しない
- 8) お箸や歯ブラシなどをくわえて走り回ることがありますか。
1 はい 2 いいえ
- 9) すべり台やブランコの安全な乗り方を教えていますか。
1 はい 2 いいえ
- 10) ベランダや窓の側に、踏み台になるものがありますか。
1 はい 2 いいえ

児童発達支援センター・事業所を、利用中や利用したことのある方のみ、お答えください。

問4 1 利用のきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 保健センターの健診で | 2 保健センターの親子教室 |
| 3 保育園からの勧め | 4 その他 () |

問4 2 いつから利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 2歳前から | 2 2歳～2歳6か月未満 |
| 3 2歳6か月～3歳未満 | 4 3歳～3歳6か月未満 |
| 5 3歳6か月～4歳未満 | |

問4 3 利用の頻度はどれくらいですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 2～3日/週 | 3 1回/週 |
| 4 1～2回/月 | 5 その他 | |

問4 4 就学前に児童発達支援事業（旧児童デイサービス）を利用した小学生のお子さんをもつ複数の保護者の方にインタビューしたところ、療育によって子どもや保護者自身が変わってきたことなど、療育の良さを上げて頂きました。

あなたが療育について感じた事を、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

問4 4-1 子ども自身の成長・変容をどんな点で感じますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 言葉がふえた
- 2 先の見通しがもてるようになった
- 3 喜んで登園するようになった
- 4 自分からお友達と遊ぶ姿が増えた
- 5 困ったりわからない時に、人を頼ることができるようになった
- 6 身の周りの事ができるようになった
- 7 手先が器用になった
- 8 片づけが上手になった
- 9 運動や体を動かすことが好きになった・あまり嫌がらなくなった
- 10 その他 ()
- 11 特に感じない

問4 4-2 保護者自身の変化・変容について感じるがありましたか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもの事がかわいく思えるようになった
- 2 自分の子どもに対する理解が深まった
- 3 障害や特性を受け止めがすすんでいると感じるようになった
- 4 子どもを通して、人と人のつながりが広がったと感じた
- 5 保護者自身の相談相手が増えた
- 6 様々な支援を受け入れようとする力が育っていると感じた
- 7 その他 ()
- 8 特に何も感じなかった

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

母子保健計画策定市民意識調査

平成26年10月

発行

鹿児島市山下町11番1号

鹿児島市役所 母子保健課 電話 (099) 216-1485
FAX (099) 216-1284

集計・分析受託機関

鹿児島市吉野町3615-54

アシスト株式会社 電話 099-243-6776
